令和５年度　仙松維第１２号
仙台松島道路　料金事務所修繕工事

図面目録

図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容	図面番号	図面内容
	（各料金事務所施設 共通）表紙・図面目録						
	（建築工事）				（電気設備工事）		（機械設備工事）
Ａ－０１	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (1)	Ａ－７１	（松島北） 改修前・改修後 仕上表(1)	Ｅ－０１	（料金事務所施設） 電気設備改修工事特記仕様書	Ｍ－０１	（料金事務所施設） 機械設備工事特記仕様書
Ａ－０２	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (2)	Ａ－７２	（松島北） 改修前・改修後 仕上表(2)	Ｅ－０２	（利府中） 配置図・電灯分電盤結線図	Ｍ－０２	（料金事務所施設） 機械設備工事 凡例表
Ａ－０３	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (3)	Ａ－７３	（松島北） 改修前・改修後 仕上表(3)	Ｅ－０３	（利府中） 料金事務所 電灯設備 照明器具姿図	Ｍ－０３	（利府中） 料金事務所 機械設備工事 配置図
Ａ－０４	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (4)	Ａ－７４	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 1階平面図・建具伏図	Ｅ－０４	（利府中） 料金事務所 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－０４	（利府中） 料金事務所 換気空調設備機器表 改修図
Ａ－０５	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (5)	Ａ－７５	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 2階平面図・建具伏図	Ｅ－０５	（利府中） 車庫・電気室 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－０５	（利府中） 料金事務所 空調設備平面図 改修図
Ａ－０６	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (6)	Ａ－７６	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 屋根伏図	Ｅ－０６	（利府中） 料金事務所 動力ｺﾝｾﾝﾄ設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－０６	（利府中） 料金事務所 衛生設備 器具表 改修図
Ａ－０７	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (7)	Ａ－７７	（松島北）（料金事務所）改修前 水回り1階平面詳細図・建具伏図	Ｅ－０７	（松島海岸） 配置図・電灯分電盤結線図	Ｍ－０７	（利府中） 料金事務所 衛生設備 平面図 改修図
Ａ－０８	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (8)	Ａ－７８	（松島北）（料金事務所）改修前 水回り1階展開図	Ｅ－０８	（松島海岸） 料金事務所 電灯設備 凡例 新設姿図	Ｍ－０８	（利府中） 料金事務所 衛生設備 平面図 改修図
Ａ－０９	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (9)	Ａ－７９	（松島北）（料金事務所）改修後 水回り1階平面詳細図・建具伏図	Ｅ－０９	（松島海岸） 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－０９	（利府中） 料金事務所 換気空調設備機器表 撤去図
Ａ－１０	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (10)	Ａ－８０	（松島北）（料金事務所）改修後 水回り1階展開図	Ｅ－１０	（松島海岸） 料金事務所 動力ｺﾝｾﾝﾄ設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－１０	（利府中） 料金事務所 換気空調設備平面図 撤去図
Ａ－１１	（利府中） 案内図・配置図	Ａ－８１	（松島北）（料金事務所）改修前 水回り2階平面詳細図・建具伏図	Ｅ－１１	（大郷第一） 配置図・電灯分電盤結線図	Ｍ－１１	（利府中） 料金事務所 衛生設備器具表・平面詳細図 撤去図
Ａ－１２	（利府中） 改修前・改修後 仕上表	Ａ－８２	（松島北）（料金事務所）改修前 水回り2階展開図	Ｅ－１２	（大郷第一） 料金事務所 電灯設備 照明器具姿図	Ｍ－１２	（松島海岸） 機械設備工事 配置図
Ａ－１３	（利府中） 改修前・改修後 平面図・建具伏図	Ａ－８３	（松島北）（料金事務所）改修後 水回り2階平面詳細図・建具伏図	Ｅ－１３	（大郷第一） 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－１３	（松島海岸） 換気空調設備機器表 改修図
Ａ－１４	（利府中） 改修前・改修後 立面図	Ａ－８４	（松島北）（料金事務所）改修後 水回り2階展開図	Ｅ－１４	（大郷第一） 動力ｺﾝｾﾝﾄ設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－１４	（松島海岸） 詰所棟・事務所棟 換気空調設備平面図 改修図
Ａ－１５	（利府中） 改修前 水回り平面詳細図	Ａ－８５	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 1階展開図(1)	Ｅ－１５	（大郷第二） 配置図・分電盤結線図	Ｍ－１５	（松島海岸） 衛生設備器具表改修図
Ａ－１６	（利府中） 改修後 水回り平面詳細図	Ａ－８６	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 1階展開図(2)	Ｅ－１６	（大郷第二） 料金事務所 電灯設備 照明器具姿図	Ｍ－１６	（松島海岸） 詰所棟 衛生設備 平面図 改修図
Ａ－１７	（利府中） 改修前 便所平面詳細図	Ａ－８７	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 1階展開図(3)	Ｅ－１７	（大郷第二） 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－１７	（松島海岸） 詰所棟 衛生設備 平面図 改修図
Ａ－１８	（利府中） 改修後 便所平面詳細図	Ａ－８８	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 2階展開図(1)	Ｅ－１８	（大郷第二） 動力コンセント設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－１８	（松島海岸） 便所棟 衛生・換気・暖房設備平面詳細図 改修図
Ａ－１９	（利府中） 改修前・改修後 展開図(1)	Ａ－８９	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 2階展開図(2)	Ｅ－１９	（松島北） 配置図	Ｍ－１９	（松島海岸） 多目的便所棟 衛生・換気・暖房設備 撤去・改修図
Ａ－２０	（利府中） 改修前・改修後 展開図(2)	Ａ－９０	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 2階展開図(3)	Ｅ－２０	（松島北） 分電盤結線図	Ｍ－２０	（松島海岸） 詰所棟・事務所棟 換気空調設備機器表・平面図 撤去図
Ａ－２１	（利府中） 改修前・改修後 展開図(3)	Ａ－９１	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 階段詳細図	Ｅ－２１	（松島北） 料金事務所 電灯設備 凡例・注記・照明器具姿図	Ｍ－２１	（松島海岸） 詰所棟・便所棟 衛生設備器具表・平面図 撤去図
Ａ－２２	（利府中） 改修前・改修後 天井伏図	Ａ－９２	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 建具表(1)	Ｅ－２２	（松島北） 料金事務所 電灯設備 改修前・改修後 1階平面図	Ｍ－２２	（大郷第一） 機械設備工事 配置図
Ａ－２３	（利府中） 改修前・改修後 建具表(1)	Ａ－９３	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 建具表(2)	Ｅ－２３	（松島北） 料金事務所 電灯設備 改修前・改修後 2階平面図	Ｍ－２３	（大郷第一） 換気空調設備機器表 改修図
Ａ－２４	（利府中） 改修前・改修後 建具表(2)	Ａ－９４	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 建具表(3)	Ｅ－２４	（松島北） 車庫・電気室 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－２４	（大郷第一） 空調換気設備 平面図 改修図
Ａ－２５	（利府中） 改修前・改修後 建具表(3)	Ａ－９５	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 建具表(4)	Ｅ－２５	（松島北） 料金事務所 動力コンセント設備 改修前 1階平面図	Ｍ－２５	（大郷第一） 衛生設備器具表改修図
Ａ－２６	（利府中） 改修前・改修後 建具表(4)	Ａ－９６	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 建具表(5)	Ｅ－２６	（松島北） 料金事務所 動力コンセント設備 改修前 2階平面図	Ｍ－２６	（大郷第一） 衛生設備 平面図 改修図
Ａ－２７	（利府中） 改修前・改修後 外構図	Ａ－９７	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 1階天井伏図	Ｅ－２７	（松島北） 料金事務所 動力コンセント設備 改修後 1階平面図	Ｍ－２７	（大郷第一） 衛生設備平面詳細図 改修図
Ａ－２８	（松島海岸） 案内図・配置図	Ａ－９８	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 2階天井伏図	Ｅ－２８	（松島北） 料金事務所 動力コンセント設備 改修後 2階平面図	Ｍ－２８	（大郷第一） 換気空調設備機器表・平面図 撤去図
Ａ－２９	（松島海岸） 仕上表(1)	Ａ－９９	（松島北）（料金事務所）改修前・改修後 外構詳細図	Ｅ－２９	（鳴瀬奥松島） 料金事務所 配置図・電灯分電盤結線図	Ｍ－２９	（大郷第一） 衛生設備器具表・平面図 撤去図
Ａ－３０	（松島海岸） 仕上表(2)			Ｅ－３０	（鳴瀬奥松島） 料金事務所 電灯設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－３０	（大郷第二） 機械設備工事 配置図
Ａ－３１	（松島海岸）（事務所）改修前・改修後 平面図(1)・建具伏図(1)			Ｅ－３１	（鳴瀬奥松島） 料金事務所 動力ｺﾝｾﾝﾄ設備 改修前・改修後 平面図	Ｍ－３１	（大郷第二） 換気空調設備機器表 改修図
Ａ－３２	（松島海岸）（事務所）改修前・改修後 平面図(2)・建具伏図(2)					Ｍ－３２	（大郷第二） 換気空調設備平面図 改修図
Ａ－３３	（松島海岸）（詰所）改修前 水回り平面詳細図・建具伏図・展開図	Ａ－１０３	（鳴瀬奥松島） 案内図・配置図			Ｍ－３３	（大郷第二） 衛生設備器具表 改修図
Ａ－３４	（松島海岸）（詰所）改修後 水回り平面詳細図・建具伏図・展開図	Ａ－１０４	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 仕上表			Ｍ－３４	（大郷第二） 衛生設備器具表・平面図 改修図
Ａ－３５	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 展開図(1)	Ａ－１０５	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 平面図			Ｍ－３５	（大郷第二） 衛生設備平面詳細図 改修図
Ａ－３６	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 展開図(2)	Ａ－１０６	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 屋根伏図			Ｍ－３６	（大郷第二） 換気空調設備機器表・平面図 撤去図
Ａ－３７	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 展開図(3)	Ａ－１０７	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 立面図・断面図			Ｍ－３７	（大郷第二） 衛生設備器具表・平面図 撤去図
Ａ－３８	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 天井伏図	Ａ－１０８	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 矩計図			Ｍ－３８	（松島北） 機械設備工事 配置図
Ａ－３９	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 建具表(1)	Ａ－１０９	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 平面詳細図・建具伏図(1)			Ｍ－３９	（松島北） 換気空調設備 機器表 改修図
Ａ－４０	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 建具表(2)	Ａ－１１０	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 平面詳細図・建具伏図(2)			Ｍ－４０	（松島北） 換気空調設備 各階平面図 改修図
Ａ－４１	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 建具表(3)	Ａ－１１１	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 展開図(1)			Ｍ－４１	（松島北） 衛生設備 器具表 改修図
Ａ－４２	（松島海岸）（事務所・詰所）改修前・改修後 建具表(4)	Ａ－１１２	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 展開図(2)			Ｍ－４２	（松島北） 衛生設備 各階平面図 改修図
Ａ－４３	（松島海岸）（車庫・電気室）改修前・改修後 平面図・建具伏図・建具表	Ａ－１１３	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 展開図(3)			Ｍ－４３	（松島北） 衛生設備1階平面詳細図 改修図
Ａ－４４	（松島海岸）（トイレ）改修前・改修後 平面図・立面図・天井伏図	Ａ－１１４	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 展開図(4)			Ｍ－４４	（松島北） 衛生設備2階平面詳細図 改修図
Ａ－４５	（松島海岸）（トイレ）改修前・改修後 建具表	Ａ－１１５	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 展開図(5)			Ｍ－４５	（松島北） 換気空調設備 機器表 撤去図
Ａ－４６	（松島海岸）（多目的トイレ）改修前・改修後 平面図	Ａ－１１６	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 天井伏図			Ｍ－４６	（松島北） 換気空調設備1階平面図 撤去図
Ａ－４７	（松島海岸） 改修前・改修後 外構図	Ａ－１１７	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 建具表(1)			Ｍ－４７	（松島北） 換気空調設備2階平面図 撤去図
Ａ－４８	（大郷第一） 案内図・配置図	Ａ－１１８	（鳴瀬奥松島）（料金事務所） 改修前・改修後 建具表(2)			Ｍ－４８	（松島北） 衛生設備 器具表 撤去図
Ａ－４９	（大郷第一） 改修前・改修後 仕上表	Ａ－１１９	（鳴瀬奥松島）（車庫・電気室） 改修前・改修後 仕上表			Ｍ－４９	（松島北） 衛生設備 平面図 撤去図
Ａ－５０	（大郷第一） 改修前・改修後 平面図	Ａ－１２０	（鳴瀬奥松島）（車庫・電気室） 改修前・改修後 平面図			Ｍ－５０	（松島北） 料金事務所 衛生設備平面詳細図撤去図
Ａ－５１	（大郷第一） 改修前 水回り平面詳細図	Ａ－１２１	（鳴瀬奥松島）（車庫・電気室） 改修前・改修後 屋根伏図				
Ａ－５２	（大郷第一） 改修後 水回り平面詳細図	Ａ－１２２	（鳴瀬奥松島）（車庫・電気室） 改修前・改修後 立面図・断面図				
Ａ－５３	（大郷第一） 改修前・改修後 展開図(1)	Ａ－１２３	（鳴瀬奥松島）（車庫・電気室） 改修前・改修後 矩計図				
Ａ－５４	（大郷第一） 改修前・改修後 展開図(2)	Ａ－１２４	（各料金事務所施設 共通）改修前・改修後 雑詳細図(1)				
Ａ－５５	（大郷第一） 改修前・改修後 天井伏図	Ａ－１２５	（各料金事務所施設 共通）改修前・改修後 雑詳細図(2)				
Ａ－５６	（大郷第一） 改修前・改修後 建具表(1)	Ａ－１２６	（各料金事務所施設 共通）改修前・改修後 雑詳細図(3)				
Ａ－５７	（大郷第一） 改修前・改修後 建具表(2)						
Ａ－５８	（大郷第二） 案内図・配置図						
Ａ－５９	（大郷第二） 改修前・改修後 仕上表						
Ａ－６０	（大郷第二） 改修前・改修後 平面図						
Ａ－６１	（大郷第二） 改修前 水回り平面詳細図・建具伏図・展開図						
Ａ－６２	（大郷第二） 改修後 水回り平面詳細図・建具伏図・展開図						
Ａ－６３	（大郷第二） 改修前 便所平面詳細図・建具伏図・展開図						
Ａ－６４	（大郷第二） 改修後 便所平面詳細図・建具伏図・展開図						
Ａ－６５	（大郷第二） 改修前・改修後 展開図(1)						
Ａ－６６	（大郷第二） 改修前・改修後 展開図(2)						
Ａ－６７	（大郷第二） 改修前・改修後 天井伏図						
Ａ－６８	（大郷第二） 改修前・改修後 建具表(1)						
Ａ－６９	（大郷第二） 改修前・改修後 建具表(2)						
Ａ－７０	（松島北） 案内図・配置図						

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 表紙・図面目録		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	00

建　築　改　修　工　事　特　記　仕　様　書　【令和５年４月版】

Ⅰ　工　事　概　要

１　工事番号・名称　　令和５年度　仙松維第１２号　仙台松島道路　料金事務所修繕工事
２　工　事　場　所　　宮城郡利府町春日～東松島市川下地内
３　用途地域等
　都市計画区域（⊙内　・外）　用途地域（松島海岸ＩＣ：準工業地域・その他：指定なし）
　防火地域等（・　防火　・　準防火　⊙　指定なし　⊙　２２条　）
　その他の地域・地区（　　）
４　主　要　用　途　　業務施設（庁舎等）
５　敷　地　面　積　　別図による　㎡
６　工　事　の　概　要

-１：仙台松島道路	利府中料金事務所施設	料金事務所	改修	一式
-２：仙台松島道路	松島海岸料金事務所施設	料金事務所	改修	一式
		車庫・電気室	改修	一式
		ﾄｲﾚ	改修	一式
		多目的ﾄｲﾚ	改修	一式
-３：仙台松島道路	松島大郷第一料金事務所施設	料金事務所	改修	一式
-４：仙台松島道路	松島大郷第二料金事務所施設	料金事務所+トイレ	改修	一式
-５：仙台松島道路	松島北料金事務所施設	料金事務所	改修	一式
		雪氷基地	改修	一式
-６：仙台松島道路	鳴瀬奥松島本線料金事務所施設	料金事務所	改修	一式
		車庫・電気室	改修	一式

７　別　途　工　事

８　そ　　の　　他

９　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
　・　構造特記仕様書　　・　外構工事特記仕様書　　・　植栽工事特記仕様書
　・　解体工事特記仕様書　　・　電気設備工事特記仕様書　　・　機械設備工事特記仕様書
　・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

１．共通仕様
　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
　なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
２．特記仕様
　１）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　２）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
　３）特記事項に記載の＜　＞、（　）及び［　］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙　工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙　受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙　施工体系図を現場に掲示すること。 ・　工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　　※　図示 ・
	②．適用基準等	⊙　建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号) ⊙　宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（令和5年3月1日施行） ⊙　建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和4年版） ⊙　宮城県建築工事写真撮影要領（平成12年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和3年版）
	３．概況工期	工事工期より　　日前　　<1.2.1>
	④．工事実績情報(CORINS)の登録	※　適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　　<1.1.4> 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・　適用しない
	⑤．発生材の処理等	発生材の処理　　<1.3.12> ・　引渡しを要するもの（　　） ・　特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・　現場において再利用を図るもの（　　） ⊙　再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名　・所在地（Km）
⊙　コンクリート塊	MKエコプラント株式会社おおさとリサイクルセンター
⊙　アスファルト	・黒川郡大郷町川内字中埣山1-33（2.3ｋｍ～）
⊙　廃プラ	㈱東洋環境開発　東環リサイクルセンター
⊙　陶磁器・ｶﾞﾗｽ	・黒川郡大和町鶴巣山田字宮田23-1（13.0ｋｍ～）
⊙　建設発生木材	㈲幸和　大郷工場 ・黒川郡大郷町川内字中埣山1-37（2.0ｋｍ～）
⊙　畳（混合ｶﾞﾗ）	矢本クリーンセンター㈱　大塩最終処分場 ・東松島市大塩字天神堂1-1,1-2,3,6-2（2.0ｋｍ～）
・	

⊙その他の廃棄物（安定型）

種　類	受入施設名　・所在地（Km）
⊙　廃石こうﾎﾞｰﾄﾞ	(公財)宮城県環境事業公社ｸﾘｰﾝﾌﾟﾗｻﾞみやぎ ・黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字大沢5（14.9ｋｍ～）

⊙その他の廃棄物（管理型）

種　類	受入施設名　・所在地（Km）
⊙　アスベスト含有材成形材	(財)宮城県環境事業公社ｸﾘｰﾝﾌﾟﾗｻﾞみやぎ ・黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字大沢5（9.6ｋｍ～）

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・　有（数量は図示）　[5.4.1]
　⊙　無

PCB含有シーリング材　・　有（施工範囲は図示）　[5.4.1]
　⊙　無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事　・有(図示　　)　⊙無
　受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事　・有(図示　　)　⊙無
　受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事　⊙有(図示　　)　・無
　受け入れ施設名・所在地(km)　⊙その他の廃棄物（管理型）

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード　・有(図示　　)　⊙無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
　小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
　日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
　指定する処分場
　【名称：　　所在地(km)　　】

⑥．電気保安　・　適用する　　※　適用しない　<1.3.3>

⑦．事故報告　<1.3.10>
　工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧．建築材料等
材料の品質等　<1.4.2>
※　本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
　特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮　<1.4.1>
※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※　ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の建築材料
　１）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
　２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
　３）次の表示のあるＪＡＳ適合品
　　ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
　　ｂ．接着剤等不使用
　　ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
　　ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
　　ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

⑨．室内の空気中の化学物質濃度の測定
※　ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9)<1.7.9>
　試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
　測定対象物質
　　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm）
　　※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm）
　　※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm）
　　※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3、800μg/m3 ・ 0.88ppm）
　　※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　200μg/m3 ・ 0.05ppm）

　測定する室等：（　　）

　採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では８時間採取する。

　測定結果等報告書の提出
　　次の事項を記載した報告書を１部提出する。
　　ａ測定結果
　　ｂ試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
　　ｃ試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

　測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・　総揮発性有機化合物の測定
　測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※　室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

⑩．特別な材料の工法
「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪．建築基準法による風圧力等の指定　<3.5.4><3.9.3><5.11～13.2><5.14.5>(13.2.3)(13.3.3)

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
・　合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0)　※３０　・
⊙　アルミニウム笠木　・　金属板屋根葺	地表面粗度区分　⊙Ⅱ　・Ⅲ
・　折板屋根葺　・　ガラスブロック	多雪地域の指定　・有　⊙無
・　重量シャッター　⊙　軽量シャッター	
・　オーバーヘッドドア　・　屋上緑化	

⑫．設計ＧＬ　※　図　示　　・　現状平均地盤高

⑬．施工調査
施工数量調査　<1.6.2>

調査項目	調　査　範　囲	調査方法	成果品
OAフロア段差解消	料金事務所　各施設仕上表による	目視	報告書・数量書
OAフロア段差解消	料金計算書　各施設仕上表による	目視	報告書・数量書
OAフロア段差解消	料金機械室　各施設仕上表による	目視	報告書・数量書

・　既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　<1.6.3>

⑭．技　能　士
・　下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　<1.7.2>
※　下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
⊙　下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	⊙該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
防水改修工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　　）
外壁改修工事	・左官(左官作業)　・タイル張り(タイル張り作業) ・樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・塗装(建築塗装作業)
建具改修工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
内装改修工事	・内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼製下地工事作業　　） ・表装（壁装作業）　・建築大工（大工工事作業）
塗装改修工事	・塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・型枠施工(型枠工事作業)　・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
石工事	・石材施工（石張り作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面標示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　　）
植栽工事	・造園（造園工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業） ・スレート施工（スレート工事作業）

⑮．完成図等
　営繕工事完成引渡要領（令和3年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。

※　白焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部
※　白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部
※　完成図面　JWN形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ　CD2枚

⑯．完成写真
※　作成する　・　作成しない
　宮城県建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版（ネガ又は電子媒体）とともに監督職員に提出する。
　なお、原版を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提出様式
※カラー・白黒	※Ｌ・２Ｌ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度・　箇所　枚	※１部・　部	※工事用アルバムA4版ポケット式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度） ・

⑰．設備工事との取合い
施工範囲　各工事の区分表による。
施工図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

⑱．火災保険等
工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類　※　火災保険　※　建設工事保険　・
保険期間　※　工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

２　仮設工事

①．仮囲い
※　設ける　・　設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・キャスターゲート（H=　、W=　）×　箇所
⊙シートゲート（H=　、W=　）×　箇所

②．交通誘導員　・　配置する（　日　×　人　＝　人日）　※　配置しない

③．揚重機械器具　⊙　トラッククレーン（4.9ｔ吊り）×　2　日
・　（　ｔ吊り）×　日

④．工事表示板　※　設置する　・設置しない
　営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

⑤．足場等
外部足場　⊙設置する　（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・　）　<2.2.1><表2.2.1>
　・設置しない
防護シート　⊙設置する　（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・　）
　・設置しない
内部足場　⊙設置する　（⊙内部階段仕上足場※脚立、足場板等）
　・設置しない

３　防水改修工事

・材料、撤去材等の運搬方法
　種別（・Ａ種　⊙Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種）
　Ｃ種：利用可能なエレベーター　（　　）
　Ｄ種：利用可能な階段　（　　）
　足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

⑥．養生　家具及び設備の移動　・　行う(図示)　⊙　行わない　<2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管　・　行う　⊙　行わない
　養生の方法
　保管場所

⑦．仮設間仕切り　・　設ける(図示)　<2.3.2><表2.3.1>
　・　Ａ種　・　Ｂ種　※　Ｃ種

⑧．監督職員事務所　※　設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　<2.4.1>
・　設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否）
　備品（

⑨．工事用水　構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない

⑩．工事用電力　構内既存の施設　・　利用できる（※有償　・無償）　※　利用できない
　※　溶接などの消費電力の大きな機器を除く

⑪．工事用通路　※　指定しない　・　指定する（図示）

①．降雨等に対する養生(とい共)　※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　<3.1.3>
・

②．既存防水の処理　既存保護層の撤去　<3.2.3～4><3.2.6>
・行う（範囲　・図示による　・　）
・行わない
既存防水層の撤去
⊙行う（範囲　⊙図示による　・　）
・行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装除去
・行う（　・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X　）
・行わない

③．既存下地の処理　補修箇所の形状、長さ、数量等　<3.2.6>
※図示による　・
POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

④．アスファルト防水　屋根保護防水（既存）　<3.1.4><3.3.2～5><表3.1.1><表3.3.3～10>
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	絶縁用シート	断熱材
・P2A	・A-1		※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・	
	・A-2			
	・A-3			
・P1B	・B-1			
	・B-2			
・P2AI	・AI-1		※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・	※JISA9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き） 厚さ　・
	・AI-2			
	・AI-3			
・P1BI	・BI-1			
	・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※R種
　厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料による区分　※R種
　厚さ（　　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
　床タイル張り　※水下　60mm以上　・

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
　窯業系パネルⅠ類（厚さ　（mm）　幅　（mm））
・れんが押え（※JIS R 1250　・　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書（1）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０１

3 防水改修工事

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	断熱材	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
・POD I ・M3D I ・M4D I	・DI-1 ・DI-2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	※3.3.2(9)種類 ・ 厚さ ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

屋根防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層　・設ける（※図示による　・　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

⑤．改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　<3.4.2、3>
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	断熱材	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		
・M3AS ⊙S3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ⊙AS-J1	鳴瀬 料金事務所	⊙製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ⊙有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ⊙有　・無
・POAS ⊙S4AS	・AS-T3 ・AS-T4 ⊙AS-J1 ・AS-J3	鳴瀬 車庫・電気室	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
・M3AS I ・M4AS I ・POAS I	・ASI-TI ・ASI-JI		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.4.2(3)ｳ種類 ・ 厚さ ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無 防湿層 ・有　・無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

6．合成高分子系ルーフィングシート防水

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する　・設置しない

<3.5.2～4><表3.5.1～3>
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	断熱材	備考
・POS ・S4S	・S-F1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
	・S-F2					
	・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		
	・S-M2					
・S3S	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				
・M4S	・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無
	・S-M2					
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(I)(b)種類 ・ 厚さ(mm) ・25　・50 ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				
	・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(I)(a)種類 ・ 厚さ(mm) ・25　・50 ・	
	・S-M2					

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　）
・行わない

7．塗膜防水

新設防水層の種別　<3.6.2、3>

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
・L4X	・X-1 ※X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様 ・	※主材料の製造所の仕様 ・	脱気装置 ・有　・無

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様
・
設置数量　※主材料の製造所の仕様
・　（個）

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

⑧．シーリング

シーリング改修工法の種類　<3.1.4><3.7.2、3、7、8>
・シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する　・適用しない
エッジング材張り
・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
⊙図示による　・
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

⑨．とい

といその他の材種　<3.8.2、3>
・配管用鋼管
⊙硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する　⊙適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による　・
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・

ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて Ⅰ 型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形 Ⅰ 型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

10．アルミニウム製笠木

種類　<3.9.2、3>
・オープン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
本体幅（　）mm　板厚（※2.0mm　・　mm）
表面処理
種別（　）種
色合等　・標準色（　）　・特注色（　）
既存笠木等の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　）
・行わない
下地補修の工法
※図示による　・
板材折曲げ形の笠木の取付け方法
※図示による　・

11．防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

4-1 外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

1．ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　<4.1.4><4.3.5、6、7、8>

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・	
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による　・

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満	
	0.3以上～0.5未満	
	0.5以上～1.0未満	
	1.0超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5未満	
	1.5以上～2.0未満	
	以上～未満	

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

2．欠損部改修工法

・充填工法　<4.1.4><4.2.4,7>

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

4-2 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

1．ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　<4.1.4><4.3.5、6、7、8>

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・	
	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による　・

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3未満	
	0.3以上～0.5未満	
	0.5以上～1.0未満	
	1.0超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5未満	
	1.5以上～2.0未満	
	以上～未満	

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書（2）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０２

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う ・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(㎜)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	0.2未満	

2．欠損部改修工法

・充填工法 <4.1.4><4.3.9、10>

材料	平均深さ(㎜)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5〜10未満		
	10〜15未満		
	15〜20未満		
	20〜25未満		
	25〜30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30〜35未満		
	35〜40未満		

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ(㎜)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
・現場調合材料			
・既調合材料			

・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）

既製目地材
・使用する（形状 ・図示による ・ ）
仕上げ厚又は全塗厚が25㎜を超える場合の措置
※図示による ・

3．浮き部改修工法 <4.1.4><4.3.11〜16>

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 指定部	注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16・	※25・	—	—	※25・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※25・		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※50・		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	—	—	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※50・		
・充填工法	—	—	—	—	—		
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4㎜の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6㎜程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm2)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35〜0.55
粘調係数 0.50〜1.00

充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）
・既調合材料（ ）
既製目地材
・使用する（形状 ・図示による ・ ）
仕上げ厚又は全塗厚が25㎜を超える場合の措置
※図示による ・

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1．タイルの形状寸法等 タイルの形状、寸法等 <4.4.5、8>

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う(施工箇所：) ・行わない
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による) ・行わない

2．ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 <4.1.4><4.4.5、6>

工法の種類	ひび割れ幅(㎜)	注入口間隔(㎜)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上〜1.0未満	※200〜300・	・130・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上〜0.3未満	・50〜100・	・40・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上〜0.5未満	・100〜200・	・70・	
	0.5以上〜1.0未満	・150〜250・	・130・	

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による ・

3．欠損部改修工法 <4.1.4><4.4.5、7、8>
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量： 平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル （・現場調合材料 ・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う ・行わない
施工数量： 平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り ・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り

シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・

シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

4．浮き部改修工法 <4.1.4><4.4.5、9〜15><4.5.9〜15>

工法の種類	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 一般部	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 指定部	注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16・	※25・	—	—	※25・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※25・		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13・	※20・	※12・	※20・	※50・		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	—	—	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※25・		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9・	※16・	※9・	※16・	※50・		
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	※25・		
・タイル部分張り替え工法	—	—	—	—	—		
・タイル張り替え工法	—	—	—	—	—		

アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4㎜の丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6㎜程度
・

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量： 平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所

・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル （・現場調合材料 ・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書表4.5.1による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う ・行わない
施工数量： 平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り ・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り
シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

5．目地改修工法 <4.1.4><4.4.5、16>
・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地の位置及び寸法
・図示による ・
シーリングは、改修特記仕様書第3章 防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

①．既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整 <4.5.4>

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
⊙水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

②．下地調整塗材 ※下地調整塗材 <4.5.2>
・ポリマーセメントモルタル

③．仕上塗材仕上げ 新規仕上塗材の種類 <4.1.5><4.5.2><表4.5.1>
・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
	・凹凸状	・吹付け	
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

⊙複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系・ 外観 ※つやあり・ﾒﾀﾘｯｸ 溶媒 ※水系	※耐候形3種	
	⊙ゆず肌状	⊙ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系・ 外観 ※つやあり・ﾒﾀﾘｯｸ 溶媒 ※水系	※耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系・ 外観 ※つやあり・ﾒﾀﾘｯｸ 溶媒 ※水系	※耐候形3種	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・可とう形改修用仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E	・平たん状	・吹付け	樹脂	・耐候形1種	
・可とう形改修塗材RE	・さざ波状	・ローラー塗り	外観	・耐候形2種	
・可とう形改修塗材CE	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒	・耐候形3種	

4．マスチック塗材塗り 種別 <4.1.5><4.6.2><表4.6.1>
・A種 ・B種

5．外壁用塗膜防水材塗り 仕上げの形状 <4.1.5><4.7.2、3><表4.7.1>
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・ （・所要量 (kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・ （・所要量 (kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

5 建具改修工事

①．改修工法 <5.1.3>

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具	・	・	⊙建具表による ・
⊙樹脂製建具	—	・	⊙建具表による ・
・鋼製建具 ・外部	・	・	・建具表による ・
・鋼製建具 ・内部	・	・	・建具表による ・
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・
⊙木製建具	・	・	⊙建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による ・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による ・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。

2．防火戸 ・指定する 適用箇所（・建具表による ・ ） <5.1.4>
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる 適用箇所（・建具表による ・ ）
・連動させない

③．見本の製作等 建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） 〈5.1.5〉
※行わない
建具見本製作の目的等：（ ）
特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ）
※行わない

4．防犯建物部品 ・適用する（・建具表による ・ ） <5.1.7>
※適用しない

工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日〜東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (3)		
縮 尺	—	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A－０３

5 建具改修工事

⑤．アルミニウム製建具

性能値等 <5.2.2～5><表 5.2.2>
耐風圧性の等級（⊙ S-1 ）
（建具符号 ⊙建具表による ・ ）
気密性の等級 （・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
水密性の等級 （・ ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法
（⊙建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
※BB-1 ・BB-2 （改修標準仕様書表5.2.2）
着色
⊙標準色 ・特注色
屋内の建具
種別
※BC-1 ・BC-2 （改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色 ・特注色
結露水の処理方法
⊙水貯め式 ・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・

⑥．網戸等 <5.2.3、5.3.3>

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ステンレス(SUS316)製	※0.25㎜以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5㎜	網目寸法15㎜

⑦．樹脂製建具

性能値等 <5.2.2><5.3.2～5>
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級 （ ）
水密性の等級 （ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8）
（建具符号：・建具表による ・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
⊙建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス ⊙単層ガラス
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
⊙標準色 ・特注色 ⊙内窓（額縁内設置ﾀｲﾌﾟ）
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・

8．鋼製建具

性能値等 <5.2.2><5.4.2～4><表5.4.2>
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

9．鋼製軽量建具

性能値等 <5.2.2><5.5.2～4>
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・

形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・ ㎜ 使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・

10．ステンレス製建具

性能値等 <5.2.2><5.4.2><5.6.2～5>
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

11．木製建具

建具材の加工、組立時の含水率
※A種 <5.7.2～4>
・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(ｲ)(a)による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
⊙普通合板	表面の樹種 ⊙ 建具表による 板面の品質（※広葉樹1等 ・ ） 接着の程度 （⊙1類 ・2類 ）	
・天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度 （・1類 ・2類 ）	
⊙特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ⊙メラミン化粧合板 ・ 接着の程度 （⊙1類 ・2類 ）	
・MDF		

表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
⊙適用しない ・適用する
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※36㎜ ・建具表による ・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5㎜ ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による ・
見込み寸法
※30㎜ ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法
※30㎜ ・建具表による ・
枠、くつずりの材料
・建具表による ⊙ 集成材

⑫．建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 <5.8.1～3>
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
⊙建具表による
・

⑬．鍵

マスターキー <5.8.4>
・製作する
・製作しない
⊙既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
⊙無し ・有り

⑭．自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 <5.9.2、3>
⊙建具表による ・
⊙引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による （防錆 ⊙適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
⊙引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による （防錆 ⊙適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
⊙建具表による
・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ⊙光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ※行わない

⑮．自閉式上吊り引戸装置

性能値等 <5.10.3>
※改修標準仕様書表5.10.1
・以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

16．重量シャッター

シャッターの種類 <5.11.2、3>
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 （ ）Pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
※設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

17．軽量シャッター

開閉方式の種類 <5.12.2～4>
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度 （ 392 ）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
⊙インターロッキング形
・オーバーラッピング形

18．オーバーヘッドドア

<5.13.2、3>

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形

ガイドレールの材料
※溶融亜鉛めっき鋼板
・ステンレス鋼板
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ※建具表による ・ ）

19．ガラス

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2～4>
※建具表による
・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
・
⊙網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
・
性能による種類
・1種 ・2種

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書（4）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０４

5 建具改修工事

・複層ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
　　・建具表による
　　・
　断熱性による区分
　　・T1　　・T2　　・T3　　・T4　　・T5　　・T6
　日射取得性、日射遮蔽性による区分
　　・G　　・S
　乾燥気体の種類
　　・空気　　・アルゴン　　・
・熱線反射ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　　・建具表による
　　・
　日射熱遮へい性による区分
　　・1種　　・2種　　・3種
　耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
　　・A類　　・B類
・倍強度ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　　・建具表による
　　・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(㎜)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	⊙グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

20. ガラスブロック積み

<5.14.5>

呼び寸法(㎜)	厚さ(㎜)	色調	目地幅(㎜)	伸縮調整目地位置（㎜）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
　※図示による　　・
力骨
　材質
　　※ステンレス鋼(SUS304)
　　・
　寸法
　　※径5.5㎜　　・
　形状
　　※はしご形状複筋及び単筋
　　・
化粧目地モルタルの色（・白　　・グレー）
シーリングの種類　　（・SR-1　　・PS-1）
金属製化粧カバー
　材質
　　・ステンレス製
　　・アルミニウム製
　寸法
　　※図示による　　・
　形状
　　※図示による　　・
目地部の横力骨の納まり
　※ガラスブロック製造所の仕様による
　・図示による
　・

21. ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

①. 改修範囲　<6.1.3>
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
　⊙図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
　※壁面より両側 600㎜ 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
　⊙図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※既存のまま
　⊙図示による

②. 既存床の撤去及び下地補修　<6.2.2>
ビニル床シート等の除去
　※仕上材のみ（接着剤とも）
　・下地モルタルとも（・図示による　　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
　⊙機械的除去工法
　・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

改修後の床の清掃範囲
　※図示による　　・

③. 既存壁の撤去及び下地補修　<6.3.2>
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
　（全塗厚が25㎜を超える場合の処置　※図示による）
　・

④. 施工一般　<6.5.2>
材料のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

⑤. 製材　<6.5.2>

・JAS 1083-5　製材‐第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(㎜)	等級	含水率	保存処理
		※2級 ・	※A種　・B種　・	
		※2級 ・	※A種　・B種　・	

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(㎜)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種　・B種　・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種　・	

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(㎜)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(㎜)	材面の品質	防虫処理	含水率
		（　　） ・造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
		（　　） 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

⑥. 造作用集成材　⊙「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　<6.5.2>

施工箇所	品名	樹種名	寸法(㎜)	見付け材面	見付け材面の品質
樹脂サッシ取付部	額縁用	タモ	120*20㎜	4面	※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法(㎜)	化粧薄板の厚さ（㎜）	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等	
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(㎜)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(㎜)	化粧薄板の厚さ（㎜）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・

⑦. 造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材　<6.5.2>

施工箇所	品名	寸法(㎜)	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない
				・適用する ・適用しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(㎜)	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(㎜)

⑧. 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　<6.5.2>

施工箇所	厚さ(㎜)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(㎜)	防虫処理	強度等級
脱衣室	※2級以上 ・1級	広葉樹	※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ⊙適用しない	・適用する （　　） ⊙適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(㎜)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類　・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(㎜)	接着の程度	防虫処理
			・1類　・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(㎜)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類　・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(㎜)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（㎜）

・MDF

施工箇所	厚さ(㎜)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑨. 接合具等　造作材の化粧面の釘打ち　<6.5.3>
　※隠し釘打ち
　・釘頭埋め木
　・つぶし頭釘打ち
　・釘頭現し
諸金物
　※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
　（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
　・　　（形状：　　寸法：　　材質：　　）

⑩. 接着剤　接着剤のホルムアルデヒド放散量　<6.5.3、4>
　※F☆☆☆☆
　・

11. 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　<6.5.5>

適用部材	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
　適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
　適用部位（　　）

12. 内部間仕切軸組及び床組み
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　<6.5.6>
　※杉又は松　　・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
　※杉又は松　　・

13. 窓、出入口その他
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　<6.5.7>
　※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

14. 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　<6.6.2～4>
　屋外
　　※25形　　・19形
　屋内
　　※19形　　・25形
屋外の形式及び寸法
　野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
　　・図示による　　・
　周辺部の端からの間隔
　　・図示による　　・
　野縁の間隔
　　・図示による　　・
既存の埋込みインサート
　⊙使用する　　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
　・行う
　　試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所
　　・（　　）箇所
　　引張試験にて確認する強度
　　※吊りボルト受け等の間隔が900㎜程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
　　・（　　）N
　※行わない
・つりボルトの間隔が900㎜を超える場合
　（補強方法　※図示による　　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
　（補強方法　※図示による　　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　（補強箇所　※図示による　　・　　）
　（補強方法　※図示による　　・　　）

15. 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類　<6.7.3、4><表6.7.1>
　※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
　・図示による
　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
　※図示による　　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※改修標準仕様書6.7.4(5)による
　・

16. ビニル床シート　<6.8.2、3>

種類の記号	色柄	厚さ（㎜）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
　※熱溶接工法　　・

17. ビニル床タイル　<6.8.2>

種類の記号	色柄	寸法（㎜）	厚さ（㎜）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
⊙FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	⊙無地 ・柄物	⊙500×500 ・	⊙4.0	
・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

18. 特殊機能床材
・帯電防止床シート　<6.8.2>
　種類　　（　　）
　性能　　（　　）
　厚さ(㎜)（　　）
・帯電防止床タイル
　種類　　（　　）
　性能　　（　　）
　寸法(㎜)（　　）×（　　）
　厚さ(㎜)（　　）
・視覚障害者用床タイル
　ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
　種類　（　　）
　形状　（　　）
・耐動荷重性床シート
　種類　　（　　）
　厚さ(㎜)（　　）

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書 (5)		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０５

6 内装改修工事

⑲. ビニル幅木

材質の種類 <6.8.2>
※軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ⊙75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・

⑳. ゴム床タイル

種類 <6.8.2>
・単層品 ・積層品
色柄 ( )
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm) ( ) × ( )

㉑. カーペット敷き

・織じゅうたん <6.9.2、3><表6.9.1>

織り方	パイル形状	備考
・ウィルトンカーペット	・カットパイル	
・ダブルフェースカーペット	・ループパイル	
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5〜7 ・	※全面接着工法	・適用	
・ループパイル	・4〜6 ・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・非適用	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト (JIS L 3204) の第212号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質 ( )
種類 ( )
形状等
※図示による ・

㉒. 合成樹脂塗床 <6.10.2、3>

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

㉓. フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 <6.11.2〜6>
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

・単層フローリング (フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法 (・根太張り ・直張り)
・接着工法
樹種
※なら ・
・単層フローリング (フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ (mm)
・
大きさ
・
⊙複合フローリング
工法
⊙釘留め工法 ⊙根太張り ・直張り)
・接着工法
樹種
※なら ・
種別
・A種 ⊙B種 ・C種
接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

㉔. 畳敷き

種別 <6.12.2>
・A種 ・B種 ※C種 ・D種 (畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N)
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)
⊙既存床組
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳 (畳表：・C1 ・C2)

㉕. せっこうﾎﾞｰﾄﾞ その他のﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3>
※F☆☆☆☆ ・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)〜(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
表面への化粧張り等の加工
※図示による ・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板	
・木毛セメント板 ・硬質(HW) ・中質(MW) ・普通(NW)	※図示による ・15 ・20 ・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による ・6 ・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による ・	※図示による ・
繊維板	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ (無処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS) ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ (DI) ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ (処理) ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板 (RN) ・研磨板 (RS) ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ (DE)	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ (A-IB) ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	
⊙単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板 (VN) ⊙研磨板 (VS)	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18 ・
⊙化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ (DV) ⊙ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ (DO) ・塗装 (DC)	※図示による ・10 (難燃) ・12 (難燃) ・
吸音材料	
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板 (DR) ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	・9 (不燃) ・12 (不燃) ・12 (不燃) ・15 (不燃)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ (1号)	※図示による ・25 ・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ (32K)	・25 (ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み) ・

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ (GB-R)	※12.5(不燃) ・15(不燃) ⊙
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ (GB-S)	⊙12.5(・不燃 ・準不燃)
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ (GB-F)	・12.5(不燃) ・15(不燃)
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ (GB-L)	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ (GB-NC) ・化粧無し (下地張り用) ・化粧有り (ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)	・9.5 (不燃)
合板類	
・普通合板 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 表面性能 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による ・
合板類の張付け
・A種 ・B種 ・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ ⊙スクエアエッジ
化粧加工の方法 (・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 ・)

㉖. 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 <6.14.2、3>
※F☆☆☆☆ ・

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
和室以外	・	・	・	・	⊙	・	⊙不燃 ・準不燃 ・難燃	
和室	・	・	・	⊙	・	・	⊙不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種

㉗. モルタル塗り

モルタル <6.15.3、5、6>
⊙現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所 ( ) 形状 (※図示による ・)
⊙設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度 (最大目地間隔3m程度)
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25㎜を超える場合の下地処理
⊙図示による ・

㉘. タイル張り

伸縮目地の位置 <6.16.2〜4>
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
⊙図示による
・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う (施工箇所：) ⊙行わない
試験張り
・行う (範囲、仕様等は図示による) ⊙行わない
・セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑性 り
外部ﾄｲﾚ(床)	B-1	100*200	⊙	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り ⊙改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り
⊙有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑性 り
外部ﾄｲﾚ(床)	B-1	100角	⊙	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	⊙
外部ﾄｲﾚ(壁)	B-1	100角	⊙	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄

㉙. ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

塗厚 (mm) <6.17.2、3>
・

7 塗装改修工事

①. 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 <7.1.3>
※F☆☆☆☆ ・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

②. 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 <7.2.1〜7>
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う (箇所)
・行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	—
鉄鋼面	※RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面	※RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種 ・	—
モルタル面及びせっこうプラスター面	※RB種 ・	⊙行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ALCパネル面	※RB種 ・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種 ・	—

③. 素地ごしらえ <7.3.2〜7>

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面 (DP以外)		※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面 (DP)		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面		※B種 ・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)		・A種 ・B種
コンクリート面 (DPのみ)		※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他のボード面	目地：継目処理工法	※A種 ・B種
	目地：継目処理工法以外	※B種 ・A種

④. 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別 <7.4.2、3>

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	A種	※C種 ・
		新規見え掛り	A種	※A種 ・
		新規見え隠れ	A種	※B種 ・
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え	※B種 ・A種	※C種 ・
		新規見え掛り	※B種 ・A種	※A種 ・
		新規見え隠れ	※B種 ・A種	※B種 ・
	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による。	・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による。	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※A種 ・B種	※C種 ・
		新規 鋼製建具等	※A種 ・B種	※A種 ・
		新規 その他	※B種 ・	※B種 ・
	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	C種 ・	※C種 ・
		新規 鋼製建具等	C種 ・	※A種 ・
		新規 その他	C種 ・	※B種 ・
	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え	B種 ・	—
		新規	B種 ・	—

工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	(国) ４５号・(主) 仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日〜東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	(各料金事務所施設 共通) 建築改修工事特記仕様書 (6)		
縮 尺	—	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A－06

7 塗装改修工事

⑤. 塗装

<7.5.2～7.12.2>

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
種類	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種 ・	※B種 ・
※1種 ・2種	亜鉛ﾒｯｷ鋼面(鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・
⊙クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種 種類：	※B種 ・A種 種類：
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	・	—
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	—
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・ ・B-1種 ・ ・C-1種 ・
⊙つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種 ・	※B種 ・A種
	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種 ・	※A種 ・B種
⊙合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)		※B種 ・	※B種 ・A種
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)		※B種 ・	・A種 ・B種
⊙ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・	※B種 ・A種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・

8 耐震改修工事 共通事項

1．適用範囲

・改修標準仕様書 ８章 耐震改修工事
・改修標準仕様書において８章耐震改修工事以外の改修工事で８章を引用している部分
・

工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事 （溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事 （鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

2．既存部分の処理等

<8.21.2、3><8.22.2、3><8.23.2、3><8.24.4><8.25.2><8.28.2>

既存構造体の撤去
撤去範囲
・図示による（ ） ・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（ ） ・
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度
・既存柱、梁面
・打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5㎜（最大7㎜）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
・既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5㎜（最大7㎜）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法
・図示による( ) ・

8-1 鉄筋工事

1．鉄筋

鉄筋の種類等 <8.2.1>

種類の記号	呼び径（㎜）	備考
※SD295		
※SD345		
・		
・		

②．溶接金網

鉄線の形状等 <8.2.2>

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径（㎜）	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3．鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等 <8.3.4><8.4.2、3>

部位	継手方法	呼び径（㎜）
柱、梁の主筋	※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手 ・	
その他の鉄筋( )	・重ね継手 ・	

継手位置
・図示による
・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による ・
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による ・

4．鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ <8.3.4>
・図示による ・
機械式定着工法
・適用する
適用箇所
・図示による（ ）
・
種類
・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定 ・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

5．鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)

<8.3.5>
最小かぶり厚さ
・図示による ・
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）㎜ ・
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）㎜ ・

6．圧接完了後の試験

超音波探傷試験 <8.3.8>
※行う（全圧接部）

7．機械式継手

適用箇所 <8.4.2>
※図示による( )
・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度にする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

8．溶接継手

適用箇所 <8.4.3>
・図示による( ) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
溶接継手の工法
・図示による( )
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度にする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

9．割裂補強筋

<8.21.6><8.22.7>
形状
・スパイラル筋
・
種類の記号
・SR235またはSWM-P
・
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による
・

8-2 コンクリート工事

①．コンクリートの種類

コンクリートの類別 <8.1.3>
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

②．コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

⊙普通コンクリート <8.1.3><8.1.4><8.2.5><8.9.2>

設計基準強度（N/㎟）	スランプ（cm）	気乾単位容積質量（t/㎥）	適用箇所
⊙24	⊙18	⊙2.3程度	和便器撤去跡
・	・	・	

構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・

・軽量コンクリート

設計基準強度（N/㎟）	スランプ（cm）	気乾単位容積質量（t/㎥）	種類	適用箇所
・	※21 ・	・	・1種 ・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・

③．セメント

<8.2.5>
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された)規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ以下、かつ28日目402Ｊ/ｇ以下のものとする）
適用箇所( )
・高炉セメントB種 適用箇所( )
・フライアッシュセメントB種 適用箇所( )
・

④．骨材

アルカリシリカ反応性による区分 <8.2.5>
※A ・B

5．混和材料

・混和剤 <8.2.5>
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による ・

6．構造体用モルタル

構造体用モルタル <8.2.6>
圧縮強度( )
フロー値( )

7．暑中コンクリート

構造体強度補正値 <8.10.2>
※6N/㎟ ・

8．マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)(6.13.2)
・図示による( ) ・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による ・
スランプ
※15cm ・
構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.13.1による ・

9．無筋コンクリート

<8.11.1>
コンクリートの種類
※普通コンクリート ・
設計基準強度
※18N/㎟ ・
スランプ
※15cm又は18cm ・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
・図示による( ) ・

10．流動化コンクリート

(6.15.1)
適用箇所
・図示による( ) ・

11．打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)<3.7.3>
・図示による( ) ・
目地寸法
・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による( )
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による( ) ・

12．構造体コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ <8.1.4>

種別	適用箇所
・A種	
・B種	
・C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁）

種別	適用箇所
・a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り
・b種	仕上塗材塗り
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り胴縁下地

コンクリートの仕上りの平たんさ（床）

種別	適用箇所
・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア（置敷式）
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床

13．打増し厚さ（打放し仕上部）

<8.7.8>
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20㎜ ・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10㎜ ・20㎜ ・

14．型枠

(6.8.2)<8.2.7>
せき板の材料及び厚さ
・合板(※12㎜ ・) ・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による( ) ・
・ＭＣＲ工法用シート
適用箇所
・図示による( ) ・
打増し厚さ ・20㎜ ・
打増し範囲 ・図示による( ) ・
スリーブの材種・規格等
・図示による( ) ・

15．型枠の加工及び組立

シアコネクタをセパレーターとして使用 <8.7.8>
使用箇所
・図示による（ ） ・

工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通）建築改修工事特記仕様書 (7)		
縮 尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０７

16．コンクリートの打込み工法等

<8.21.8><8.23.5～7>

コンクリートの打設工法の種類

補強工法	打設工法	部位
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による(　　)
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての増設壁 ・図示による(　　)
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての増設壁 ・図示による(　　)
	・	・図示による(　　) ・
・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法）	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による(　　)
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による(　　)
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による(　　)
	・	・図示による(　　) ・
・	・工法指定なし	
	・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2)	
	・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3)	

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
・図示による(　　)　・
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
・
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
・図示による(　　)　・
補強後の仕上げ
・図示による(　　)　・

8-3 鉄骨工事

1．鉄骨製作工場

<8.1.5>

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
(　　)グレード以上
・監督職員の承諾する工場

2．鉄骨製作工場における施工管理技術者

<8.1.6>

※配置する

3．鋼材

<8.2.8>

種類等

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・
		・JISによる　・

4．高力ボルト

<8.2.9><8.13.2><8.14.2>

高力ボルトの種類
※トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（　　）　・
摩擦面の処理方法
・改修標準仕様書8.14.2(1)による。
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

5．普通ボルト

<8.13.2>(7.2.3)

ボルト及びナットの材料
・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナットCとし、材料は鋼とする。
・
座金
※JIS B 1256による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による(　　)　・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0㎜　・

6．溶融亜鉛めっき高力ボルト

<8.13.2><8.14.2><8.20.5>

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による(　　)　・
摩擦面の処理方法
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

7．アンカーボルト

(7.2.4)(7.3.2)

・構造用アンカーボルト
種類
・ABR400　・ABR490　・
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による　・
・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト
適用箇所
・図示による（　　）　・
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による
・

8．溶接材料

<8.2.10>

溶接材料
・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・

9．スタッド

<8.2.11>

種類等

呼び名	呼び長さ（㎜）	適用箇所
・16		
・19		
・22		

10．製作精度

<8.13.3>

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］に加えて、次による
通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

11．仮組

仮組を行う範囲　<8.13.10>
・図示による(　　)　・

12．溶接作業を行う技能資格者技量付加試験

試験の要領　<8.15.3>
・図示による(　　)　・

13．溶接接合

開先の形状　<8.15.4><8.15.7>
・図示による(　　)　・
・鋼製エンドタブ の切断する部分
切断する箇所
・図示による(　　)　・
切断範囲
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5㎜以下を残して直線状に切断する。
なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
・改修標準仕様書8.15.7(1)(ﾊ)(b)②による
・
スカラップの形状
・図示による(　　)　・

14．入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　<8.15.7><8.15.10>
・図示による(　　)　・
適用箇所
・図示による(　　)
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

15．溶接部の試験

<8.15.12>

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2
受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工場現場溶接の場合
※全数

16．錆止め塗装

<7.3.3><8.17.2、4>

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による(　　)　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※改修標準仕様書8.17.2(1)による
・図示による(　　)　・
塗料の種別
・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種　・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

17．耐火被覆

<8.18.2>～<8.18.8>

種類、材料、工法等

種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	―		
・耐火塗料	・		

18．アンカーボルト等の設置等

(7.10.3)

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による(　　)　・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による(　　)　・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による(　　)　・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種　・B種
柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別
厚さ
・
種別
※A種　・B種

19．鉄骨ブレース設置後の仕上げ

<8.22.9>

・図示による(　　)　・

8-4 あと施工アンカー工事

①．あと施工アンカー

<8.2.4>

材料等
⊙金属系アンカー
⊙引張耐力　⊙ 6.5 kN　・図示による(　　)
⊙せん断耐力　⊙ 10.1 kN　・図示による(　　)
アンカー本体の径及び埋込み長さ
⊙図示による(M8・35㎜)　・
セット方式　※本体打込み式改良型　・
接合筋の種類、径、長さ
⊙図示による(M8・50㎜)　・
⊙性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による(　　)　⊙デッキプレート開口塞ぎ用の為不要

※接着系アンカー
・引張耐力　・　kN　・図示による(　　)
・せん断耐力　・　kN　・図示による(　　)
アンカーの種類　※カプセル方式回転打撃式　・
接着剤の品質
※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
・図示による(　　)　・
アンカー筋の種類
・
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・図示による(　　)　・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による(　　)　・

②．穿孔

埋込み配管等の探査方法　<8.12.4>
⊙鉄筋探知器(金属探知器)より探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする。
・はつり出しによる
・

③．施工確認試験

試験方法　<8.12.7>
※引張試験機による引張試験
確認強度
・図示による(耐震補強共通図)　・
・

④．あと施工アンカー穿孔工法

<8.12.1>

※改修標準仕様書8.12.1（2）による。
・耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。

8-5 グラウト工事

1．柱底均しモルタル及びグラウト材

・柱底均しモルタル　<8.2.12>
※無収縮モルタル
・
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等

混和材	セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値　：　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　：　1時間以上 終結時間　：　10時間以内
無収縮性	材齢　7日　収縮しない
圧縮強度	材齢　3日　20.0 N/㎟以上 材齢　28日　40.0 N/㎟以上
塩化物量	0.30kg/m³ 以下
試験方法	1)NEXCO試験方法　試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

8-6 連続繊維補強工事

1．連続繊維シート

<8.2.13><8.24.6>

連続繊維の材料
・炭素繊維
・アラミド繊維
・
引張強度（含浸硬化後）
・(　　) N/㎟　・
ヤング係数（含浸硬化後）
・(　　) N/㎟　・
・下地処理
・びび割れ部改修
範囲
・図示による（　　）　・
工法の種類
・
・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ
・図示による（　　）　・

連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量
・図示による（　　）　・
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量
・図示による（　　）　・

2．仕上げ

補強工事後の仕上げ　<8.24.7>
・図示による（　　）　・

8-7 耐震スリット新設工事

1．耐震スリットの方式、幅及び深さ

方式　<8.25.2>
・完全　・部分
幅及び深さ
・図示による(　　)　・
設置箇所
・図示による(　　)　・

2．耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査

<8.12.4>

既存撤去部の埋込み配管等の探査方法
・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする
・はつりだしによる

3．耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等

<8.25.2>

・耐火材
使用箇所及び仕様
・図示による(　　)　・
・遮音材
使用箇所及び仕様
・図示による(　　)　・
撤去部の補修
※撤去材と同一材で補修
・

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書（8）		
縮尺	―	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０８

8-8 土工事及び地業工事

①．埋戻し及び盛土

材料及び工法 <8.28.3>
・材料(　　)　工法(　　)
※改修標準仕様書表8.28.1による
⊙A種　適用場所(植込撤去跡)
・B種　適用場所(　　)
・C種　適用場所(　　)
土質(　　)　受渡場所(　　)
・D種　適用場所(　　)
(品質　細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

２．杭地業 <8.2.15><8.28.4>(4.3.8)

支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）
・図示による(　　)　・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による(　　)　・
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
・図示による(　　)　・
・杭の継手の箇所数、材料、工法等
・図示による(　　)　・
・杭の溶接継手
技能資格者の技量　・図示による(　　)　・
溶接部の確認　・図示による(　　)　・
・杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・
・杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・
杭の精度
水平方法の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100㎜以下　・評定等の評価内容による
・
建て込み時の杭の鉛直度
・1/100以内　・評定等の評価内容による
・
記録する施工状況等
・図示による(　　)　・

３．砂利地業 <8.2.15><8.28.4>

材料
※再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ

厚　さ	適 用 箇 所
※60㎜	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
・	・

４．捨コンクリート地業 <8.2.15><8.28.4>

捨コンクリートの厚さ

厚　さ	適 用 箇 所
※50㎜	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　・
・	

コンクリートの種類
・　※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/㎟　・
スランプ
※15cm又は18cm　・

9 環境配慮改修工事

①．石綿含有建材の除去工事

施工調査 <9.1.3～6>
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。
調査範囲（・　・図示　）
貸与資料（　　）

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　点
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　点
	測定 5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計　点
	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
	測定 7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計　点
	測定 8	処理作業後	処理作業室内	・計　点
	測定 9	(シート撤去後1週間以降)	調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(㎜)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3（2）(ｱ)による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
隔離養生（負圧不要）方法
・図示による　・

・図示による　・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去
除去対象範囲
⊙図示による　・
除去した石綿含有成形板の処分
⊙石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
・
養生方法
・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・図示による　・

２．断熱ｱｽﾌｧﾙﾄ防水改修工事

改修特記仕様書3章による。 <9.2.2～3>

３．外断熱改修工事

断熱材 <9.2.1～4>
断熱材の種類
・
断熱材の厚さ(㎜)
・
施工箇所
・図示による　・
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
外装材

種類	防火性能	備考
・		

鋼材
改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による
笠木
改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去
・行う　・行わない
下地面の清掃
・行う　・行わない
欠損部の改修工法
・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による
・
不陸等の下地調整
・
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による　・
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による　・
通気層の有無
・有（　㎜）　・無
外装材の外壁への取付け
・図示による　・
笠木の施工
・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による
・

<9.3.2～4>

４．断熱・防露改修工事

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
工法
・断熱材打込み工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(㎜)　・
施工場所　・
・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1　・A種1H　・
吹付け厚さ（㎜）
・25　・30　・
施工箇所
・図示による　・
・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(㎜)　・
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
材質　・
厚さ　・　(㎜)
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法　・
断熱材へのボードの張付け工法　・

５．屋上緑化改修工事

植栽基盤及び材料 <9.4.2～4>
・屋上緑化軽量システム
芝及び地被類の種類等
※図示による　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による　・
かん水装置
・設置する（種類　・　）
既存保護層の撤去
・行う　・行わない
新植した芝及び地被類の枯補償の期間
※引渡しの日から1年
・

６．透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装改修工事

適用範囲：歩道 <9.5.2～5、9>
既存舗装の撤去及び再利用
※図示による　・
路床
路床の材料

種別	材料	厚さ(㎜)
・盛土	・A種　※B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	・図示による ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂 ・	・図示による ・
・フィルター層	※砂 ・	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　※行わない
・路床安定処理
・適用する　・適用しない
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定処理用添加材料
種類
※普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　kg/m3　（目標CBR　・3以上　・　）
目標CBRを満足する添加量の確認方法
・安定処理土のCBR試験
・
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(㎜)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10 $^{-1}$ cm/sec以上　・
試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　※行わない
路床締固め度の試験
※行う　・行わない
現場CBR試験
・行う　・行わない
路盤
路盤の厚さ
・図示による　・
路盤材料（改修標準仕様書表9.7.3による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
※再生クラッシャラン
・再生粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ
舗装の構成
※図示による　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う　※行わない
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
・

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書（9）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－０９

①. フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
料金事務所 料金計算書 料金機械室	・置敷式 ⊙支柱 　調整式	⊙500×500 ・		⊙1.0G ・0.6G	⊙3,000N ・5,000N ・	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
　パネルの長さの寸法精度
　（　　）
　パネルの平面形状（角度）の寸法精度
　（　　）
　フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
　（　　）
帯電防止性能
⊙評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧$1\times10^{6}\Omega$

２．可動間仕切 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スﾀｯﾄﾞ	構成基材の種類 ﾊﾟﾈﾙ	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又は ｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による　・　　）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆　・

３．移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 仕上げ	遮音性(dB/500Hz)
・平行方向 　移動式 ・二方向 　移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

④. トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ⊙アルミニウム製 ・ステンレス製

⑤. 手すり 材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
⊙SUS304　表面処理　※HL程度
・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（　　）種）
・アルミニウム 表面処理
（※標準仕様書表14.2.1による種別（　　）種）
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種：　　）	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
⊙ビニル製	抗菌	⊙35程度 ・45程度 ・	多目的ﾄｲﾚ ﾄｲﾚ	

⑥. 階段滑り止め (20.2.7)
材種
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法(幅)
⊙35mm程度　・40mm程度　・50mm程度

取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

７．黒板及びホワイトボード (20.2.9)
・黒板
区分
※焼き付け　・
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※　緑
・ホワイトボード

８．鏡 取付け箇所（　　） (20.2.10)
寸法（mm）
・図示による　・
厚さ（mm）
※5　・

９．表示 (20.2.11)
衝突防止表示
・設置する　(設置場所：※図示による　・　　)
　形状・寸法（・30φ　・　　）
　材質　（※ステンレス製　・　　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による　取付箇所

10．タラップ 材質及び仕上げ (20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　　種））

11．煙突ライニング 適用安全使用温度 (20.2.13)
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
・

⑫．ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ
⊙横形	⊙手動	※ギヤ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ⊙操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	⊙図による ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・図による ・
	・電動	ー				

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13．ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による ・	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

14．カーテン (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所
・ｼﾝｸﾞﾙ　・片引き ・ﾀﾞﾌﾞﾙ　・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		・図示による ・

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

15．カーテンレール 材料による区分 (20.2.16)
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90　・
仕上げ
※アルマイト　・
形状
※角形　・

16．ブラインドボックス及びカーテンボックス
材種
・集成材（仕上げ：　　）
※アルミニウム製　押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種　・BC-2種
色合い
・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

17．天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用 ⊙屋内用	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ
		・気密形			

18．床点検口

材種	寸法	形式		備考
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600 ・	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

19．くつふきマット

材種	受け枠	備考
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	※ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

20．流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
⊙流し台	⊙1000 ⊙1200 ・1500 ・1800	⊙550 ・600 ・650	⊙800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
⊙コンロ台	⊙600	⊙550 ・600 ・650	⊙620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

形状
※図示による　・

21．旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製 ・	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

22．旗竿受金物 材種
・ステンレス製（SUS 304）
・

23．車止めさく

形式	材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式 ・ ・	・標準品 ・スプリング式 ・	・	・

24．フェンス
フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による　・

25．間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	ー	ー	
・コンクリート間知ブロック	ー		・A ・B	

積み方
※谷積み　・布積み
目塗り
・図示による
伸縮調整目地
材種
・図示による　・
厚さ
・図示による　・

26．鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種

27．屋内掲示板 枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

28．洗面カウンター 材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
・人工大理石
奥行き(mm)
・約450　・約600
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り

29．防煙垂れ壁 降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

30．屋外掲示板 照明器具
・有り　・無し
施錠
・有り　・無し
製造所
・

31．収納家具 合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・
材質、形状、寸法
※図示による　・

11 総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）測定仕様書

１．一般事項　試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

２．測定対象化学物質　測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

３．測定方法
１） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
２） トルエン換算で 2.0μg/m３ 未満のピークは測定の対象としない。
３） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値			
①ホルムアルデヒド	100	μg/m３	0.08	ppm
②トルエン	260	μg/m３	0.07	ppm
③キシレン	200	μg/m３	0.05	ppm
④エチルベンゼン	3,800	μg/m３	0.88	ppm
⑤スチレン	220	μg/m３	0.05	ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240	μg/m３	0.04	ppm
⑦テトラデカン	330	μg/m３	0.04	ppm
⑧アセトアルデヒド	48	μg/m３	0.03	ppm
⑨ノナナール	（暫定）41	μg/m３	0.007	ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17	μg/m３	0.0015	ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100	μg/m３	0.0063	ppm
⑫クロルピリホス	1	μg/m３	0.00007	ppm
⑬ダイアジノン	0.29	μg/m３	0.00002	ppm
⑭フェノブカルブ	33	μg/m３	0.0038	ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400	μg/m３	（暫定目標値）	

４．測定する室
１）　１４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・　室名：

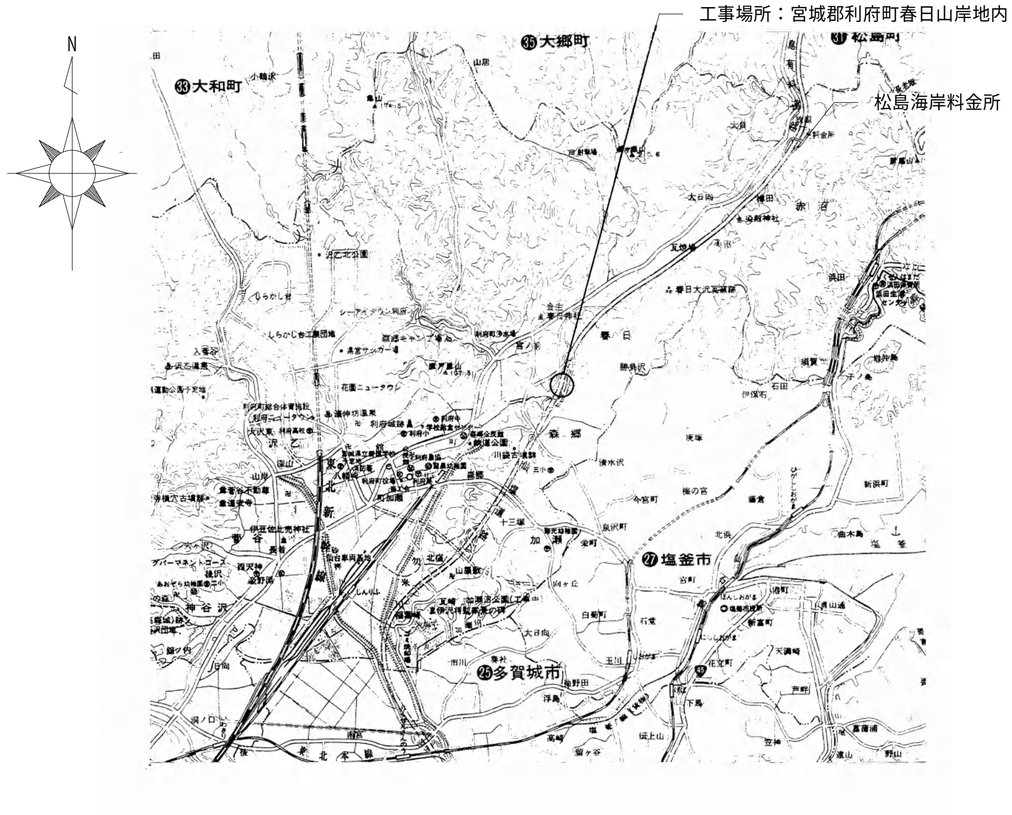
２）　９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・　室名：

・　屋外(周囲の建物から離れた場所１か所)

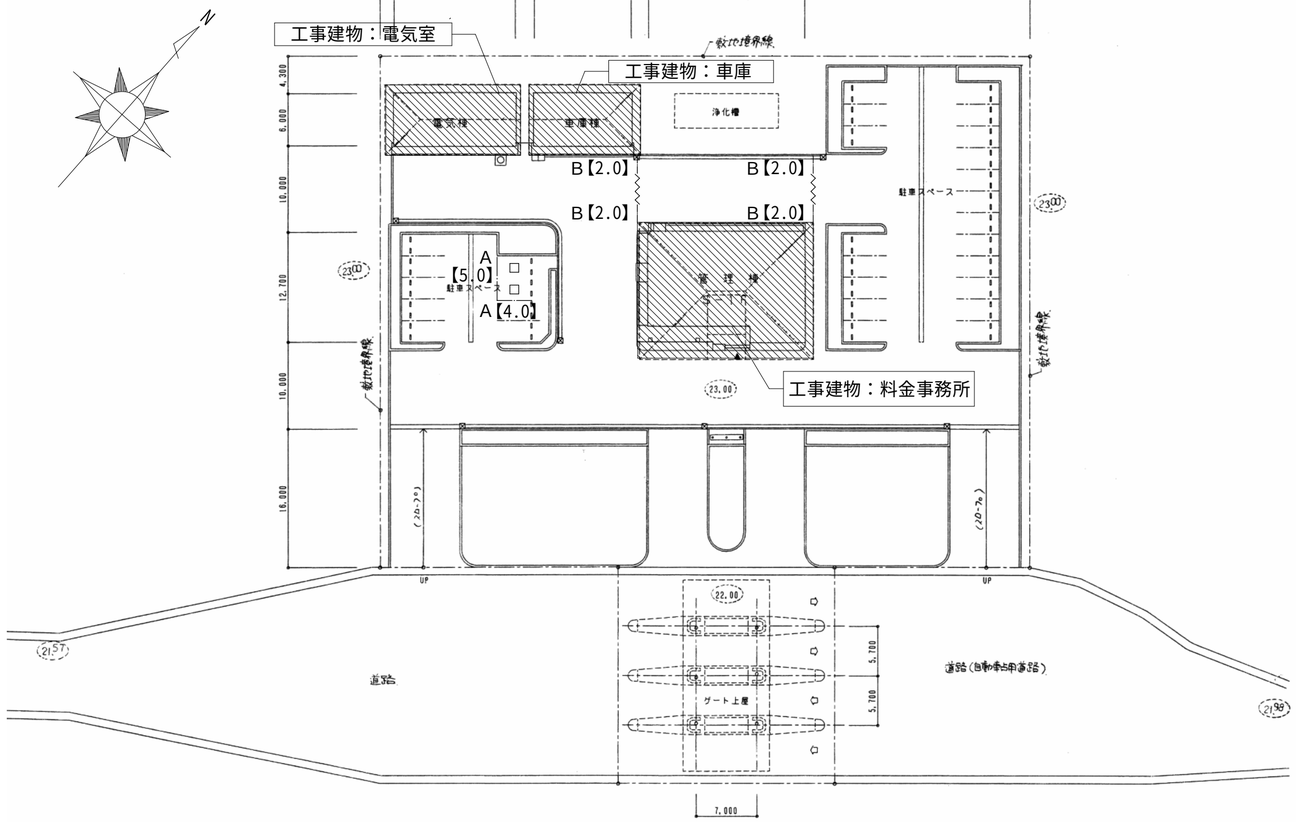
５．測定結果等報告書の提出　次の事項を記載した報告書を２部提出する。
１） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
２） 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
３） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
４） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

６．その他　表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 建築改修工事特記仕様書（10）		
縮　尺	ー	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１０



案　内　図



配　置　図　S=1:500

仮設計画 凡例			
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】A	成形鋼版	H=2.0m	9.0m
【数量】B	単管シート	H=2.0m	8.0m
～～～	シートゲート	W=3.6m×H=4.5m	2箇所
□	仮設トイレ	水洗式	２棟
アスベスト含有材　採取費			1日
アスベスト調査		定性分析　（ボード・床材　4種類+配管保温材・エルボ　3種類）	7検体

凡例	
▨	工事建物 を示す
□	既存建物　を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（利府中料金事務所施設） 案内図・配置図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１１

外部仕上表

建物名	区　分	ポーチ・スロープ・植込み	腰巾木(設計GL+500)	外　壁・柱　型	軒　天・梁　型	屋　根・樋	その他
料金所 事務所	(改修前)	ポーチ：磁器質タイル100角〈一部撤去〉 スロープ：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ磁器質タイル100角〈既存のまま〉 スロープ立上り：コンクリート打放しのうえ陶石状多彩装飾吹付〈下地処理〉 植込み：コンクリート打放しのうえ陶石状多彩装飾吹付〈撤去後下地処理〉	コンクリート打放し〈既存のまま〉	ALC板t=100タテ張りのうえｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ系吹付ﾀｲﾙ〈既存のまま〉	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=6.0目透し張りVP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉 一部有孔ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=6.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	屋根：構造用合板t=12.0+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22k+ｶﾗｰ鋼板t=0.4ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=4.0裏打〈既存のまま〉 、鼻隠し：ｶﾗｰ鋼板t=0.6包み〈既存のまま〉 竪樋：VP75A　ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理のうえVP〈既存のまま〉 受金物：ｽﾃﾝﾚｽ製〈既存のまま〉	ｽﾃﾝﾚｽ玄関ﾏｯﾄ〈既存のまま〉 靴洗い場：立上り部25角ｾﾗﾐｯｸ磁器質ﾀｲﾙ貼及び陶石状多彩装飾吹付〈既存のまま〉、 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ400×1000枠付〈既存のまま〉 消火器：ABC10型（粉末）3本〈既存のまま〉
料金所 事務所	(改修後)	ポーチ：磁器質タイル100角〈一部新設〉 スロープ：- スロープ立上り：複層仕上塗材E〈新設〉 植込み：複層仕上塗材E〈新設〉 植込み撤去跡：アスファルト舗装〈新設〉	-	-	-	-	-

内部仕上表

階数	室　名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備　考
1F	玄関	既存	-100	RC	磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	テラゾ〈既存のまま〉	100	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,600	玄関上り框:テラゾ〈既存のまま〉 カウンター〈既存のまま〉
		改修	-100	-	-	-	-	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	-	-
1F	廊下・ホール	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	サイン<撤去> ピクトサイン<撤去> 誘導標識〈既存のまま〉
		改修	±0	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	-	サイン<新設> ピクトサイン<新設> 天井点検口<新設>
1F	事務室	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	神棚、サイン、ｶｳﾝﾀｰ、掲示板、行事用黒板<既存のまま>
		改修	±0	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	一部LGS〈新設〉	既存仕上材のうえロックウール吸音板t=9.0〈新設〉	塩ビ〈新設〉	2,490	天井点検口<新設>
1F	料金計算室・ETCサーバー室(対象外)	既存	±0	OA<一部撤去>	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=2.0【アスベスト含有建材】〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	-
		改修	±0	OA<一部新設>	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=4.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	-	一部LGS〈新設〉	化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	-	天井点検口<新設>
1F	料金機械室	既存	±0	OA	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=2.0【アスベスト含有建材】〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	-
		改修	±0	-	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=4.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	-	一部LGS〈新設〉	化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	-	天井点検口<新設>
1F	通行券保管庫(対象外)	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈既存のまま〉	ビニル〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	-
		改修	±0	-	-	-	-	-	-	一部LGS〈新設〉	化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	-	天井点検口<新設>
1F	倉庫	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	-
		改修	±0	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	一部LGS〈新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	-	天井点検口<新設>
1F	警官詰所	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	-
		改修	±0	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	一部LGS〈新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	-	天井点検口<新設>
1F	更衣室前・休憩室前踏込	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	壁紙〈撤去後下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	-
		改修	±0	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	壁紙〈張り替え〉	-	-	塩ビ〈新設〉	2,400	-

階数	室　名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備　考
1F	更衣室・休憩室	既存	100	RC	畳敷き t=55〈撤去〉 フローリング t=12.0〈既存のまま〉	畳寄せ〈既存のまま〉	-	LGS〈既存のまま〉	壁紙〈撤去後下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	暖房用ｽﾘｰﾌﾟ(ﾌﾀ付)〈既存のまま〉
		改修	100	-	畳敷き t=55〈新設〉 -	-	-	-	壁紙〈張り替え〉	一部LGS〈新設〉	既存仕上材のうえ木目化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	塩ビ〈新設〉	2,390	天井点検口<新設>
1F	押入	既存	±0	RC	シナ合板〈既存のまま〉	雑巾摺〈既存のまま〉	-	LGS〈既存のまま〉	ﾗﾜﾝ合板 t=5.5〈既存のまま〉	ﾗﾜﾝ合板 t=5.5〈既存のまま〉	-	-	-	中棚<既存のまま>
		改修	±0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1F	湯沸室	既存	±0	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	流し台：シージングせっこうボード t=12.0【アスベスト含有建材】のうえEP〈下地調整〉 上記以外：石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞ t=6.0目透し【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	流し台〈撤去〉 ガス台〈撤去〉
		改修	±0	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	-	流し台<新設> コンロ台<新設> 天井点検口<新設>
1F	脱衣室・(踏込み)	既存	+100・(±0)	RC	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ビニル〈撤去〉	75	LGS〈一部撤去〉	壁紙〈撤去後下地調整〉 一部下地ごと〈撤去〉	LGS〈既存のまま〉	壁紙〈撤去後下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	脱衣棚〈撤去〉 洗面器〈撤去〉 目隠しｽｸﾘｰﾝ〈既存のまま〉
		改修	+100・(±0)	-	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ビニル〈新設〉	75	一部LGS〈新設〉	壁紙〈張り替え〉 一部 シージング石こうボードt=12.5 のうえ壁紙〈新設〉	一部LGS〈新設〉	壁紙〈張り替え〉 電気温水器付き シージング石こうボードt=9.5のうえ 壁紙〈新設〉	-	-	脱衣棚〈新設〉 電気温水器付き 洗面化粧台<新設> 天井点検口<新設>
1F	浴室	既存	±0	RC	モザイク磁器質ﾀｲﾙ25角〈既存のまま〉	-	-	LGS〈一部撤去〉	ALC側：ﾓﾙﾀﾙ下地のうえ磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 LGS側：ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ下地のうえ磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉一部〈撤去〉	LGS〈既存のまま〉	硬質塩ビ浴室天井材〈撤去〉	塩ビ〈撤去〉	2,400	浴槽<撤去> バランス釜<撤去>
		改修						一部LGS〈新設〉	あらわし					ユニットバス 1216サイズ (折り戸(500mm段差) ・FRP浴槽・平天井) 〈新設〉
1F	男子便所	既存	-50	RC	モザイク磁器質ﾀｲﾙ25角〈下地処理〉	-	-	LGS〈既存のまま〉	ALC側：ﾓﾙﾀﾙ下地のうえ磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 LGS側：ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ下地のうえ磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ〈既存のまま〉 洗面器<撤去> トイレブース<撤去>
		改修	±0	-	モルタル金ｺﾞﾃ仕上〈新設〉下地のうえ ビニル床シートt=2.0〈新設〉	-	-	一部LGS〈新設〉	シージングせっこうボードt=12.5下地のうえ ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ納まり<新設> 既存タイル面：メラミン化粧板t=3.0 アルミジョイナー納まり<新設>	一部LGS〈新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	2,350	トイレブース<新設> 電気温水器付き 洗面化粧台<新設> 天井点検口<新設>
1F	女子便所	既存	-50	RC	モザイク磁器質ﾀｲﾙ25角〈下地処理〉	-	-	LGS〈既存のまま〉	ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ下地のうえ半磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ〈既存のまま〉 洗面器<撤去> トイレブース<撤去>
		改修	±0	-	モルタル金ｺﾞﾃ仕上〈新設〉下地のうえ ビニル床シートt=2.0〈新設〉	-	-	一部LGS〈新設〉	シージングせっこうボードt=12.5下地のうえ ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=3.0　ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ納まり<新設> 既存タイル面：メラミン化粧板t=3.0 アルミジョイナー納まり<新設>	一部LGS〈新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 化粧せっこうボードt9.5 〈新設〉	-	2,350	トイレブース<新設> 電気温水器付き 洗面化粧台<新設> 天井点検口<新設>
1F	外便所	既存	-50	RC	モザイク磁器質ﾀｲﾙ25角〈既存のまま〉	-	-	LGS〈既存のまま〉	ALC側：ﾓﾙﾀﾙ下地のうえ磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 LGS側：ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ下地のうえ磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ〈既存のまま〉 洗面器<既存のまま> トイレブース<撤去>
		改修	-50	-	-	-	-	一部LGS〈新設〉	シージングせっこうボードt=12.5下地のうえ 磁器質ﾀｲﾙ100角接着貼り<新設>	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	-	トイレブース<新設> 天井点検口<新設>
1F	西側出入口踏込	既存	±0	RC	磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	-	-	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,600	
		改修	±0	-	-	-	-	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	ボード面 EP-G〈塗替え〉	-	-	-

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものはも今回工事対象外を示す。仕上表及び「各図面共通」とする。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は〈新設〉・〈張り替え〉(塗装以外)・〈塗替え〉(塗装)・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床　を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：改修後のアスファルト舗装は、車道用とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【アスベスト含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に【対象外】に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉･改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。

⑪：OAﾌﾛｱ(鋼製・H=150)一部撤去・新設は2.6㎡とする。

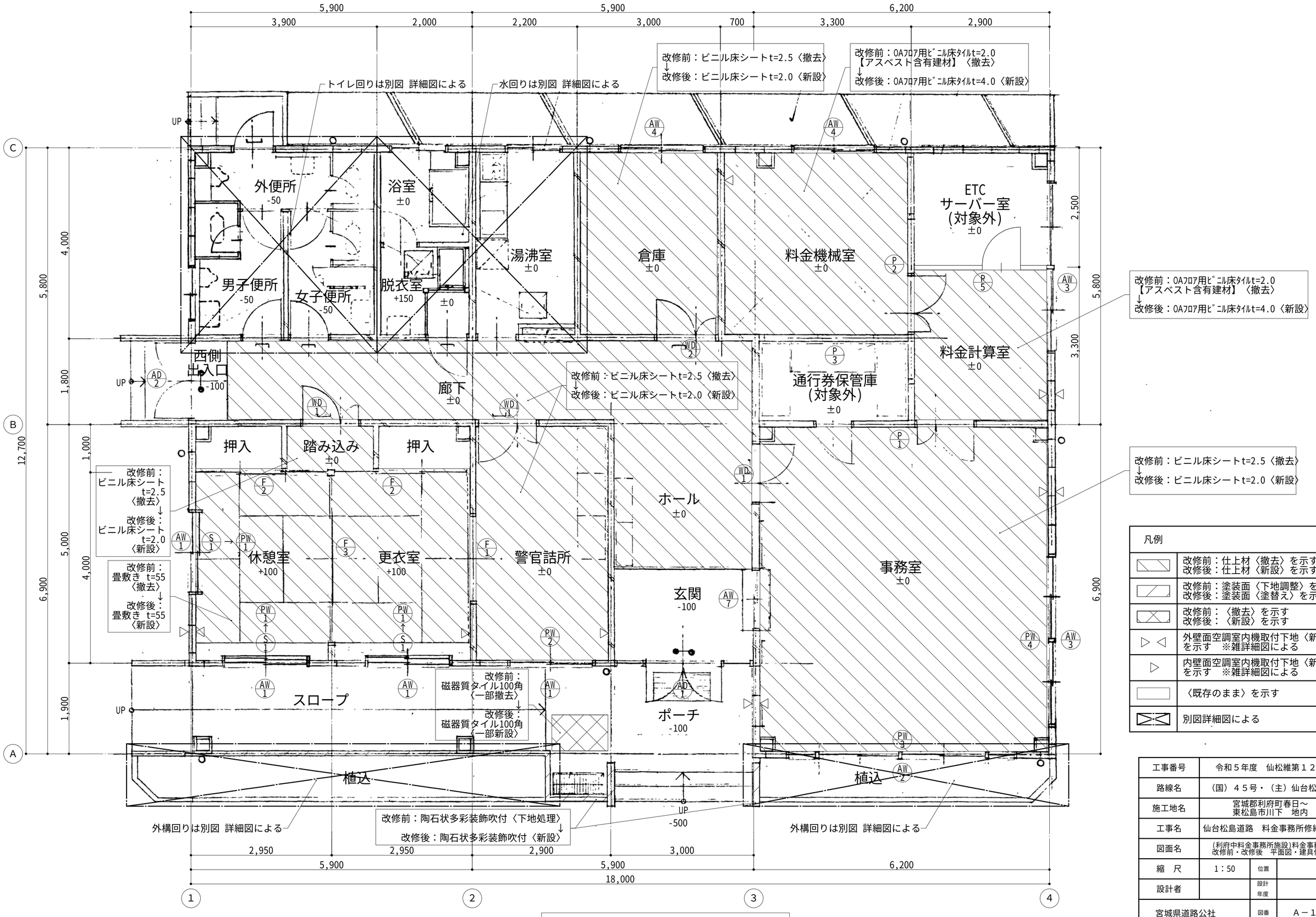
耐火・防火・不燃　番号

せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
ラスボードt9.5	NM-8617
防火上主要な間仕切壁の強化せっこうボード(t=12.5+12.5)両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44)(FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡　例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　仕上表		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１２

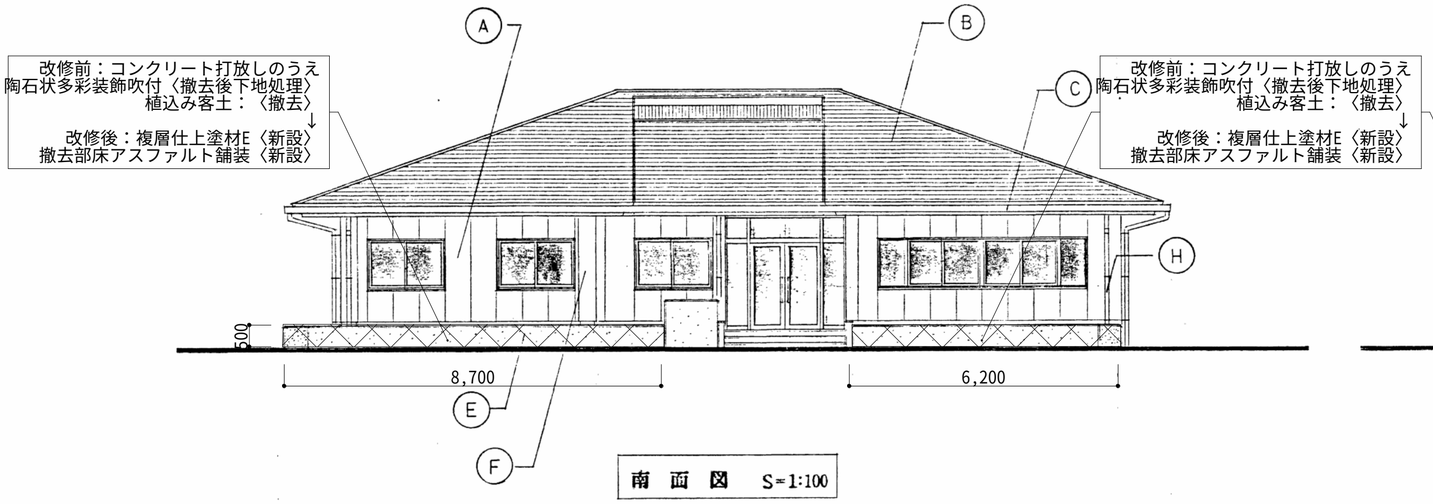


凡例

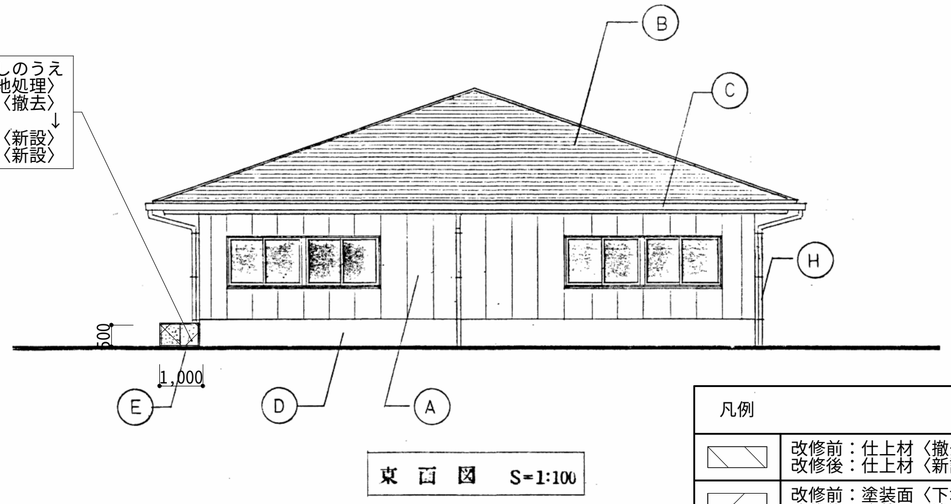
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	外壁面空調室内機取付下地〈新設〉を示す　※雑詳細図による
	内壁面空調室内機取付下地〈新設〉を示す　※雑詳細図による
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　平面図・建具伏図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１３

改修前・改修後　平面図・建具伏図　S=1:50

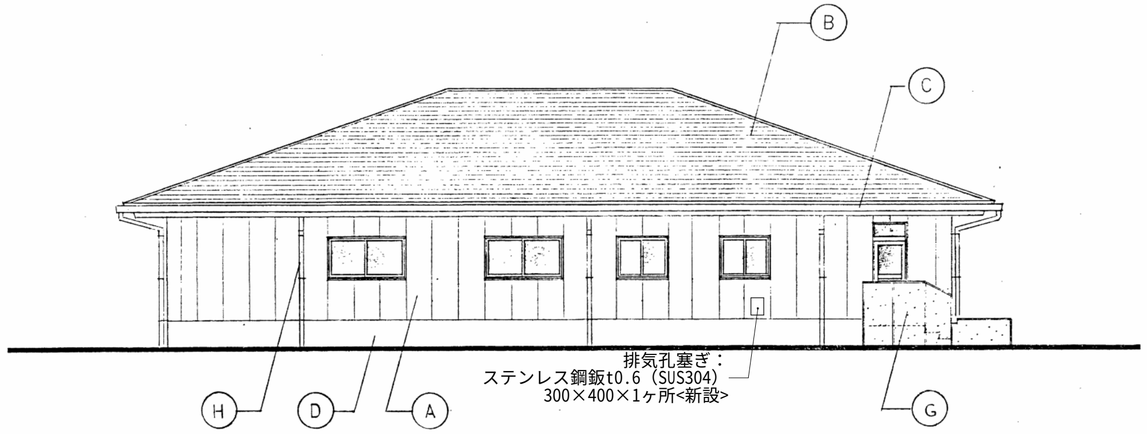


南 面 図 S=1:100

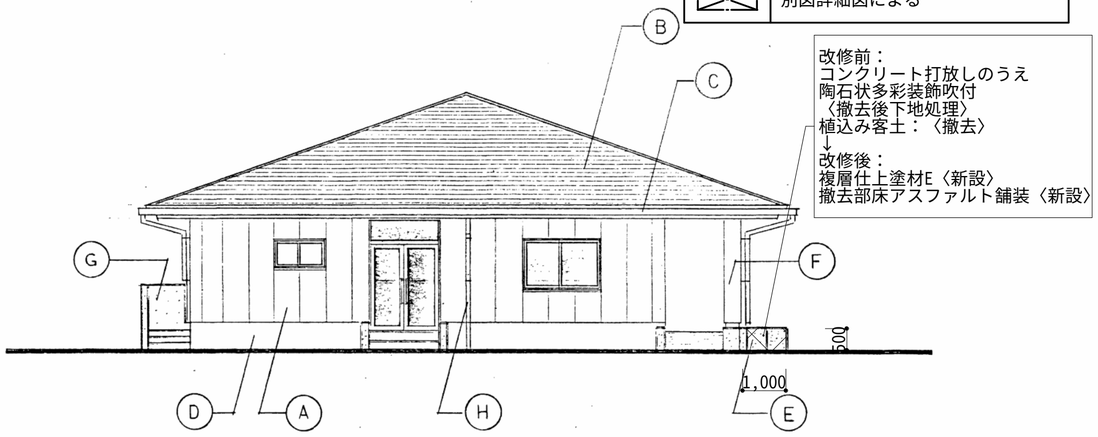


東 面 図 S=1:100

凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による



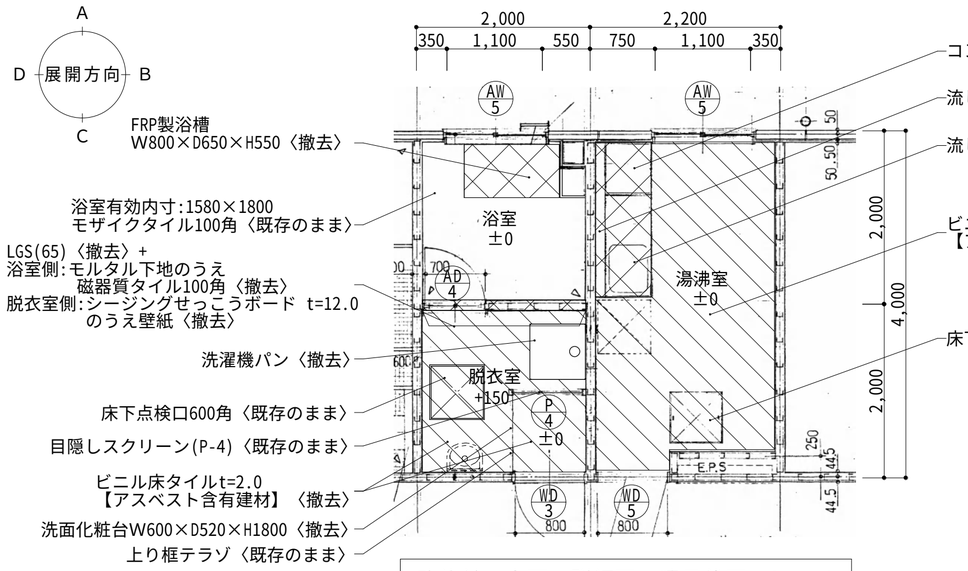
北 面 図 S=1:100



西 面 図 S=1:100

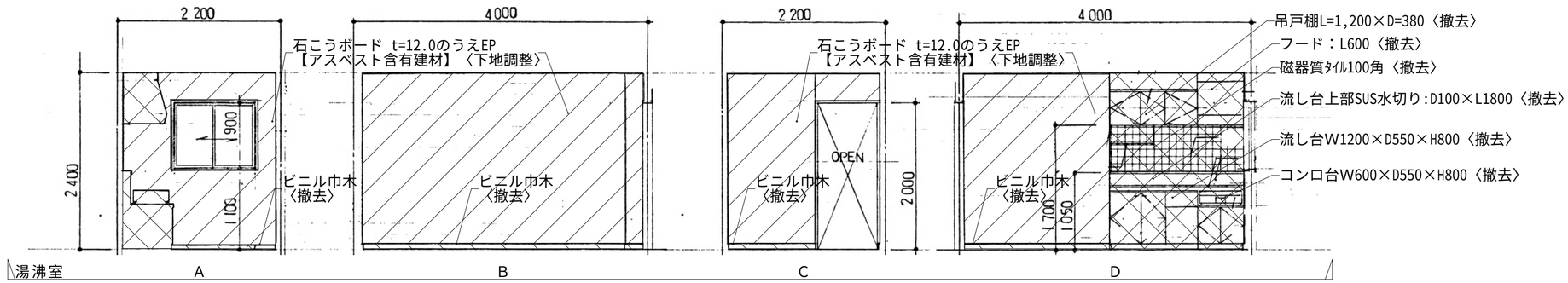
凡 例							
	A	⊕100 ALC版下地 アクリルシリコン系吹付タイル	B	⊕0.4 カラー鋼板（横葺）	C	軒樋	D	コンクリート打放し補修
	E	コンクリート打放し補修 陶石状多彩装飾ウレダントップ仕上	F	⊕50 ALC版下地 アクリルシリコン系吹付タイル	G	コンクリート打放し補修ノ上 吹付タイル	H	VP 75A プライマー処理ノ上 VP

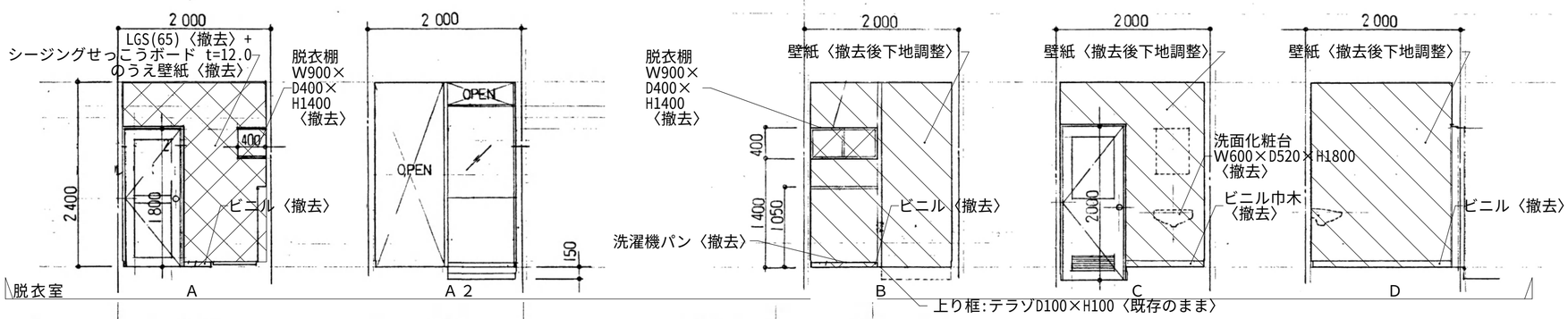
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　立面図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A－１４

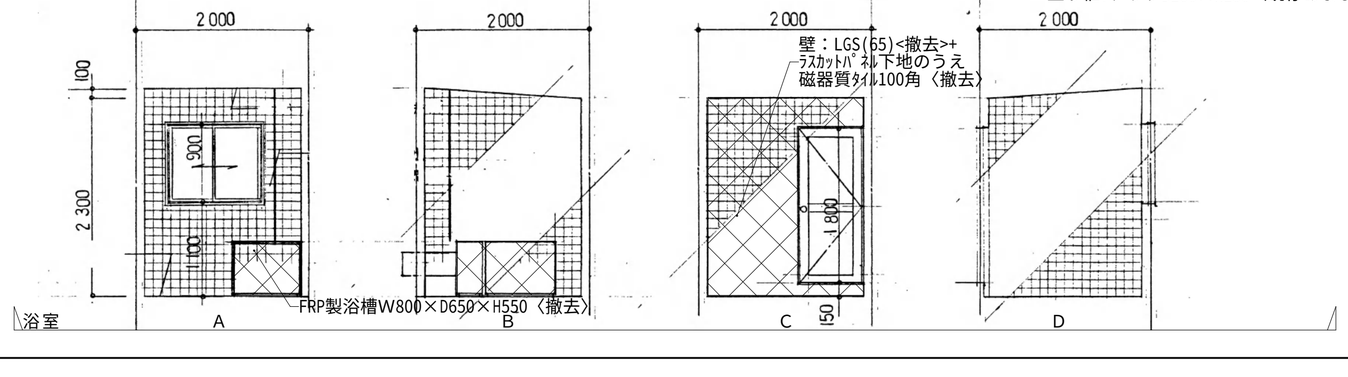


凡例	
	仕上材〈撤去〉を示す
	〈撤去〉を示す
	〈下地調整〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

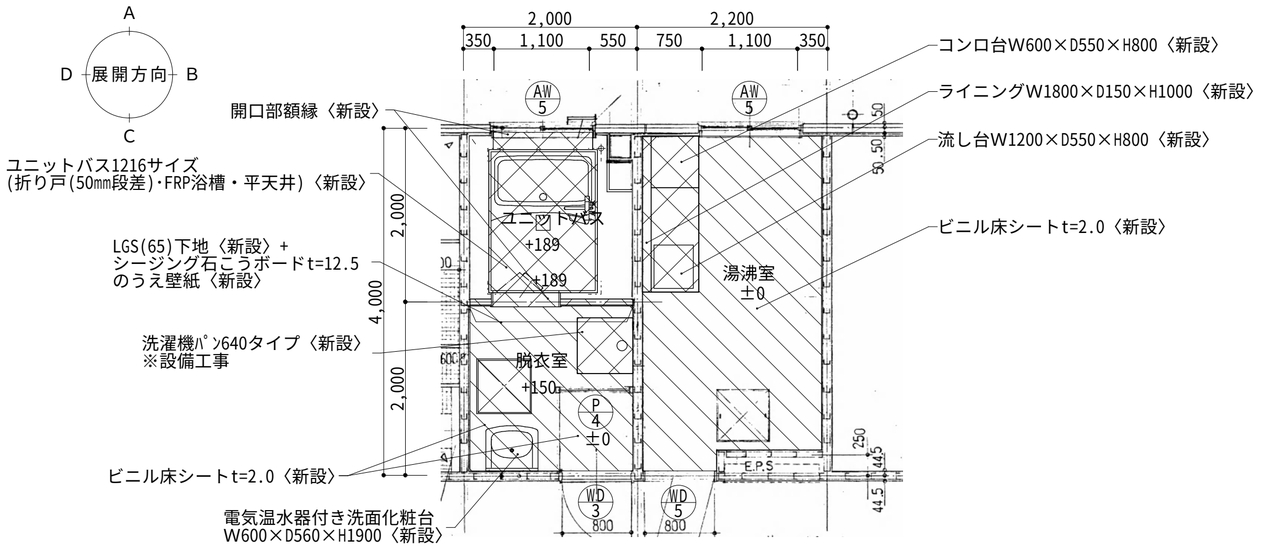
改修前　水回り詳細図・建具伏図　S=1:50





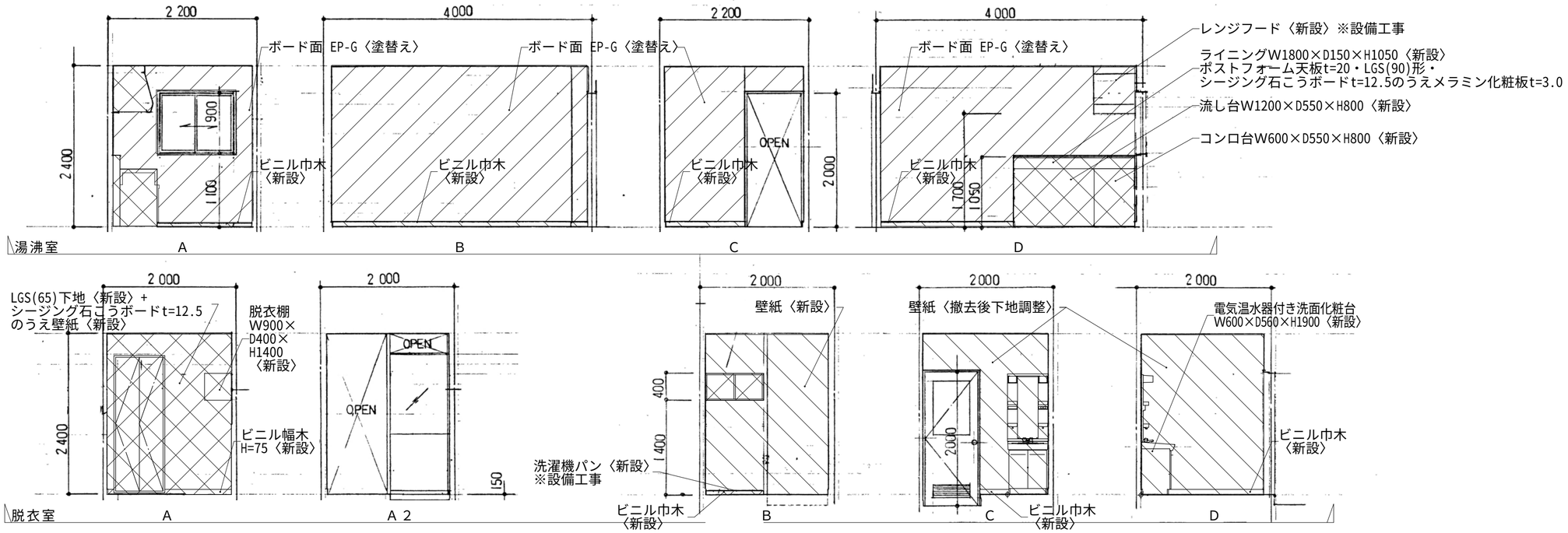


工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前　水回り平面図・展開図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１５



凡例	
	仕上材〈新設〉を示す
	〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

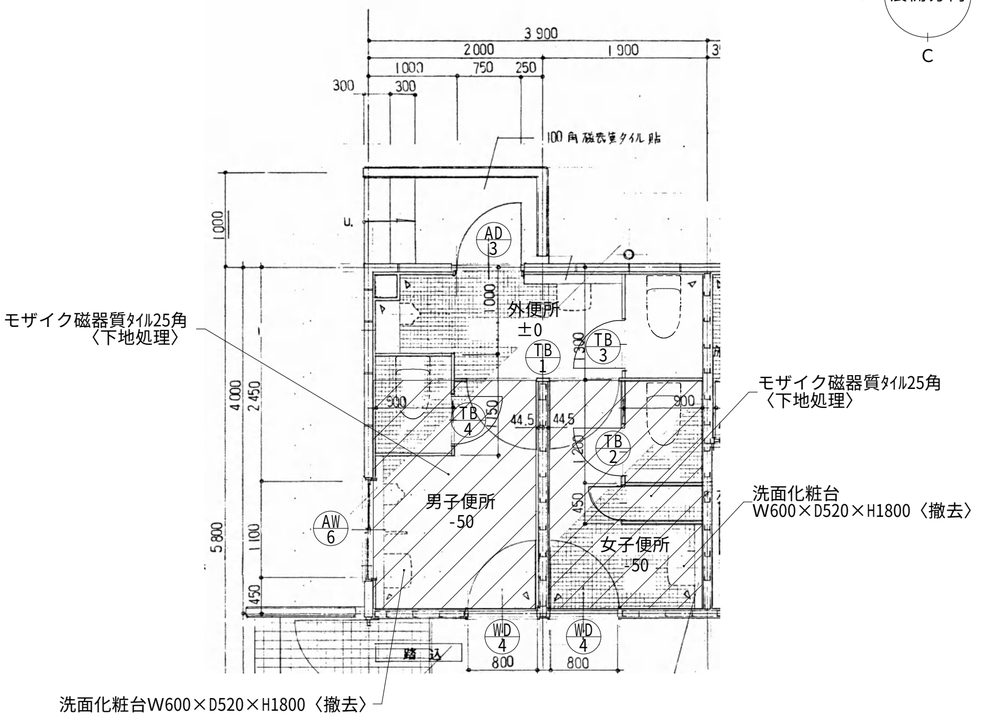
改修後　水回り詳細図・建具伏図　S=1:50



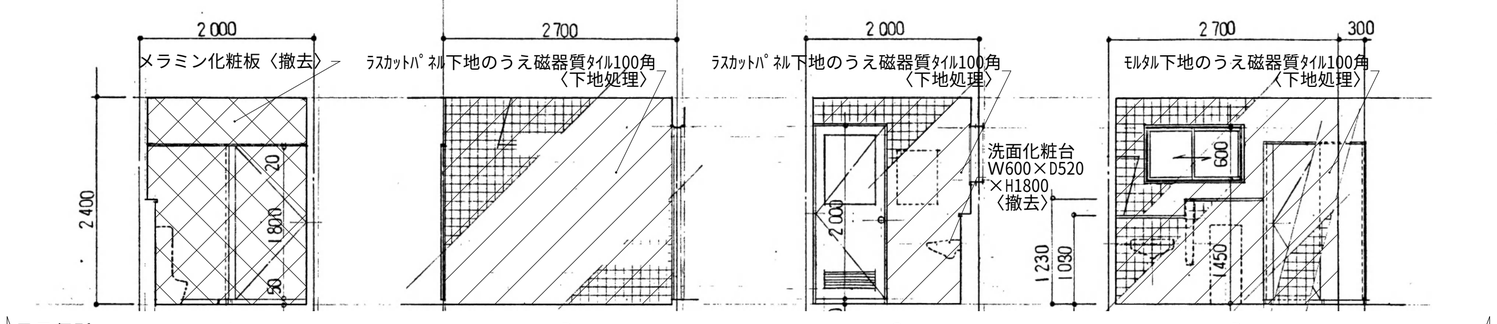
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修後　水回り平面図・展開図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１６

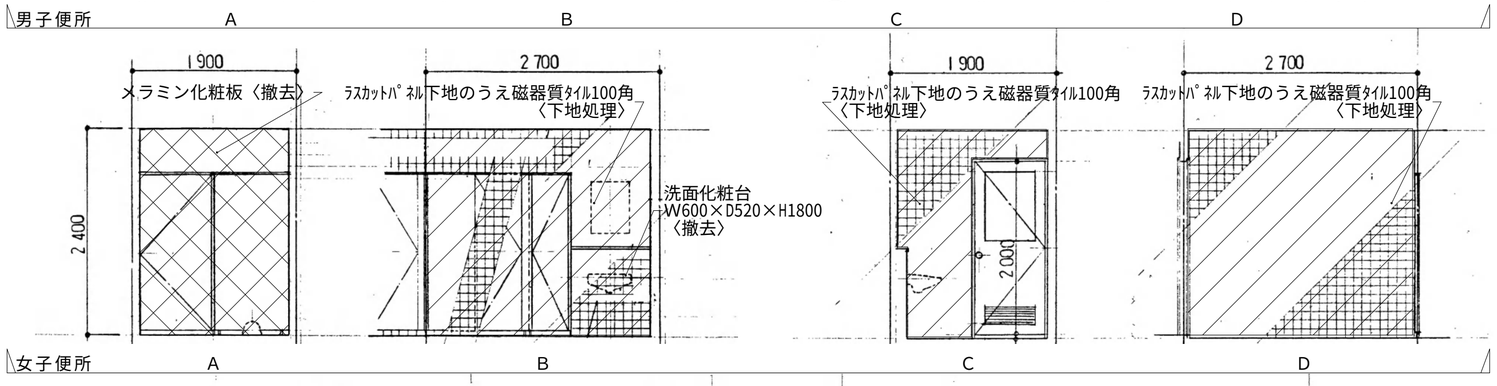
A
D 展開方向 B
C

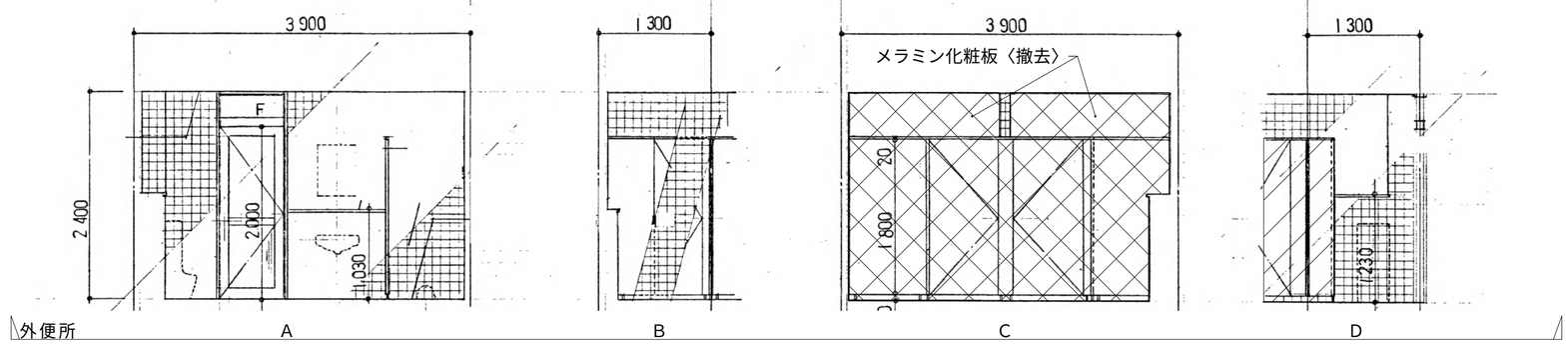
凡例	
	仕上材〈撤去〉を示す
	〈撤去〉を示す
	〈下地調整〉を示す
	〈既存のまま〉を示す



改修前　トイレ回り詳細図・建具伏図　S=1:50

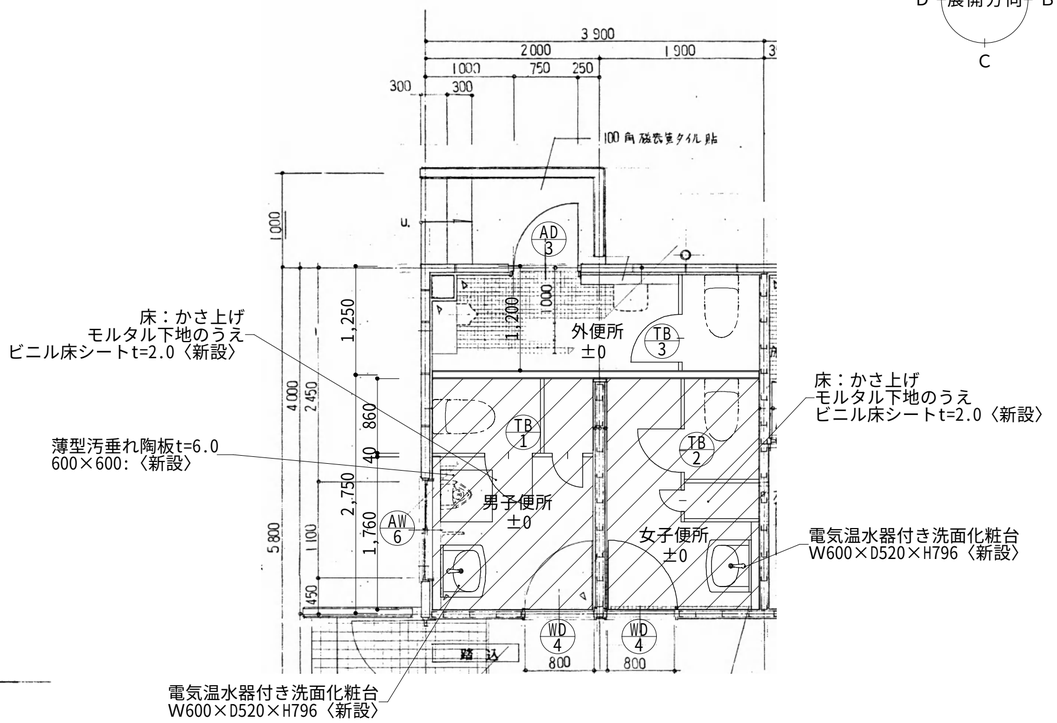




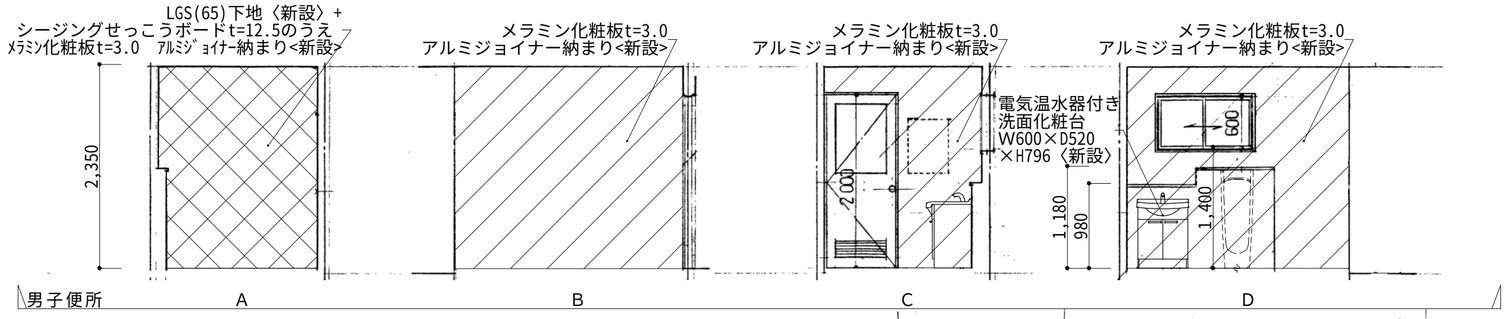


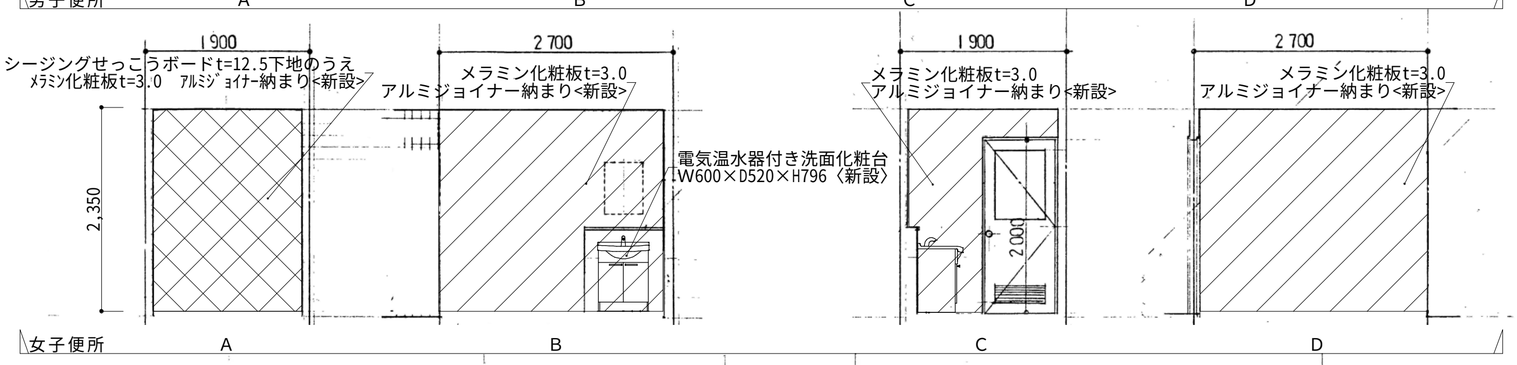
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前　トイレ回り平面図・展開図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１７

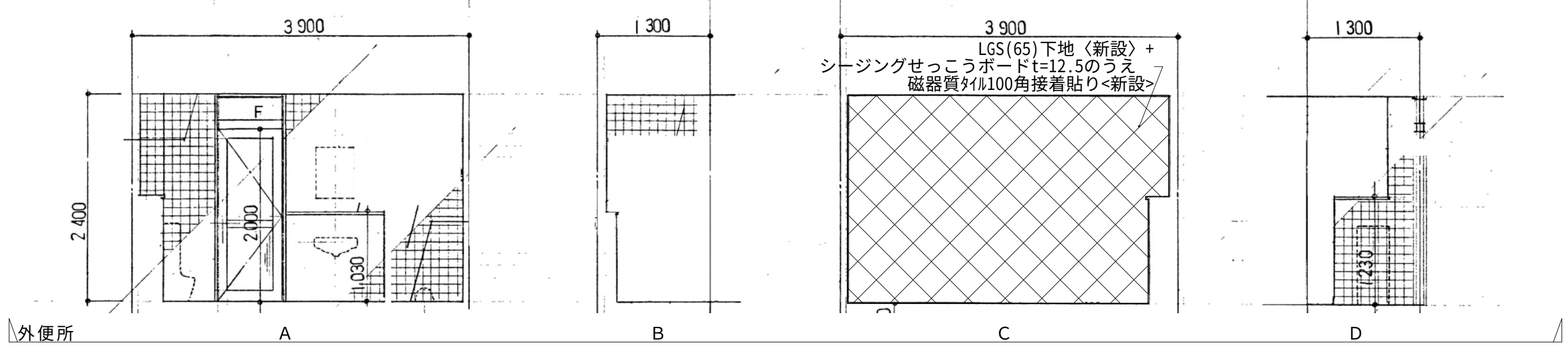
凡例	
	仕上材〈新設〉を示す
	〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す



改修後　トイレ回り詳細図・建具伏図　S=1:50

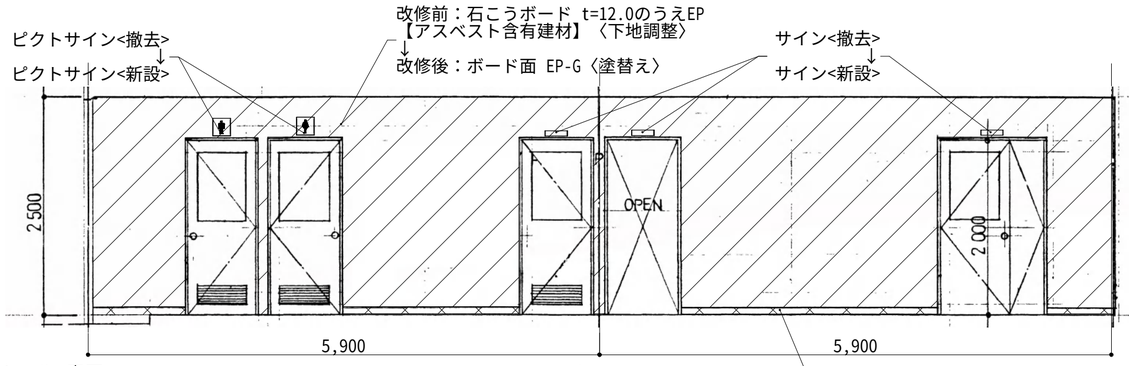


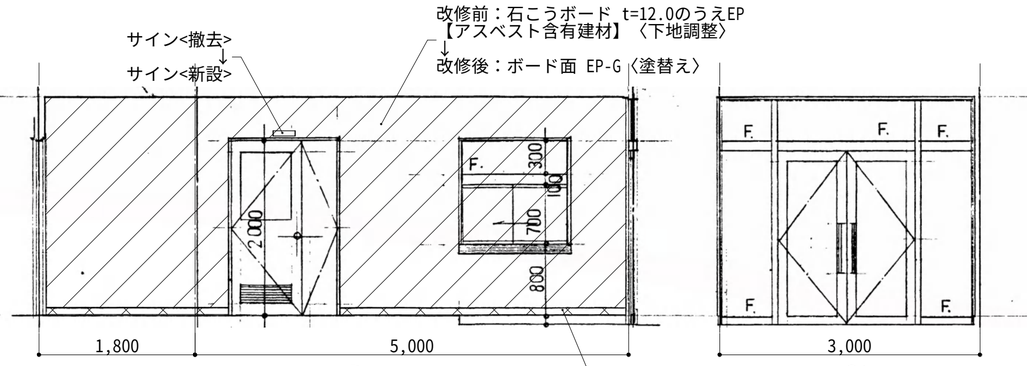


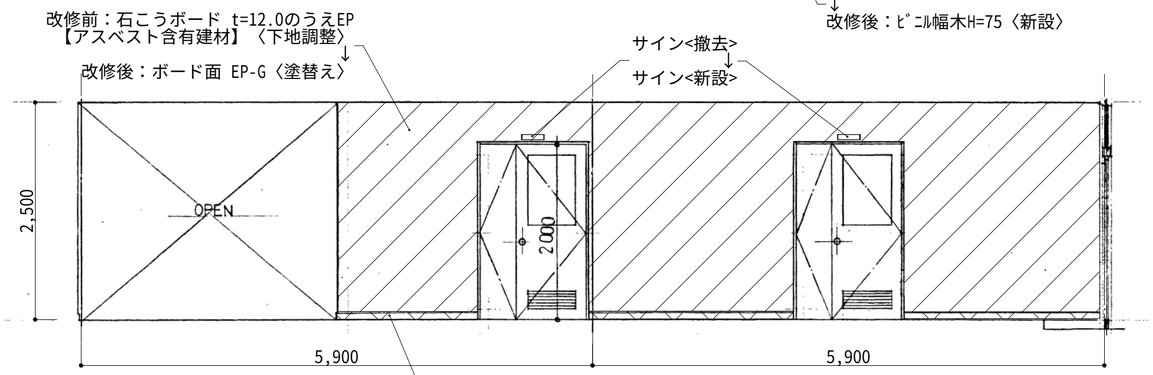


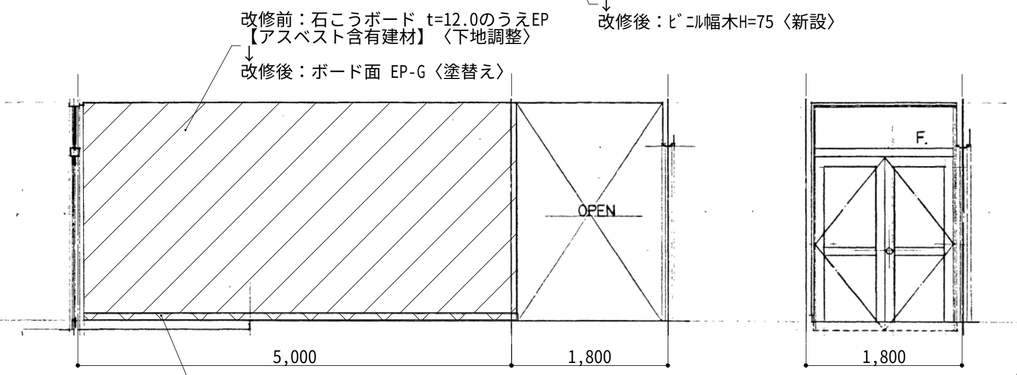
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修後　トイレ回り平面図・展開図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１８

玄関・ホール・廊下

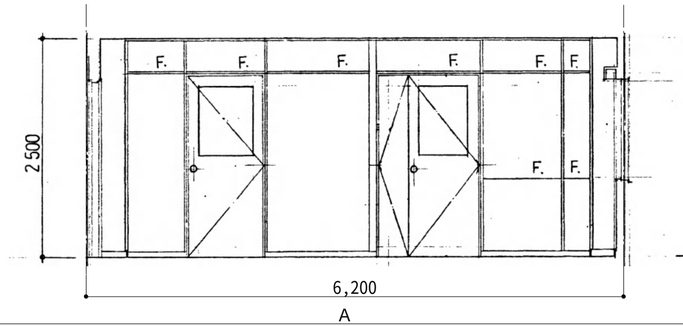


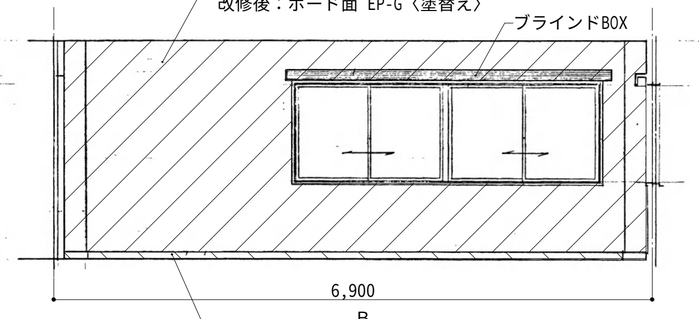


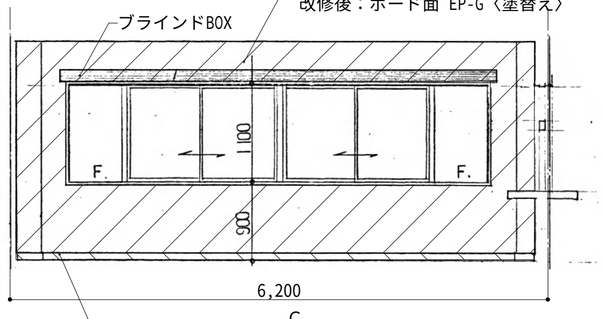


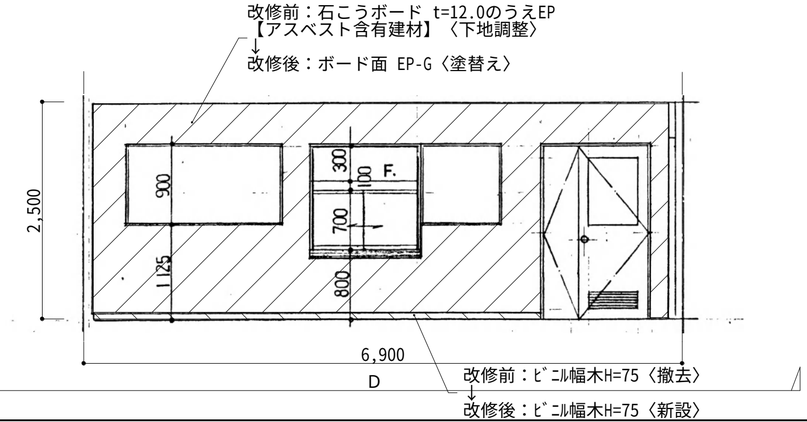


事務室



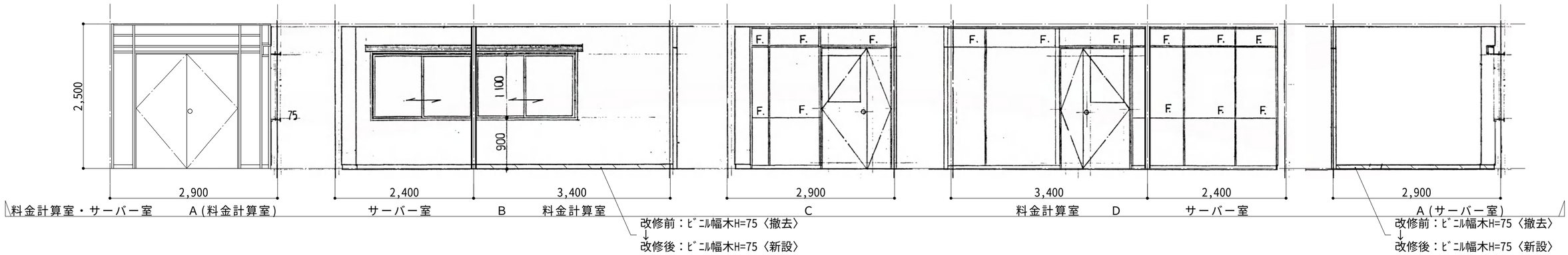


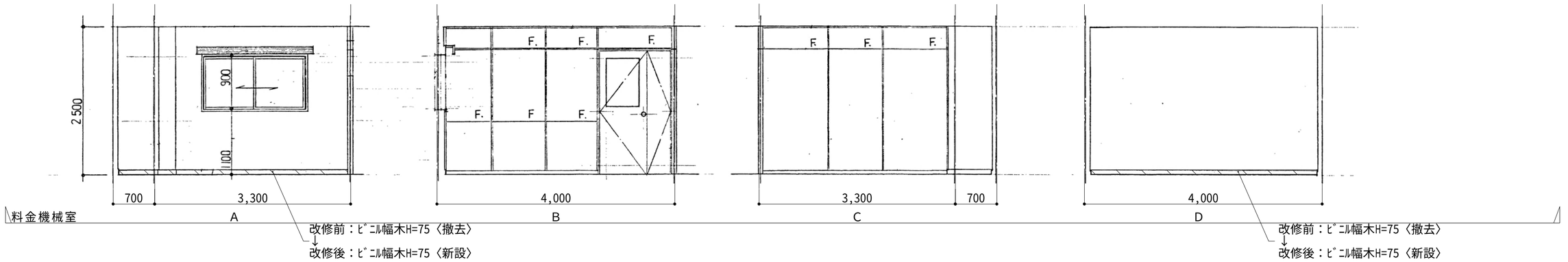


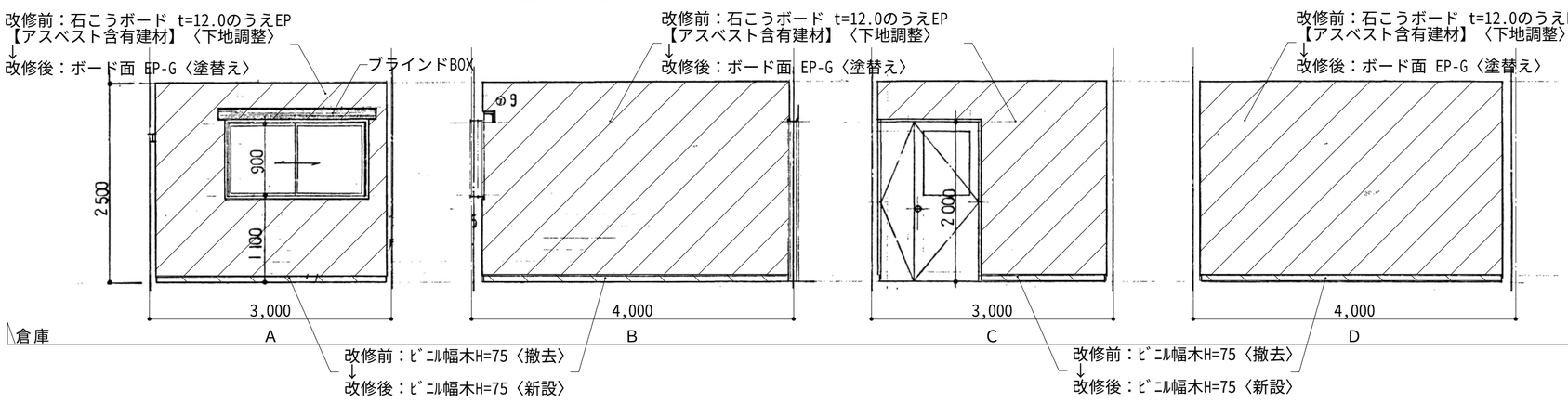


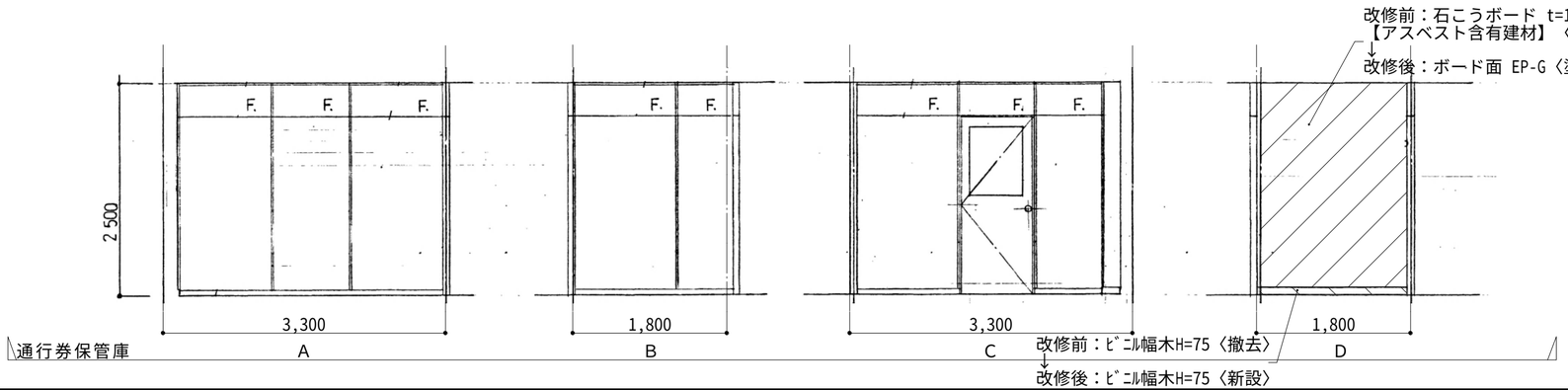
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（利府中料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（１）		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－１９





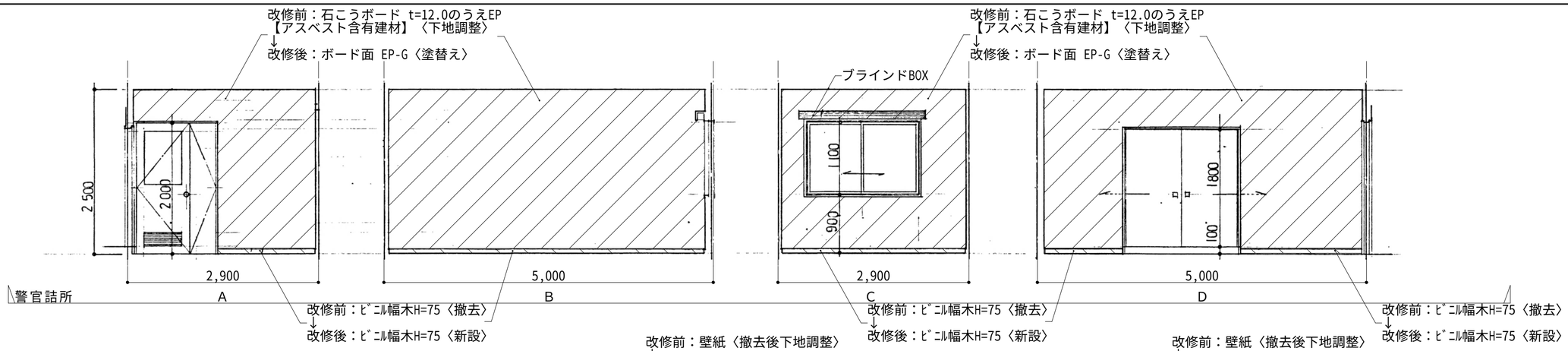




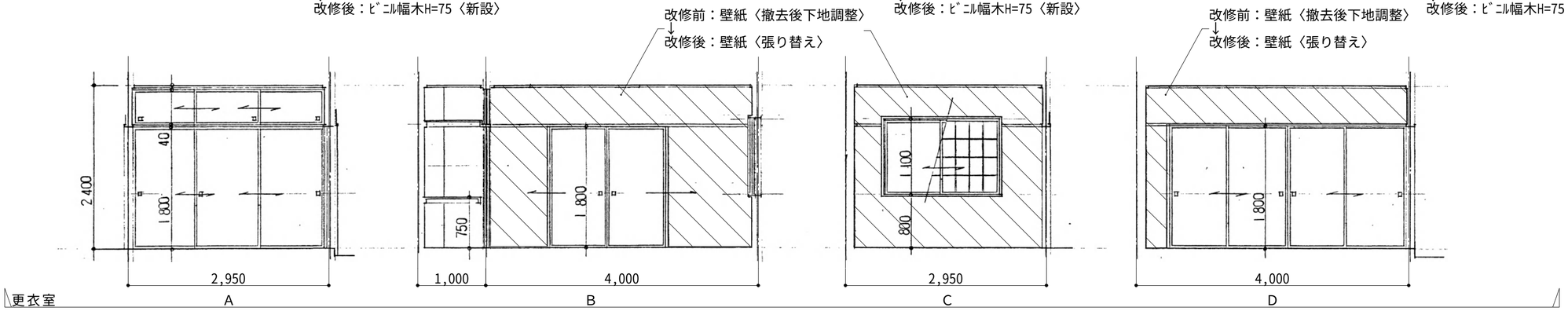
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（利府中料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（２）		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２０

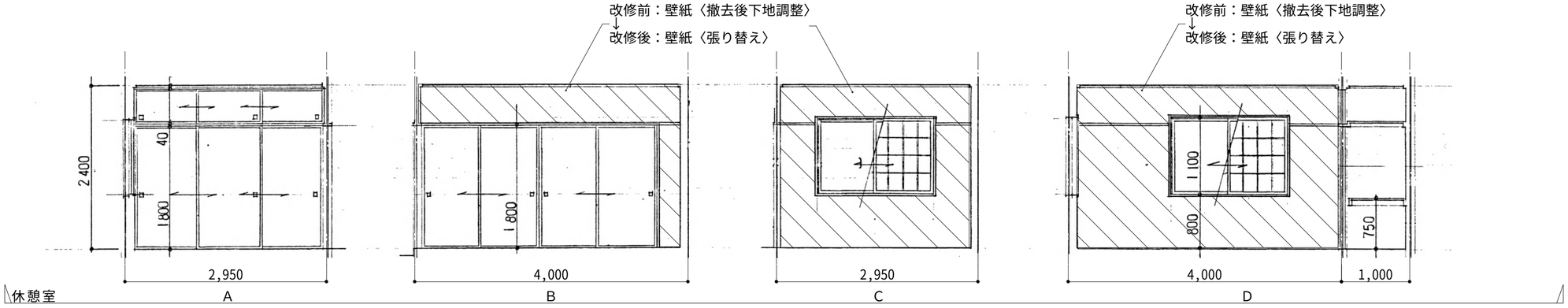
警官詰所



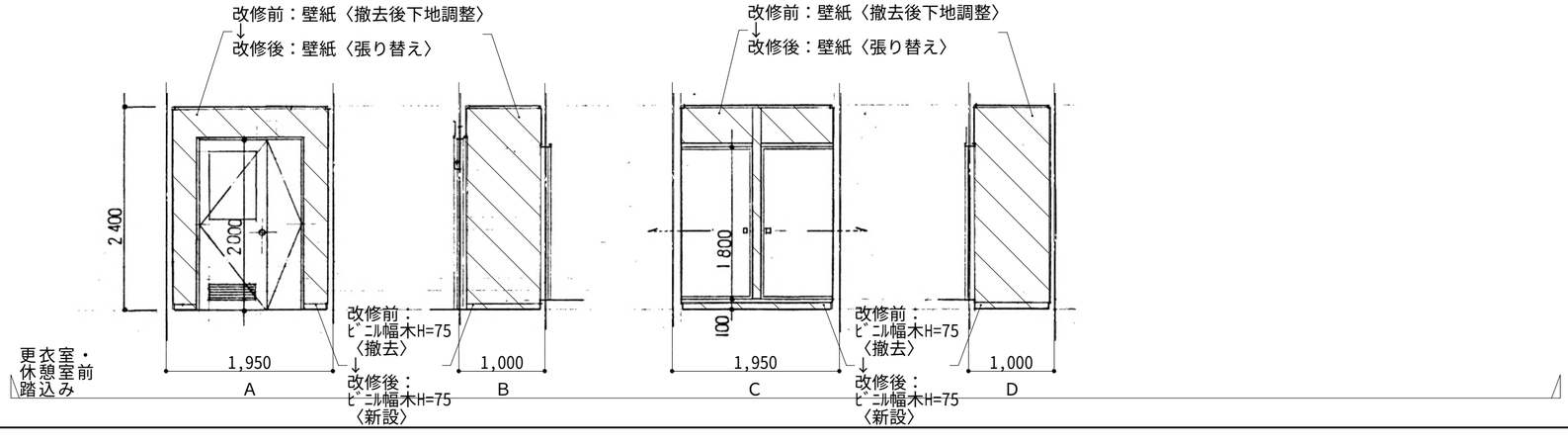
更衣室



休憩室

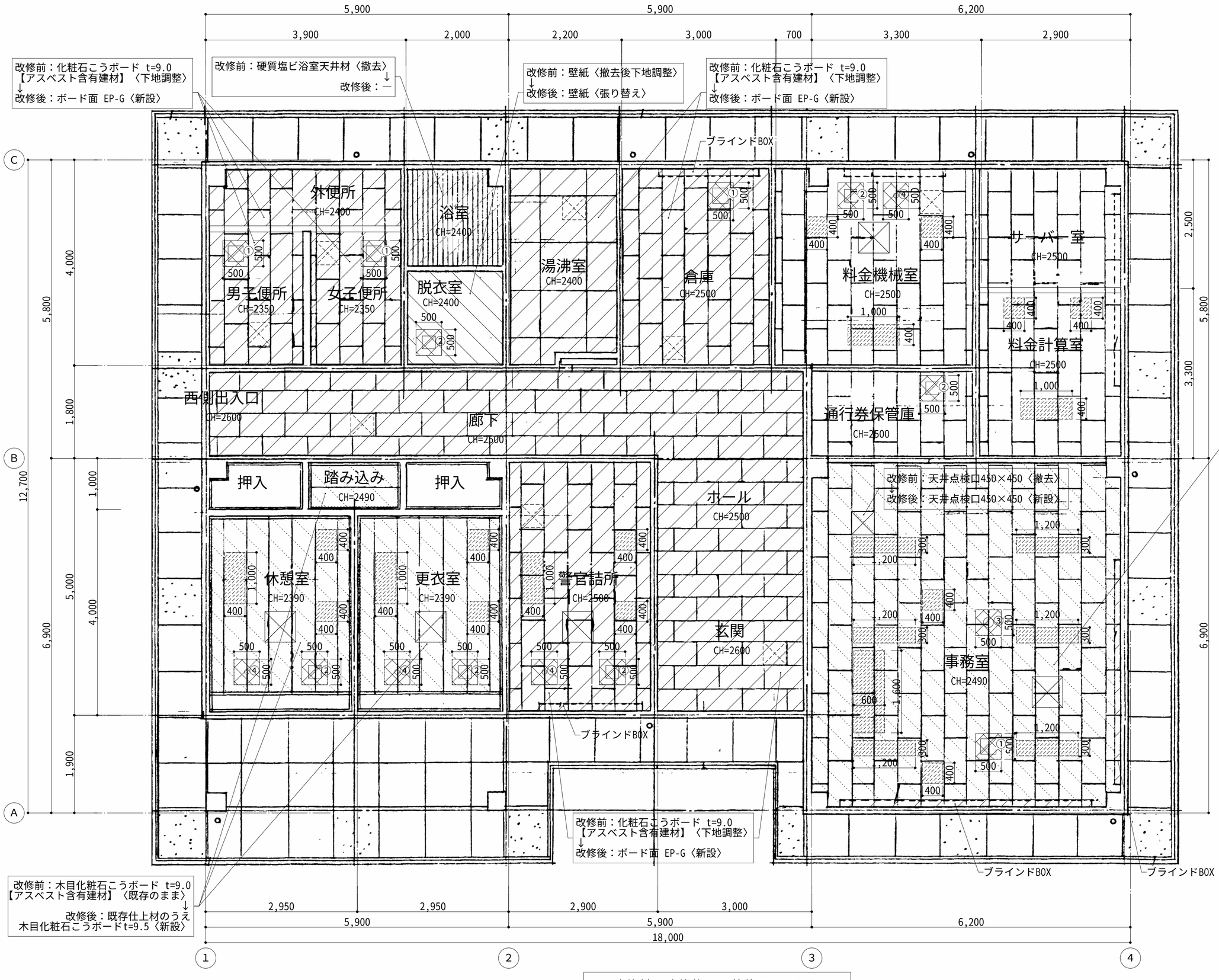


更衣室・休憩室前踏込み



凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（利府中料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（３）		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２１

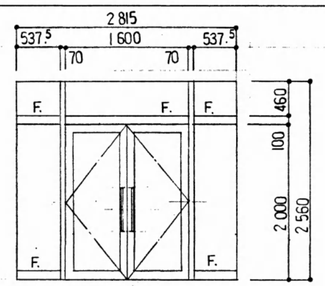
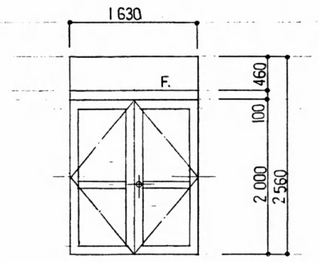
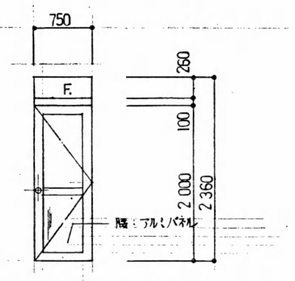
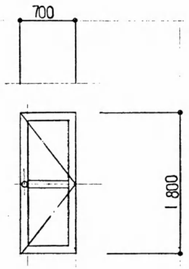
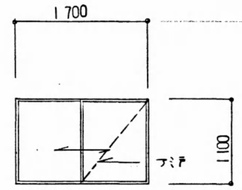


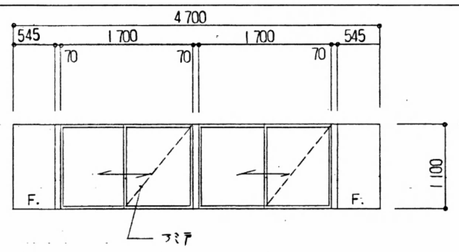
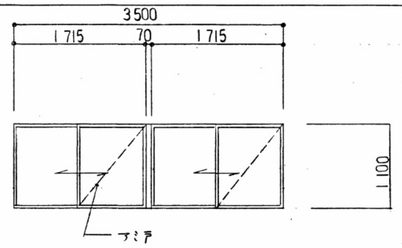
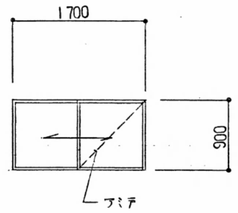
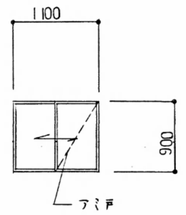
天井点検口・開口補強リスト	箇所
天井点検口450×450〈撤去〉〈新設〉	1
天井点検口600×600〈新設〉 (表示以外の設置位置は設備工事協議)	19
①：開口補強300×300〈新設〉を示す	4
②：開口補強250×250〈新設〉を示す	6
③：開口補強200φ〈新設〉を示す	1
④：開口補強100φ〈新設〉を示す	4

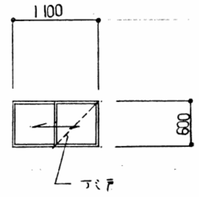
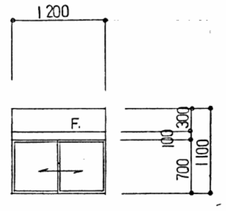
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈既存のまま〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：仕上材〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：-
	改修後：LGS（19形）天井下地のうえ 仕上材〈新設〉を示す(開口補強有り)
	改修後：LGS（19形）天井下地のうえ 仕上材〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	既存天井点検口450×450を示す 〈既存のまま〉
	天井点検口450×450を示す 天井仕上材増し張り部〈撤去・新設〉
	天井点検口600×600を示す〈新設〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（利府中料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　天井伏図		
縮　尺	1：50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２２

改修前・改修後　天井伏図　S=1:50

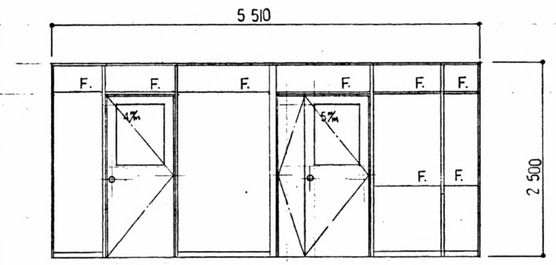
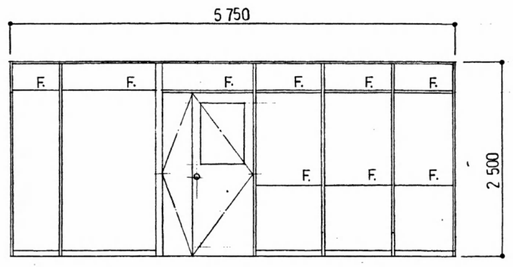
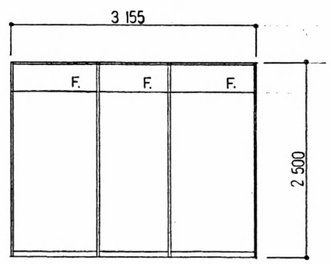
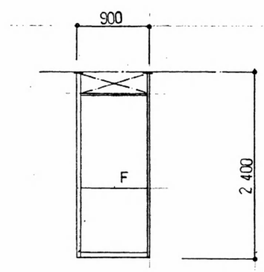
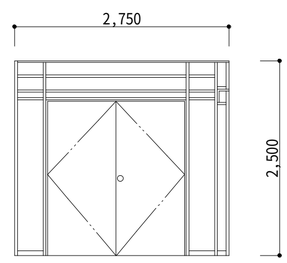
記号	1/AD 両開アルミドア 鉄殺シランマ，鉄殺シ両袖付	2/AD 両開アルミ框ドア 鉄殺シランマ付	3/AD 片開アルミ框ドア，鉄殺シランマ付	4/AD 片開アルミ框ドア	1/AW 引達イアルミサッシ 可動アミ戸
形状					
見込	100	70	同左	同左	70
仕様	カラーアルミ	カラーアルミ〔ALC版用〕〔3方アングル付〕	同左	アルミ〔シルバー〕	カラーアルミ〔ALC版用〕〔4方アングル付〕，アミ戸〔レックスネット〕
使用金物	ドアハンドル ℓ=600，シリンダー錠，ステンレス首摺，アルミアングル〔3方〕，ステンレス丁番〔3枚吊〕，DC，フランス落シ	ステンレス丁番，戸当り，CL付モノロック，DC，フランス落シ，ステンレス首摺，	ステンレス丁番，CL付モノロック，DC，ステンレス首摺	ステンレス丁番，浴室用モノロック，ステンレス首摺，アルミアングル〔3方〕	クレセント，アルミ水切 D37
使用硝子	ランマ：⊕5 フロート，ドア及両袖：⊕5 トーメイ弦化	ランマ・ドア上：⊕5 フロート，ドア下：⊕5 トーメイ弦化	ランマ：⊕3 フロート 額入：⊕4 型板	⊕4 型板弦化	⊕5 フロート
箇所数	玄関 1 箇所	面側踏込 1 箇所	外便所 1 箇所	浴室 1 箇所	休憩室，更衣室，警官詰所 4 箇所
改修内容				<枠ごと撤去>	ブ 網 額 ブB

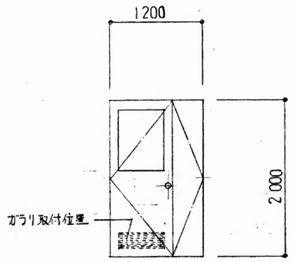
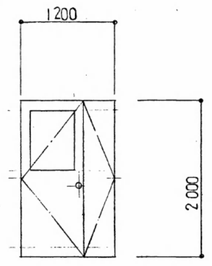
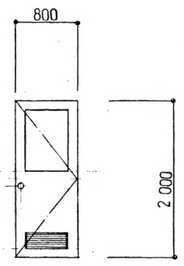
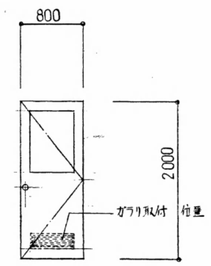
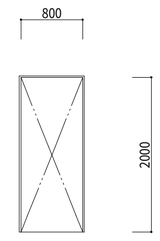
記号	2/AW 引達イアルミサッシ 2連窓 鉄殺シ両袖付 可動アミ戸	3/AW 引達イアルミサッシ 2連窓 可動アミ戸	4/AW 引達イアルミサッシ 可動アミ戸	5/AW 引達イアルミサッシ 可動アミ戸
形状				
見込	70	同左	同左	同左
仕様	カラーアルミ〔ALC版用〕〔4方アングル付〕，アミ戸〔レックスネット〕	同左	同左	同左
使用金物	クレセント，アルミ水切 D37	同左	同左	同左 〔浴室はアルミ額縁4方〕
使用硝子	⊕5 フロート	事務室：⊕5 フロート，料金計算室：⊕6.8 RWG	料金機械室：⊕6.8 RWG，倉庫：⊕4 型板	⊕4 型板
箇所数	事務室 1 箇所	事務室，料金計算室 2 箇所	料金機械室，倉庫 2 箇所	湯沸室，浴室 2 箇所
改修内容	ブ 網 額 ブB	網 額 ブ ブB：サーバー室、料金計算室、料金機械室は除く	ブ 網 額 ブB	網

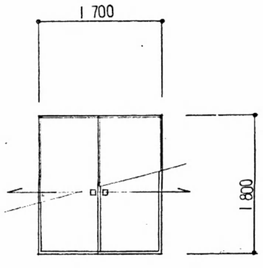
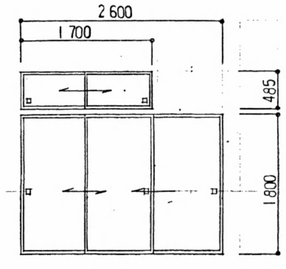
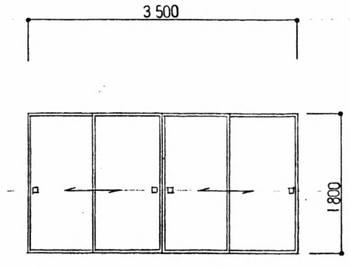
記号	6/AW 引達イアルミサッシ	7/AW 引達イアルミサッシ 鉄殺シランマ付
形状		
見込	70	70
仕様	カラーアルミ〔ALC版用〕〔4方アングル付〕，アミ戸〔レックスネット〕	カラーアルミ
使用金物	クレセント，アルミ水切 D37	ステンレスソロバンレール，3方アルミアングル〔両面〕 硝子戸上下枠ステンレス，CL，ステンレス引手
使用硝子	⊕4 型板	ランマ：⊕3 フロート，扉：⊕5 フロート
箇所数	便所〔M〕 1 箇所	事務室カウンター 1 箇所
改修内容	網 額	額

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ブB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後 建具表(1)		
縮尺	―	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A－２３

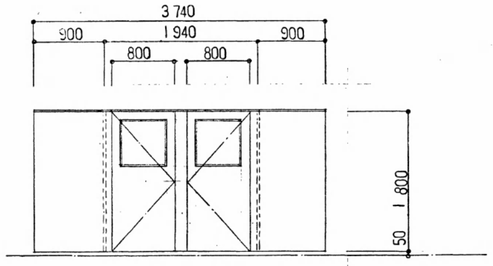
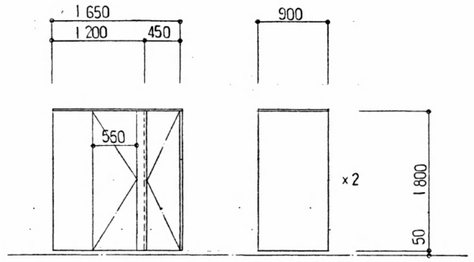
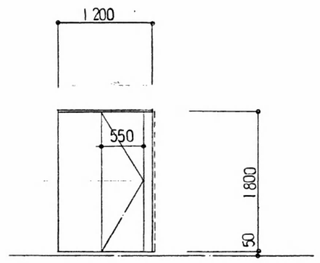
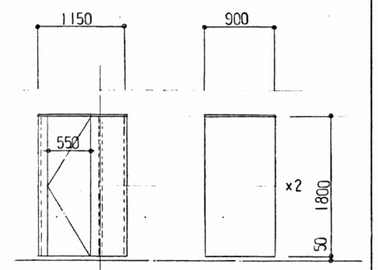
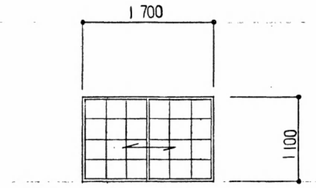
記号	1/P アルミパーティション	2/P アルミパーティション	3/P アルミパーティション	4/P アルミパーティション	P/5 アルミパーティション
形状					
見込	80	同左	同左	50	120
仕様	アルミスタッド式不燃間仕切〔PB ⊙12 裏付,焼付鋼板 ⊙0.6 アルミエッジ〕	同左	同左	アルミスタッド,腰:焼付鋼板パネル	アルミスタッド式不燃間仕切(P-1同様)
使用金物	CL付モノロック, DC, フランス落シ, ステンレス丁番	同左	同左		CL付モノロック、DC、フランス落とし、ステンレス丁番
使用硝子	ランマ:⊙3 フロート, 腰上・額入:⊙5 フロート〔一計 ⊙4 型板〕	ランマ:⊙3 フロート, 腰上・額入:⊙5 フロート	ランマ:⊙3 フロート	⊙4 型板	-
箇所数	事務室 1箇所	料金計算室 1箇所	通行券保管庫 1箇所	脱衣室 1箇所	料金計算室 1ヶ所
改修内容					

記号	1/WD 親子開 合板フラッシュ戸	2/WD 親子開 合板フラッシュ戸	3/WD 片開 合板フラッシュ戸	4/WD 片開 合板フラッシュ戸	WD/5 木製枠
形状					
見込	36	同左	同左	同左	120
仕様	⊙4 シナ合板 SOP	同左	同左	同左	木製のうえSOP
使用金物	ステンレス丁番〔3枚吊〕, フランス落シ, DC, モノロック錠, ステンレス当摺	同左	ステンレス丁番〔3枚吊〕, DC, モノロック錠, ステンレス当摺	同左	-
使用硝子	⊙4 型板	同左	同左	同左	-
箇所数	事務室, 警官詰所, 休憩・更衣室踏込 3箇所	倉庫 1箇所	脱衣室 1箇所	便所〔M〕〔W〕 2箇所	湯沸室 1ヶ所
改修内容	木	木	木	木	木

記号	1/F 引分 板フスマ	2/F 3本引 板フスマ	3/F 4本引逆 板フスマ
形状			
見込	33	33	33
仕様	片面 クロス貼, 片面:襖紙貼 框:カシュー塗	襖紙貼 框:カシュー塗	襖紙貼 框:カシュー塗
使用金物	戸襖用戸車, 引手	戸襖用戸車, 引手	戸襖用戸車, 引手
使用硝子	——	——	——
箇所数	警官詰所～更衣室 1箇所	休憩室, 更衣室 2箇所	休憩室～更衣室 1箇所
改修内容	木		

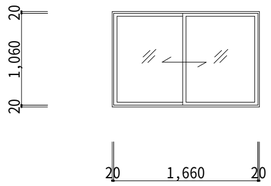
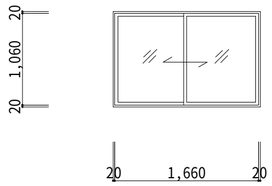
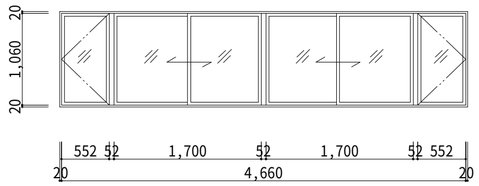
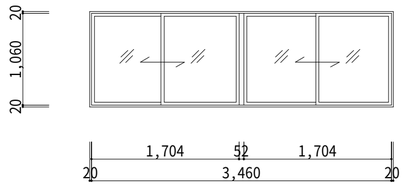
凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ブB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

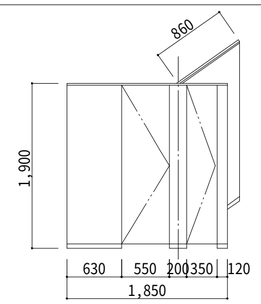
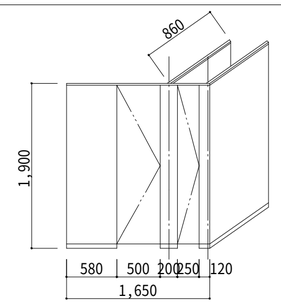
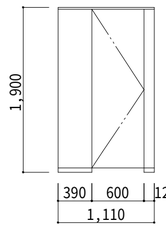
工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後 建具表(2)		
縮尺	―	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A－２４

記号	1/TB トイレブース	2/TB トイレブース	3/TB トイレブース	4/TB トイレブース	1/S 引進イ 障子戸
形状					
見込	40	同左	同左	同左	33
仕様	ポリエステル化粧合板 フラッシュ	同左	同左	同左	白木 、障子紙貼
使用金物	ラバトリーヒンジ，ラバトリーストライク，ラッチ錠，ステンレス笠木，隔テ金物一式	ラバトリーヒンジ，ラバトリーストライク，ラッチ錠，帽子掛付戸当り，ステンレス笠木，隔テ金物一式 掃除見入部分：ステンレス丁番，空錠	ラバトリーヒンジ，ラバトリーストライク，ラッチ錠，帽子掛付戸当り ステンレス笠木，隔テ金物一式	同左	敷居スベリ，引手
使用硝子	額入：⊕4 型板	——	——	——	
箇所数	外便所 1 箇所	便所 (W) 1 箇所	外便所 1 箇所	便所 (M) 1 箇所	休憩室，更衣室 3 箇所
改修内容	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ﾌﾞB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

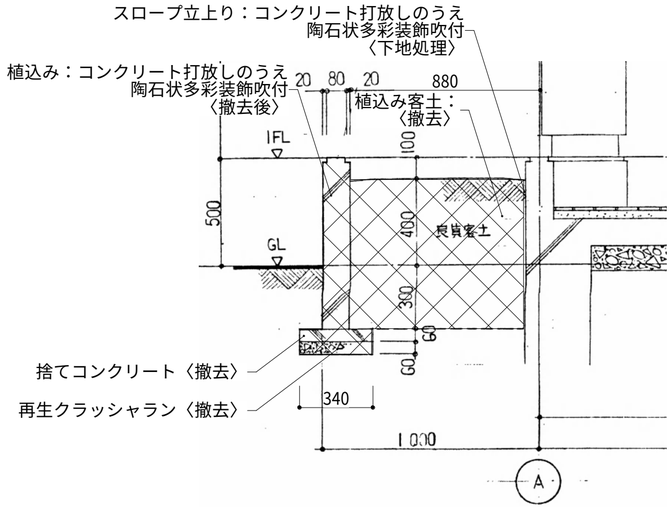
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　建具表(3)		
縮　尺	ー	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２５

記　号	PW 1　引違い樹脂サッシ	PW 2　引違い樹脂サッシ	PW 3　引違い樹脂サッシ　2連窓　内開き窓両袖付	PW 4　引違い樹脂サッシ　2連窓
形　状				
見　込	67	67	67・50	67
仕　様	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ
使用金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント、丁番、カムラッチハンドル	標準金物一式、クレセント
使用硝子	和紙調単板ガラスt=5.0	FLt=5.0	FLt=5.0	FLt=5.0
箇所数	休憩室・更衣室　3ヶ所	警官詰所　1ヶ所	事務室　1ヶ所	事務室　1ヶ所
改修内容	改修後：<新設>・二重額縁(120×20)EP-G<新設>	改修後：<新設>・二重額縁(120×20)EP-G<新設>	改修後：<新設>・二重額縁(120×20)EP-G<新設>	改修後：<新設>・二重額縁(120×20)EP-G<新設>

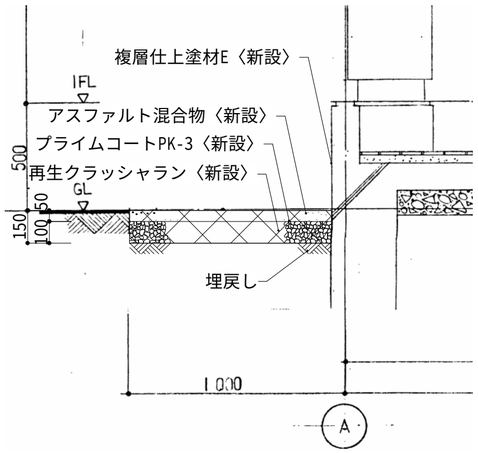
記　号	TB 1　トイレブース	TB 2　トイレブース	TB 3　トイレブース
形　状			
見　込	40	40	40
仕　様	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
使用金物	ステンレス頭つなぎ40×20、標準金物一式、ステンレス巾木、 表示錠(非常解錠付)、戸当りフック、指詰め防止	ステンレス頭つなぎ40×20、標準金物一式、ステンレス巾木、 表示錠(非常解錠付)、戸当りフック、指詰め防止	ステンレス頭つなぎ40×20、標準金物一式、ステンレス巾木、 表示錠(非常解錠付)、戸当りフック、指詰め防止
使用硝子	―	―	―
箇所数	男子便所　1ヶ所	女子便所　1ヶ所	外便所　1ヶ所
改修内容	改修後：<新設>	改修後：<新設>	改修後：<新設>

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ﾌﾟﾛ	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

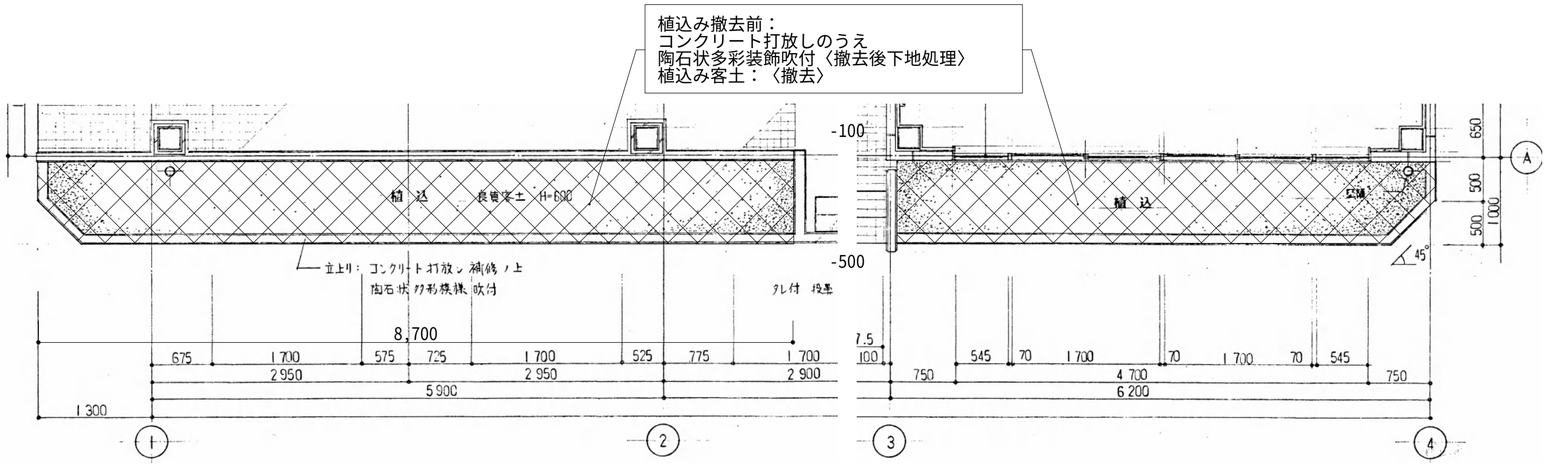
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　建具表(4)		
縮　尺	―	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２６



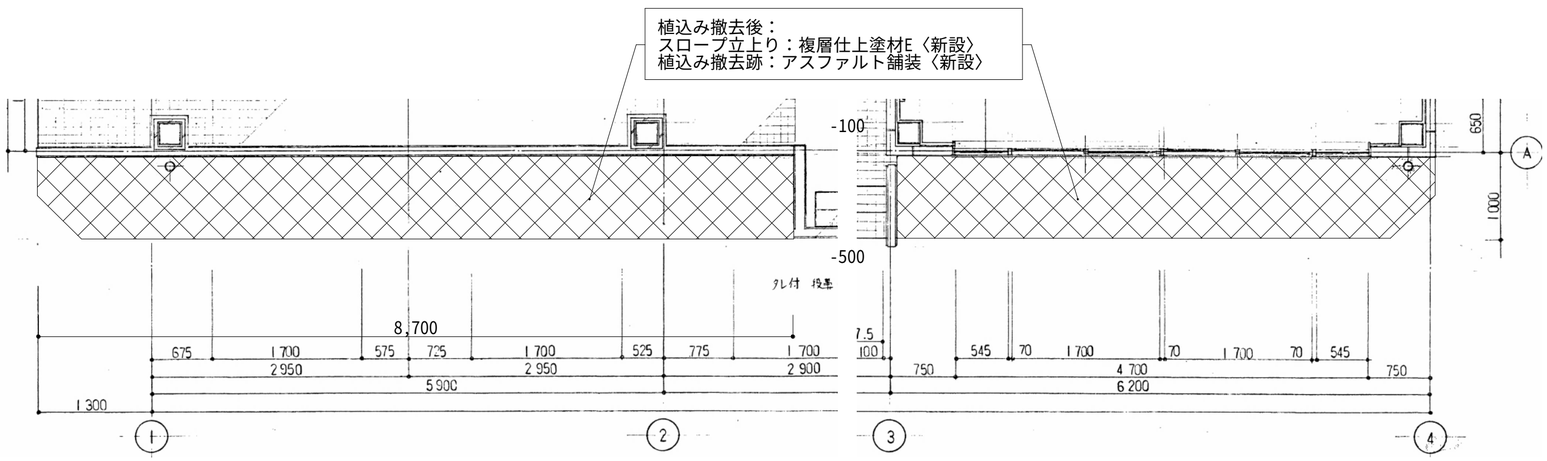
改修前　外構詳細図　S=1:20



改修後　外構詳細図　S=1:20



改修前　外構平面詳細図　S=1:50

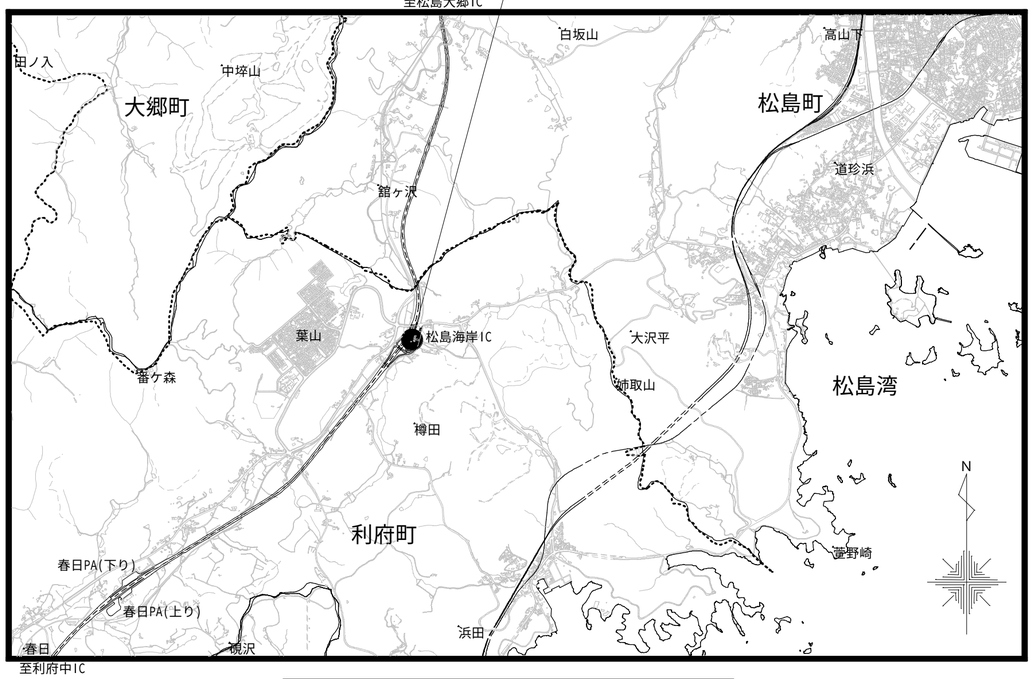


改修後　外構平面詳細図　S=1:50

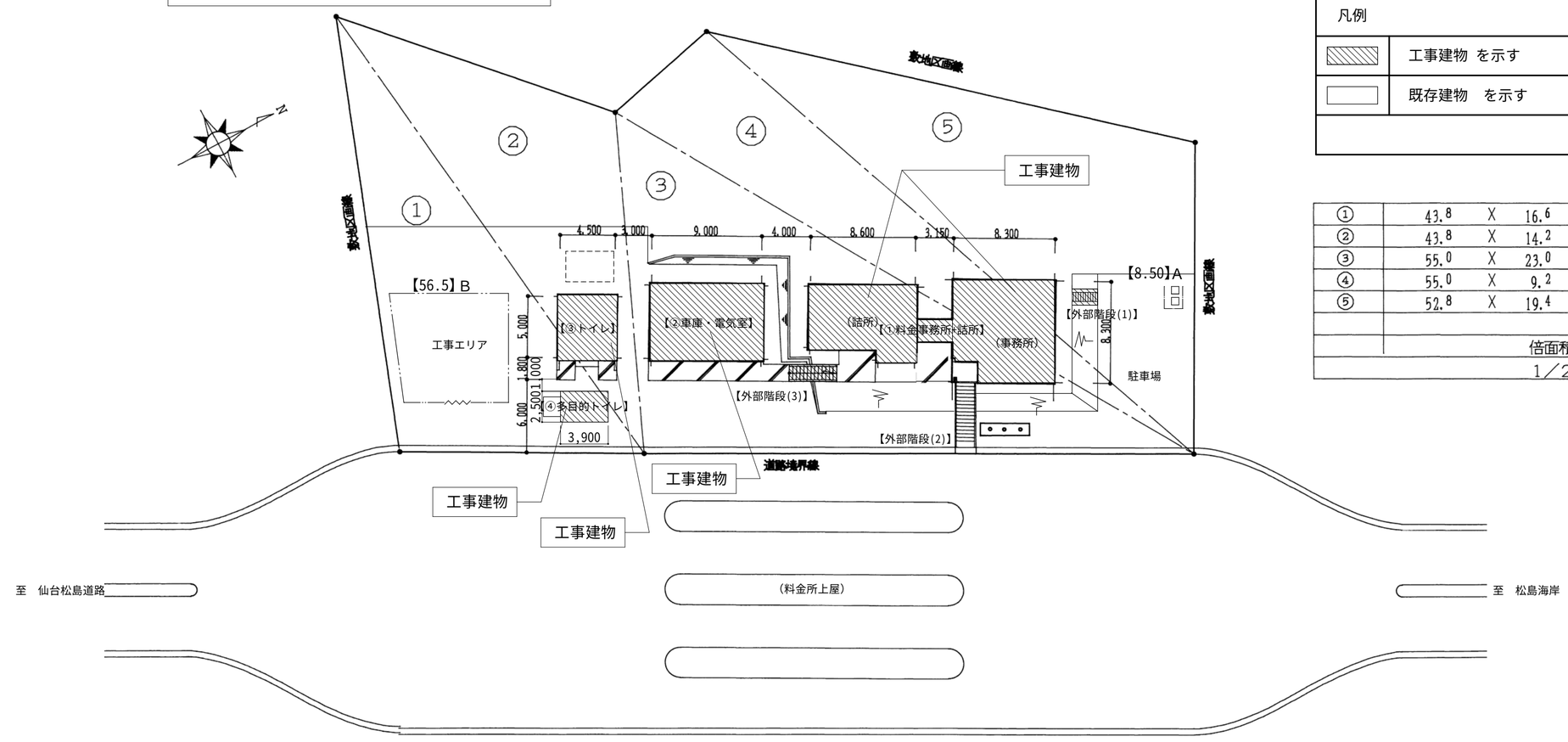
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(利府中料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　外構図		
縮　尺	1：20・50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２７

施工場所：宮城郡利府町赤沼字放森64-1



案　内　図



配置図　S=1:300

仮設計画 凡例			
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】A	成形鋼版	H=2.0m	54.5m
【数量】B	単管シート	H=2.0m	8.0m
〰	シートゲート	W=3.6m×H=4.5m	1箇所
□	仮設トイレ	水洗式	２棟
アスベスト含有材　採取費			1日
アスベスト調査	定性分析（ボード・床材　3種類+配管保温材・エルボ　3種類）		6検体

凡例	
	工事建物 を示す
	既存建物　を示す

①	43.8	X	16.6	= 727.08
②	43.8	X	14.2	= 621.96
③	55.0	X	23.0	= 1,265.0
④	55.0	X	9.2	= 506.0
⑤	52.8	X	19.4	= 1,024.32
			倍面積	4,144.36
			1／2	2,072.18 ㎡

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設） 案内図・配置図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２８

外部仕上表

建物名	区 分	ポーチ・外部階段・植込み	腰巾木	外 壁・柱 型	軒 天・梁 型	屋 根・樋	その他
料金 事務所	(改修前)	ポーチ:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 外部階段（1）:コンクリート平板〈下地調整〉 外部階段（2）:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 のうえノンスリップ塗床〈既存のまま〉 外部階段（3）:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃt=20〈撤去〉・ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装〈撤去〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（設計GL+600）<既存のまま>	ALC板t100タテ張り 複層仕上塗材<既存のまま> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉	石綿ｾﾒﾝﾄ板t5.0目透かし貼（一部有孔板） EP 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】<既存のまま>	事務所、廊下屋根:木毛ｾﾒﾝﾄ板t20+ﾗｸﾝ合板t12+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地 銅板t0.4平葺き<既存のまま> 詰所屋根:ﾗｸﾝ合板t12+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地 銅板t0.3平葺き<既存のまま> 鼻隠し:銅板t0.4<既存のまま> 事務所、廊下軒樋・竪樋:硬質塩ビ製<既存のまま> 詰所軒樋・呼び樋:銅製t0.4<既存のまま> 詰所竪樋:白ｶﾞｽ管<既存のまま>	
車庫 ・ 電気室	(改修前)	犬走り:ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ（目地切@900）〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（設計GL+500）<既存のまま>	ALC板t100タテ張り 複層仕上塗材<既存のまま> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉	石綿ｾﾒﾝﾄ板t5.0目透かし貼（一部有孔板） EP 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】<既存のまま>	屋根:ﾗｸﾝ合板t12+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地 銅板t0.3平葺き<既存のまま> 鼻隠し:銅板t0.4<既存のまま> 軒樋:銅製t0.4<撤去> 呼び樋:銅製t0.4<撤去> 集水器:銅製t0.4 4箇所<撤去> 竪樋:白ｶﾞｽ管<既存のまま>	
トイレ	(改修前)	ポーチ:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 一部段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ<撤去> 一部石貼り<撤去> 植込み:化粧型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放しのうえ複層仕上塗材〈下地調整〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（設計GL+500）<既存のまま>	ALC板t100タテ張り 複層仕上塗材<一部下地調整> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉	石綿ｾﾒﾝﾄ板t5.0目透かし貼（一部有孔板） EP 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】<既存のまま>	屋根:ﾗｸﾝ合板t12+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地 銅板t0.3平葺き<既存のまま> 鼻隠し:銅板t0.4<既存のまま> 軒樋・呼び樋:銅製t0.4<既存のまま> 竪樋:白ｶﾞｽ管<既存のまま>	ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ樹脂板(3箇所)<撤去>
多目的 トイレ	(改修前)	スロープ:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（設計GL+600）<既存のまま>	ALC板t100タテ張り 複層仕上塗材E吹付<既存のまま> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉	石綿ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt6.0目透かし貼（一部有孔板） VP 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】<既存のまま>	耐火野地板t20+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地 ﾌｧ素樹脂ｶﾗｰ鋼鈑t0.4<既存のまま> 鼻隠し:ﾌｧ素樹脂ｶﾗｰ鋼鈑t0.4<既存のまま> 軒樋・呼び樋:硬質塩ビ製<既存のまま> 竪樋:白ｶﾞｽ管<既存のまま>	手摺:ｽﾃﾝﾚｽ製H750<既存のまま> ピクトサイン:200×200×2ヶ所〈撤去〉 サイン:400×200×1ヶ所〈撤去〉 消火器:ABC10型(屋外壁掛BOX)<既存のまま> 植え込み:〈撤去〉
料金 事務所	(改修前)	― 外部階段（1）:モルタル金ゴテt=20〈新設〉 のうえノンスリップ塗床〈新設〉 外部階段（2）:― 外部階段（3）:モルタル金ゴテt=20〈新設〉 のうえノンスリップ塗床〈新設〉	―	― ―	―	― ― ― ― ― ―	排気孔塞ぎ：ステンレス鋼鈑t0.6（SUS304） 300×400×1ヶ所〈新設〉
車庫 ・ 電気室	(改修前)	―	―	― ―	―	― ― 軒樋:硬質塩ビ製 前高150型〈新設〉 呼び樋:硬質塩ビ製(ｶﾗｰ) 75φ〈新設〉 集水器:硬質塩ビ製250×300 4箇所〈新設〉 ―	
トイレ	(改修前)	ポーチ:― ― 一部 土間ｺﾝｸﾘｰﾄt=150〈新設〉のうえﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質ﾀｲﾙ100×200（段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ共）〈新設〉 植込み:複層塗材E〈塗替え〉	―	複層塗材E〈一部塗替え〉 ―	―	― ― ― ―	ピクトサイン:200×200×2ヶ所 〈新設〉 サイン:400×200×1ヶ所 〈新設〉 植え込み跡:ｺﾝｸﾘｰﾄt150のうえﾓﾙﾀﾙ下地 磁器質ﾀｲﾙ100×200(段鼻ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ共)〈新設〉
多目的 トイレ	(改修前)	―	―	― ―	―	― ― ― ―	― ― ―

内部仕上表

階数	室 名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備 考
1F	料金事務所 玄関 ・ 玄関ﾎｰﾙ	既存	-150 ±0	M<既存のまま>	玄関:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 玄関ﾎｰﾙ:ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	玄関:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 玄関ﾎｰﾙ:ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	100 75	W LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえ【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整>	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.0のうえ壁紙【アスベスト含有建材】<既存のまま>	塩ビ〈既存のまま〉	3,050 2,900	下足入れ:〈既存のまま〉 掲示板(1800×900):〈既存のまま〉 受付ｶｳﾝﾀｰ UC塗:<下地調整> ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ製×1〈撤去〉
		改修	― ―	―	― ビニル床シートt=2.0〈新設〉	― ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	― 75	―	壁紙<張り替え>	―	―	―	3,040 2,890	― ― 受付ｶｳﾝﾀｰ UC塗:<塗替え> ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ製×1〈新設〉
	料金事務所 廊下	既存	±0	M<既存のまま>	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	W〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえ【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整>	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,050	帽子掛け(L800×2ヶ所):〈既存のまま〉
		改修	―	―	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	―	壁紙<張り替え>	―	ボード面 EP-G〈塗替え〉	―	―	―

階数	室 名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備 考
1F	料金事務所 事務室	既存	±0	O A〈一部撤去〉	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=2.0【アスベスト含有建材】〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	W LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえ【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整>	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.0のうえ壁紙【アスベスト含有建材】<既存のまま>	塩ビ〈既存のまま〉	2,900	窓下収納ﾌﾗｯｼｭ戸:<一部撤去> ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ製×1〈撤去〉
		改修	―	O A〈一部新設〉	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=4.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	―	壁紙<張り替え>	LGS〈一部新設〉	ロックウール吸音板 t=9〈新設〉 一部：石こうボード t=9.5下張りのうえ ロックウール吸音板 t=9〈新設〉	塩ビ〈新設〉	2,890	窓下収納ﾌﾗｯｼｭ戸:<一部新設> 神棚:〈新設〉 ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ製×1〈新設〉
	料金事務所 金庫室	既存	±0	M<既存のまま>	ビニル床シートt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈既存のまま〉	75	W LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.0のうえ 壁紙【アスベスト含有建材】<既存のまま>	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものはも今回工事対象外を示す。仕上表及び「各図面共通」とする。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は　―　・〈新設〉・〈張り替え〉:塗装以外の場合・〈塗替え〉塗装の場合　・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床・二重床：乾式二重床を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：改修後のアスファルト舗装は、車道用とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【アスベスト含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に　に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉･改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共
　〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調
　設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。
⑪：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)一部撤去・新設は10.0㎡とする。

耐火・防火・不燃 番号

せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
防火上主要な間仕切壁の 強化せっこうボード(t=12.5+12.5) 両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44) (FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡 例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)

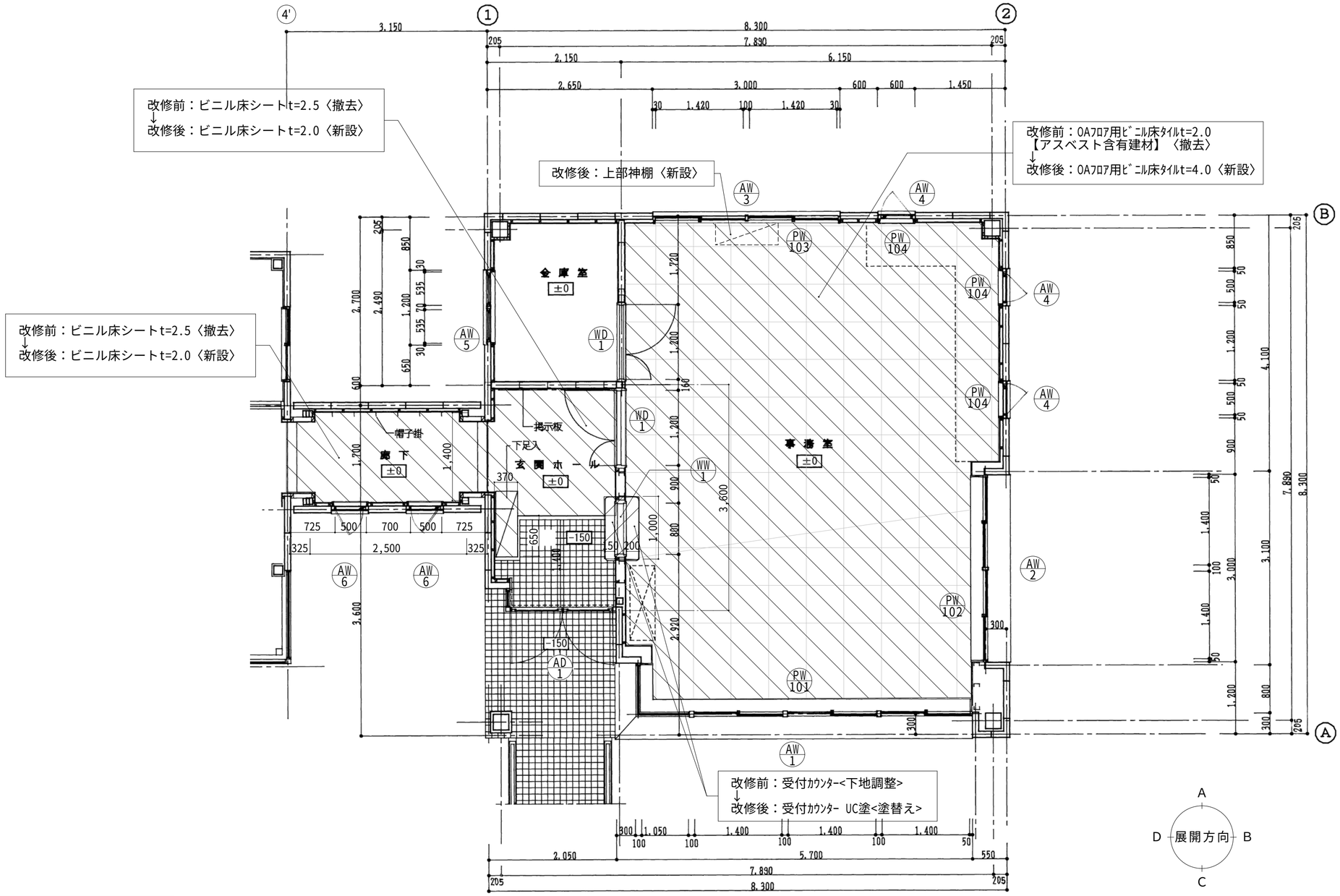
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設） 改修前・改修後 仕上表（１）		
縮 尺	―	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－２９

内部仕上表

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	[詰所] 廊下	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,450	ｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×4〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	ｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×3〈新設〉 ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×1〈新設〉
	[詰所] 休憩室１	既存	+100	W <既存のまま>	畳敷き t=60〈撤去〉 一部フローリング t=12.0 〈既存のまま〉	木製畳寄せ 〈既存のまま〉 一部雑巾摺 〈既存のまま〉	—	W LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉 柱型:鉄骨のうえEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,350	—
		改修	—	—	畳敷き t=60〈新設〉 —	—	—	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 柱型：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	—
	[詰所] 倉庫	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈既存のまま〉	75	W LGS 〈既存のまま〉	ラワン合板 t=5.5(目透かし)のうえSOP 〈既存のまま〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,450	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[詰所] 便所	既存	-20	M <既存のまま>	モザイクタイル25角 〈既存のまま〉	—	—	W LGS 〈既存のまま〉	ラスカットパネル t=9.0のうえ 陶器質タイル100角<既存のまま>	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	トイレブース：〈撤去〉 隔て板：〈撤去〉
		改修	±0	M t=20 〈新設〉	モルタル金ゴテ仕上 〈新設〉のうえ ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ床シート立上げ 〈新設〉	100	—	メラミン不燃化粧板 t=3.0 (タイル直貼)〈新設〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	2,380	トイレブース：〈新設〉 隔て板：〈新設〉 電気温水器付き 洗面化粧台：〈新設〉 薄型汚垂れ陶板t=6.0 600×600：〈新設〉
	[詰所] 休憩室２	既存	+100	W <既存のまま>	畳敷き t=60〈撤去〉 フローリング t=12.0 〈既存のまま〉	木製畳寄せ 〈既存のまま〉	—	W LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえ 【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	木製 〈既存のまま〉	2,350	押入：〈既存のまま〉
		改修	—	— —	畳敷き t=60〈新設〉 —	— 木製畳寄せ 〈一部新設〉	—	— 一部 LGS 〈新設〉	壁紙<張り替え> 石こうボード t=12.5〈一部新設〉 のうえ壁紙〈一部新設〉	—	—	—	—	—
	[詰所] 通路	既存	+100	W <既存のまま>	フローリング t=12.0 〈撤去〉	木製素地 〈下地調整〉	75	W LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえ 【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	木製 〈既存のまま〉	2,350	ｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×2〈撤去〉
		改修	—	—	複合フローリング t=12.0〈新設〉	木製 EP-G 〈新設〉	75	—	壁紙<張り替え>	—	—	—	—	ｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×3〈新設〉
	[詰所] 休憩室 ・ 更衣室	既存	+100	W <撤去>	畳敷き t=60〈撤去〉 フローリング t=12.0 〈撤去〉	—	—	W LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえ 【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	木製 〈既存のまま〉	2,350	
		改修	+100	二重床 H=76 〈新設〉	ラワン合板 t=12.0のうえ 複合フローリング t=12.0〈新設〉	木製 EP-G 〈新設〉	75	— 一部 LGS 〈新設〉	壁紙<張り替え> 石こうボード t=12.5〈一部新設〉 のうえ 壁紙〈一部新設〉	—	—	—	—	
	[詰所] 湯沸室	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	W LGS 〈既存のまま〉	シージング石こうボード t=12.0のうえEP 【アスベスト含有材】〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,350	流し台L=1,200：〈撤去〉 ｺﾝﾛ台L=600：〈撤去〉 吊戸棚L=1,200×D=380：〈撤去〉 水切り棚1段L=1,200：〈撤去〉 ｽﾃﾝﾚｽ製ﾗｲﾆﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ100：〈撤去〉
		改修	+100	二重床 t=10 〈新設〉	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	2,250	流し台L=1,200：〈新設〉 ｺﾝﾛ台L=600：〈新設〉 ｽﾃﾝﾚｽ製ﾗｲﾆﾝｸﾞ：〈新設〉
	[詰所] 脱衣室	既存	+80	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	W LGS 〈既存のまま〉 一部 LGS 〈撤去〉	シージング石こうボード t=12.0のうえ 【アスベスト含有建材】<既存のまま> 壁紙<撤去後下地調整> 一部シージング石こうボード t=12.0のうえ 【アスベスト含有材】壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	—
		改修	+100	M t=20 〈新設〉 二重床 t=150 〈一部新設〉	モルタル金ゴテ仕上 〈新設〉のうえ ビニル床シートt=2.0 〈新設〉 ビニル床シートt=2.0 〈一部新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	— 一部 LGS 〈新設〉	壁紙〈張り替え〉 シージング石こうボード t=12.5のうえ 壁紙〈新設〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	2,380	洗濯機ﾊﾟﾝ：〈新設〉 脱衣棚：〈新設〉 物干掛け：〈新設〉
	[詰所] 浴 室	既存	+50	M <既存のまま>	モザイクタイル25角 〈既存のまま〉	—	—	W LGS 〈既存のまま〉 一部 LGS 〈撤去〉	ラスカットパネル t=9.0 【アスベスト含有建材】のうえ 陶器質タイル100角<既存のまま> 一部ラスカットパネル t=9.0 【アスベスト含有建材】のうえ 陶器質タイル100角<撤去>	LGS 〈撤去〉	バスリブt=9.0<撤去>	—	2,400	FRP製浴槽：〈撤去〉
		改修	—	—	—	—	—	— 一部 LGS 〈新設〉	— 壁下地あらわし	—	躯体あらわし	—	2,005 (UB天井高)	ユニットバス 1014サイズ (折り戸(50mm段差) FRP浴槽、平天井) 〈新設〉

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	[車庫・電気室] 電気室	既存	±0 〜 +150	R C <既存のまま>	モルタル金ゴテ 目地切 <既存のまま>	モルタル金ゴテ	500	W 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	W 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,750	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[車庫・電気室] 車庫	既存	±0	R C <既存のまま>	モルタル金ゴテ 目地切 <既存のまま>	モルタル金ゴテ	500	W 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	W 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	3,000	ﾀｲﾔﾗｯｸ：<既存のまま> ｼｬｯﾀｰ三方枠：<一部撤去>
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	— ｼｬｯﾀｰ三方枠：<一部新設>
	[トイレ] 男子便所 ・ 女子便所	既存	±0	M <一部撤去> ※RC共	磁器質ﾀｲﾙ100×200 〈既存のまま〉 女子：磁器質ﾀｲﾙ100×200 〈一部撤去〉	—	—	W 〈既存のまま〉	ラスカットパネル t=9.0 【アスベスト含有建材】のうえ 陶器質タイル100角<既存のまま>	W 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	トイレブース：〈撤去〉 隔て板：〈既存のまま〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞ：<既存のまま> 三方枠(対付)：<既存のまま>
		改修	—	M <一部新設> ※RC共	— 女子：磁器質ﾀｲﾙ100×200 〈一部新設〉	—	—	—	—	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	トイレブース：〈新設〉 ﾓｯﾌﾟ掛け：〈新設〉
	[トイレ] 男子化粧室 ・ 女子化粧室	既存	±0	M <一部撤去>	磁器質ﾀｲﾙ100×200 〈既存のまま〉 一部磁器質ﾀｲﾙ100×200 〈撤去〉	—	—	W 〈既存のまま〉	ラスカットパネル t=9.0 【アスベスト含有建材】のうえ 陶器質タイル100角<既存のまま>	W 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ：<既存のまま> 三方枠(対付)：<既存のまま>
		改修	—	M <一部新設>	— 一部磁器質ﾀｲﾙ100×200 〈新設〉	—	—	—	—	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	—
	[多目的トイレ] 前室	既存	±0	M <既存のまま>	磁器質ﾀｲﾙ100角 〈既存のまま〉	—	—	LGS 〈既存のまま〉	ラスカットパネル t=9.0 【アスベスト含有建材】のうえ 陶器質タイル100角<既存のまま>	LGS 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえVP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	肩入れ：<既存のまま> 床下点検口：<既存のまま> 天井点検口：<既存のまま> 補助手摺：<既存のまま>
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[多目的トイレ] 多目的トイレ	既存	±0	M <既存のまま>	磁器質ﾀｲﾙ100角 〈既存のまま〉	—	—	LGS 〈既存のまま〉	ラスカットパネル t=9.0 【アスベスト含有建材】のうえ 陶器質タイル100角<既存のまま>	LGS 〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえVP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	ﾗｲﾆﾝｸﾞ：<既存のまま> 固定型手摺：<撤去> 可動型手摺：<撤去> ベビーベッド：<撤去> ベビーチェア：<撤去>
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	固定型手摺：〈新設〉 可動型手摺：〈新設〉 ベビーベッド：〈新設〉 ベビーチェア：〈新設〉

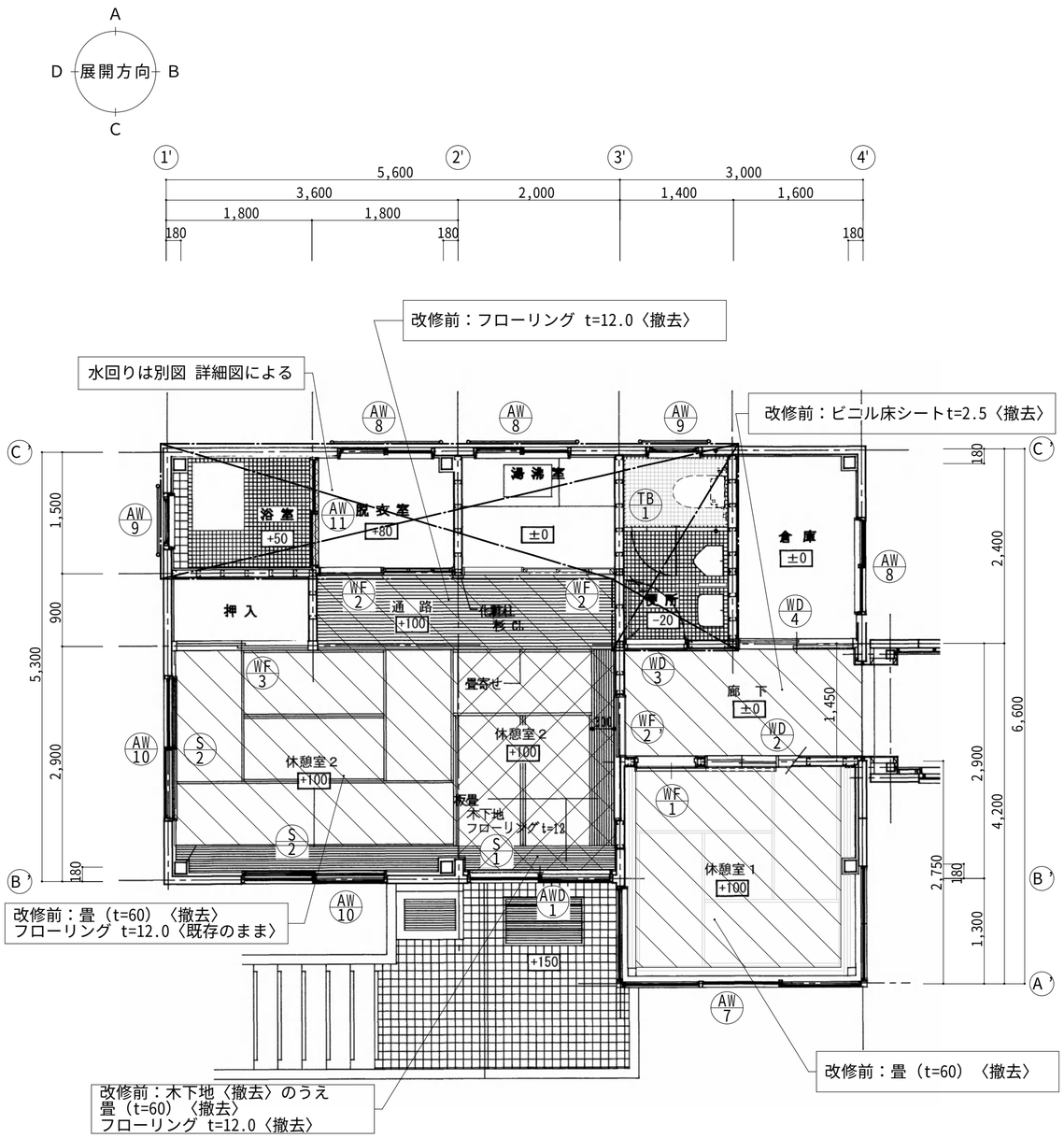
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設） 改修前・改修後 仕上表		
縮 尺	—	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３０



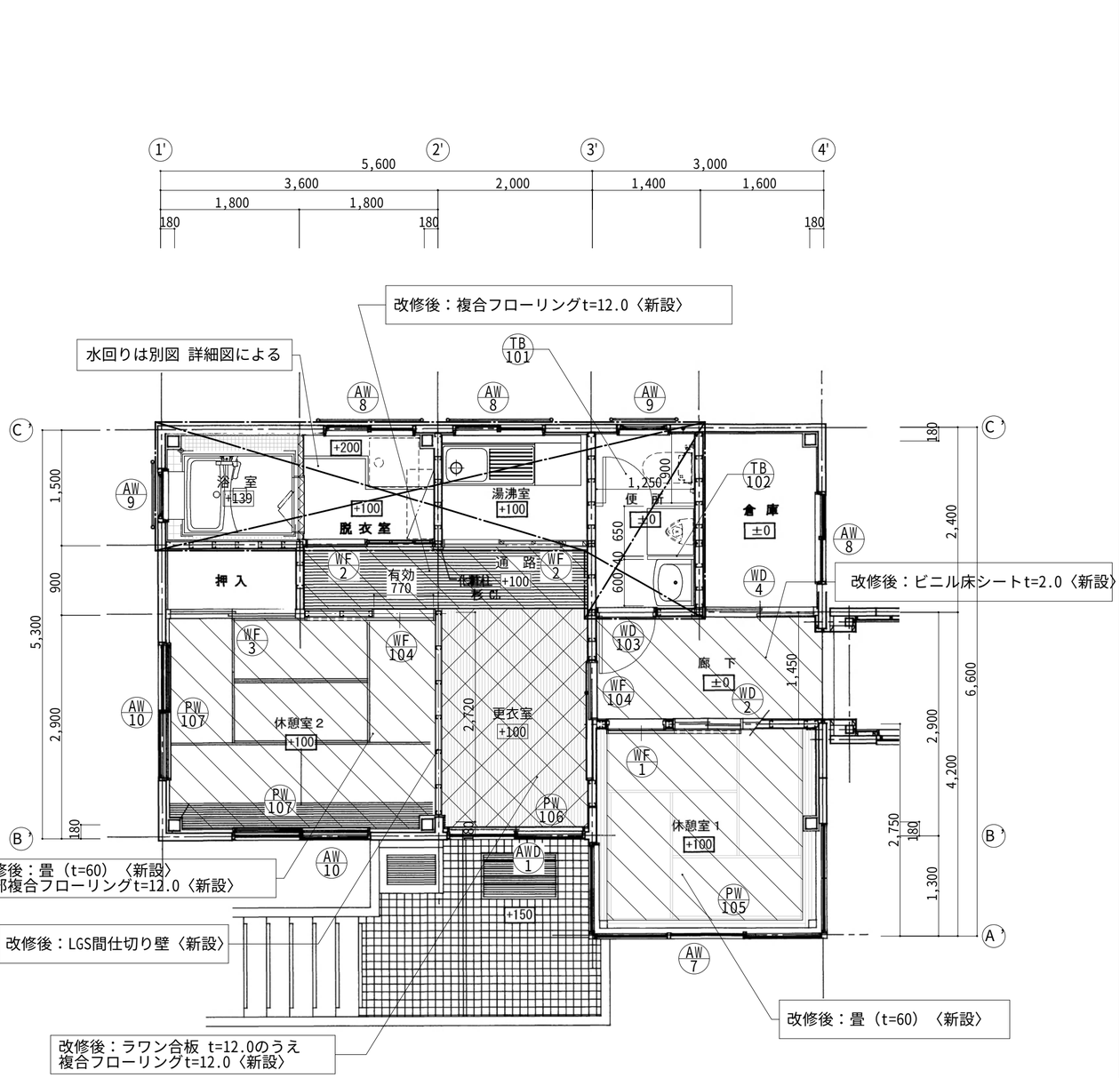
［料金事務所］改修前・改修後　平面図(1)・建具伏図(1)　S=1:50

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　平面図(1)・建具伏図(1)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３１



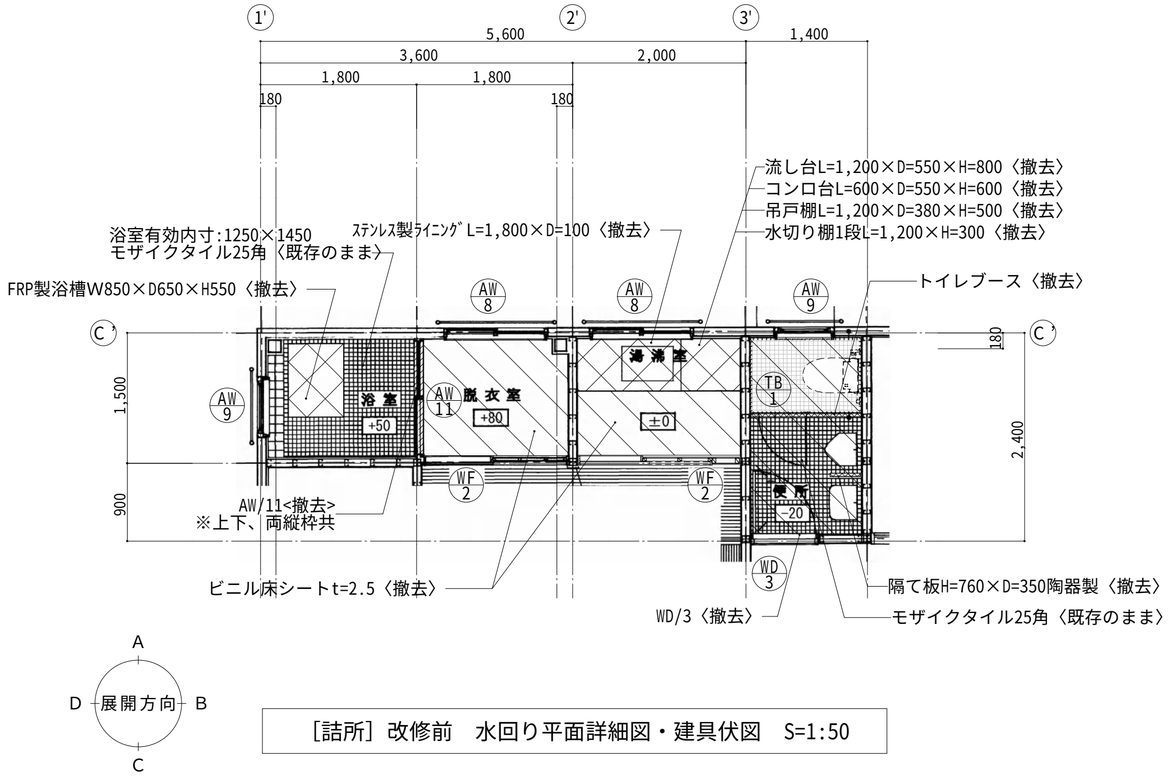
［詰所］改修前　平面図(2)・建具伏図(2)　S=1:50



［詰所］改修後　平面図(2)・建具伏図(2)　S=1:50

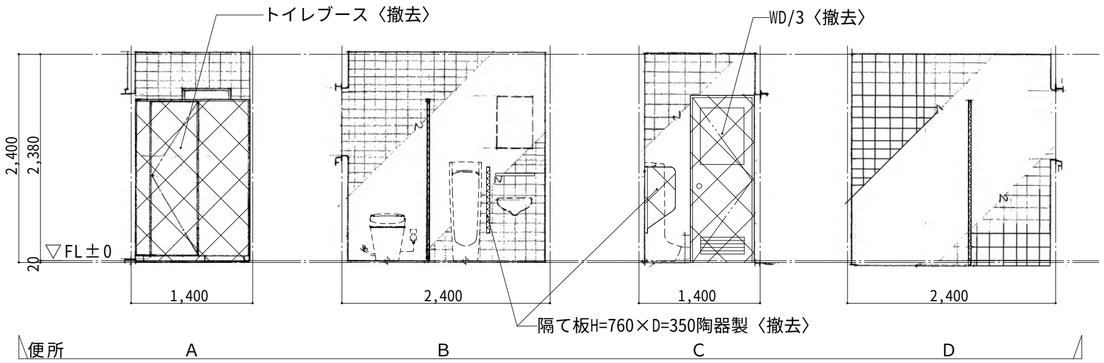
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

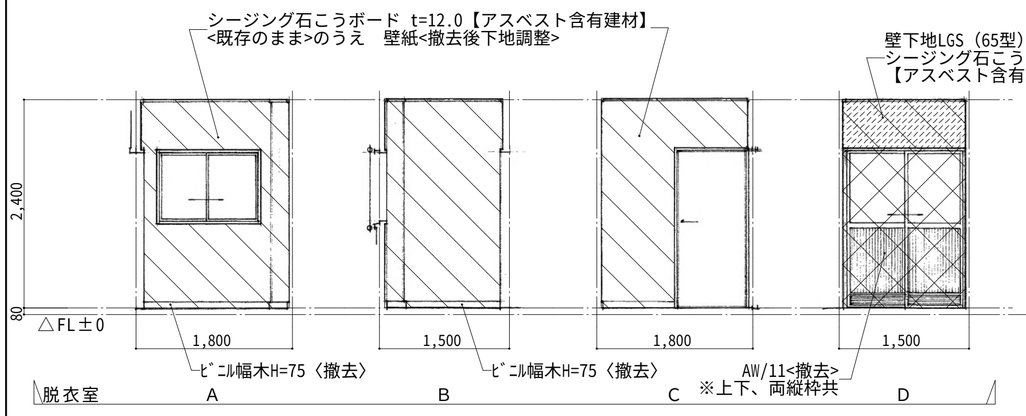
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　平面図(2)・建具伏図(2)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３２

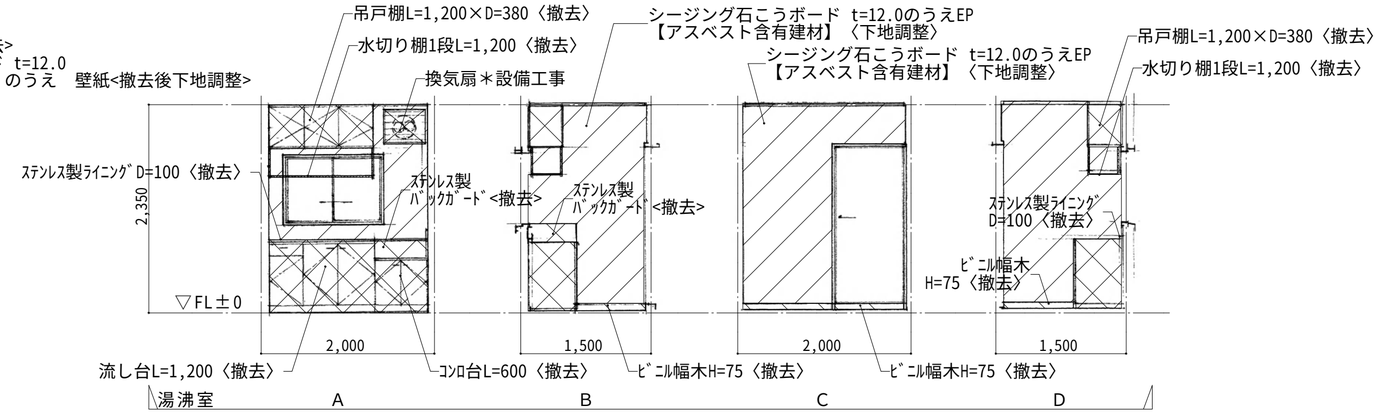


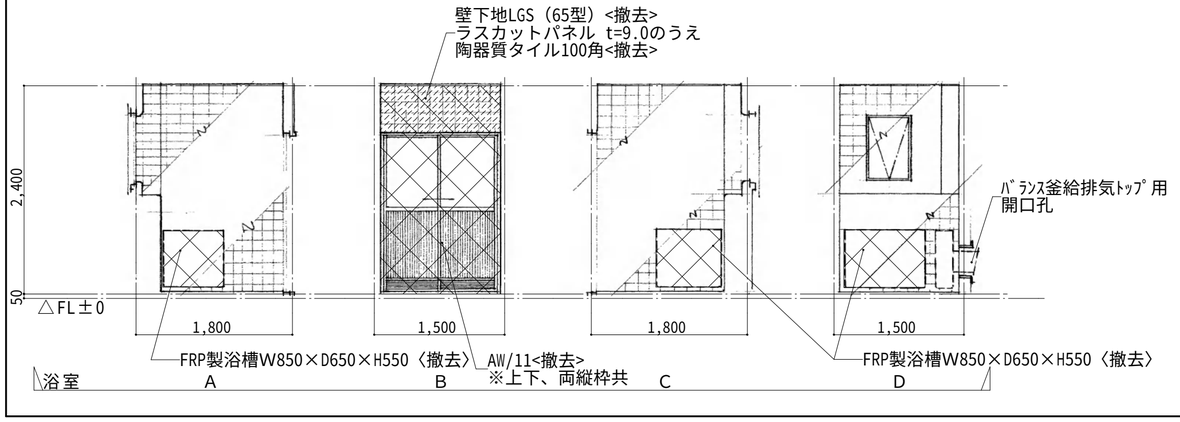
［詰所］改修前　水回り平面詳細図・建具伏図　S=1:50

凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

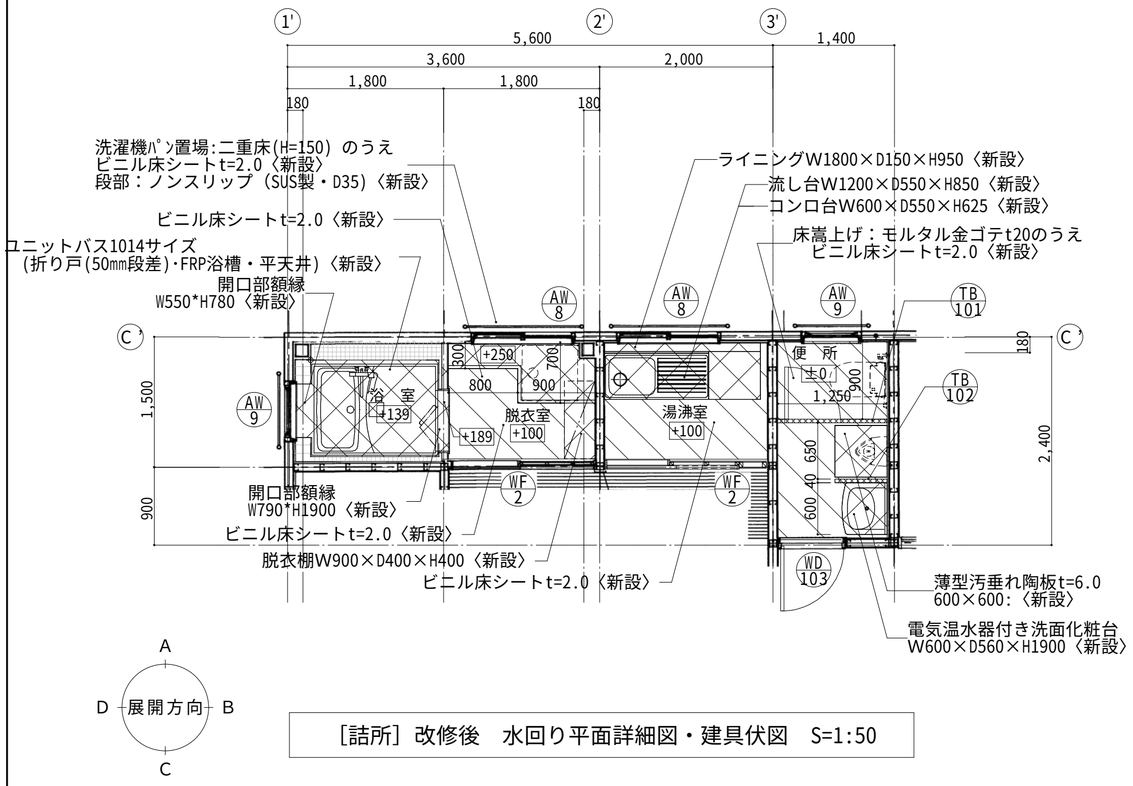






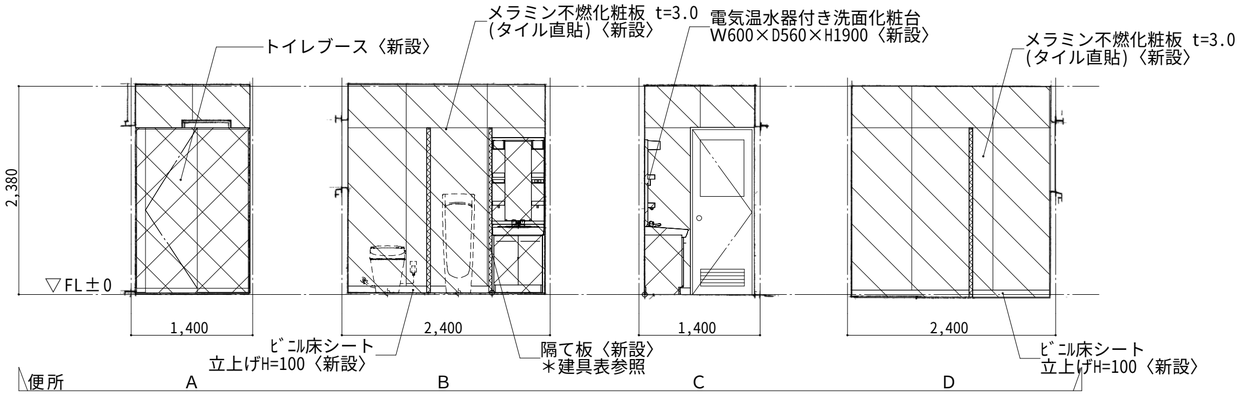


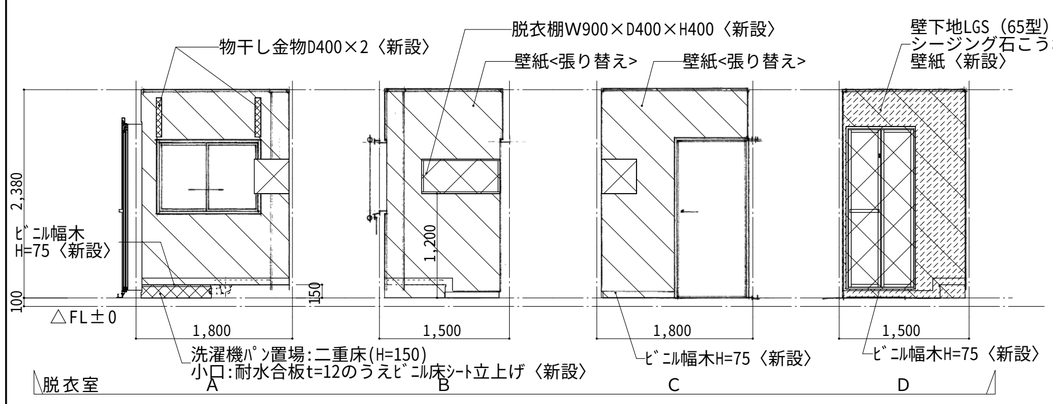
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前　水回り平面詳細図・建具伏図・展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３３

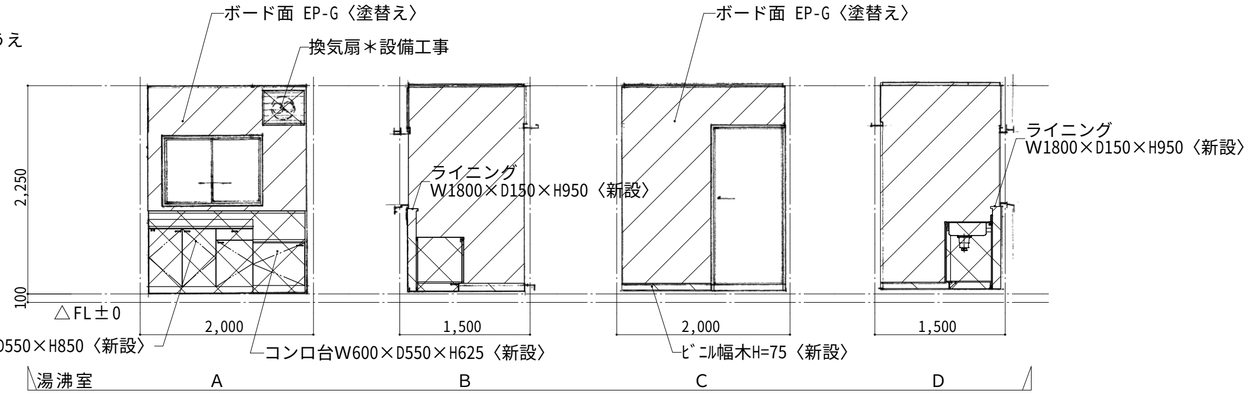


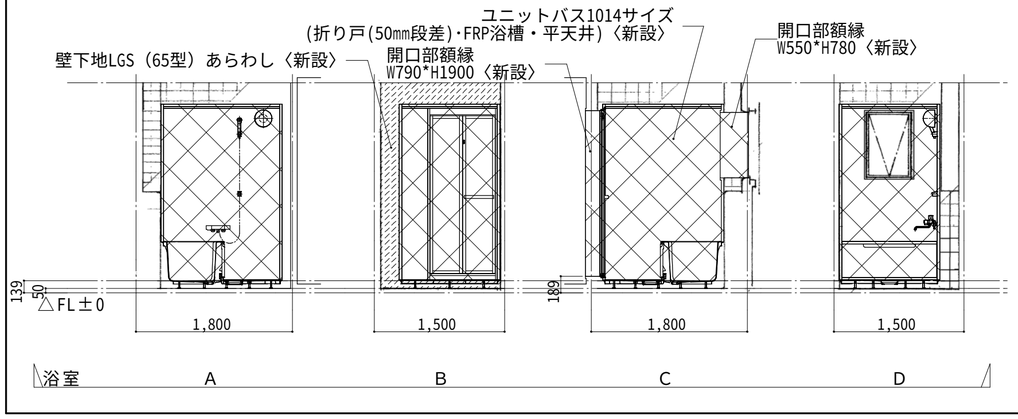
［詰所］改修後　水回り平面詳細図・建具伏図　S=1:50

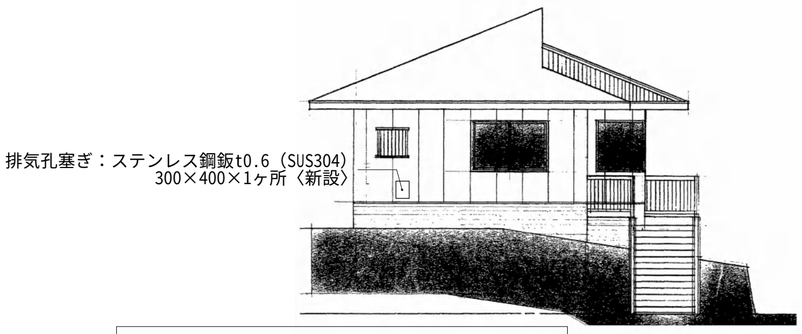
凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈新設〉を示す
	塗装面〈塗替え〉を示す
	〈新設〉を示す
	LGS壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す





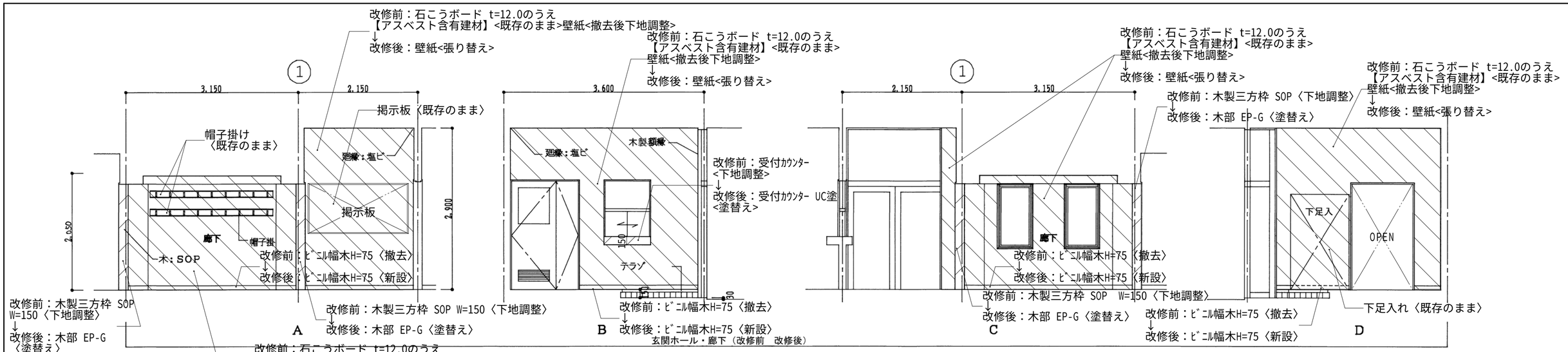


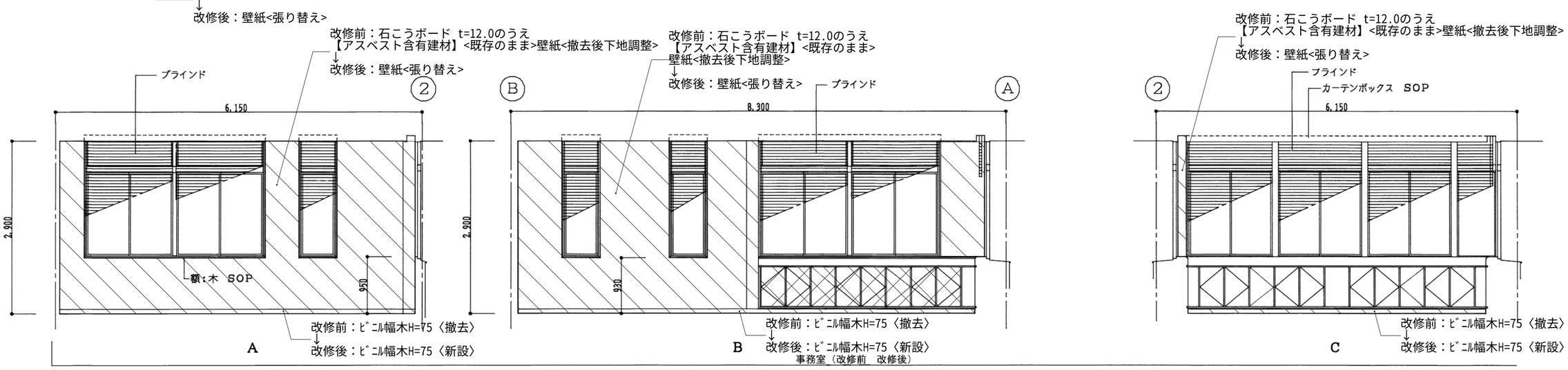


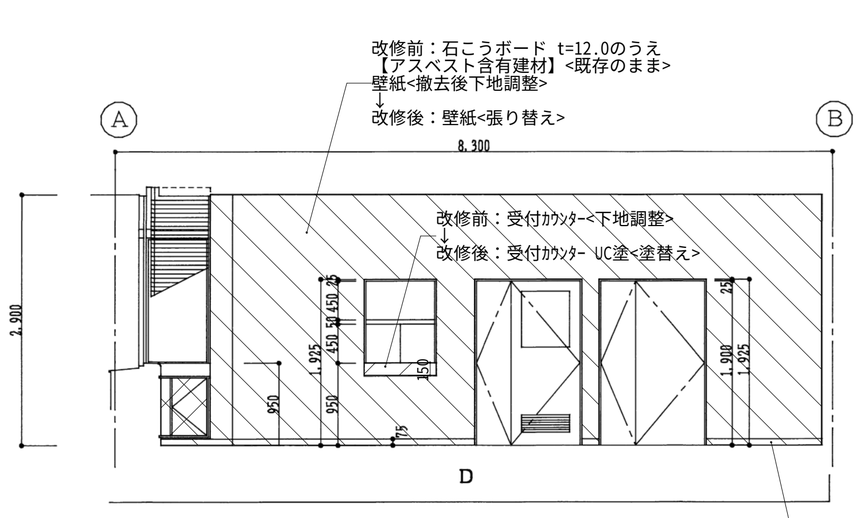


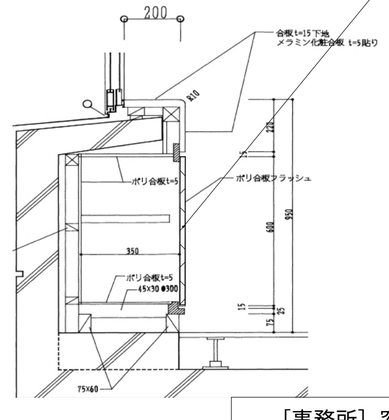
［詰所］改修後　西側立面図　S=1:100

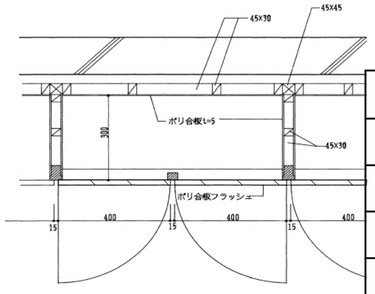
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修後　水回り平面詳細図・建具伏図・展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３４











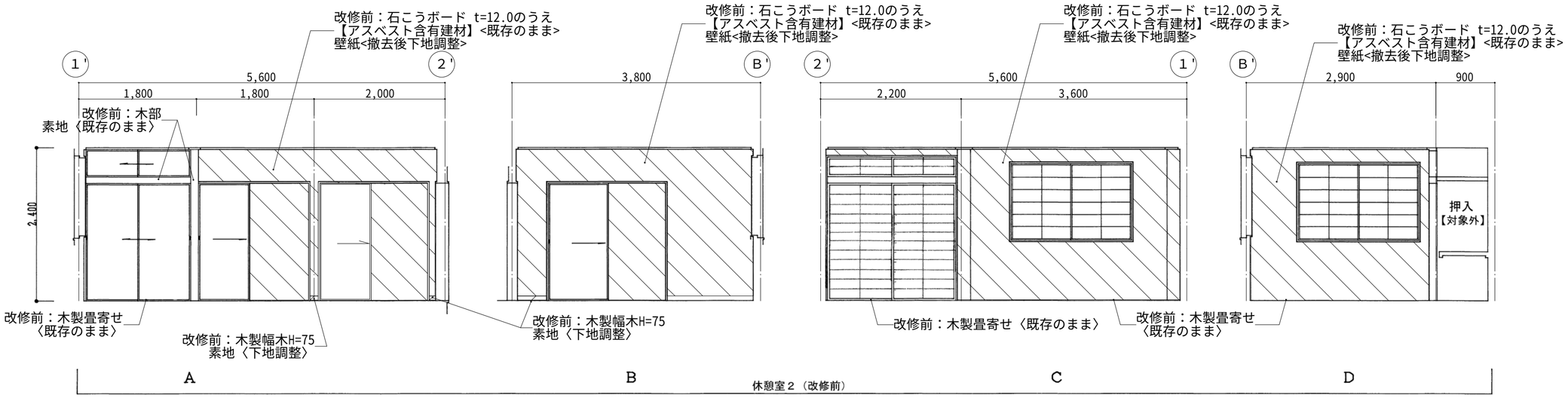
改修前：窓下収納ﾌﾗｯｼｭ片開き扉×8枚<撤去>
t=20・標準金物一式・丁番・取っ手
↓
改修後：窓下収納ﾌﾗｯｼｭ片開き扉×8枚〈新設〉
t=20・標準金物一式・丁番・取っ手

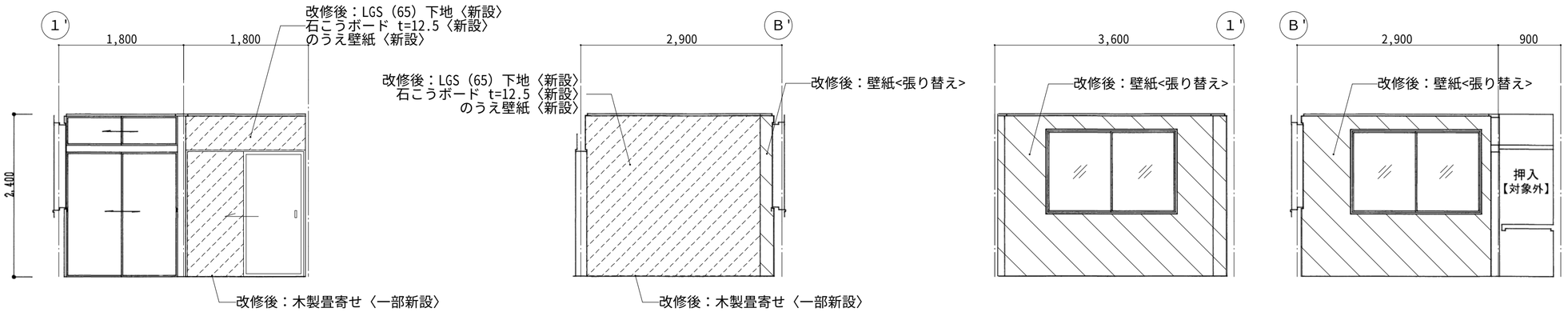
改修前：ﾋﾞﾆﾙ幅木H=75〈撤去〉
↓
改修後：ﾋﾞﾆﾙ幅木H=75〈新設〉

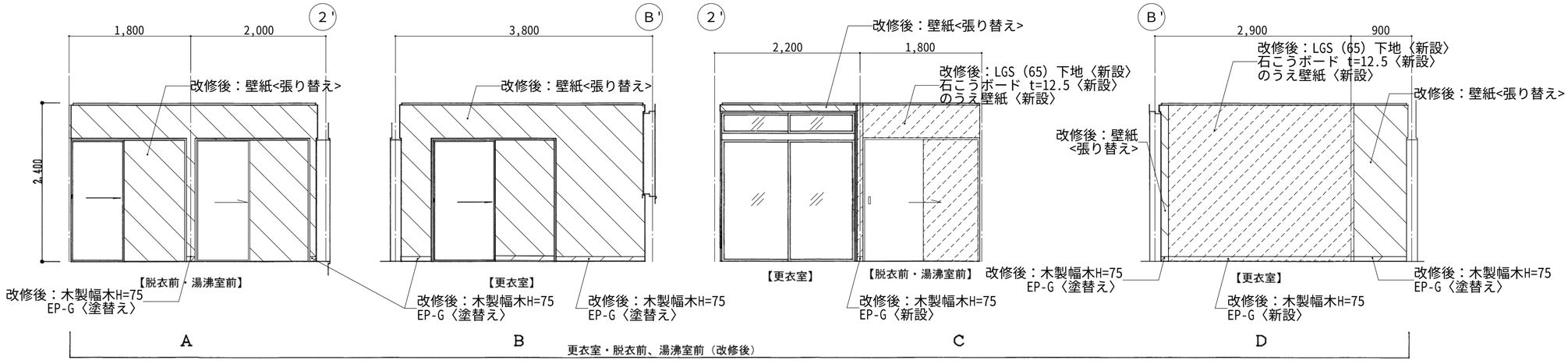
［事務所］窓下収納　詳細図　S=1:20

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	改修後：LGS壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（１）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３５

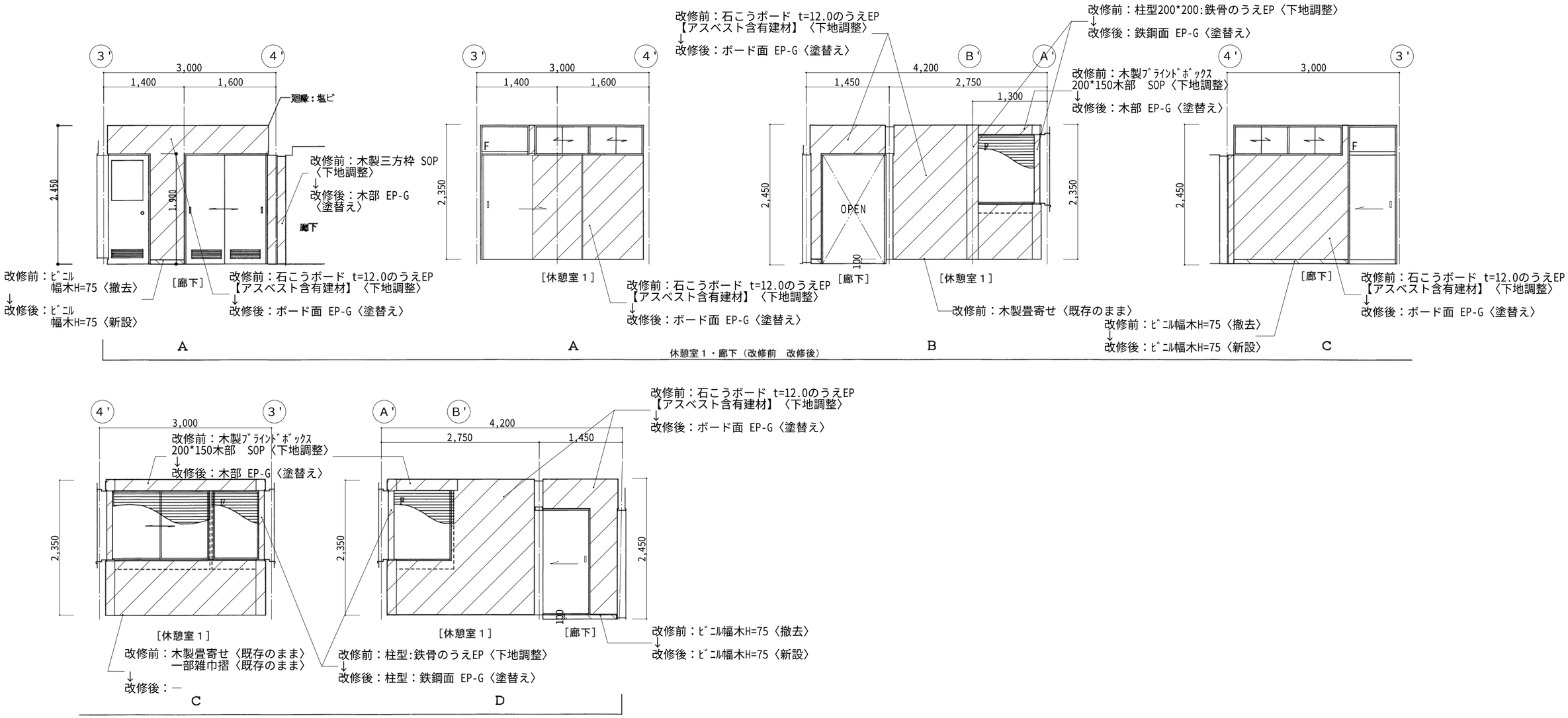






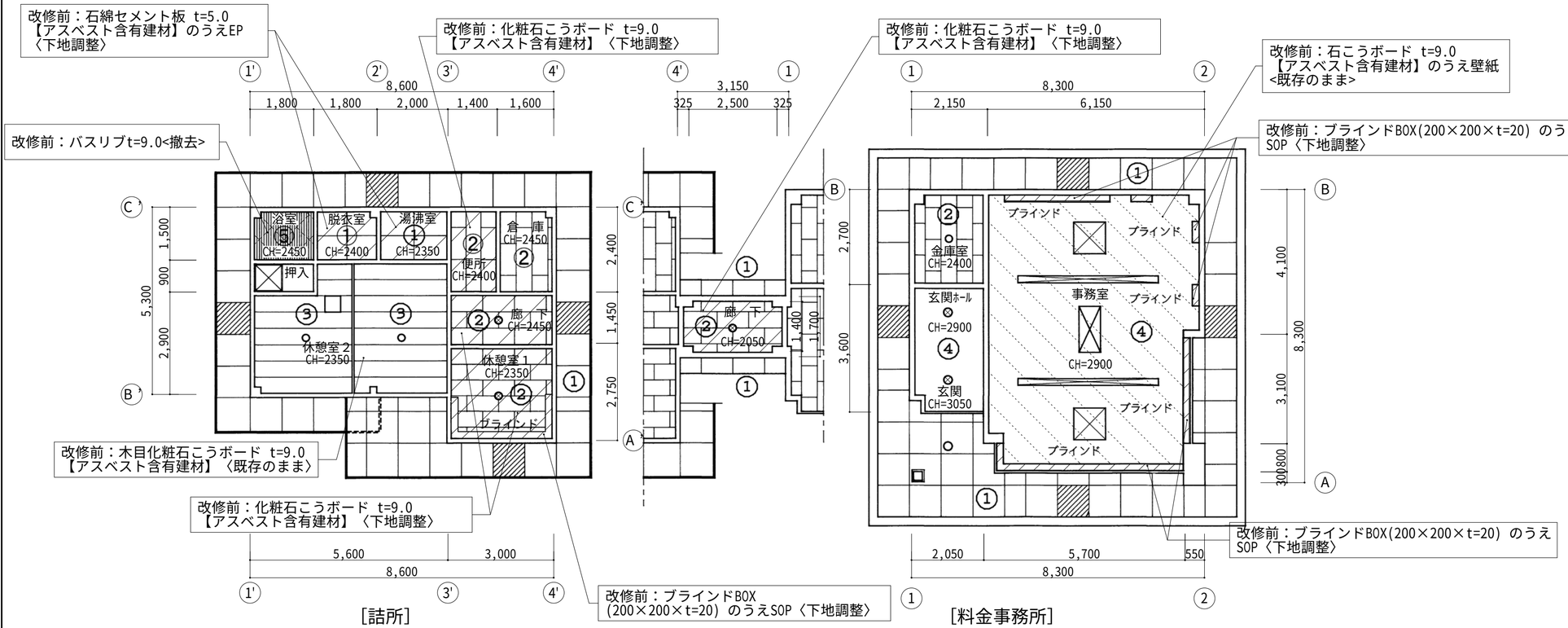
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	改修後：LGS壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（2）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３６



凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	改修後：LGS壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（3）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３７

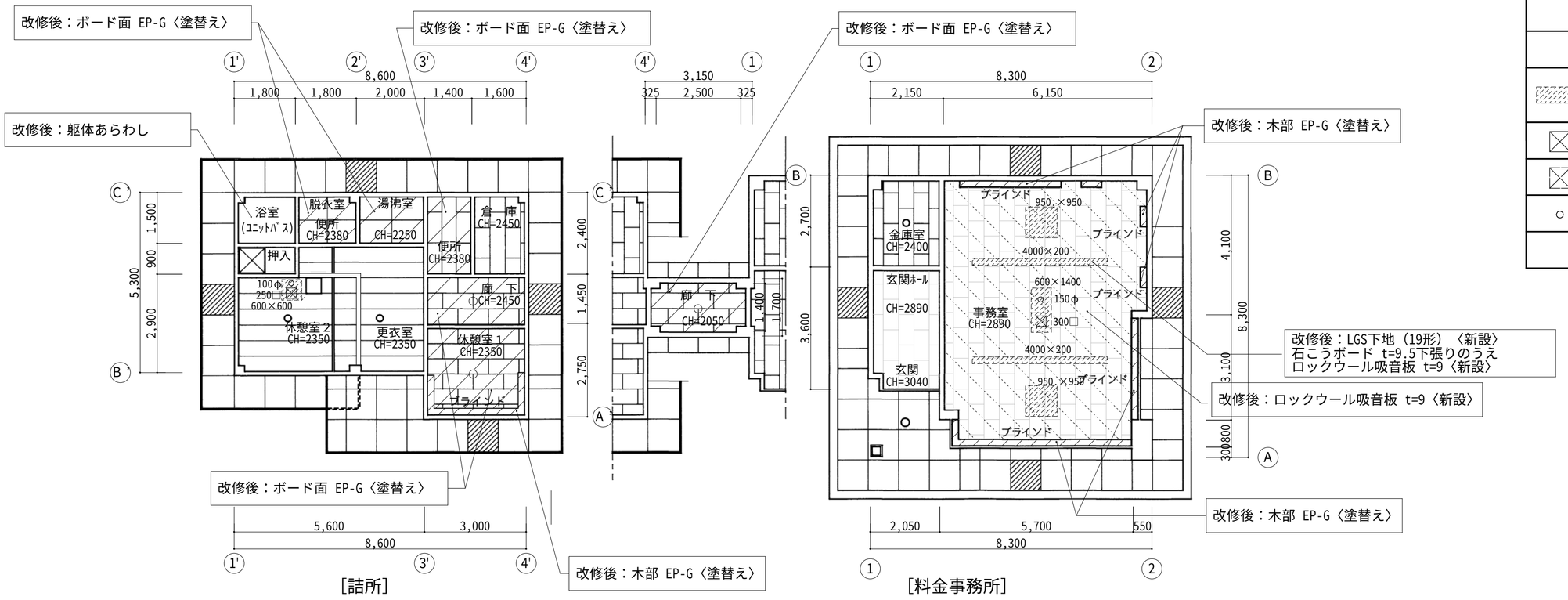


［事務所・詰所］改修前　天井伏図　S=1:100

■改修前凡例

①	石綿セメント板 t=5 （目透かし）の上EP塗
②	化粧石膏ボード t=9 （ジプトーン）
③	化粧石膏ボード t=9 （木目）
④	石膏ボード t=9 の上 ビニールクロス貼り
⑤	バスリブt=9.0
	有孔板使用箇所を示す

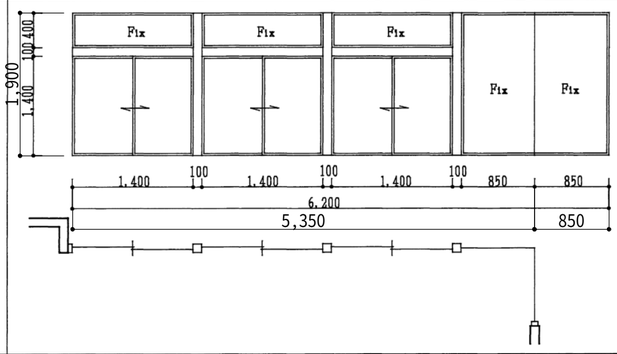
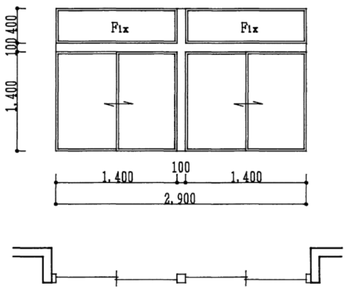
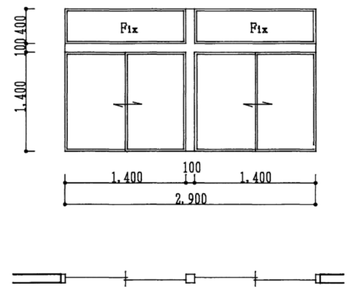
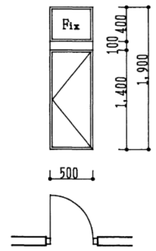
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈既存のまま〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：仕上材〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	改修前：設備機器〈撤去〉（別途設備工事） 改修後：LGS下地（19形）<新設>のうえ 天井仕上〈新設〉を示す
	改修前：設備機器〈撤去〉（別途設備工事）
	改修後：設備機器 開口補強 〈新設〉
○	改修後：設備機器 開口補強〈新設〉
	改修後：天井点検口600×600〈新設〉（×10か所） （位置は設備工事と協議）

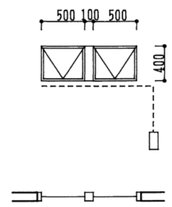
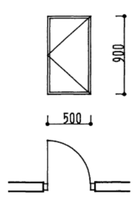
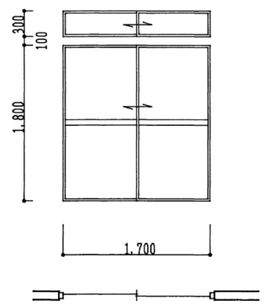
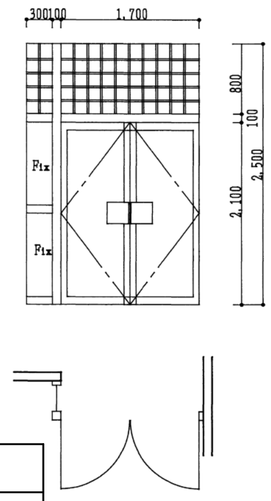


［事務所・詰所］改修後　天井伏図　S=1:100

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　天井伏図		
縮　尺	1/100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３８

（事務所・詰所）改修前・改修後　建具表　S=1:50

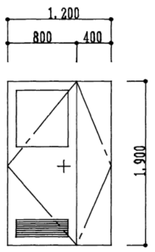
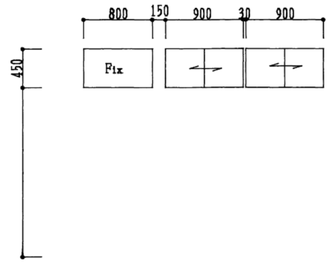
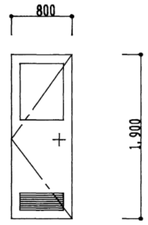
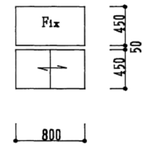
名　称	AW 1　引違い窓（連窓）　上部：ハメ殺し窓　×1　（事務室）	AW 2　引違い窓（連窓）　上部：ハメ殺し窓　×1　（事務室）	AW 3　引違い窓（連窓）　上部：ハメ殺し窓　×1　（事務室）	AW 4　開き窓　上部：ハメ殺し窓　×3　（事務室）
仕　様	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70
硝　子	FL5	FL5	FL5	FL5
金　物	水切　w=330　内部アングル（4方）　網戸（ステンレス） 附属金物一式	水切　w=330　内部アングル（4方）　網戸（ステンレス） 附属金物一式	水切　w=35　内部アングル（4方）　網戸（ステンレス） 附属金物一式	水切　w=35　内部アングル（4方） 附属金物一式
型　状				
改修内容	ブ 網 額 木 ガB	ブ 網 額 木	ブ 網 額 木 ガB	ブ　額 木 ガB

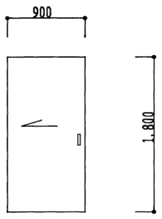
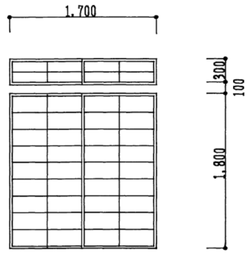
名　称	AW 5　内倒し窓（連窓）　×1　（金庫室）	AW 6　開き窓　×2　（廊下）	AWD 1　引違い窓　×1（休憩室1）	AD 1　押板付ドア　×1　（玄関）
仕　様	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：70	アルミ製サッシ（カラー）　枠見込：100
硝　子	RW6.8	FL5	FL5	繰入りトーメイ　t=6.8
金　物	水切　w=35　内部アングル（4方） 附属金物一式　オペレーター 外部：面格子付　(30×30)	水切　w=85　内部アングル（4方） 附属金物一式	水切　w=35　内部アングル（4方）　網戸（ステンレス） 附属金物一式	押板　ピボットヒンジ　シリンダー錠 フランス落し　ステンレス沓摺 内部アングル（3方）　附属金物一式
型　状				
改修内容	<既存のまま>	額	網 額 木	額

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）			
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す	金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）	ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉	ガB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木製建具・木枠(120×20) のうえSOP〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表（1）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－３９

（事務所・詰所）改修前・改修後　建具表　S=1:50

名　称	(WD 1) 親子扉　×2　（事務室，金庫室）	(WD 2) FIX+引き違い連窓欄間窓　×1　（休憩室１）	(WD 3)(WD 103) 片開き扉　×1　（便所）	(WW 1) 引違い窓　上部：ハメ殺し窓　×1　（事務室）	
仕　様	木製額入フラッシュ戸（シナ合板）SOP		木製額入フラッシュ戸（シナ合板）SOP		
硝　子	型板4　見込：36	型板4　FL3　（欄間）	型板4　見込：36　枠：150	FL6　FL3　（ハメ殺し窓）	
金　物	ステンレス丁番　ドアチェック　シリンダー錠 フランス落し　プラスチックガラリ 沓摺ステンレス　t=2	引手金物　内締まり鍵	ステンレス丁番　ドアチェック　シリンダー錠 プラスチックガラリ 沓摺ステンレス　t=2	ソロバンレール　引き手溝	
型　状					
改修内容			改修前:WD-3〈撤去〉 改修後:WD-103〈新設〉		

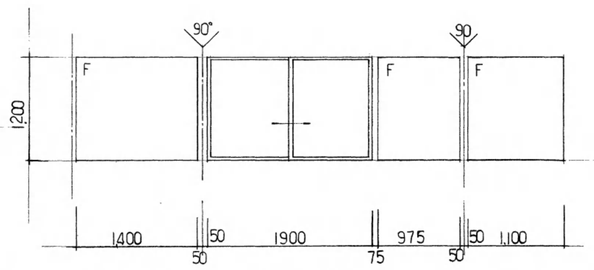
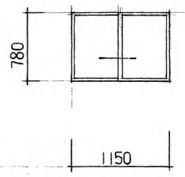
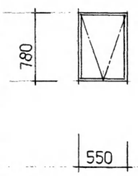
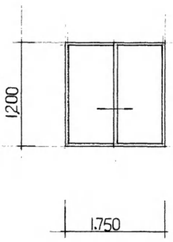
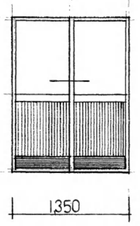
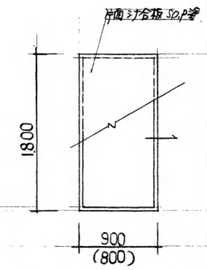
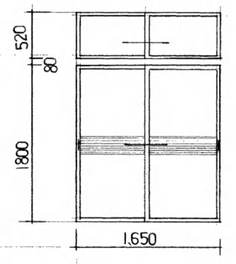
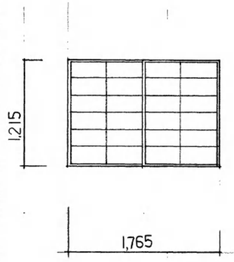
名　称	(WF 1) 引戸　×１　（休憩室１）	(S 1) 引き違い障子　×1　改修前：（休憩室２）→改修後：（更衣室）
仕　様	片引フラッシュ戸	スプルース
硝　子	見込：36	見込：30
金　物	彫込引手 Vレール、戸車 両面化粧シート貼	彫込引手
型　状		
改修内容	<既存のまま>	改修前：〈撤去〉

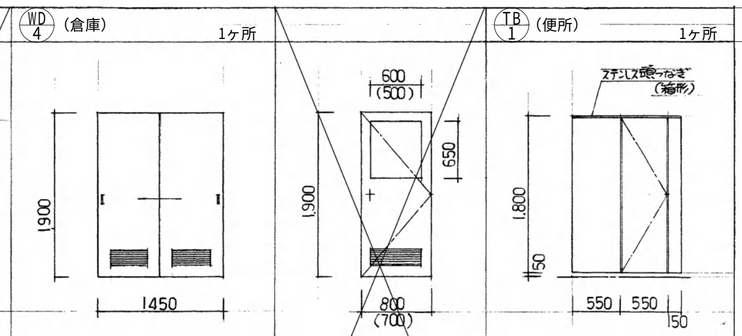
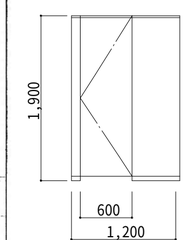
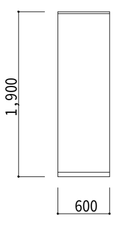
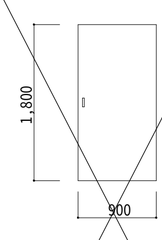
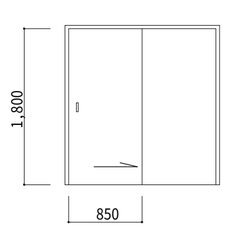
凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~	金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~	ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
額	改修前：木額縁(70×20）のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉	ブB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20）のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木製建具・木枠(120×20）のうえSOP〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表（2）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４０

［詰所］改修前・改修後　建具表　S=1:50

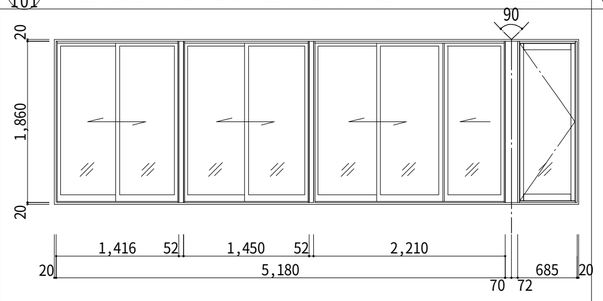
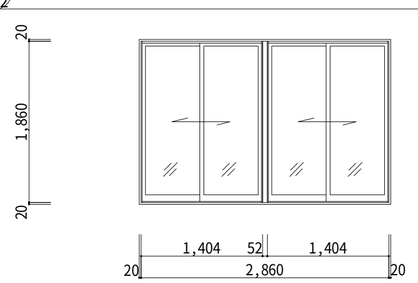
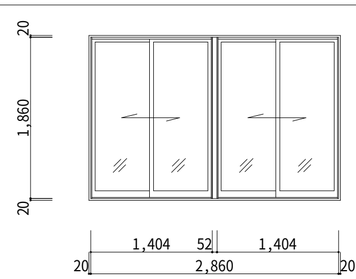
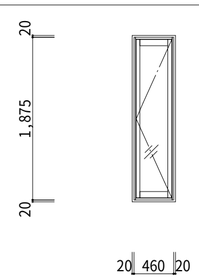
符号	AW 7 (休憩室１) 1ヶ所	AW 8 (倉庫・湯沸室・脱衣室) 3ヶ所	AW 9 (便所・浴室) 2ヶ所	AW 10 (休憩室２) 2ヶ所	AW 11 (浴室) 1ヶ所	WF 2 / WF 2' WF/2 (湯沸室・脱衣室) 2ヶ所 WF/2' (休憩室２) 1ヶ所	WF 3 (押入) 1ヶ所	S 2 (休憩室２) 2ヶ所
姿図								
仕上	ハメ殺し窓、引違窓	引違窓	外倒し窓	引違窓	引違戸	フラッシュ片引戸（片面ﾌｧｽﾄﾞ）	板ﾌｽﾏ（天袋共）	障子戸
硝子	線入りガラス　トーメイ　T6.8	網入りガラス 型板 T6.8	網入りガラス 型板 T6.8	線入りガラス、トーメイ、T6.8	上部 型板ガラス T4ﾐﾘ　下部 アルミパネル（下部ガラリ付）	—	（既存 ガシュー塗）	—
建具金物	水切、方立、クレセント	水切、クレセント	附属便物一式、水切、	水切、クレセント		取込引手 ステンレス製 プラスチック製 各1、プラスチック戸当り 見込36、	引手（プラスチック製）プラスチック戸当り 見込30、	引手（プラスチック製）プラスチック戸当り 見込27
備考	見込70、網戸（ステンレス）	見込70、網戸（ステンレス）	見込70	見込70、網戸（ステンレス）	見込70、当框ステンレス t=2.0	片面S.O.P塗、片面 新鳥の子貼り、	片面、新鳥の子貼り、片面、書紙貼り、	障子紙貼り、
改修内容	ブ 網 額 木 ブB	網 額		網 額 木	改修前：<撤去>	改修前：WF/2'<撤去>	<既存のまま>	改修前：<撤去>

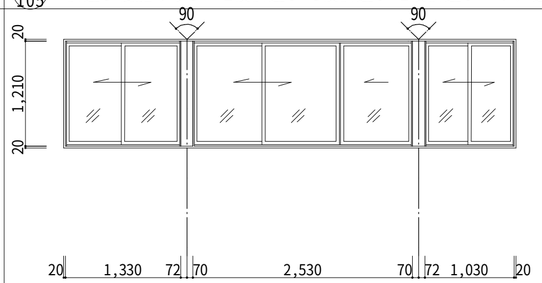
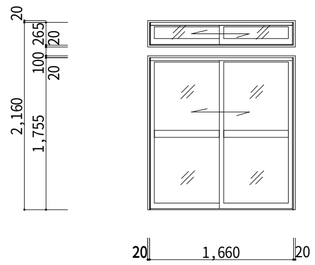
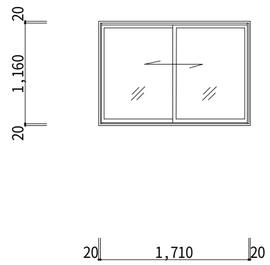
符号	WD 4 (倉庫) 1ヶ所	TB 1 (便所) 1ヶ所	TB 101 (便所) 1ヶ所	TB 102 (便所) 1ヶ所	WF 102 (更衣室) 1ヶ所	WF 104 (休憩室２・更衣室) 2ヶ所
姿図						
仕上	引違窓、上部 ハメ殺し、	親子両開きフラッシュ戸（ｼﾞﾝｶﾞｲ板） S.O.P塗、	引違いフラッシュ戸（ｼﾞﾝｶﾞｲ板） S.O.P塗	線入り フラッシュ戸（ｼﾞﾝｶﾞｲ板）S.O.P	ポリエステル合板（t=4）フラッシュ戸	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	フラッシュ片引き戸
硝子	引違 トーメイ T6.0 ハメ殺し トーメイ T3.0	型板ガラス、t=4.0	—	型板ガラス t=4.0	—	—	—	—
建具金物	ソロバンレール付	ステンレス巻ﾚﾊﾞｰ6ｲﾝﾁ ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ｺﾌﾞﾗｽ巻ﾋﾟﾝ、シリンダー錠、	引手（ステンレス φ=90）戸車 プラスチック戸当り	ステンレス巻ﾚ27-3ｲﾝﾁ ステンレス空錠、ステンレス戸当り、	ラバトリーヒンジ、マジャストサポート表示錠等一式	ステンレス頭つなぎ40×20 ラッチ錠、グレビティヒンジ	ステンレス頭つなぎ40×20	彫り込引手　アルミ製Vレール　戸車
備考	引手ミゾなき、	見込36、	見込36	見込36、	見込40、	見込　40	見込　40	見込　36・枠50・150
		プラスチックがラリ、当框ステンレス t=2.0	プラスチックがラリ 当框ステンレス t=2.0	プラスチックがラリ 当框ステンレス t=2.0		ステンレス巾木、表示錠	ステンレス巾木	メラミン化粧板貼 三方枠縁：EP-G
改修内容	—	—	額 木	—	改修前：<撤去>	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25・手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25・手動・ロッド式)〈新設〉を示す	金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）	ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉	ブB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木製建具・木枠(120×20) のうえSOP〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表（3）		
縮尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４１

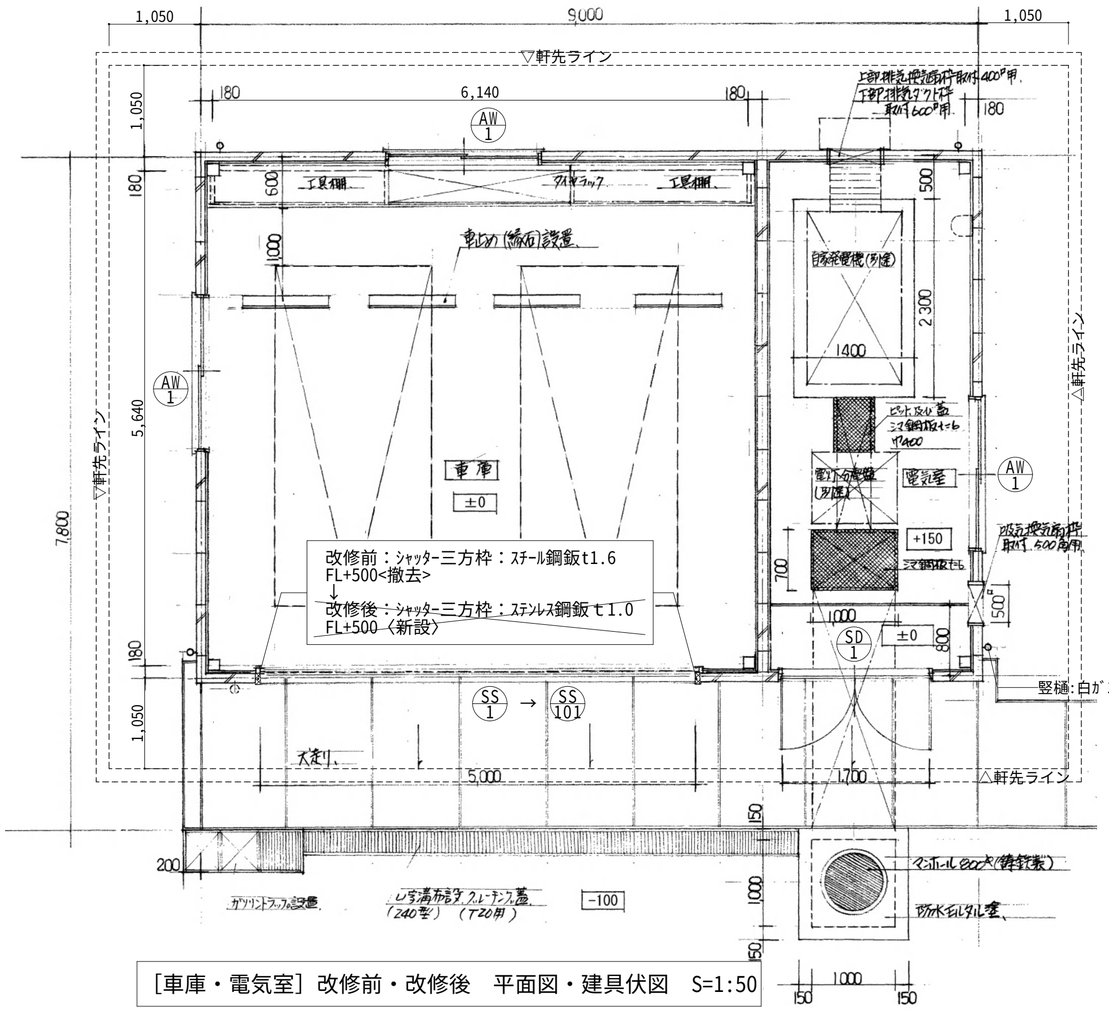
記　号	PW 101　引違い樹脂サッシ　2枚引違い×2+3枚引違い+片開　ｺｰﾅｰ連窓	PW 102　引違い樹脂サッシ　2連窓	PW 103　引違い樹脂サッシ　2連窓	PW 104　片開き樹脂サッシ
形　状				
見　込	67	67	67・50	67
仕　様	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ
使用金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント、丁番、カムラッチハンドル	標準金物一式、クレセント
使用硝子	FLt=5.0	FLt=5.0	FLt=5.0	FLt=5.0
箇所数	[事務所]事務室　1ヶ所	[事務所]事務室　1ヶ所	[事務所]事務室　1ヶ所	[事務所]事務室　3ヶ所
改修内容	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉

記　号	PW 105　引違い樹脂サッシ　2枚引違い+3枚引違い+2枚引違い　ｺｰﾅｰ連窓	PW 106　ﾗﾝﾏ付引違い樹脂サッシ	PW 107　引違い樹脂サッシ
形　状			
見　込	67	67	67
仕　様	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ
使用金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント
使用硝子	FLt=5.0	FLt=5.0	和紙調単板ｶﾞﾗｽt=5.0
箇所数	[詰所]休憩室1　1ヶ所	[詰所]更衣室　1ヶ所	[詰所]休憩室2　2ヶ所
改修内容	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す	金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）	ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉	ﾌﾞB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木製建具・木枠(120×20) のうえSOP〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表（4）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４２

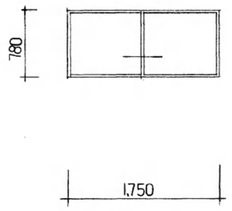
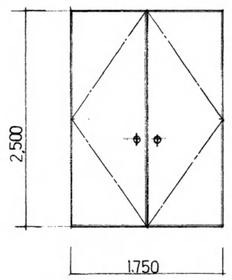
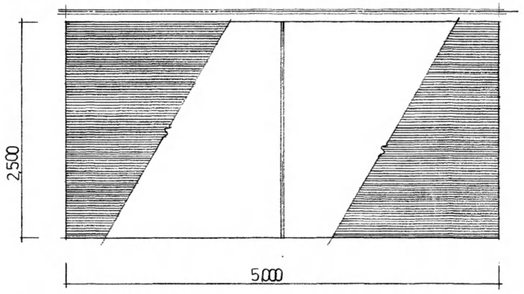


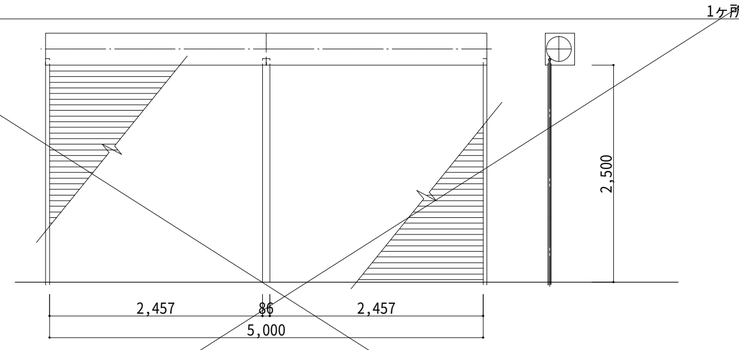
改修前：ｼｬｯﾀｰ三方枠：ｽﾁｰﾙ鋼鈑t1.6
FL+500<撤去>
↓
改修後：ｼｬｯﾀｰ三方枠：ｽﾃﾝﾚｽ鋼鈑ｔ1.0
FL+500〈新設〉

竪樋:白ｶﾞｽ管<既存のまま>

［車庫・電気室］改修前・改修後　平面図・建具伏図　S=1:50

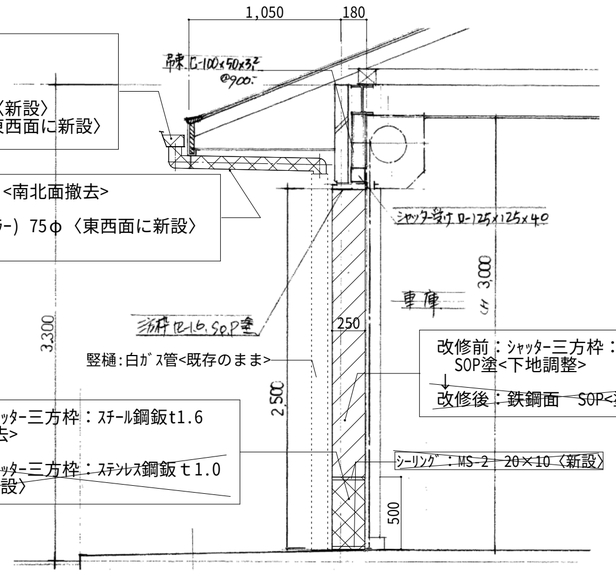
［車庫・電気室］改修前・改修後　建具表　S=1:50

符　号	AW 1（車庫・電気室）　3ヶ所	SD 1（電気室）　1ヶ所	SS 1（車庫）　1ヶ所
姿　図			
仕　上	引違窓	ｽﾁｰﾙ製ﾌﾗｯｼｭ両開き戸　S.O.P塗	ｽﾁｰﾙ製 軽量ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｼｬｯﾀｰ
硝　子	鋼入りｶﾞﾗｽ、型板　7.6.8	―（鋼板t=1.2）	（亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=0.8）
建具金物	水切、クレセント	ﾋﾟﾎﾟｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾌﾗﾝｽ落し、ｽﾄｯﾊﾟｰ	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ、手掛　ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠等附属金物一式
備　考	見込 70	額縁 t=1.6 加工　見込 枠75、扉40	額縁 t=1.6 加工
		首摺 ｽﾃﾝﾚｽ t=2.0（SUS304）	
改修内容	<既存のまま>	<既存のまま>	改修前：<撤去>

符　号	SS 1（車庫）　1ヶ所
姿　図	
仕　上	スチール製二連軽量シャッター（手動）
硝　子	―
建具金物	SUS座板、SUSガイドレール、移動式中柱、まぐさ、ケース（角型）、ブラケット：スチール製　ディンプル鍵
備　考	スラット：高耐食カラー鋼鈑t0.8
改修内容	改修後：〈新設〉

改修前：軒樋（四周）　銅製t0.4半丸100φ<撤去>
集水器　銅製t0.4 4箇所125角<南北面撤去>
↓
改修後：軒樋（四周）　硬質塩ビ製(ｶﾗｰ) 前高150型〈新設〉
集水器　硬質塩ビ製(ｶﾗｰ)250×300 4箇所〈東西面に新設〉

改修前：呼び樋　銅製t0.4 75φ<南北面撤去>
↓
改修後：呼び樋　硬質塩ビ製(ｶﾗｰ) 75φ〈東西面に新設〉
既存縦樋に接続



竪樋:白ｶﾞｽ管<既存のまま>

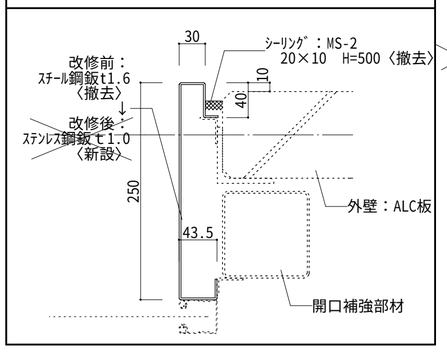
改修前：ｼｬｯﾀｰ三方枠：ｽﾁｰﾙ鋼鈑t1.6
SOP塗<下地調整>
↓
改修後：鉄鋼面　SOP<塗替え>

改修前：ｼｬｯﾀｰ三方枠：ｽﾁｰﾙ鋼鈑t1.6
FL+500<撤去>
↓
改修後：ｼｬｯﾀｰ三方枠：ｽﾃﾝﾚｽ鋼鈑ｔ1.0
FL+500〈新設〉

ｼｰﾘﾝｸﾞ：MS-2　20×10〈新設〉

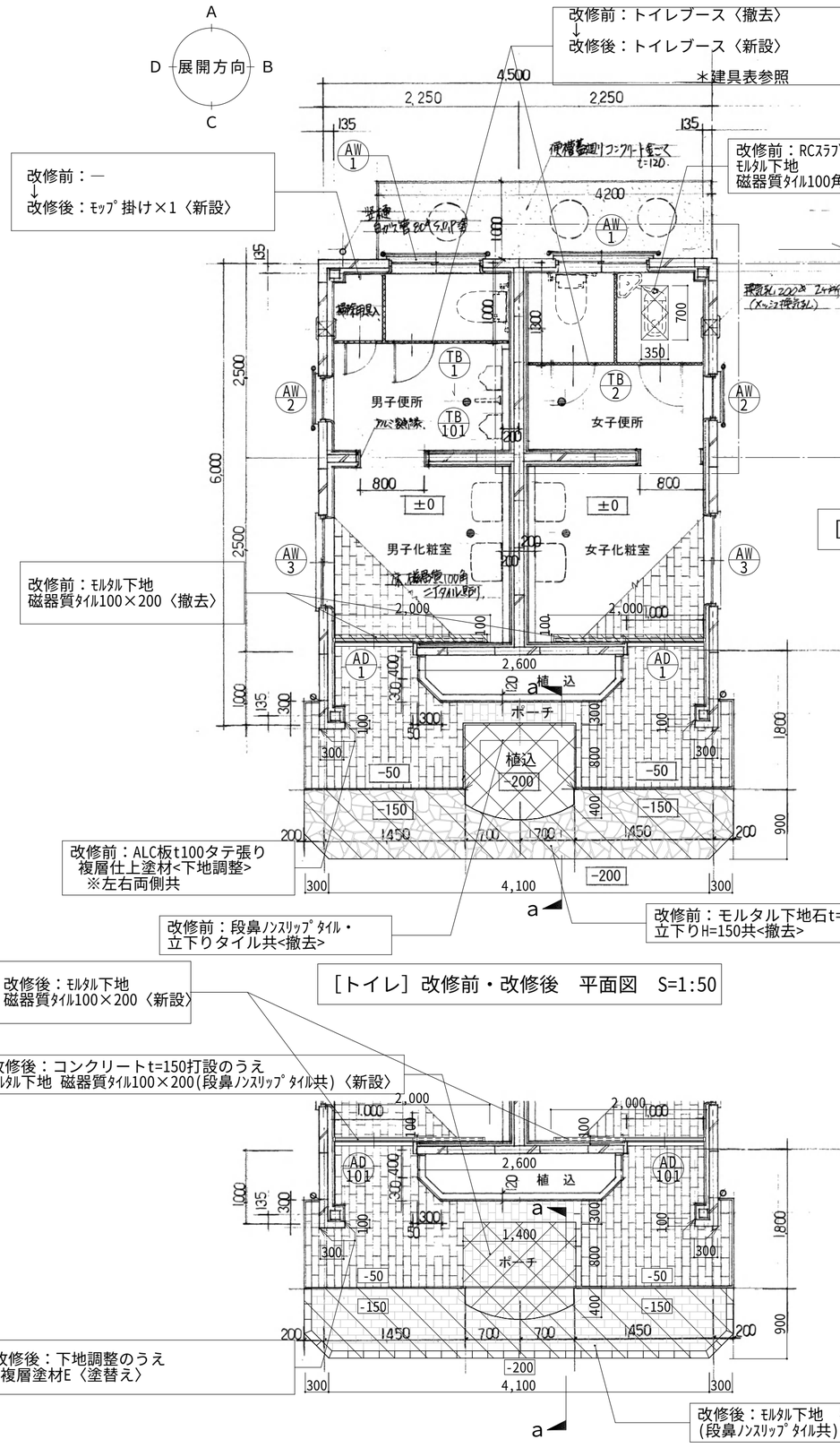
［車庫・電気室］改修前・改修後　矩計図　S=1:30

シャッター三方枠〈撤去〉〈新設〉詳細図　1/5



凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）車庫・電気室 改修前・改修後　平面図・建具伏図・建具表		
縮　尺	1/50・30・5	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４３



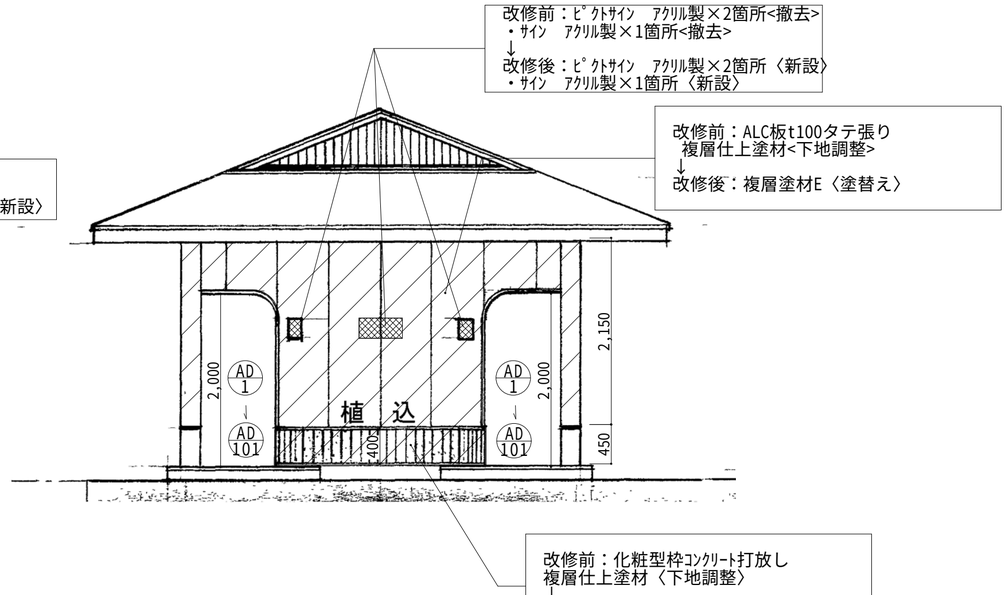
［トイレ］改修前・改修後　平面図　S=1:50

［トイレ］改修後　ポーチ平面図　S=1:50

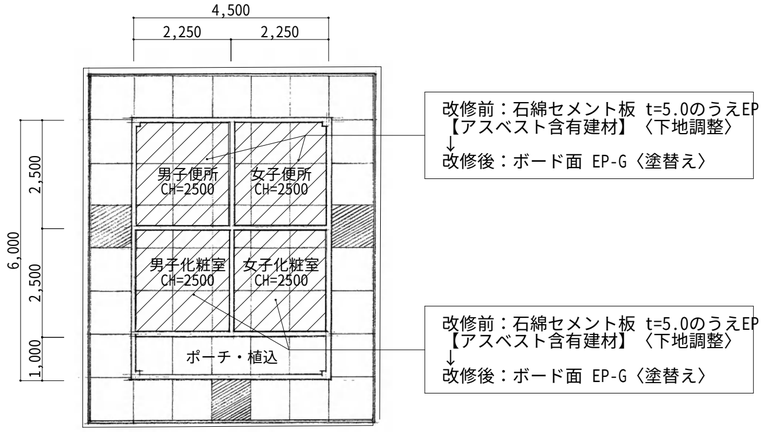
［トイレ］改修後　女子便所平面図　S=1:50

改修前　a - a 断面詳細図　S=1：30

改修後　a - a 断面詳細図　S=1：30



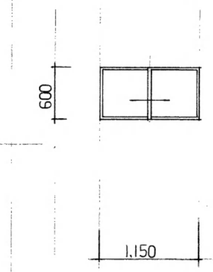
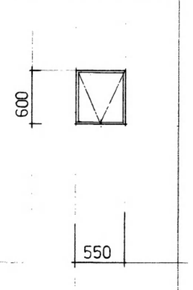
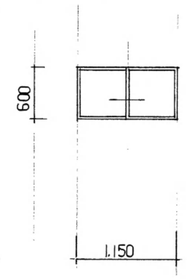
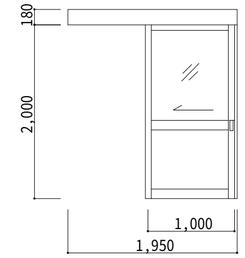
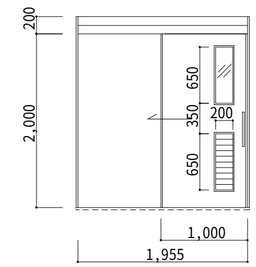
［トイレ］改修前・改修後
南側立面図　S=1:50

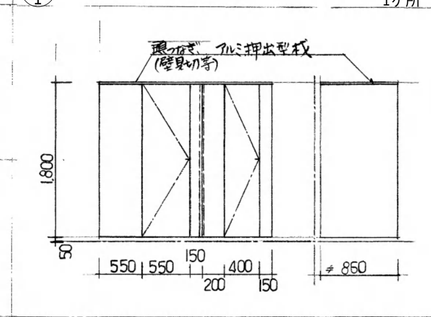
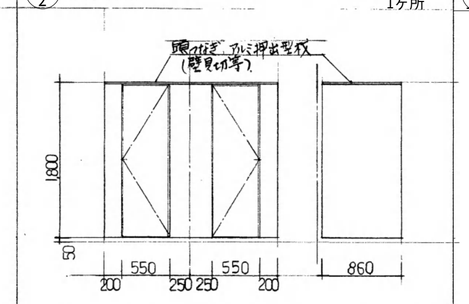
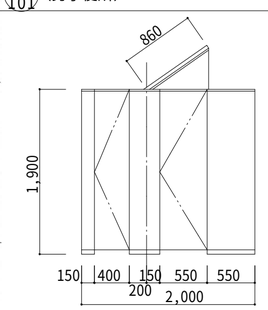
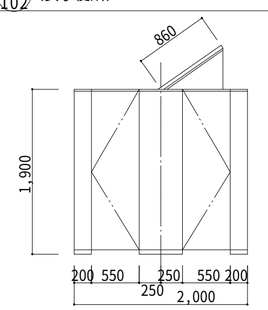


［トイレ］改修前・改修後　天井伏図　S=1:100

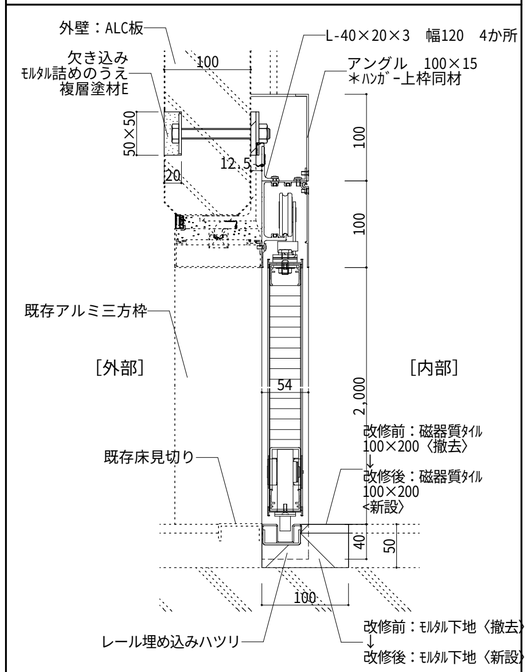
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）トイレ 改修前・改修後　平面図・立面図・天井伏図		
縮　尺	1/30・50・100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４４

符号	AW 1 (便所(男女共)) 2ヶ所	AW 2 (便所(男女共)) 2ヶ所	AW 3 (化粧室(男女共)) 2ヶ所	AD 1 (化粧室(男女共)) 1ヶ所	AD 1 (化粧室(男女共)) 1ヶ所
姿図					
仕上	アルミ製引き違い窓	アルミ製外倒し窓	アルミ製引き違い窓	アルミ製片引きハンガードア	アルミ製片引きハンガードア（フラッシュドア）
硝子	網入りガラス型板 t6.8	網入りガラス型板 t6.8	線入りガラス トーメイ t6.8	型ガラス t＝4	網入り型ガラス t6.8
建具金物	水切、クレセント	水切、付属金物一式	水切、クレセント	ハンガーレール、ハンガー車、ガイドローラー	ガラリ、ステンレス製把手L=400、戸当りパッキン、ステンレス製下レール、半自動閉鎖装置、付属金物一式
備考	見込 70	見込 70	見込 70	見込　70 —	見込　54 —
改修内容	<既存のまま>	<既存のまま>	㋮ 改修後：線入り透明ガラスt6.8<撤去> 改修後：網入り型ガラスt6.8〈新設〉	改修前：<撤去>	改修後：〈新設〉

符号	TB 1 (男子便所) 1ヶ所	TB 2 (女子便所) 1ヶ所	TB 101 (男子便所) 1ヶ所	TB 102 (女子便所) 1ヶ所
姿図				
仕上	トイレブース（化粧パーティクルボード t=30）	トイレブース（化粧パーティクルボード t=30）	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
硝子	—	—	—	—
建具金物	ラベトリーヒンジ、アジャストサポート、表示錠等一式	ラベトリーヒンジ、アジャストサポート、表示錠等一式	ステンレス頭つなぎ40×20 表示錠（非常開放付き）、標準金物一式	ステンレス頭つなぎ40×20 表示錠（非常開放付き）、標準金物一式
備考	見込 30	見込 30	見込　40 ステンレス巾木、戸当たりフック、指詰め防止	見込　40 ステンレス巾木、戸当たりフック、指詰め防止
改修内容	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉

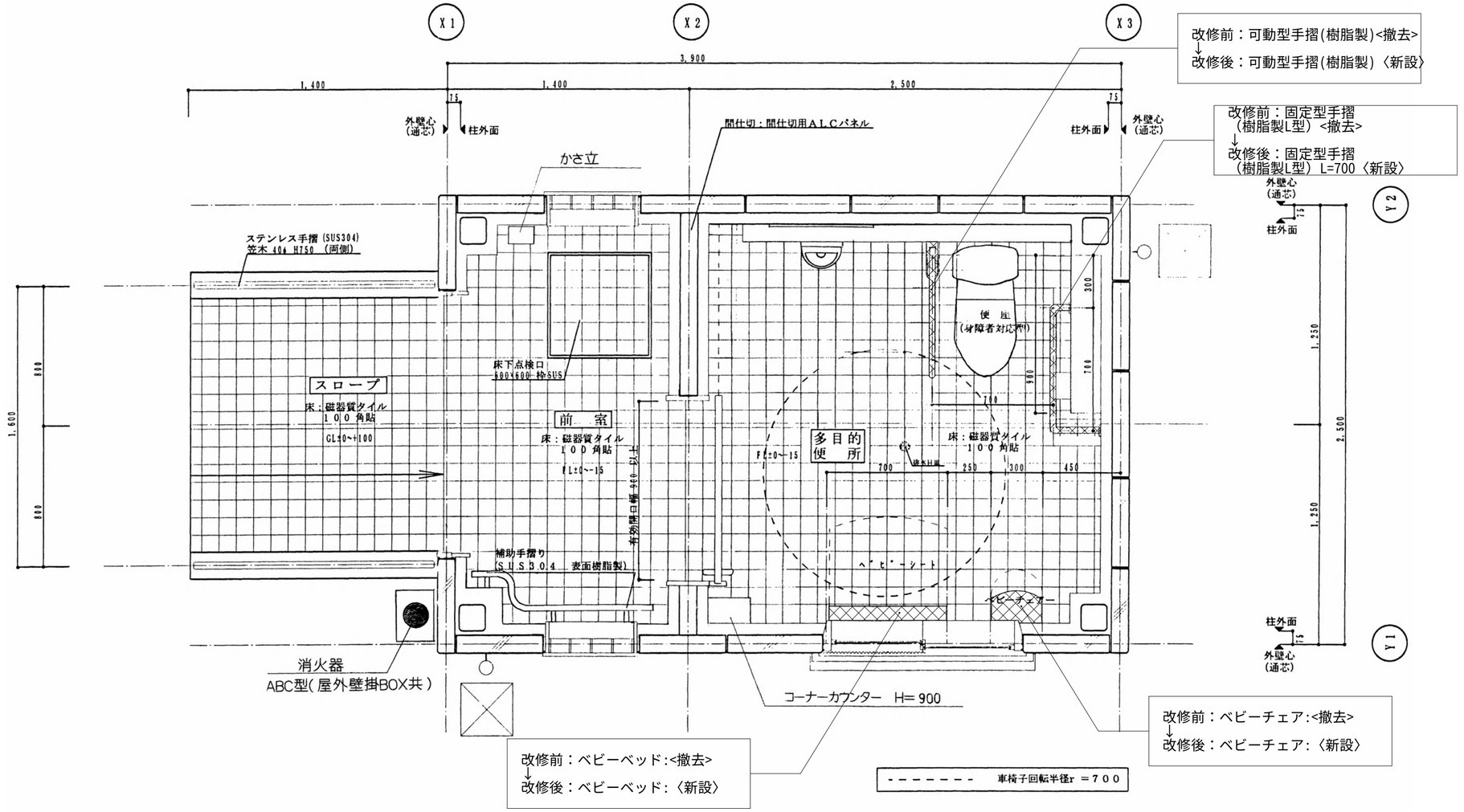
改修後　AD-101　ハンガードア詳細図　S=1：5



凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

㋫	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~	㋱	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
㋬	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~	㋮	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
㋲	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉	㋫B	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
㋭	改修前：木製建具・木枠(120×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）トイレ 改修前・改修後　建具表		
縮尺	1/50・5	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４５

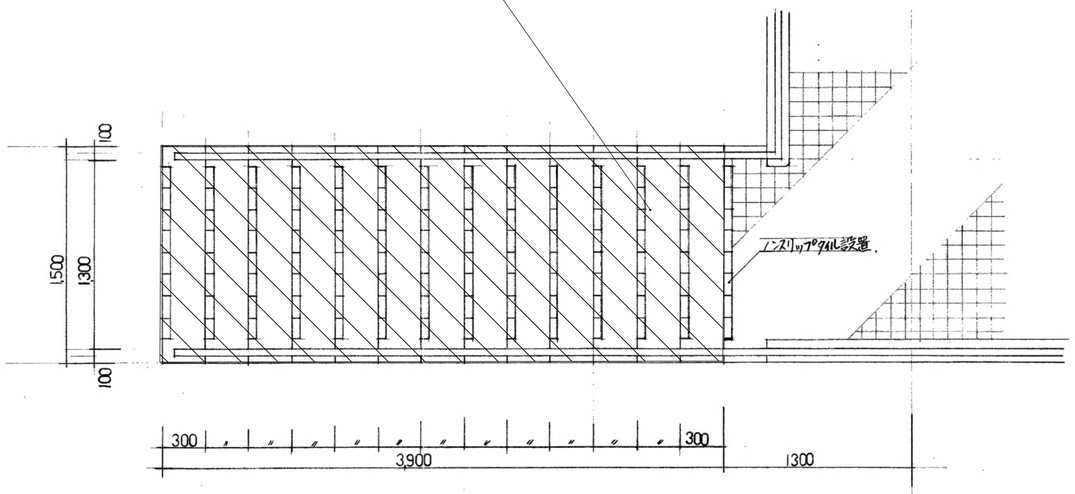


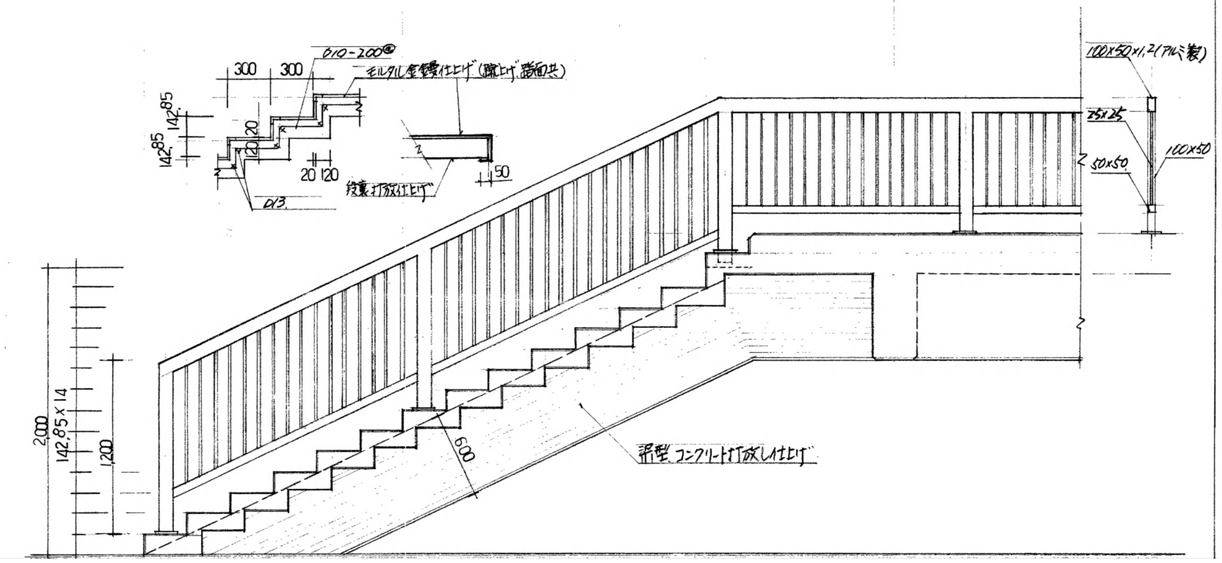
［多目的トイレ］改修前・改修後　平面図　S=1:20

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設）多目的トイレ 改修前・改修後　平面図		
縮　尺	1/20	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４６

改修前：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃt=20〈撤去〉
のうえｺﾞﾑﾁｯﾌﾟ舗装〈撤去〉
↓
改修後：モルタル金ゴテt=20〈新設〉
のうえノンスリップ塗床〈新設〉

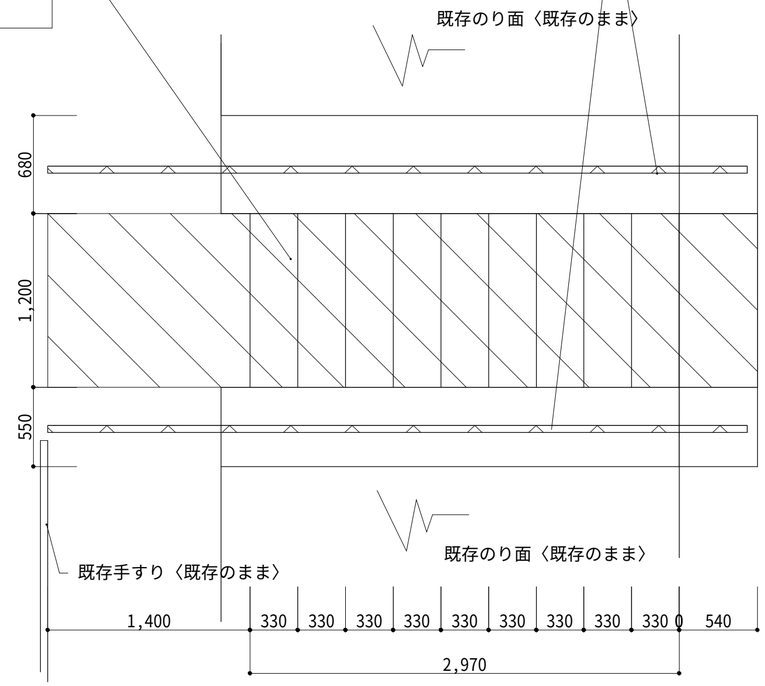




［外部階段（3）］改修前・改修後　平面図　S=1:30

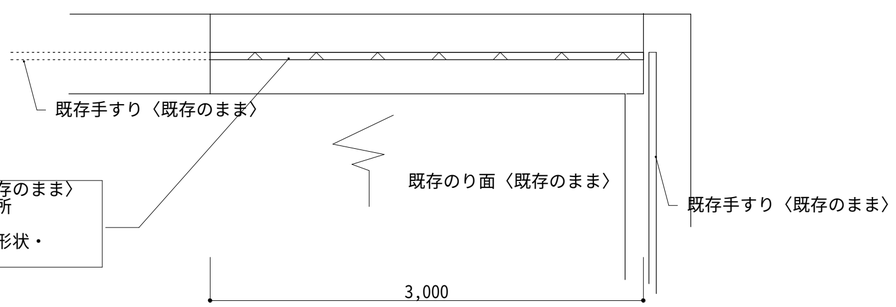
改修前：コンクリート平板〈下地調整〉
↓
改修後：モルタル金ゴテt=20〈新設〉
のうえノンスリップ塗床〈新設〉
（蹴上げH=150共）

改修前：コンクリート土留め〈既存のまま〉
柱埋め込み用コア抜き100φ×6か所
↓
改修後：アルミ製手すり（既存同形状・
柱埋め込みタイプ）〈新設〉



駐車場

［外部階段（1）］改修前・改修後　平面図　S=1:30

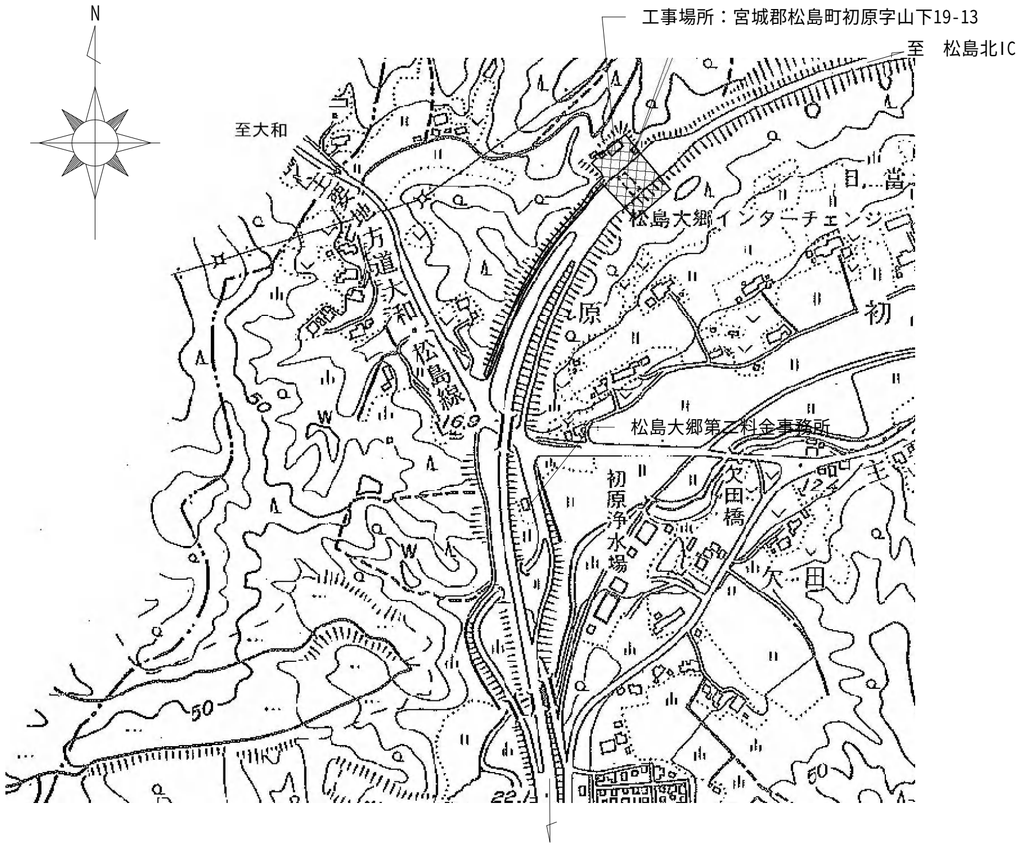


改修前：コンクリート土留め〈既存のまま〉
柱埋め込み用コア抜き100φ×4か所
↓
改修後：アルミ製手すり（既存同形状・
柱埋め込みタイプ）〈新設〉

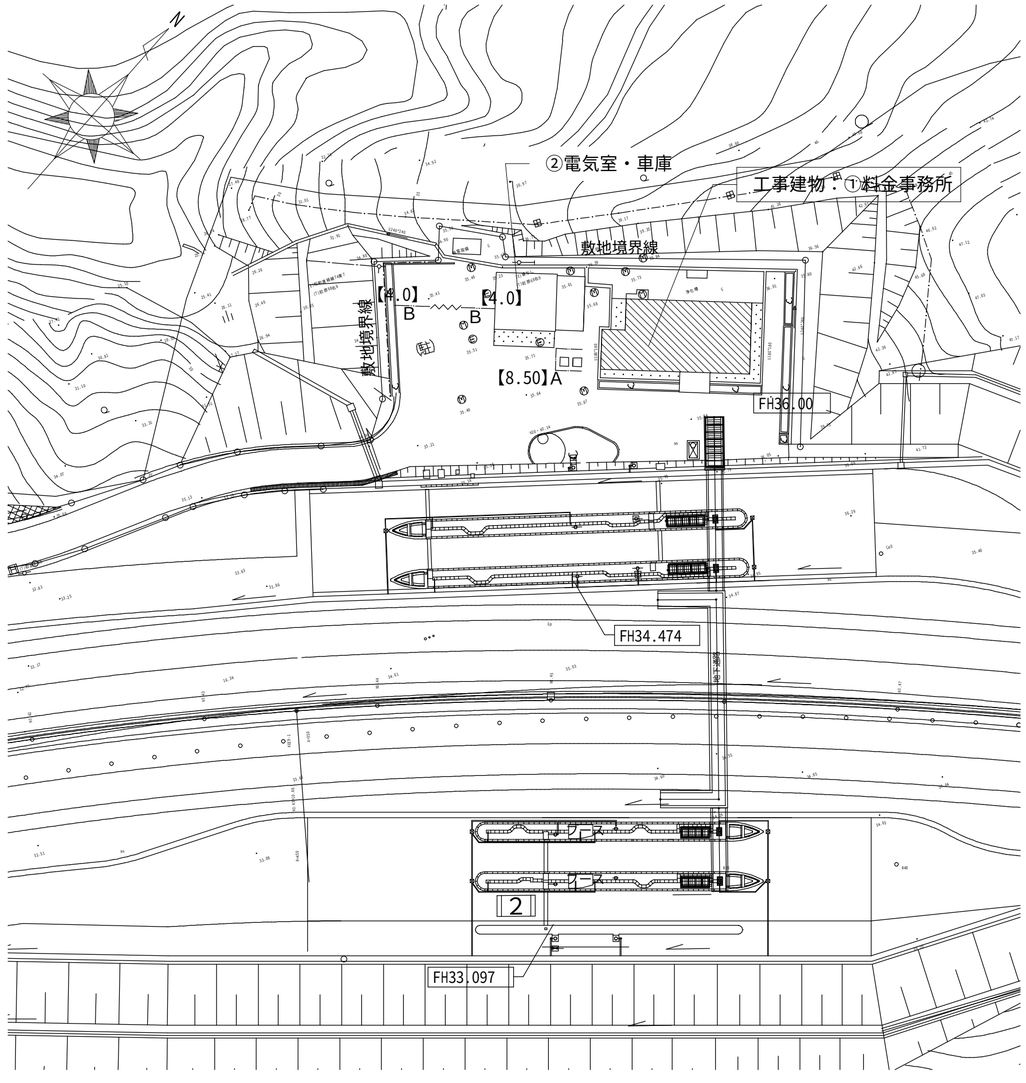
［外部　玄関前］改修前・改修後　平面図　S=1:30

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：仕上面〈下地調整〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島海岸料金事務所施設） 改修前・改修後　外構図		
縮　尺	1/30	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４７



案　内　図



配　置　図　S=1:500

仮設計画　凡例			
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】A	成形鋼版	H=2.0m	8.50m
【数量】B	単管シート	H=2.0m	8.0m
〰	シートゲート	W=3.6m×H=4.5m	1箇所
□	仮設トイレ	水洗式	２棟
アスベスト含有材　採取費			1日
アスベスト調査		定性分析　（ボード・床材　3種類+配管保温材・エルボ　3種類）	6検体

凡例	
	工事建物 を示す
	既存建物　を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第一料金事務所施設） 案内図・配置図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４８

外部仕上表

建物名	区　分	ポーチ・外部階段・植込み・犬走り	腰巾木(設計GL+500)	外　壁・柱　型	軒　天・梁　型	屋　根・樋	その他
料金所 事務所	(改修前)	犬走り：モルタル金ゴテ〈既存のまま〉 外部トイレ前階段：コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉 玄関前ポーチ：磁器質タイル 150角〈既存のまま〉	モルタル金ゴテ〈既存のまま〉	ALC t=100のうえ複層仕上塗材〈既存のまま〉 目地・建具周囲：シーリング〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=4.0(目透し)のうえVP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	折版屋根（山高148・カラー鉄板・t=0.8・裏面ウレタンt=4）〈既存のまま〉 庇：折版屋根（山高148・カラー鉄板・t=0.8・裏面ウレタンt=4）〈既存のまま〉 軒樋：カラー鉄板 t=0.8・縦樋：白ガス管 80φSOP〈既存のまま〉	
料金所 事務所	(改修後)	—	—	—	—	— — —	

内部仕上表

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	玄関・ホール・通路・便所前廊下	既存	-70 ±0 ±0	M RC RC	玄関:磁器質ﾀｲﾙ150角〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2.0〈撤去〉【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】 便所前廊下:ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ) t=2.0〈撤去〉	玄関:テラソ〈既存のまま〉 木製 SOP〈下地調整〉 便所前廊下:ﾓﾙﾀﾙ〈撤去〉	70 100 75	W〈既存のまま〉	シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP〈下地調整〉 便所前廊下:石こうボード t=12.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400 2,470 2,400	玄関上り框:ﾃﾗｿﾞ〈既存のまま〉 ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ製×3〈撤去〉
		改修	— — —	— — —	— ビニル床シート t=2.0〈新設〉 便所前廊下:ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ) t=2.0〈新設〉	— 木部 EP-G〈塗替え〉 便所前廊下:ﾋﾞﾆﾙ床〈新設〉	— 100 75	—	木部 EP-G〈塗替え〉 便所前廊下:ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	— — —	— ｻｲﾝ(平付):ｱｸﾘﾙ製×8〈新設〉
	料金精算室(倉庫)	既存	±0	RC	ビニル床タイル t=2.5【アスベスト含有建材】〈撤去〉	木製 SOP〈下地調整〉	100	W〈既存のまま〉	シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,700	ｱﾙﾐ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ:〈既存のまま〉 ｻｲﾝ:ｱｸﾘﾙ製×2〈撤去〉
		改修	±0	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	木部 EP-G〈塗替え〉	100	—	木部 EP-G〈塗替え〉	LGS〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	2,700	— ｻｲﾝ(平付):ｱｸﾘﾙ製×2〈新設〉
	機器室(ETCｻｰﾊﾞｰ)・踏込	既存	±0 +300	RC OA〈一部撤去〉	踏込:ビニル床タイル t=2.5【アスベスト含有建材】〈撤去〉 OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2.0【アスベスト含有建材】〈撤去〉	木製 SOP〈既存のまま〉	100	W〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0(目透し)のうえVP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉 モルタル金ゴテ VP〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0(目透し)のうえVP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,950 2,650	ｱﾙﾐ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ:〈既存のまま〉
		改修	±0 +300	RC OA〈一部新設〉	踏込:ビニル床シート t=2.0〈新設〉 OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=5.0〈新設〉	— —	—	—	— —	—	—	—	—	—
	金庫室	既存	±0	RC	ビニル床タイル t=2.5【アスベスト含有建材】〈撤去〉	木製 SOP〈下地調整〉	100	W〈既存のまま〉	シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	木製棚:〈既存のまま〉
		改修	±0	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	木部 EP-G〈塗替え〉	100	—	木部 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	
	更衣室	既存	±0	RC	ビニル床タイル t=2.5【アスベスト含有建材】〈撤去〉	木製 SOP〈下地調整〉	100	W〈既存のまま〉	シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	
		改修	±0	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	木部 EP-G〈塗替え〉	100	—	木部 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	
1F	休憩室	既存	+250	W	畳敷き t=55〈撤去〉 フローリング t=12.0〈既存のまま〉	木製畳寄せ〈既存のまま〉	—	W〈既存のまま〉	ﾗﾜﾝ合板 t=5.5〈既存のまま〉のうえ壁紙〈撤去のうえ下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,450	押入:〈既存のまま〉 神棚:〈取外し〉
		改修	—	—	畳敷き t=55〈新設〉 —	—	—	—	壁紙〈張り替え〉	—	—	—	—	—
	湯沸室	既存	±0	RC	ビニル床タイル t=2.5【アスベスト含有建材】〈撤去〉	木製 SOP〈下地調整〉	100	M〈既存のまま〉	壁紙〈撤去後下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	二槽流し台:〈撤去〉 流し台上部SUS水切り:〈撤去〉<ﾀｵﾙ掛け:〈既存のまま〉
		改修	±0	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	木部 EP-G〈塗替え〉	100	—	壁紙〈張り替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	流し台:〈新設〉 コンロ台:〈新設〉 ライニング:〈新設〉
	脱衣室	既存	+100	M〈既存のまま〉	ビニル床タイル t=2.5【アスベスト含有建材】〈撤去〉	木製 SOP〈下地調整〉 一部〈撤去〉	100	M〈既存のまま 一部撤去〉	壁紙〈撤去後下地調整〉 一部下地ごと〈撤去〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,300	物干し掛け:〈撤去〉 脱衣棚:〈撤去〉 上り框:〈既存のまま〉
		改修	+100 +250	— 一重床H=150	ビニル床シート t=2.0〈新設〉 洗濯機ﾊﾟﾝ置場:ビニル床シート t=2.0〈新設〉	木部 EP-G〈塗替え〉 一部ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	100	一部LGS〈新設〉	壁紙〈張り替え〉 一部 シージング石こうボード t=12.5のうえ壁紙〈新設〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	洗濯機ﾊﾟﾝ:〈設備工事〉 脱衣棚:〈新設〉 物干し掛け:〈新設〉 —
	浴　室	既存	±0	M〈既存のまま〉	モザイクタイル25角〈既存のまま〉	—	—	M〈既存のまま 一部撤去〉	陶器質タイル100角〈既存のまま〉 一部〈撤去〉	LGS〈撤去〉	石綿セメント板 t=4.0(目透し)のうえVP【アスベスト含有建材】〈撤去〉	塩ビ〈撤去〉	2,300	FRP製浴槽:〈撤去〉
		改修						一部LGS〈新設〉	あらわし					ユニットバス 1014サイズ (折り戸(50㎜段差) FRP浴槽・平天井) 〈新設〉
	便　所	既存	±0	M〈既存のまま〉	エポキシ系塗床〈下地調整〉	アルミ製〈既存のまま〉	100	M〈既存のまま〉	無石綿ケイカル板 t=12.0のうえ陶器質タイル100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	無石綿セメント板 t=6.0(目透し)のうえEP〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	洗面化粧台:〈撤去〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞ:〈既存のまま〉 トイレブース:〈既存のまま〉 汚垂石:〈既存のまま〉
		改修	+2	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	—	—	—	—	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	2,398	電気温水器付き 洗面化粧台:〈新設〉 — — —

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものは今回工事対象外を示す。仕上表及び「各図面共通」とする。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は　—　・〈新設〉・〈張り替え〉:塗装以外の場合・〈塗替え〉塗装の場合　・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床・二重床：乾式二重床を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：改修後のアスファルト舗装は、車道用とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【アスベスト含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に　に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉･改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共
　〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調
　設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。

⑪：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=300)一部撤去・新設は10.0㎡とする。

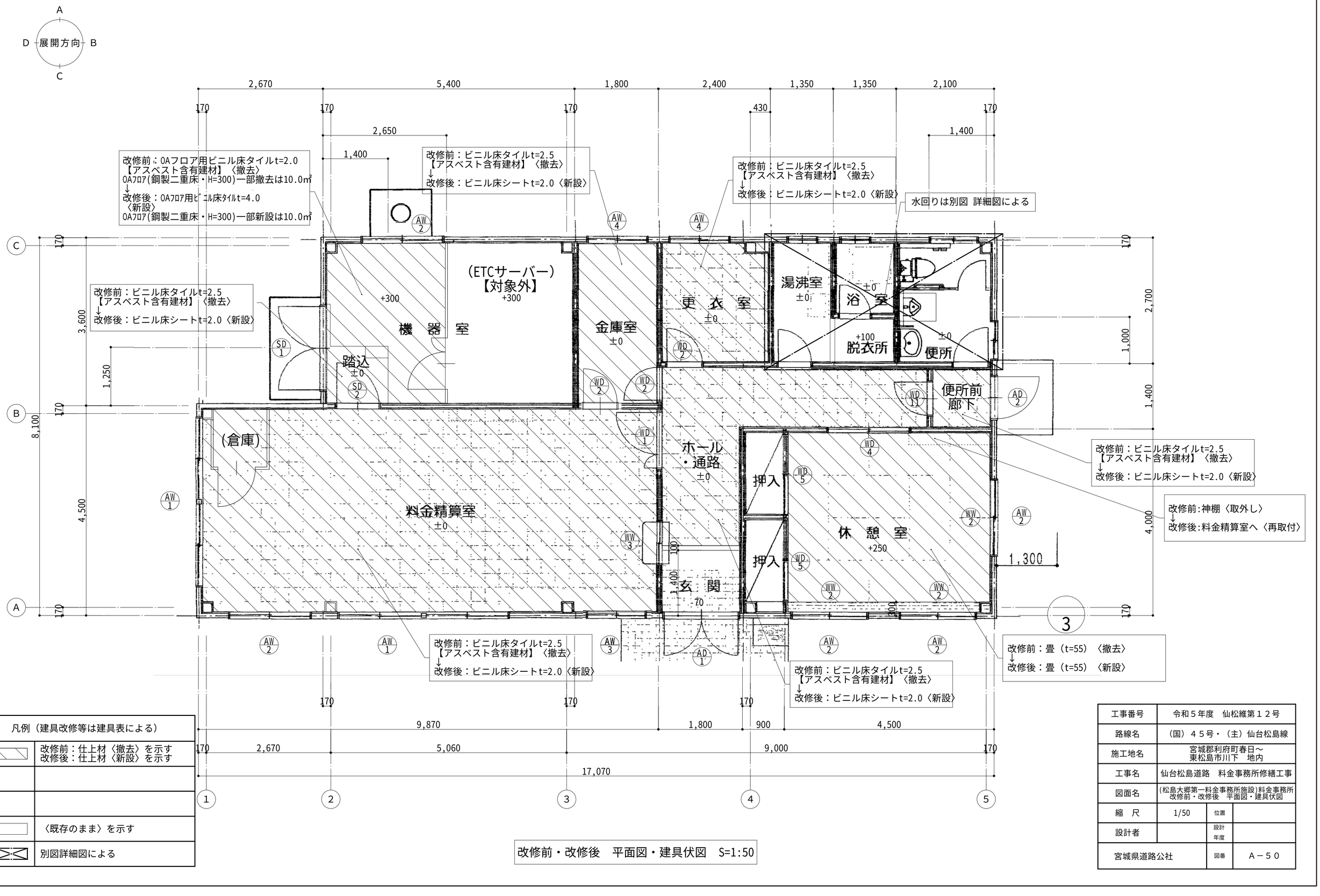
耐火・防火・不燃　番号

せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
防火上主要な間仕切壁の強化せっこうボード(t=12.5+12.5)両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44)(FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡　例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)

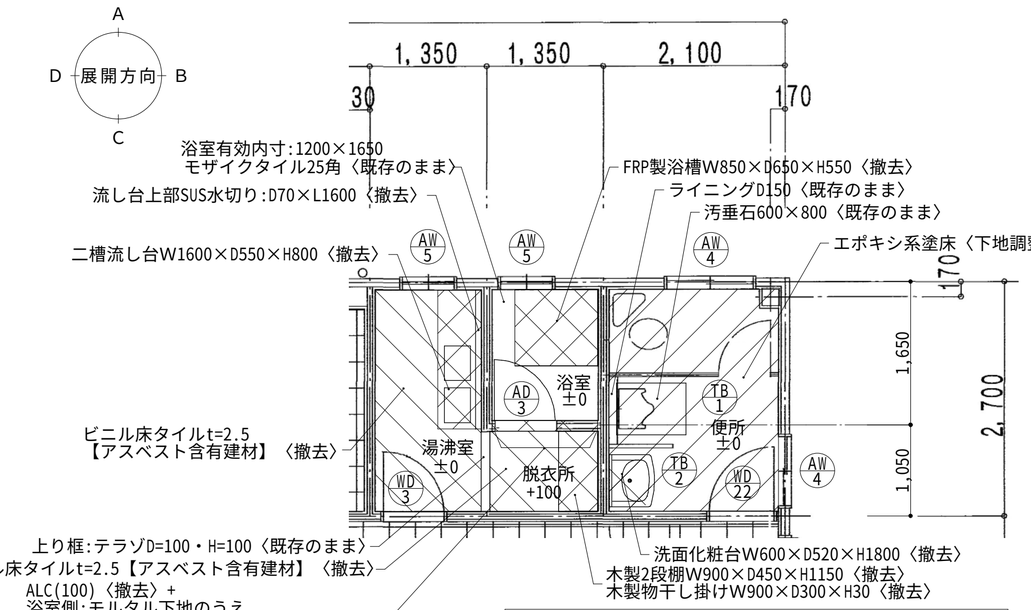
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　仕上表		
縮　尺	—	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－４９



凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

改修前・改修後　平面図・建具伏図　S=1:50

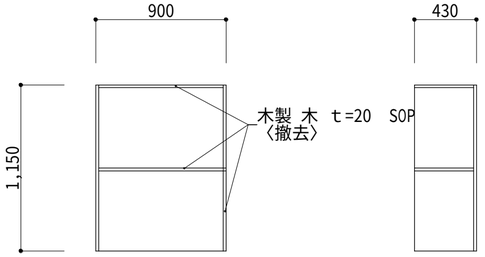
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　平面図・建具伏図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５０



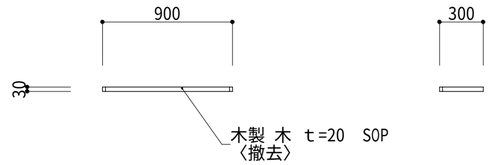
改修前　水回り平面詳細図・建具伏図　S=1:50

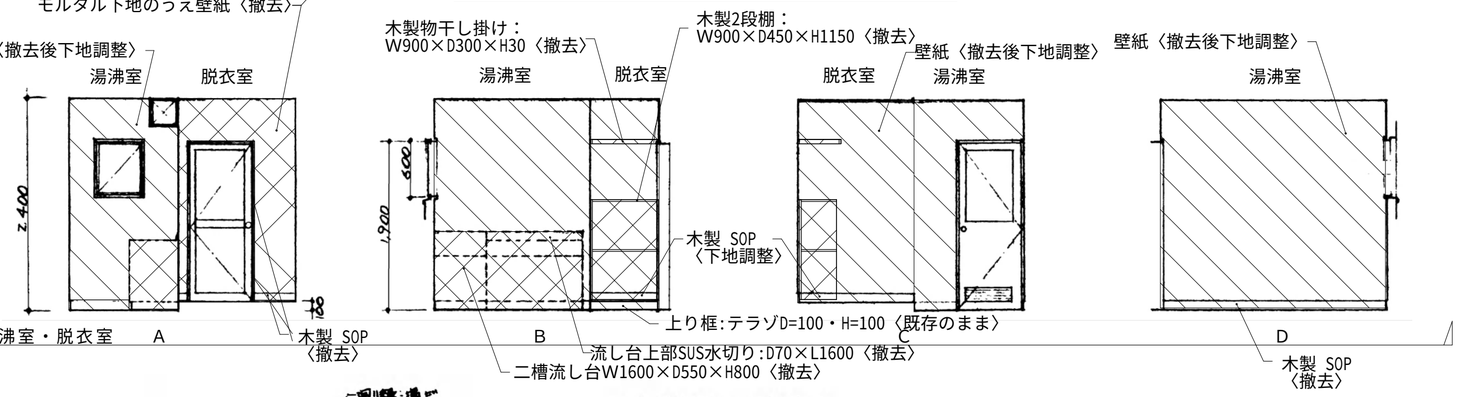
凡例	
	仕上材〈撤去〉を示す
	〈撤去〉を示す
	〈下地調整〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

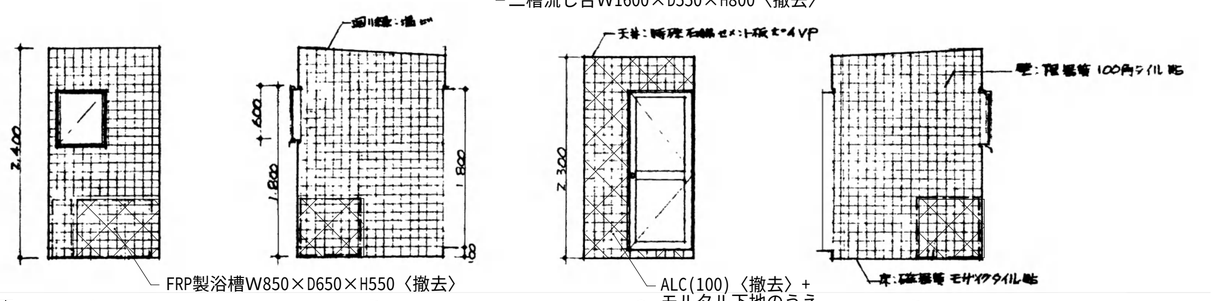
１．改修前　木製2段棚W900×D450×H1150〈撤去〉詳細図　1/30

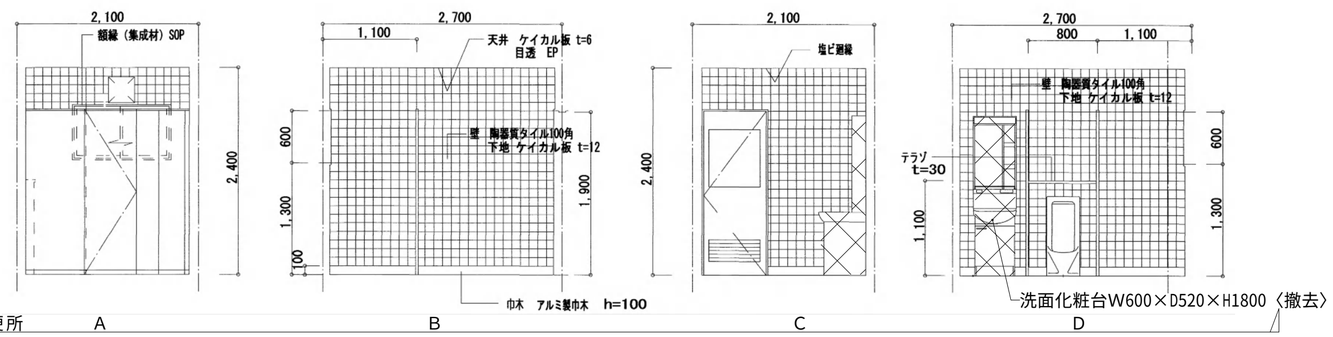


２．改修前　木製物干し掛けW900×D300×H30〈撤去〉詳細図　1/30

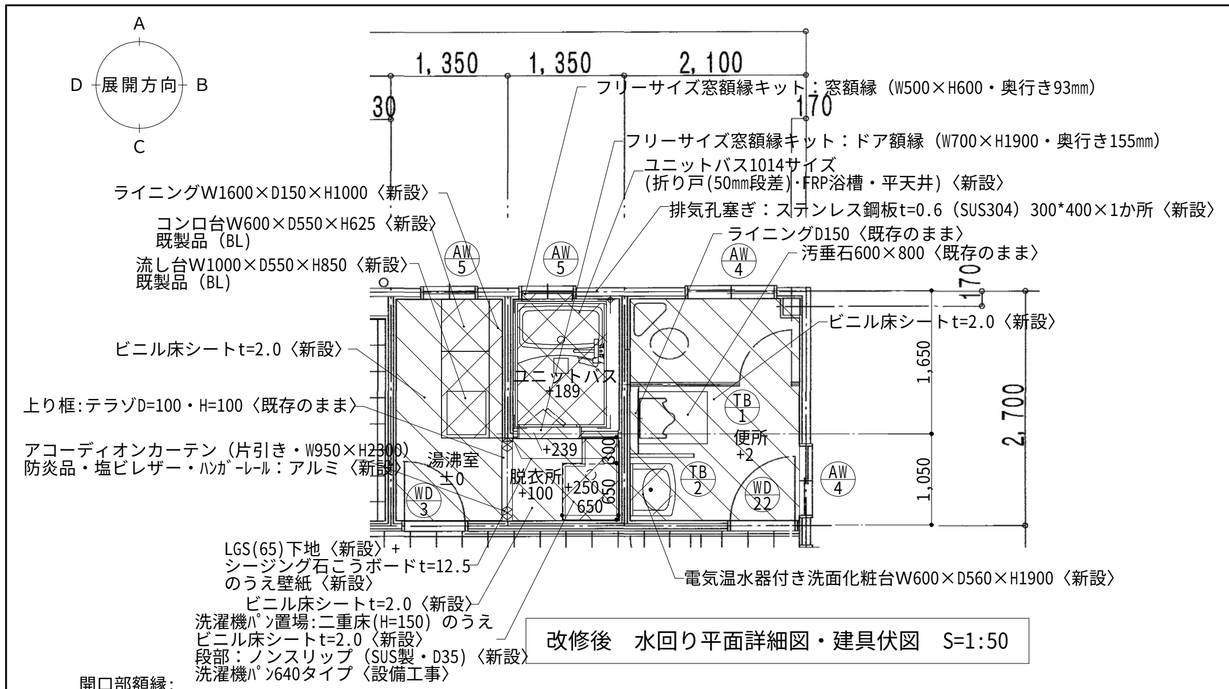






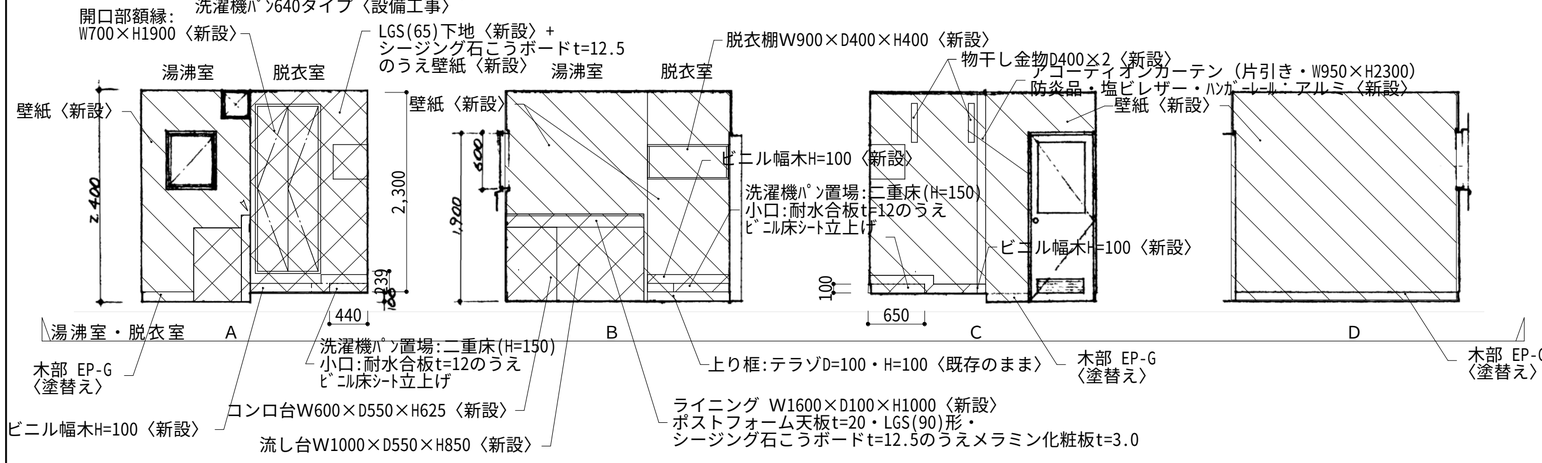


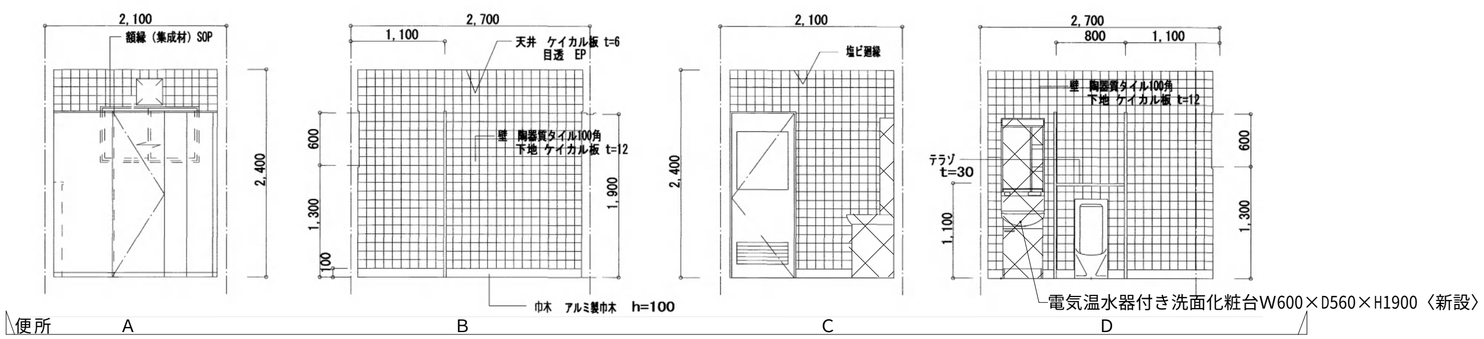
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前 水回り平面詳細図・展開図・建具伏図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５１



凡例	
	仕上材〈新設〉を示す
	〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

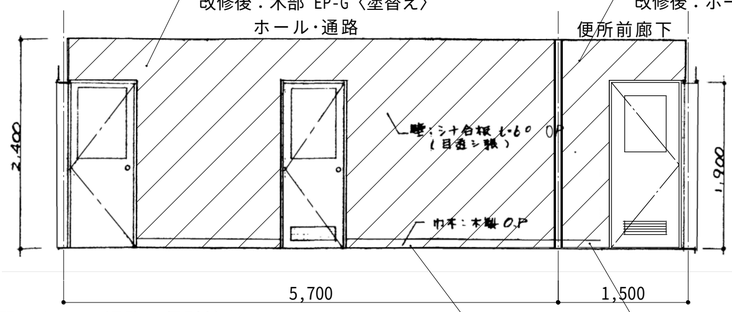
改修後　水回り平面詳細図・建具伏図　S=1:50





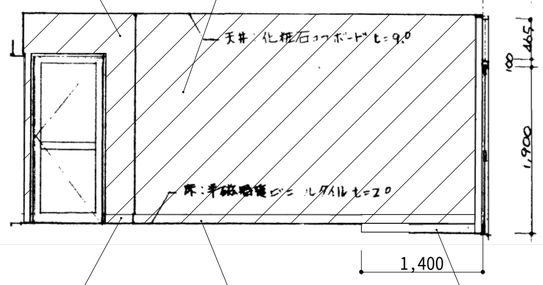
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修後 水回り平面詳細図･展開図･建具伏図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５２

玄関・ホール・通路・便所前廊下 A



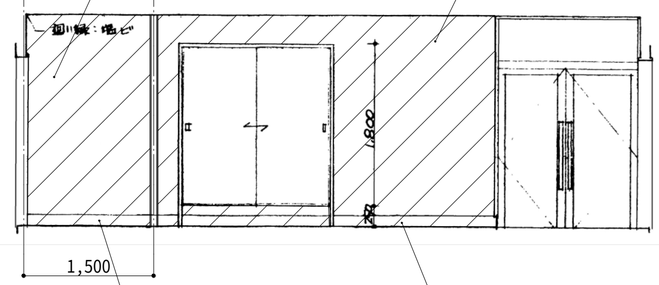
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：石こうボード t=12.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉 → 改修後：ボード面 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：ビニル幅木H=70〈撤去〉 → 改修後：ビニル幅木H=70〈新設〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

B



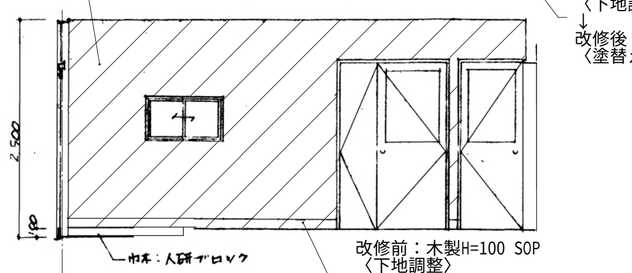
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉
- 改修前：テラゾH=100 〈既存のまま〉 → 改修後：—

C



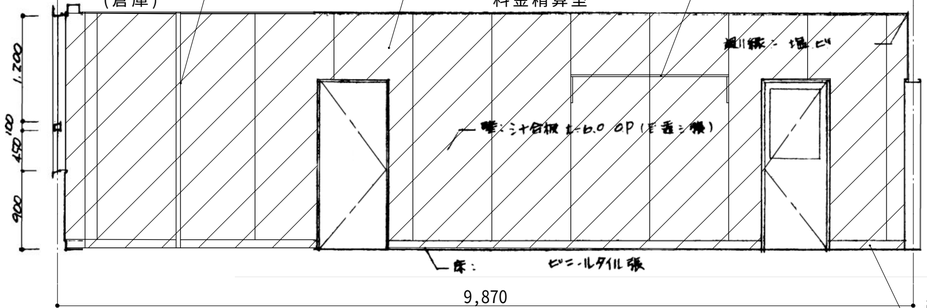
- 改修前：石こうボード t=12.0のうえEP 【アスベスト含有建材】〈下地調整〉 → 改修後：ボード面 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：ビニル幅木H=70〈撤去〉 → 改修後：ビニル幅木H=70〈新設〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

玄関・ホール・通路・便所前廊下 D



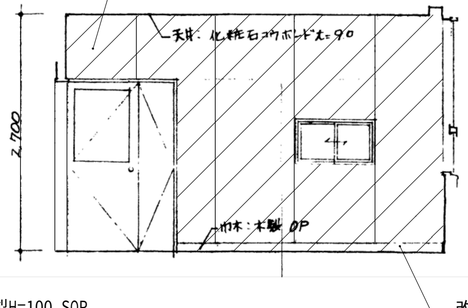
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

料金精算室(倉庫) A



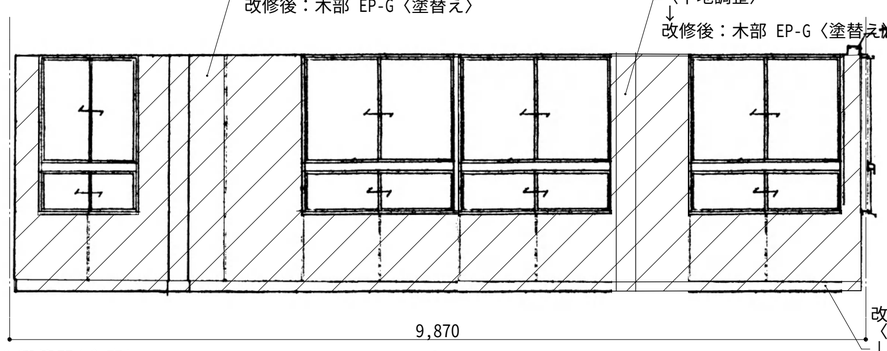
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修後:料金精算室へ〈再取付〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

B



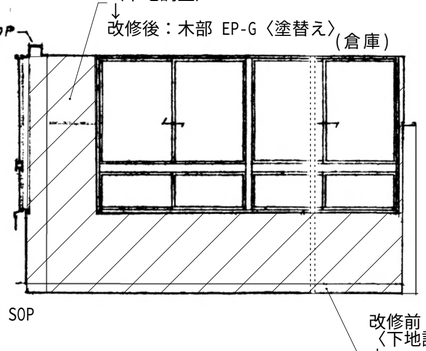
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

料金精算室(倉庫) C



- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

D

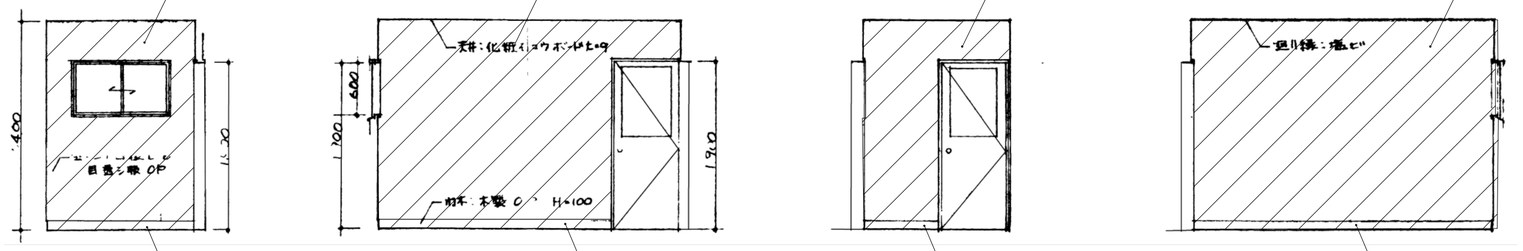


- 改修前：シナ合板 t=6.0(目透し)のうえSOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
- 改修前：木製H=100 SOP 〈下地調整〉 → 改修後：木部 EP-G 〈塗替え〉

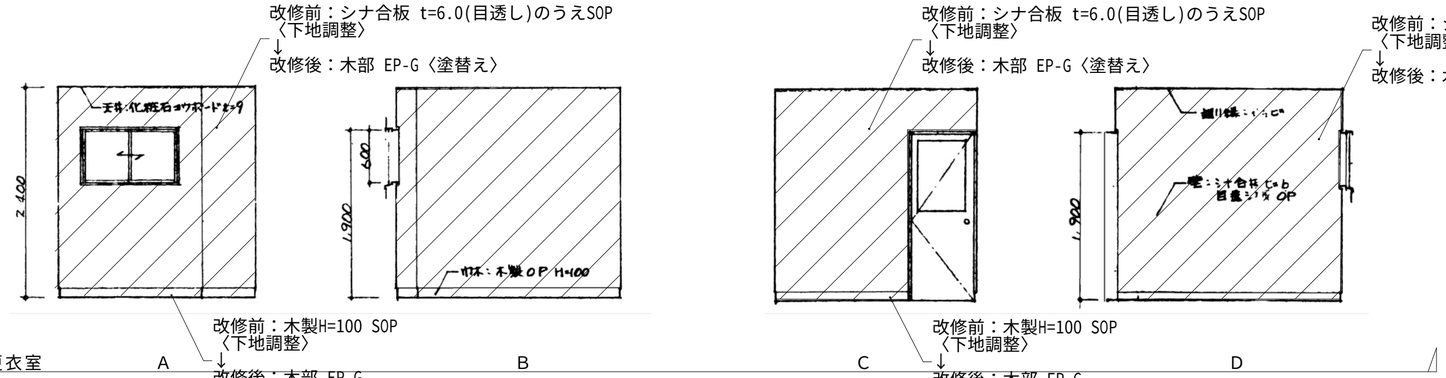
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　展開図（1）		
縮　尺	—	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５３

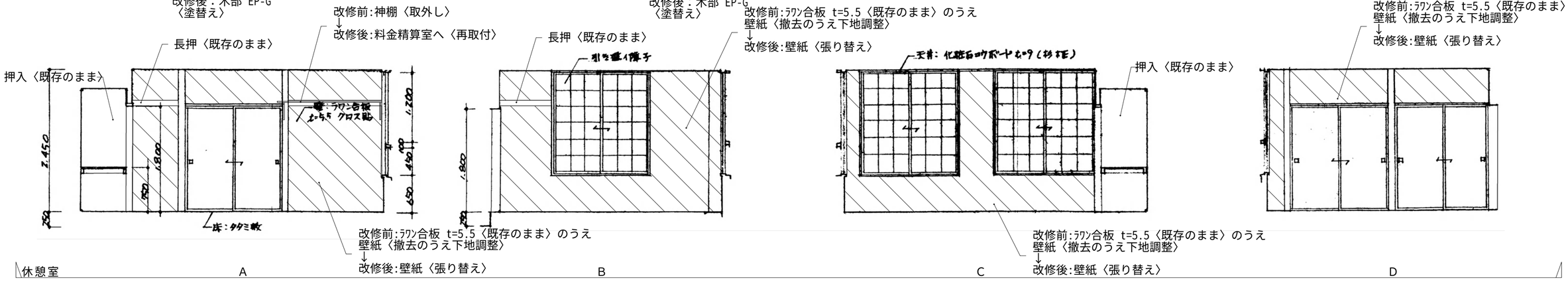
金庫室



更衣室

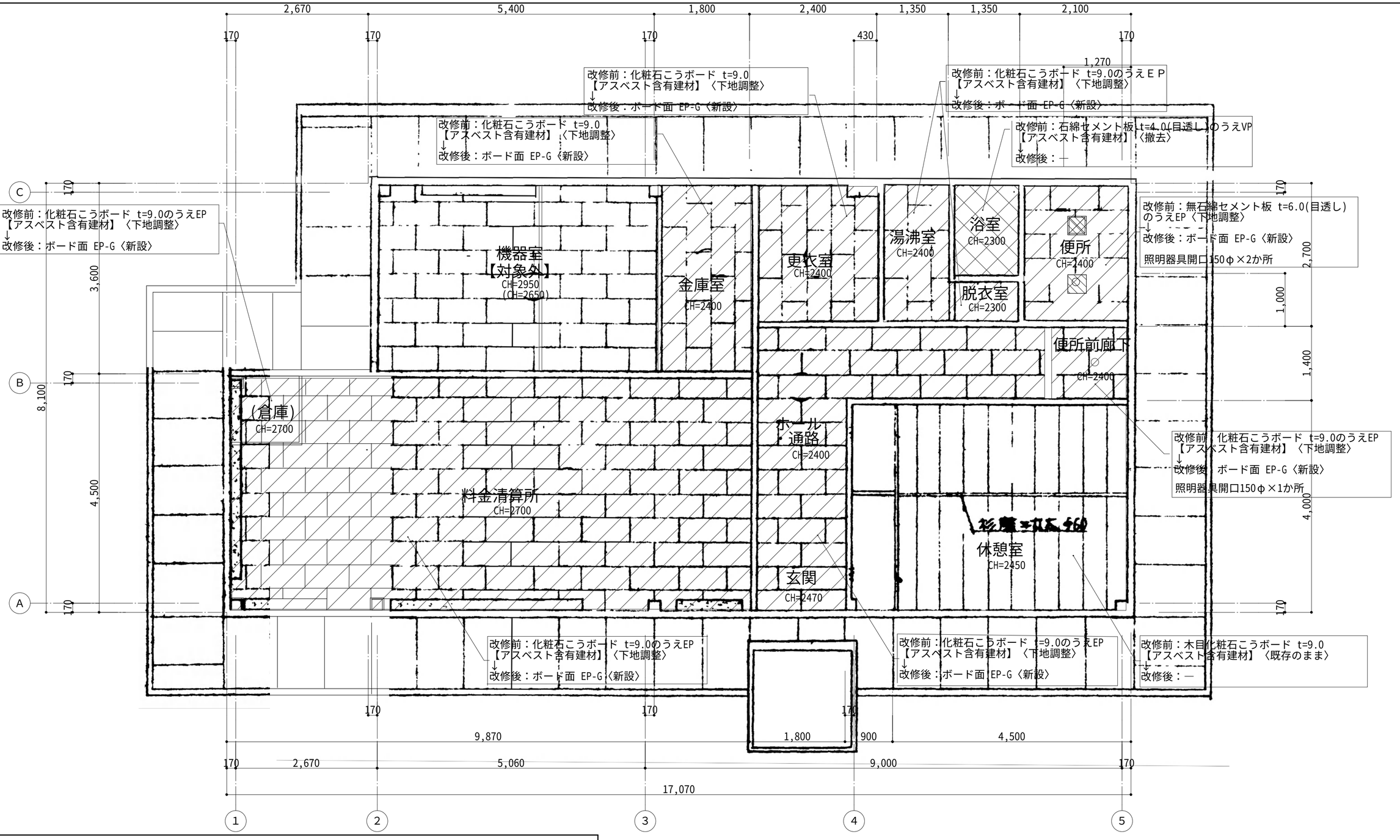


休憩室



凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　展開図（２）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５４



凡例			
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す		改修前：設備機器〈撤去〉（別途設備工事） 改修後：LGS下地（19形）<新設>のうえ天井仕上〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す		改修後：設備機器 開口補強 300×300〈新設〉（×1か所）
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：　ー　を示す	○	改修後：設備機器 開口補強 100φ〈新設〉（×1か所）
	〈既存のまま〉を示す		
			改修後：天井点検口600×600〈新設〉（×7か所） （位置は設備工事と協議）

改修前・改修後　天井伏図　S=1:50

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　天井伏図		
縮　尺	ー	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５５

名称	SD 1 両開スチールフラッシュ戸	SD 2 片開スチールフラッシュ防音戸	AW 1 2連引違いアルミサッシュ	AW 2 引違いアルミサッシ	AW 3 引違いアルミサッシ	AW 4 引違いアルミサッシ	AW 5 辷り出し窓
見込・数量	86 1	86 1	70 2	70 5本	70 1	70 4本	70 2
姿図	2,500 / 1,700	1,900 / 800	1,200 / 450 100 / 1,700 70 1,700	1,200 / 450 100 / 1,700	1,200 / 450 100 / 1,100	600 / 1,100	600 / 500
仕上	鉄板 t1.6 OP	同左	アルミ（シルバー）	同左	同左	同左	同左
硝子			トーメイ 3㎜	トーメイ 3㎜	トーメイ 3㎜	型 4㎜	型 4㎜
建具金物	丁番ステンレス製 シリンダー本体錠（サムターン付） フランス落し 12.0㎜ 3枚 1台 ステンレス	丁番ステンレス製 ブレモン錠 t12.0㎜ 3枚 3枚 1台 ステンレス	付属金物一式	同左	同左	同左	同左
備考		クラスクール荒填・4周ピンキワコーク詰	網戸付	網戸付	網戸付	網戸付	網戸付
改修内容	金	金	ブ 網 額 ガB	ブ 網 額 ガB 休憩室は ブ ガB を除く 機器室のみ ブ 網 が該当	ブ 網 額 ガB	網	網

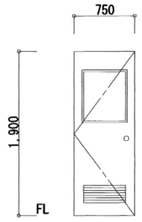
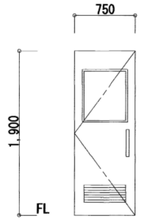
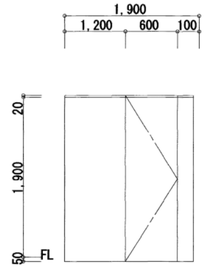
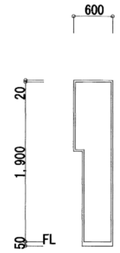
名称	AD 1 両開アルミドア	AD 2 片開アルミドア	AD 3 片開アルミドア	WD 1 親子開フラッシュ戸	WD 2 片開フラッシュ戸	WD 3 片開フラッシュ戸	WD 4 引違いフラッシュ戸ユニット	WD 5 引違板ナシ	WW 1
見込・数量	70 1	70 1	70 1	35 1	35 3	35 2	35 1	24 2	24 1
姿図	1,600 / 465 / 1,900	1,900 / 800	1,800 / 700	1,900 / 1,200	1,900 / 720	1,900 / 720	1,800 / 250 / 1,700	1,800 / 1,700	745 / 3,100
仕上	同左	同左	アルミ（シルバー）	シナベニヤ t=4㎜ OP	同左	同左	同圧 OP 和室 フスマ紙貼 掘カシュー塗 シナベニヤ t=4㎜	杉 フスマ紙貼 掘カシュー塗 シナベニヤ t=4㎜	シナベニヤ t=4㎜ OP
硝子	トーメイ 5㎜ ハメ殺し部分 3㎜	型 4㎜ アルミパネル 4㎜	型 4㎜	トーメイ 3㎜	型 4㎜	トーメイ 3㎜			
建具金物	ドアチェック シリンダー錠 フランス落し	付属金物一式 シリンダー本体錠	附属金物一式（サムターン付 シリンダー錠 内部空錠	丁番 ドアチェック フランス落	丁番 ドアチェック 空錠	丁番 ドアチェック グラリー	プラスチック戸ヒキ 引手	プラスチック戸ヒキ 引手	ステンレス引手、ステンレスレール 戸車
備考	アルミ複板3方 押縁	ドアチェック						プラスチック補強孔 40ヶ	
改修内容	額	額 金	枠ごと撤去	木 金	木 金	木 金	木	木	木

名称	WW 2	WW 3
見込・数量	30 1	24 1
姿図	1,750 / 100	450 / 770
仕上	杉 障子紙貼	杉
硝子		トーメイ 5 ㎜
建具金物	引手 プラスチック戸ヒキ	引手、プラスチック戸ヒキ 中折錠り
備考		
改修内容	木	木

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

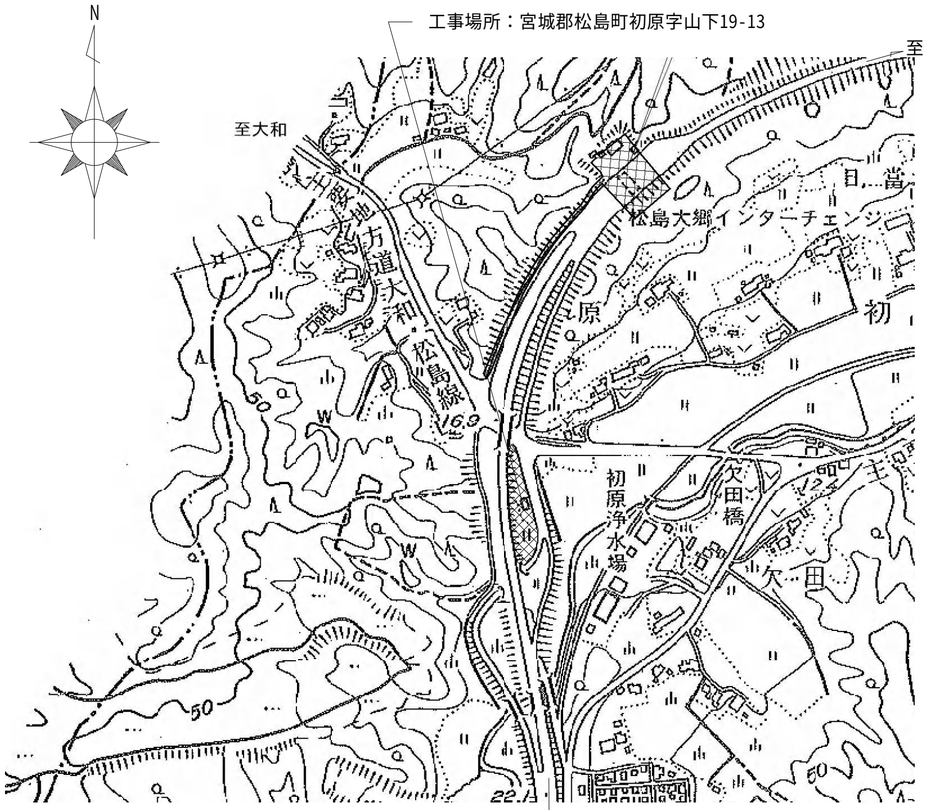
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(~~スラット25･手動・ロッド式~~)〈新設〉を示す
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木製建具・木枠(120×20) のうえSOP〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（ドアノブ（内締り錠）） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（ドアノブ（内締り錠）マスターキー〈新設〉）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ガB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　建具表（１）		
縮尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５６

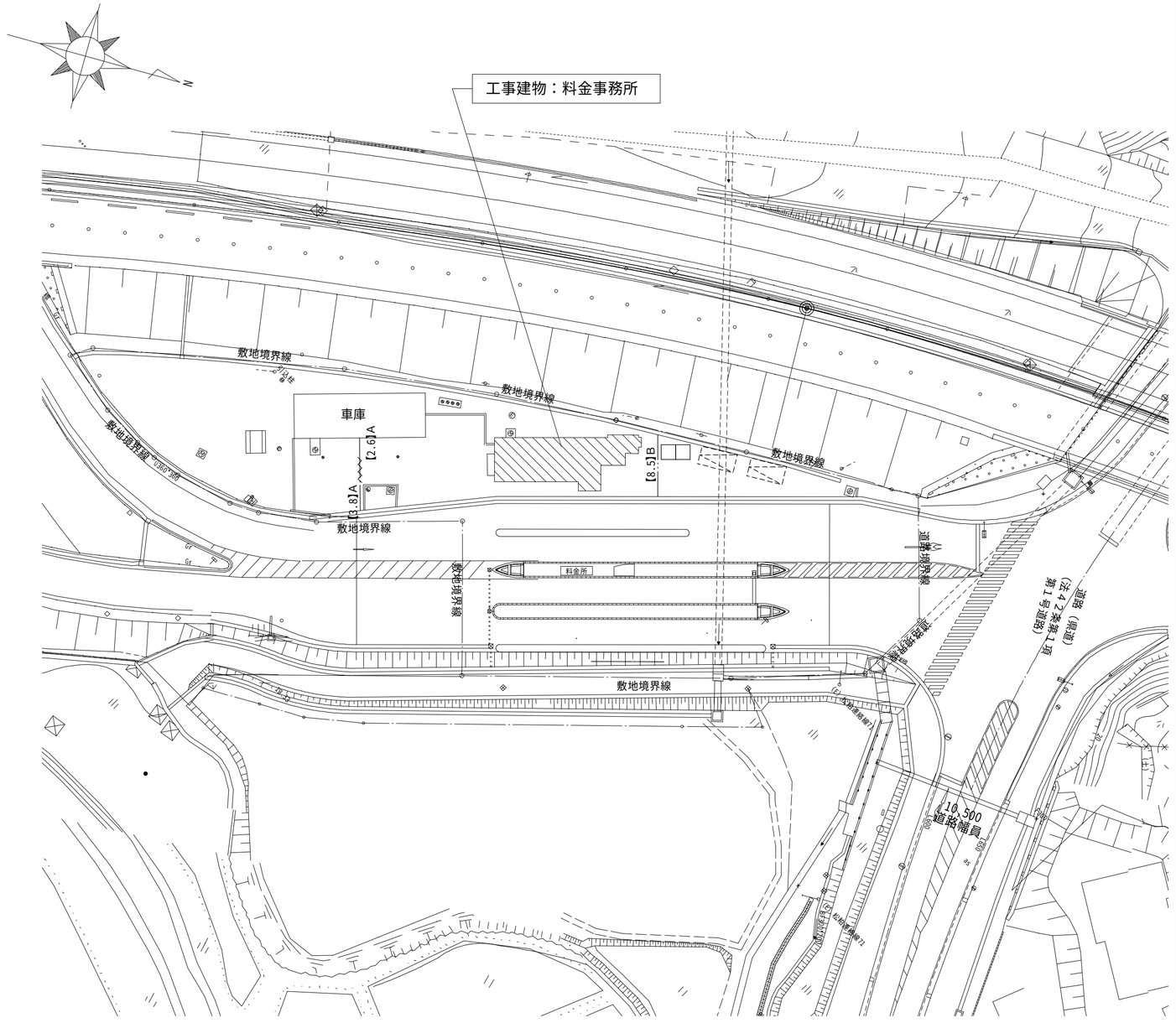
	11 WD	22 WD	1 TB	2 TB
姿 図				
場所・数量	大郷第１料金所	大郷第１料金所	大郷第１料金所	大郷第１料金所
	廊下　１	便所　１	便所　１	便所　１
名称・見込	額入木製開戸　40　枠 100	額入木製開戸　40　枠 100	トイレブース 30	隔板 30
仕上・硝子	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	化粧珪酸カルシウム板 t=5 アルミ笠木	化粧珪酸カルシウム板 t=5 アルミ笠木
	型ガラス　t=4.0	型ガラス　t=4.0		
金　物	丁番 握手 アルミガラリ	丁番 握棒 押板 アルミガラリ	ラバトリーヒンジ ラバトリーロック（表示付）	アルミフレーム 巾木（9.5）
	DC 戸当 吉摺（9.5）w=30	DC 戸当 吉摺（9.5）w=30	アルミフレーム 巾木（9.5） 戸当（帽子掛）	
	シリンダー錠 サムターン			
備　考				
改修内容	㊍ ㊎	㊍		

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
㋘	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す
㋮	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）
㋲	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
㊍	改修前：木製建具・木枠(120×20) のうえSOP〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
㊎	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
㋗	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
㋘B	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第一料金事務所施設)料金事務所 改修前・改修後　建具表（２）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５７



案　内　図



配　置　図　S=1:500

仮設計画 凡例			
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】A	成形鋼版	H=2.0m	6.4m
【数量】B	単管シート	H=2.0m	8.5m
〰	シートゲート	W=3.6m×H=4.5m	1箇所
□	仮設トイレ	水洗式	２棟
アスベスト含有材　採取費			1日
アスベスト調査		定性分析　（ボード・床材　1種類+配管保温材・エルボ　3種類）	4検体

凡例	
▨	工事建物 を示す
□	既存建物　を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設） 案内図・配置図		
縮　尺	1/500	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－５８

外部仕上表

建物名	区　分	ポーチ・外部階段・植込み・犬走り	腰巾木(設計GL+600)	外　壁・柱　型	軒　天・梁　型	屋　根・樋	その他
料金所 事務所 ＋ トイレ	(改修前) (改修前)	犬走り：モルタル金ゴテ〈既存のまま〉 玄関前ポーチ：磁器質タイル 100角〈既存のまま〉 外部トイレ前：磁器質タイル 150角〈既存のまま〉	モルタル金ゴテ〈既存のまま〉 モルタル金ゴテ〈既存のまま〉	ALC t=100のうえ複層仕上塗材〈既存のまま〉 目地・建具周囲：シーリング〈既存のまま〉 中空成形ｾﾒﾝﾄ板 t=26 W=600のうえ吹付ﾀｲﾙ〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0(目透し)のうえVP 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉 石綿カルシウム板 t=6.0(目透し)EP　一部有孔板〈既存のまま〉	ｽﾃﾝﾚｽ鋼ﾒｯｷ板平葺（働き幅175・t=0.3・ﾎﾟﾘﾌｫｰﾑ裏打ちt=4）〈既存のまま〉 軒樋：銅製（t=0.4）85×75・竪樋：白ガス管80φ〈既存のまま〉 ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板（t=0.4）〈既存のまま〉 軒樋：塩ビ製角型t=0.4・竪樋：硬質塩ビ製60φ〈既存のまま〉	
料金所 事務所 ＋ トイレ	(改修後) (改修後)	— — —	— —	— —	— —	— — — —	

内部仕上表

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	玄関・ホール・廊下	既存	-100 ±0 ±0	R C R C R C	玄関:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.5〈撤去〉 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t=2.0〈撤去〉	玄関:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙ製〈撤去〉	100 75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	
		改修	— —	— —	— ビニル床シート t=2.0〈新設〉	— ﾋﾞﾆﾙ製〈新設〉	— 75	— —	— ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS〈一部新設〉	— ボード面 EP-G〈塗替え〉 化粧石こうボード t=9.5 EP-G ※天井設備機器撤去部	— —	2,500	
	事務室 料金計算室	既存	+100	O A	OAフロア用 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2.0〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP〈下地調整〉 柱型：鉄部表しSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	神棚:〈既存のまま〉 ｱﾙﾐ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ:〈既存のまま〉
		改修	—	—	OAフロア用 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=4.0〈新設〉	—	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 柱型：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉	LGS〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 化粧石こうボード t=9.5 EP-G ※天井設備機器撤去部	—	2,500	—
	機器室 (ETCｻｰﾊﾞｰ) 【対象外】	既存	+100	O A	OAフロア用 ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ t=2.0〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	ｱﾙﾐ製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ:〈既存のまま〉
		改修	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	—
	物入・通行券保管庫	既存	+100	R C	ビニル床シート t=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP〈下地調整〉 柱型：鉄部表しSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0のうえEP【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	木製棚:〈既存のまま〉
		改修	—	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 柱型：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉	LGS〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	
	更衣室(男子・女子)	既存	±0	R C	ビニル床シート t=2.0〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP〈下地調整〉 柱型：鉄部表しSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	室名札×2〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 柱型：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉	LGS〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	室名札×2〈新設〉
	休憩室	既存	+100	W	畳敷き t=55〈撤去〉 フローリング t=12.0〈既存のまま〉	木製畳寄せ〈既存のまま〉	—	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0のうえEP〈下地調整〉 柱型：鉄部表しSOP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【アスベスト含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	押入:〈既存のまま〉
		改修	—	—	畳敷き t=55〈新設〉 —	—	—	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 柱型：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉	一部LGS〈新設〉	化粧石こうボード t=9.5〈新設〉 (重ね貼り)	—	—	— 室名札×1〈新設〉

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	湯沸室	既存	±0	R C	ビニル床シート t=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	耐水石こうボード t=12.0のうえEP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえＥＰ【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	流し台:〈撤去〉 ガス台:〈撤去〉 SUS製水切り棚:〈撤去〉 吊戸棚:〈撤去〉
		改修	±0	—	ビニル床シート t=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	一部LGS〈新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	流し台:〈新設〉 ガス台:〈新設〉 ライニング:〈新設〉
	脱衣室	既存	+70	R C	ビニル床シート t=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	壁紙〈撤去〉	LGS〈既存のまま〉	石綿セメント板 t=5.0のうえＥＰ【アスベスト含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	物干し掛け:〈撤去〉 上り框:〈既存のまま〉
		改修	— +200	— 二重床H=100	ビニル床シートt=2.0〈新設〉 洗濯機ﾊﾟﾝ置場: ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ製〈撤去〉	75	—	壁紙〈新設〉 一部 LGS65 耐水石こうボード〈新設〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	洗濯機パン:〈新設〉 物干し掛け:〈新設〉
	浴　室	既存	+10	M〈既存のまま〉	丸モザイクタイル25〈既存のまま〉	—	—	M〈既存のまま〉	陶器質タイル100角〈既存のまま〉	LGS〈撤去〉	バスリブ〈撤去〉	塩ビ〈撤去〉	2,400	FRP製浴槽:〈撤去〉
		改修	—	—			—	—						ユニットバス 1115サイズ (折り戸(50mm段差)) FRP浴槽・平天井) 〈新設〉
	職員用便所	既存	±0	M〈既存のまま〉	エポキシ系塗床〈下地調整〉	エポキシ系塗〈下地調整〉	100	LGS・W〈既存のまま〉	無石綿ケイカル板 t=12.0 のうえ陶器質タイル100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	ケイ酸カルシウム板 t=6.0(目透し) のうえEP〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	洗面化粧台:〈撤去〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞ:〈既存のまま〉 トイレブース: 〈既存のまま〉 汚垂石:〈既存のまま〉
		改修	—	—	ビニル床シート t=2.0 立上げ〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ 立上げ 〈新設〉	100	—	—	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 ケイ酸カルシウム板 t=6.0(目透し) のうえEP-G〈一部新設〉 ※天井設備機器撤去部	—	—	洗面化粧台:〈新設〉 — — —
	多目的トイレ	既存	±0	M〈既存のまま〉	エポキシ系塗床 〈既存のまま〉	エポキシ系塗 〈既存のまま〉	100	LGS・W〈既存のまま〉	無石綿ケイカル板 t=12.0 のうえ陶器質タイル100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	ケイ酸カルシウム板 t=6.0(目透し) のうえEP〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ:〈撤去〉 多目的ﾍﾞｯﾄﾞ:〈撤去〉 手摺:〈既存のまま〉
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ:〈新設〉 多目的ﾍﾞｯﾄﾞ:〈新設〉 —

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものはも今回工事対象外を示す。仕上表及び「各図面共通」とする。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は〈新設〉・〈張り替え〉(塗装以外)・〈塗替え〉(塗装)・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床　を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄはﾉﾝﾜｯｸｽ、高耐久UV樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ、抗菌、抗ｳｲﾙｽ、環境対応型製品とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【アスベスト含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に【対象外】に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉･改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共
　〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調
　設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。

⑪：OAﾌﾛｱ(鋼製・H=150)一部撤去・新設は10㎡とする。

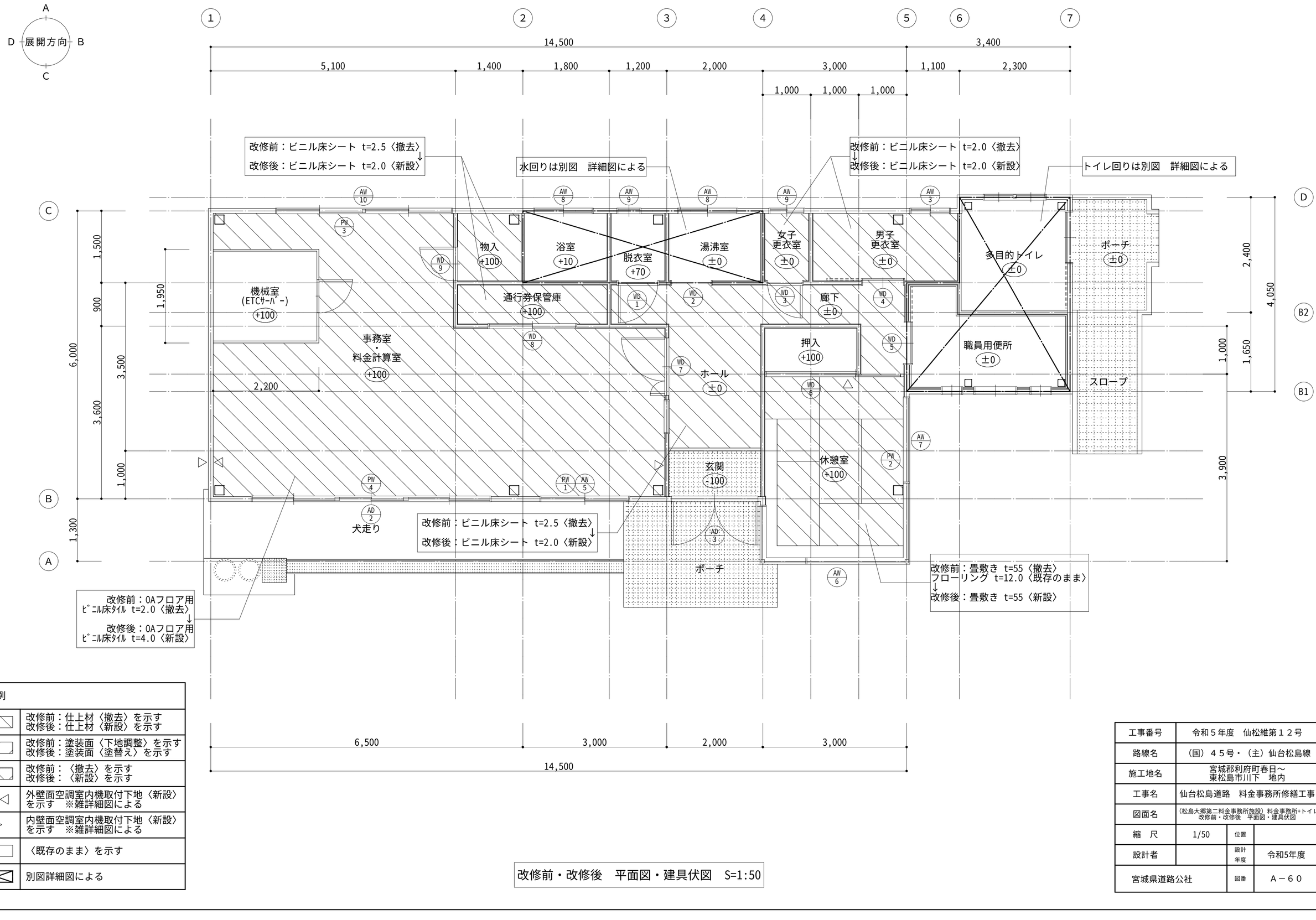
耐火・防火・不燃　番号

せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
防火上主要な間仕切壁の強化せっこうボード(t=12.5+12.5)両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44)(FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡　例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)

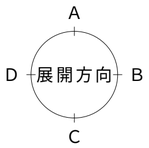
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前・改修後　仕上表		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計年度	令和５年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－５９

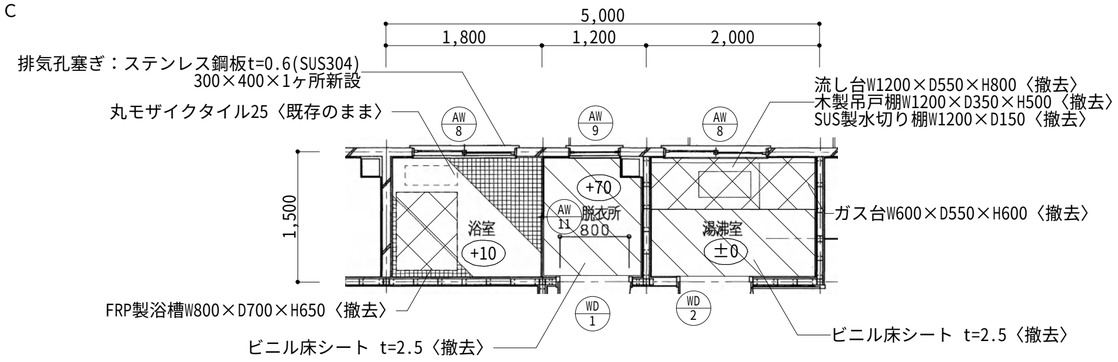


凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
▷ ◁	外壁面空調室内機取付下地〈新設〉を示す　※雑詳細図による
▷	内壁面空調室内機取付下地〈新設〉を示す　※雑詳細図による
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

改修前・改修後　平面図・建具伏図　S=1:50

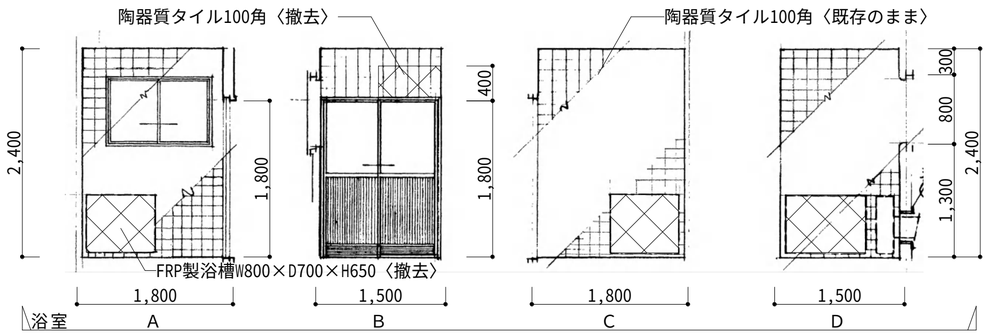
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前・改修後　平面図・建具伏図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６０

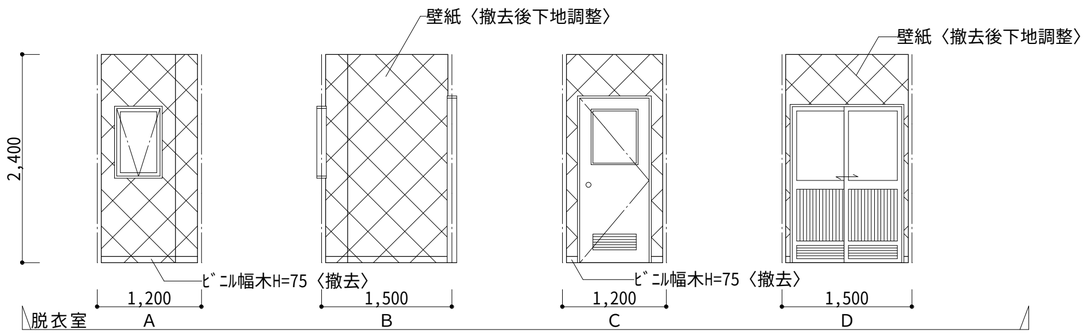


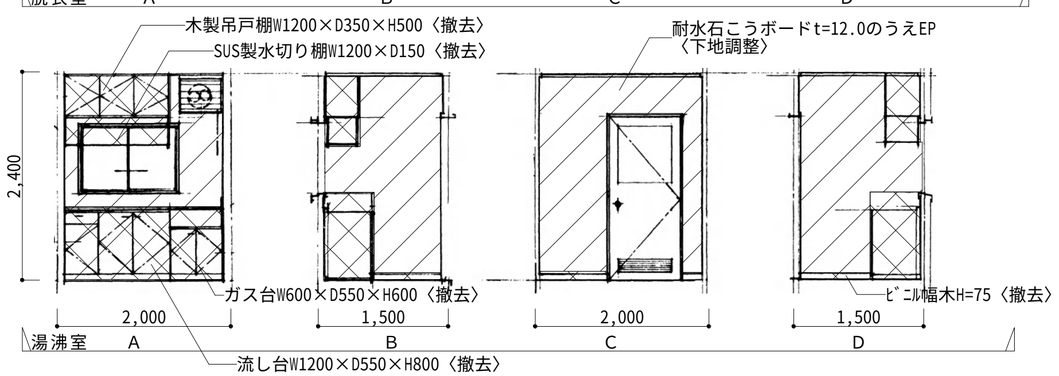


凡例	
	仕上材〈撤去〉を示す
	〈撤去〉を示す
	〈下地調整〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

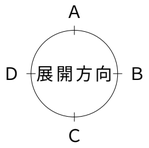
改修前　水回り平面詳細図・建具伏図　S=1:50

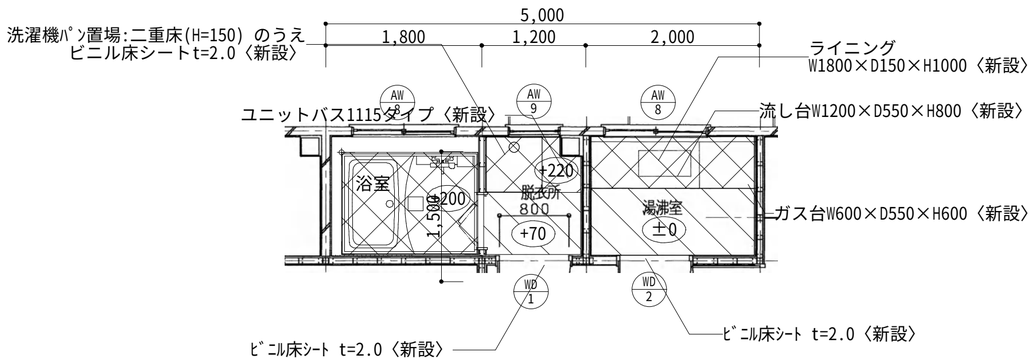






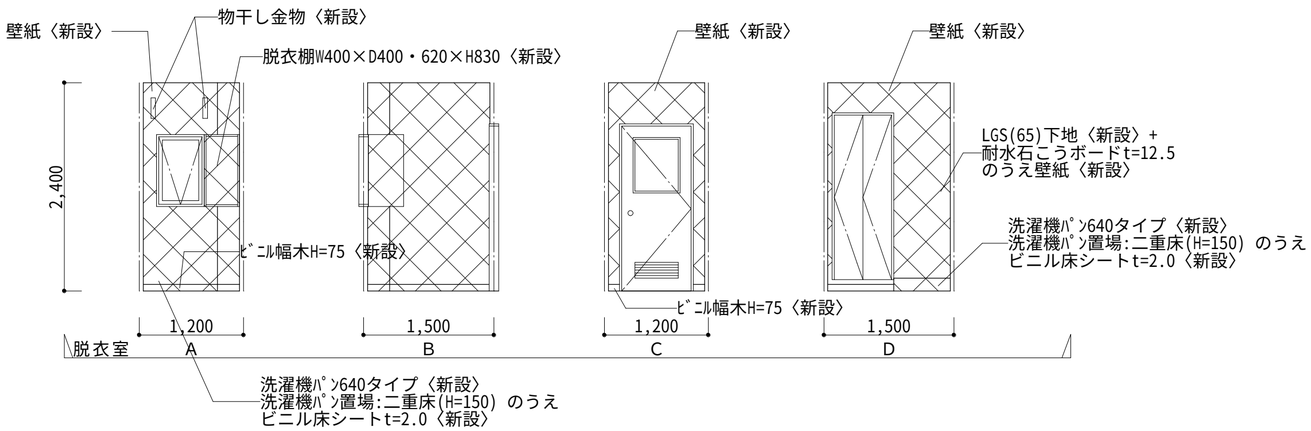
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前水回り平面詳細図・建具伏図・展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６１

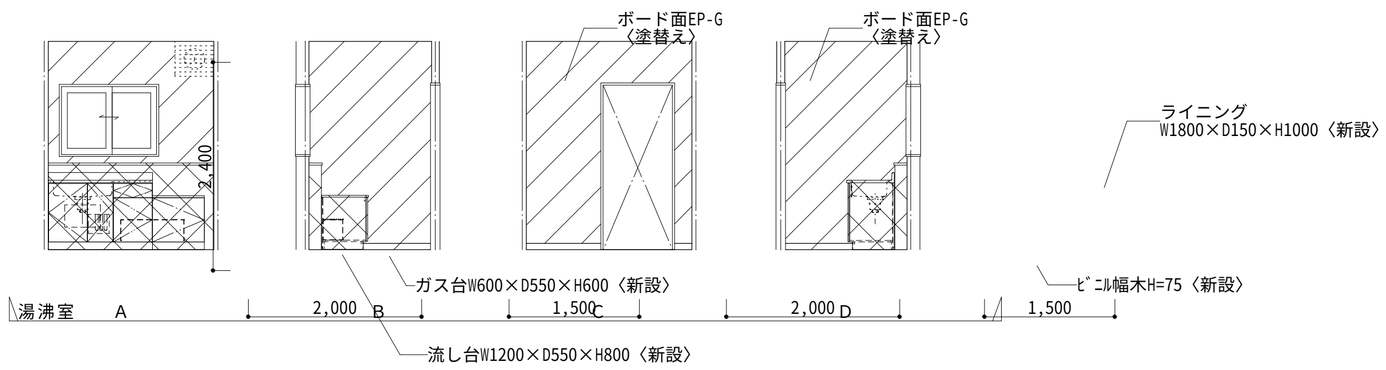




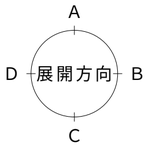
凡例	
	仕上材〈新設〉を示す
	〈新設〉を示す
	〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

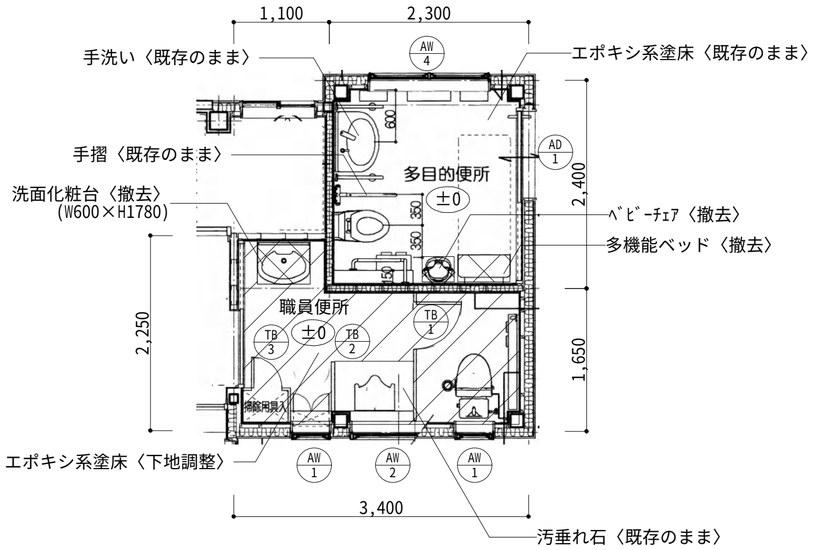
改修後　水回り平面詳細図・建具伏図　S=1:50





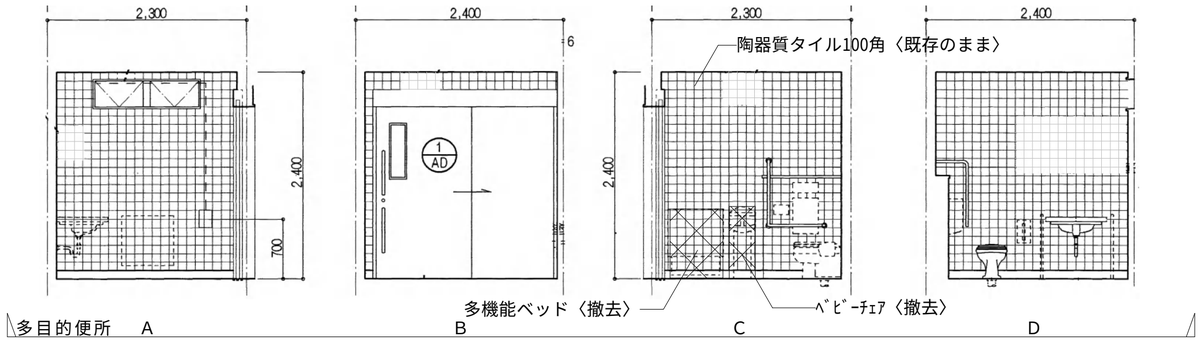
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修後水回り平面詳細図・建具伏図・展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６２

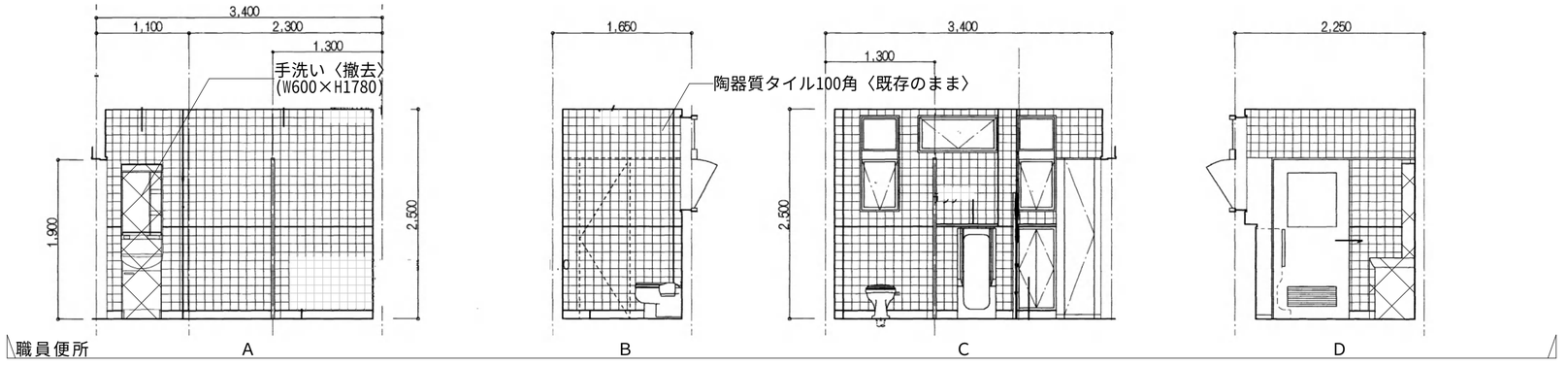




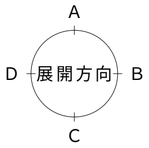
改修前　トイレ平面詳細図・建具伏図　S=1:50

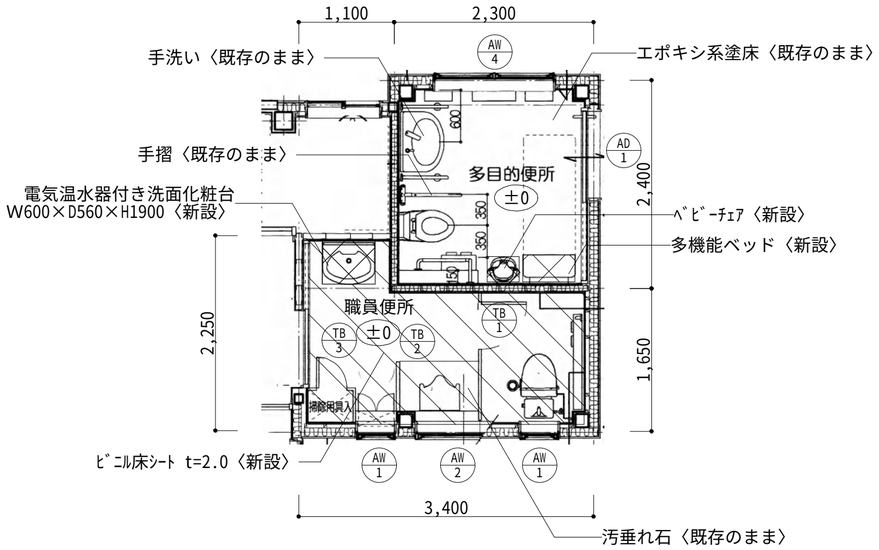
凡例	
	仕上材〈撤去〉を示す
	〈撤去〉を示す
	〈下地調整〉を示す
	〈既存のまま〉を示す





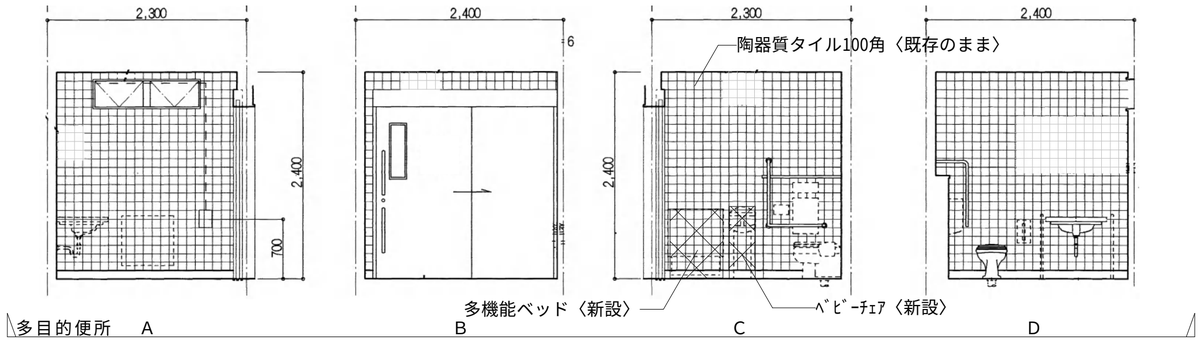
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前便所平面詳細図・建具伏図・展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６３

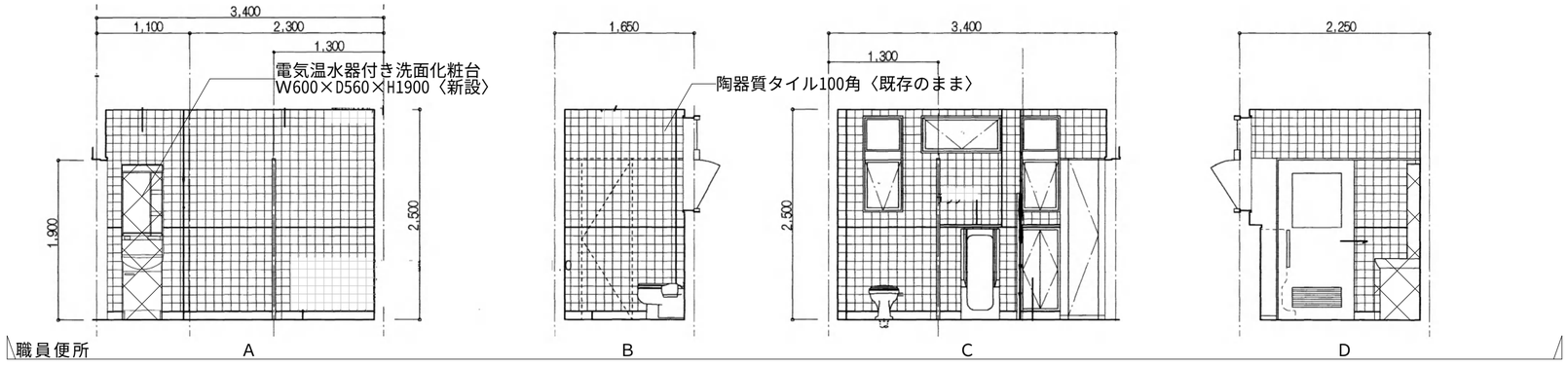




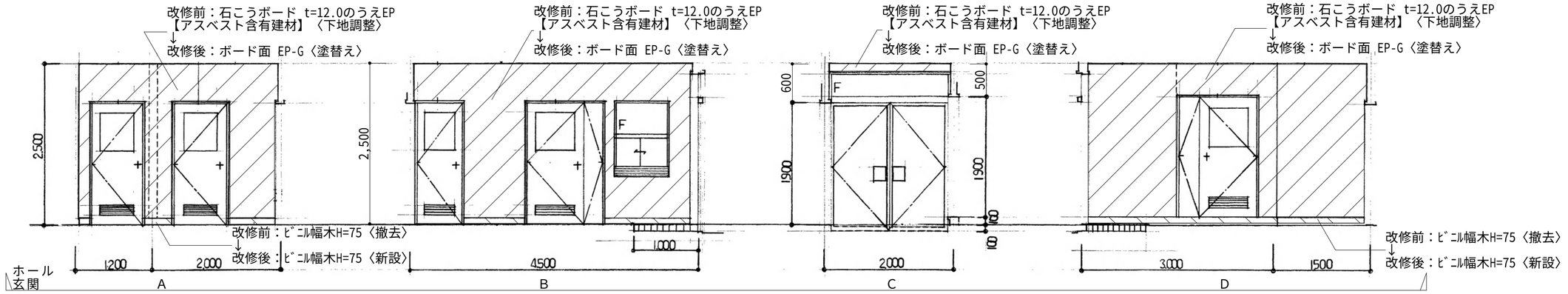
改修後　トイレ平面詳細図・建具伏図　S=1:50

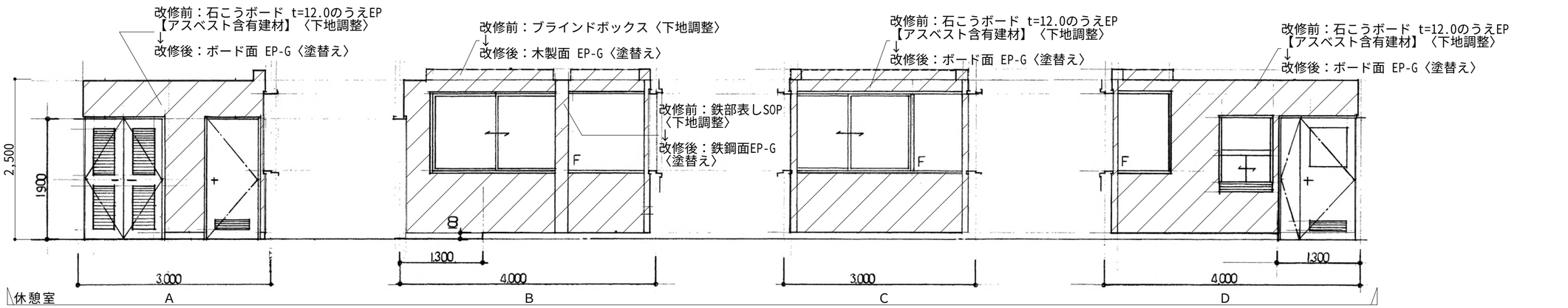
凡例	
	仕上材〈新設〉を示す
	〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

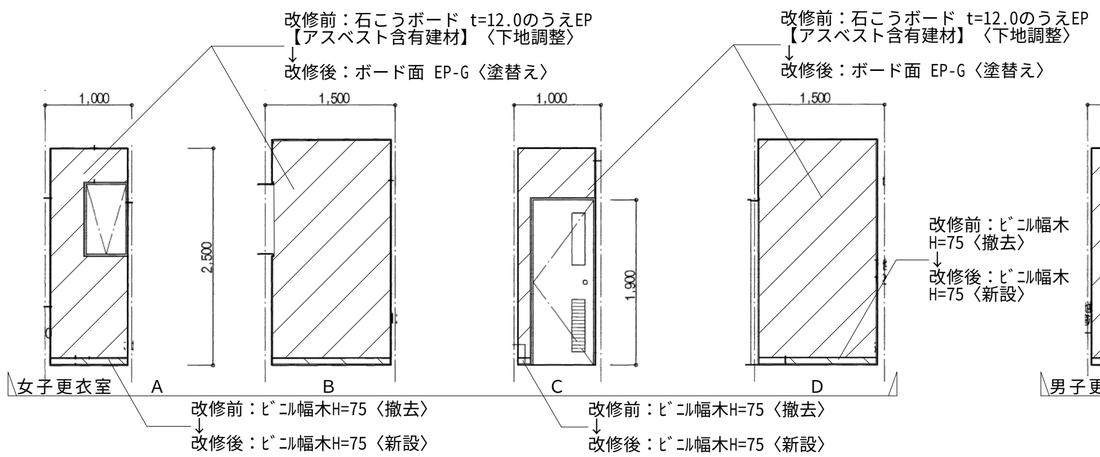


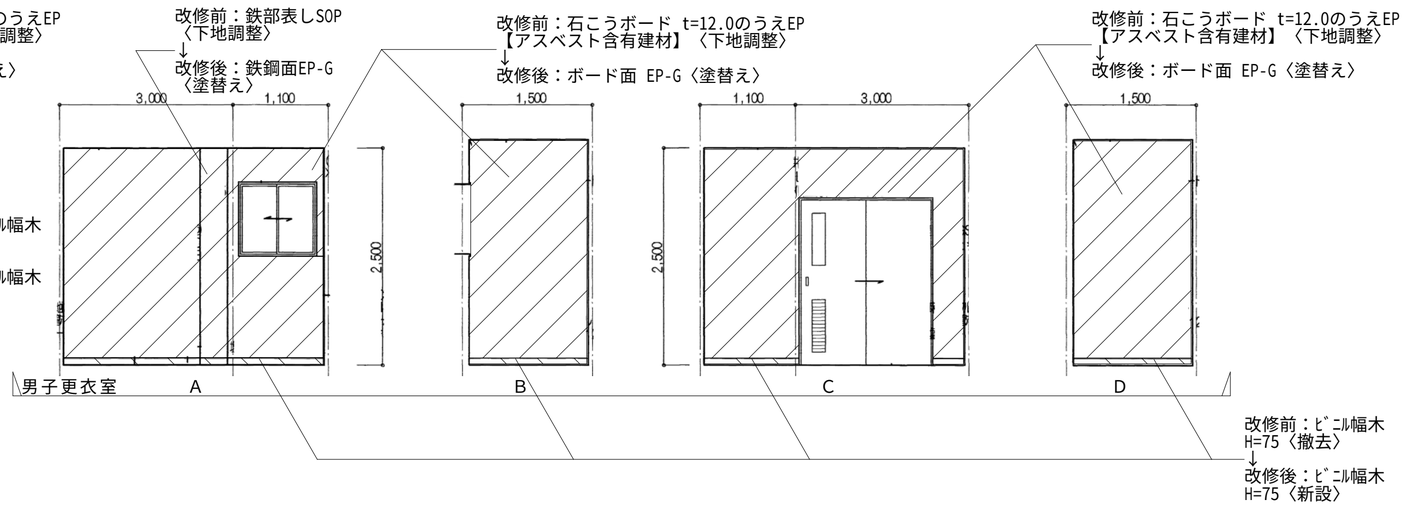


工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修後便所平面詳細図・建具伏図・展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６４



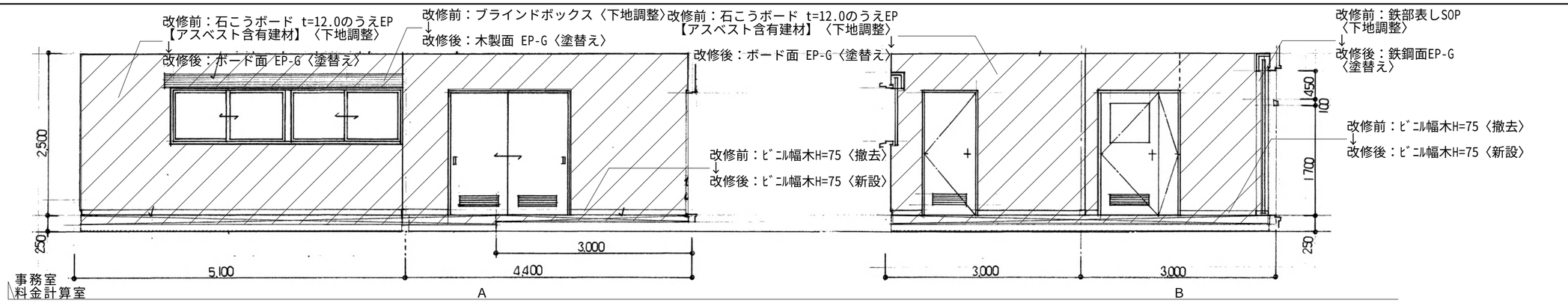


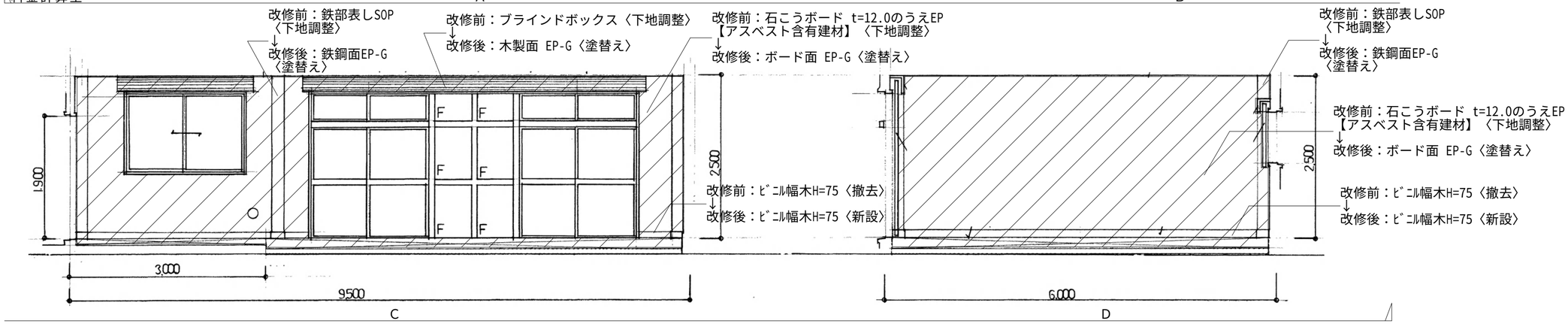


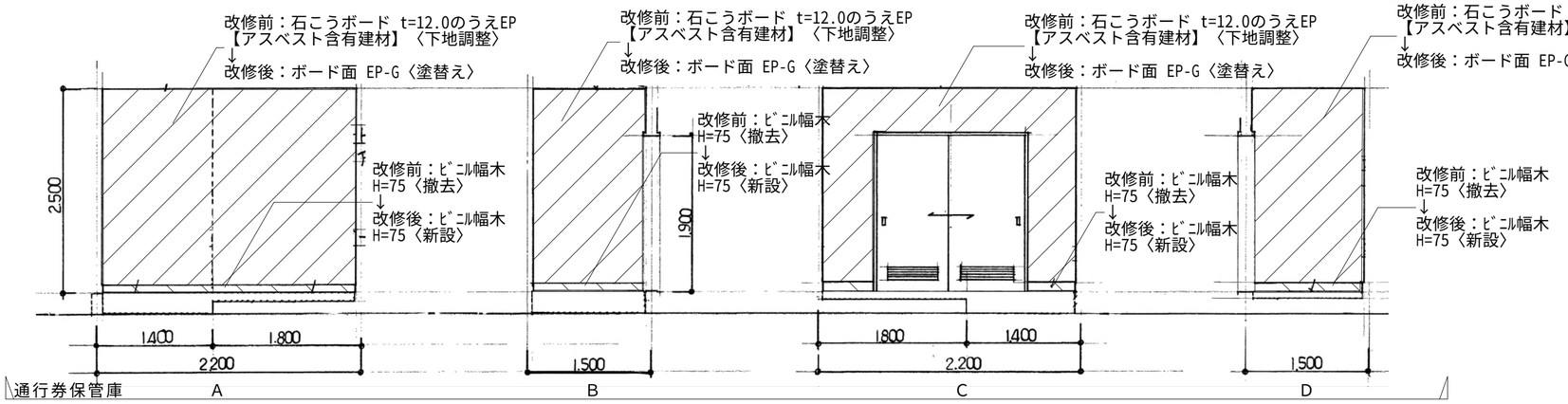


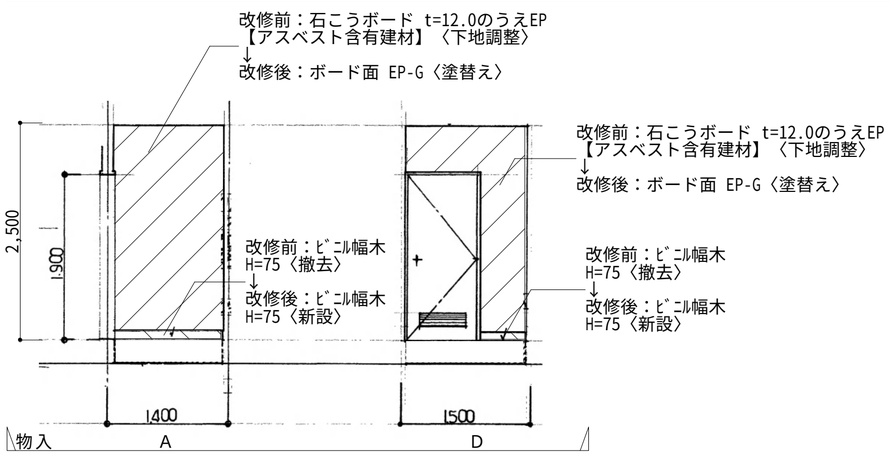
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前・改修後　展開図（１）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６５



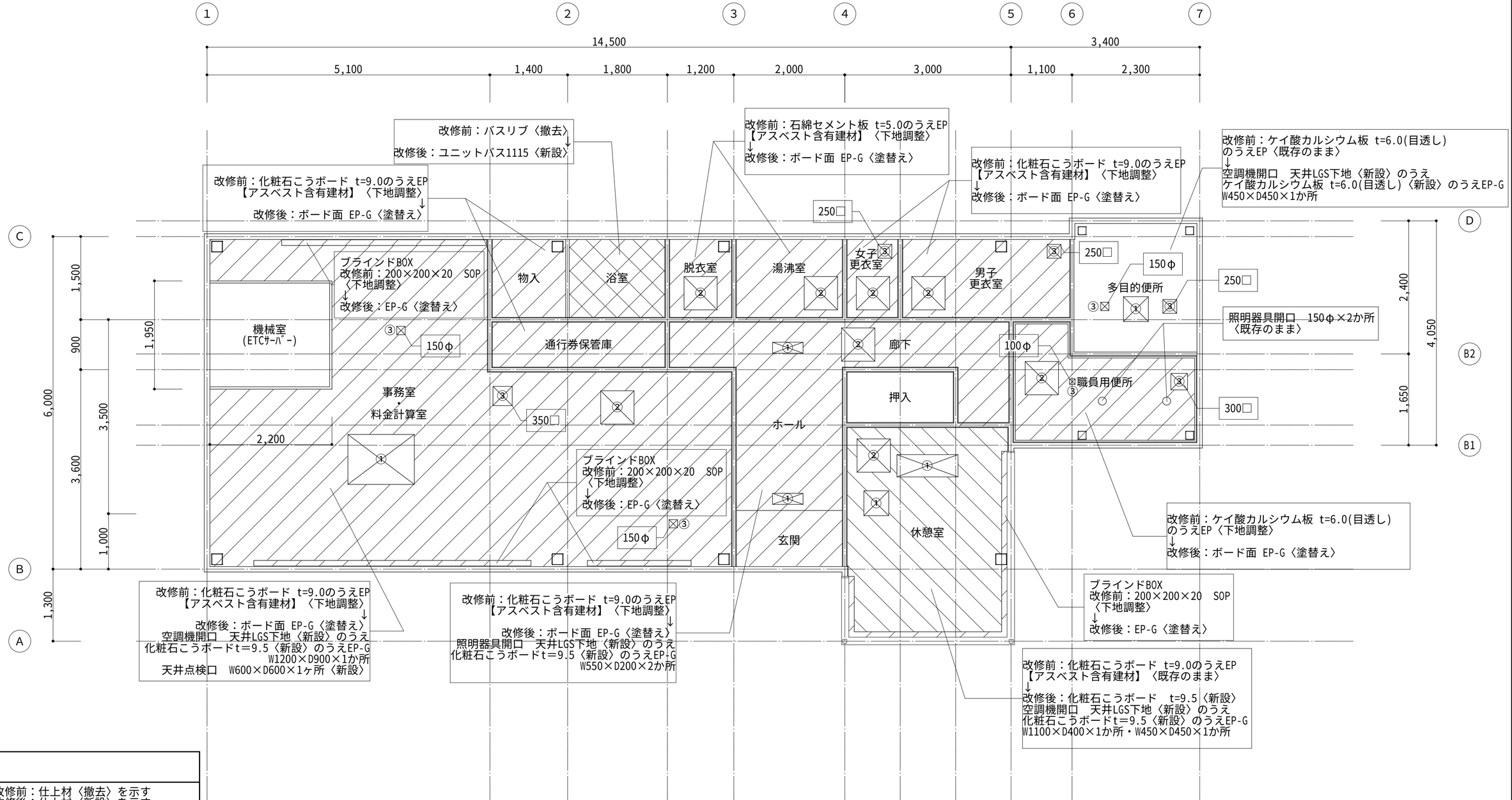






凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

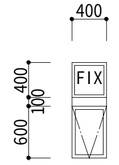
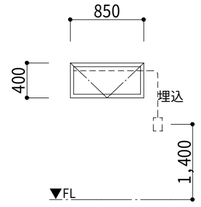
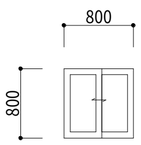
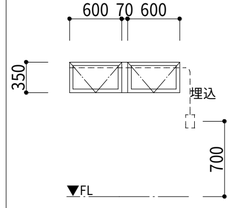
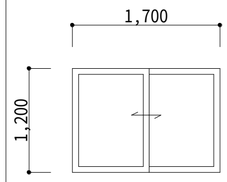
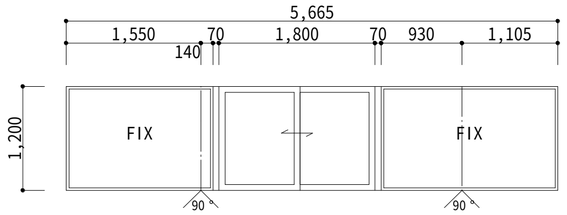
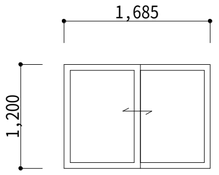
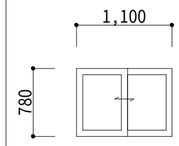
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前・改修後　展開図（２）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６６

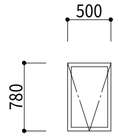
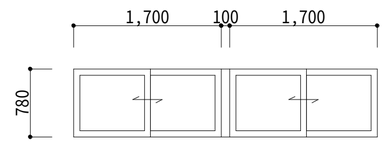
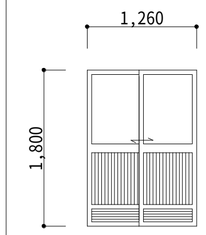
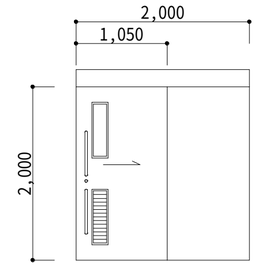
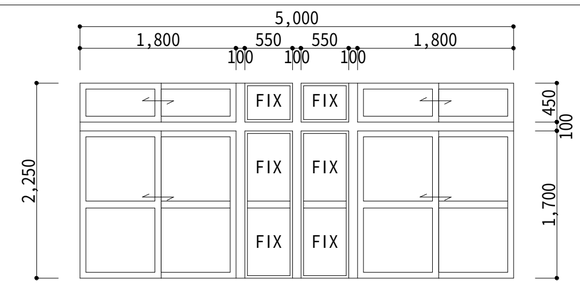
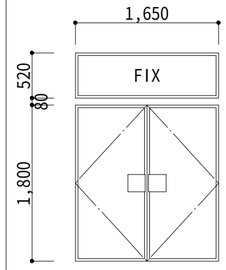


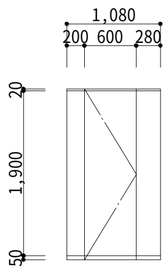
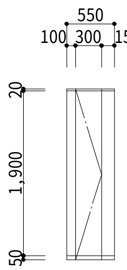
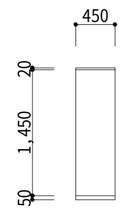
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：仕上材・下地共〈撤去〉を示す 改修後：仕上材・下地共〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
①	設備開口復旧(LGS+仕上材)新設を示す
②	天井点検口(600×600)新設を示す
③	設備開口補強(LGS)新設を示す

改修前・改修後　天井伏図　S=1:50

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前・改修後　天井伏図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６７

記　号	AW 1	AW 2	AW 3	AW 4	AW 5	AW 6	AW 7	AW 8
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所
姿　図								
仕　上	外倒し窓　嵌め殺し窓 ｱﾙﾐ製電解着色	外倒し窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓 ｱﾙﾐ製電解着色	連窓外倒し窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓　嵌め殺し窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓 ｱﾙﾐ製電解着色
硝　子	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	線入り透明ｶﾞﾗｽ　t=6.8	線入り透明ｶﾞﾗｽ　t=6.8	線入り透明ｶﾞﾗｽ　t=6.8	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8
建具金物	水切り、ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(4方)	水切り、ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(4方)	水切り、ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(4方)	水切り、ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(4方)	水切り、ｸﾚｾﾝﾄ	水切り、方立、ｸﾚｾﾝﾄ	水切り、ｸﾚｾﾝﾄ	水切り、ｸﾚｾﾝﾄ
備考	網戸(SUS)	網戸(SUS)、ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ	網戸(SUS)	網戸(SUS)	網戸(SUS)	網戸(SUS)	網戸(SUS)	網戸(SUS)
改修内容	網 額	網 額	網 額	網 額 木	網 額	ブ 網 額　ｶﾞB	網 額 木	網 額

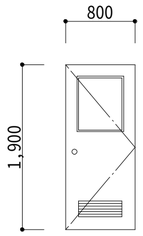
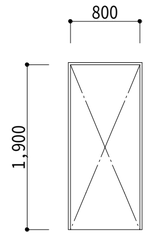
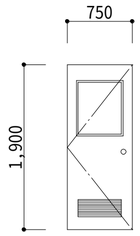
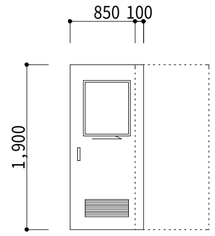
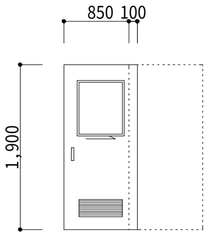
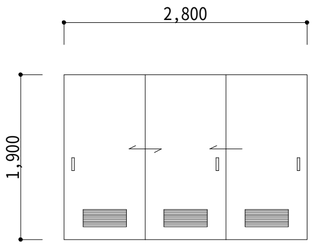
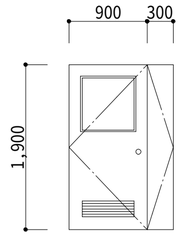
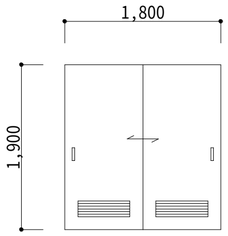
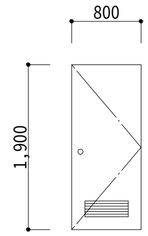
記　号	AW 9	AW 10	AW 11	AD 1	AD 2	AD 3
	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿　図						
仕　上	外倒し窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い ｱﾙﾐ製電解着色	片引き戸 ｱﾙﾐ製電解着色	引違い窓　嵌め殺し窓 ｱﾙﾐ製電解着色	両開き扉　嵌め殺し窓 ｱﾙﾐ製電解着色
硝　子	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	型ｶﾞﾗｽ　t=4.0、ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、ｶﾞﾗﾘ	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8	欄間・上部：透明ｶﾞﾗｽ　t=5.0　腰：型ｶﾞﾗｽ　t=4.0	網入型ｶﾞﾗｽ　t=6.8
建具金物	付属金物一式、水切り	水切り、方立、ｸﾚｾﾝﾄ	付属金物一式	ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、ｽﾃﾝﾚｽ取手(内外2本)、下枠ｽﾃﾝﾚｽ、自閉装置、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、内外部ｱﾙﾐ額縁	水切り、ｸﾚｾﾝﾄ	押板、ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾌﾗﾝｽ落し、ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ
備考	網戸(SUS)	網戸(SUS)			網戸(SUS)	沓摺ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)t=2.0
改修内容	網 額	網 額 木 金 ※クレセント取替・建具調整	※改修前〈撤去〉枠共		ブ 網　木 ｶﾞB	

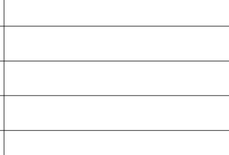
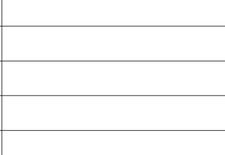
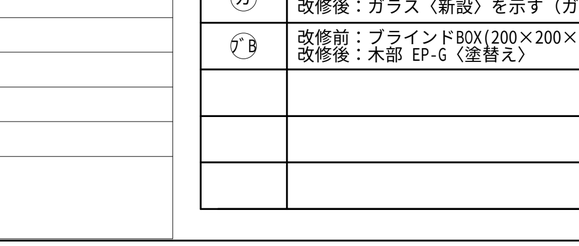
記　号	TB 3	TB 4	TB 5
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿　図			
仕　上	化粧珪酸カルシウム板　t=5 アルミ笠木	化粧珪酸カルシウム板　t=5 アルミ笠木	化粧珪酸カルシウム板　t=5 アルミ笠木
硝　子			
建具金物	ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾛｯｸ(表示錠) ｱﾙﾐﾌﾚｰﾑ、巾木(SUS)、戸当(帽子掛)	ラバトリーヒンジ、 アルミフレーム、巾木(SUS)	アルミフレーム、巾木(SUS)
備考			
改修内容			

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ｶﾞB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第二料金事務所施設) 料金事務所+トイレ 改修前・改修後　建具表（1）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６８

記　号	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4	WD 5	WD 6	WD 7	WD 8	WD 9
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿　図									
仕　上	片開扉 シナ合板SOP塗装	木製三方枠SOP塗装	片開扉 ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	片引き戸 ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	片引き戸 ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	片引き戸 ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	両開き親子扉 シナ合板SOP塗装	引違い戸 シナ合板SOP塗装	片開扉 シナ合板SOP塗装
硝　子	型ｶﾞﾗｽ　t=4.0		型ｶﾞﾗｽ　t=4.0	型ｶﾞﾗｽ　t=4.0	型ｶﾞﾗｽ　t=4.0		型ｶﾞﾗｽ　t=4.0		
建具金物			丁番、握手、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、戸当、敷居ｽﾃﾝﾚｽW=40、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｻﾑﾀｰﾝ	戸車、引手、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、戸当、M型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ(SUS)、鎌帖	戸車、引手、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、戸当、M型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ(SUS)、表示錠	戸車、引手、ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、換気口、M型ﾌﾗｯﾄﾚｰﾙ(SUS)	ｽﾃﾝﾚｽ丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾌﾗﾝｽ落とし、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、戸当り	引手(SUS:L=90)、戸車、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ戸当り、表示錠	ｽﾃﾝﾚｽ丁番、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、戸当り
備考	省摺ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)t=2.0、木製ｶﾞﾗﾘ	※扉紛失					省摺ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)t=2.0、木製ｶﾞﾗﾘ	省摺ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)t=2.0、木製ｶﾞﾗﾘ	省摺ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)t=2.0、木製ｶﾞﾗﾘ
改修内容	額 木	額	額 金 ※ドアノブ交換	額	額 金 ※戸車交換	額	額 木	額 木	額 木

記　号	PW 1	PW 2	PW 3	PW 4
	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
姿　図				
仕　上	硬質塩ビ製	硬質塩ビ製	硬質塩ビ製	硬質塩ビ製
硝　子	透明ｶﾞﾗｽ　t=5.0	透明ｶﾞﾗｽ　t=5.0	透明ｶﾞﾗｽ　t=5.0	透明ｶﾞﾗｽ　t=5.0
建具金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント
備考				
改修内容	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉	改修後：〈新設〉

記　号					
姿　図					
仕　上					
硝　子					
建具金物					
備考					
改修内容					

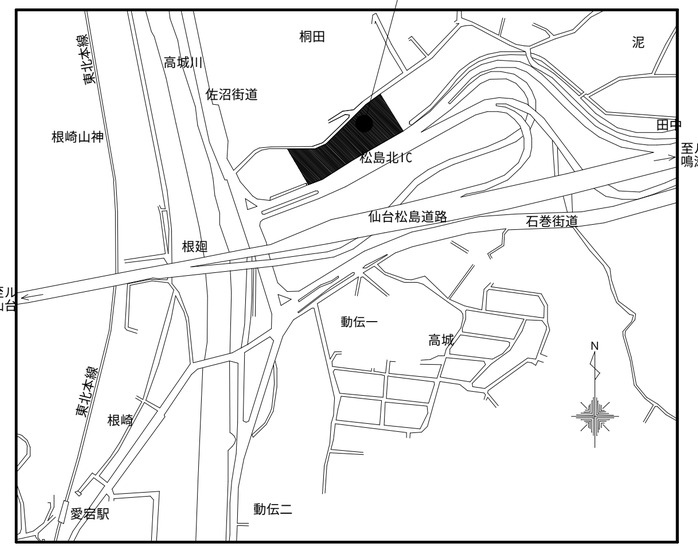
凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ﾌﾞB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

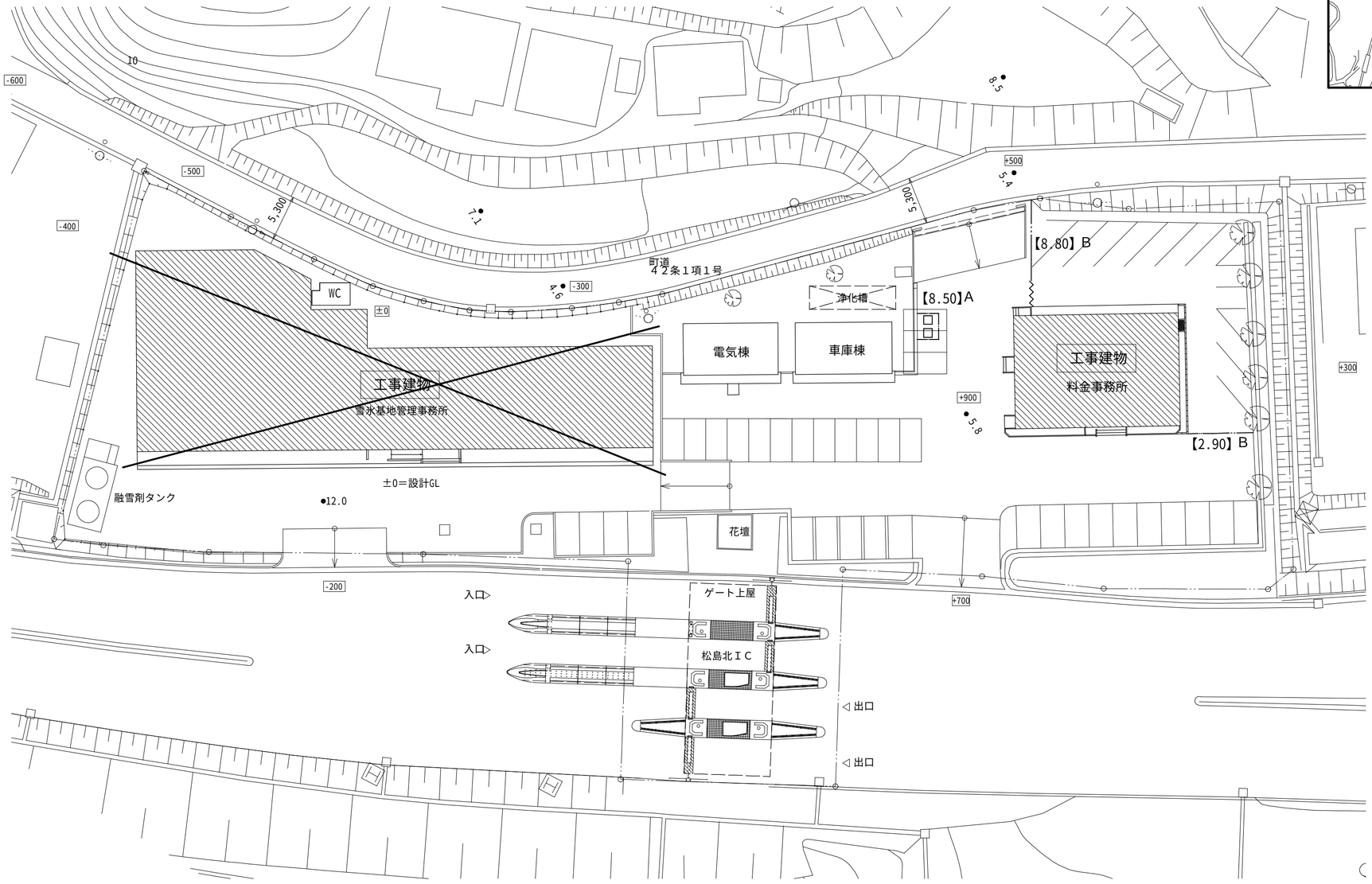
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	(松島大郷第二料金事務所施設）料金事務所+トイレ 改修前・改修後　建具表（２）		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	令和5年度
宮城県道路公社		図番	Ａ－６９

仮設計画　凡例			
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】A	成形鋼版	H=2.0m	8.50m
【数量】B	単管シート	H=2.0m	11.70m
～～～	シートゲート	W=3.6m×H=4.5m	1箇所
□	仮設トイレ	水洗式	２棟
アスベスト含有材　採取費			1日
アスベスト調査		定性分析　（ボード・床材　4種類+配管保温材・エルボ　3種類）	7検体

施工場所：宮城県宮城郡松島町根廻字桐田16



案　内　図



配置図　S=1:400

凡例	
▨	工事建物 を示す
□	既存建物　を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設） 案内図・配置図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７０

外部仕上表

建物名	区 分	ポーチ・外部階段・植込み	腰巾木	外 壁・柱 型	軒 天・梁 型	屋 根・樋	その他
料金 事務所	(改修前)	ポーチ:磁器質ﾀｲﾙ100角(廊下踏込、外便所前共)〈既存のまま〉 スロープ:ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ磁器質ﾀｲﾙ100角 〈既存のまま〉 靴洗い場:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修 陶石状多彩模様吹付<撤去> 一部正面磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ25角<撤去> ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(D400×L1000)枠付き<撤去> 一部ポーチ磁器質ﾀｲﾙ100角<撤去> 植込み:ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りt120　H=500　客土H=400<撤去> 植込み:縁石H150×D150　客土H=150〈撤去〉 PGボンベ置場:土間ｺﾝｸﾘｰﾄt200〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（設計GL+600）<既存のまま>	ALC板t100ﾀﾃ張り ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ<既存のまま> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉 ﾊﾞﾙｺﾆｰ床:ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押えの上 合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ防水t2.0<既存のまま> ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺壁:ALC板t100ﾖｺ張り+ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙALC板t50 吹付ﾀｲﾙ　下部ｶﾗｰｱﾙﾐﾆｯﾄ幕板(既製品)<既存のまま>	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt6.0目透かし貼（一部有孔板） VP 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】<既存のまま>	構造用合板t12+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地 ｶﾗｰ鋼鈑t0.4（ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt4.0裏打）横葺き<既存のまま> 鼻隠し:ｶﾗｰ鋼鈑t0.6包み<既存のまま> 内樋:耐酸被覆鋼鈑（芯鋼鈑t0.8）曲げ加工　塩ビ自在ﾄﾞﾚﾝ75A<既存のまま> 竪樋:VP75A　ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理の上VP　受金物　ｽﾃﾝﾚｽ製<既存のまま> ルーフドレン:鋳鉄製80A　中継型及び横引型<既存のまま> キャノピー:ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押えの上合成高分子ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ防水t2.0 ｶﾗｰｱﾙﾐﾆｯﾄ幕板(既製品)<既存のまま>	—
車庫棟 ・ 電気棟	(改修前)	犬走り:ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ（目地切@900）〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（設計GL+600）<既存のまま>	ALC板t100ﾀﾃ張り ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ<既存のまま> 一部車庫　石綿ｾﾒﾝﾄ板t6.0　吹付ﾀｲﾙ<既存のまま> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉	石綿ｾﾒﾝﾄ板t5.0目透かし貼（一部有孔板） EP 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】<既存のまま>	構造用合板t12+ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ22kg品下地　ｶﾗｰ鋼鈑t0.4横葺き<既存のまま> 軒樋:塩ビ製　半円形型105m/m<既存のまま> 竪樋:VP80φ<既存のまま>	—
雪氷基地 管理 事務所	(改修前)	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（B種）複層塗材RE<既存のまま>	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（B種）複層塗材RE<既存のまま> 目地・建具周囲:ｼｰﾘﾝｸﾞ〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（B種）複層塗材RE<既存のまま>	押えｺﾝｸﾘｰﾄt80　ｱｽﾌｧﾙﾄ防水（ｽﾄﾗｲﾌﾟ工法・PX-930R）<既存のまま> 笠木：ｱﾙﾐ笠木<既存のまま> 竪樋:SGP100φ　SOP<既存のまま> 庇:ｼｰﾄ防水（機械的固定）<既存のまま>	—
料金 事務所	(改修後)	— — 靴洗い場:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し（B種）の上50角ﾓｻﾞｲｸタイル貼<新設> 鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ(細目)L900×D520×H25<新設> 植込み:改修後：ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装（車道用）密粒度ｱｽｺﾝA-5-15<新設> PGボンベ置場:不陸調整ｺﾝｸﾘｰﾄ増し打ちt100 溶接金網敷　100×100　6φ〈新設〉	—	—	—	— — 内樋（自在ﾄﾞﾚﾝ共）:<清掃> — — —	排気孔塞ぎ：ステンレス鋼鈑t0.6（SUS304）　300×400×1ヶ所<新設>
車庫棟 ・ 電気棟	(改修後)	—	—	—	—	—	—
雪氷基地 管理 事務所	(改修後)	—	—	—	—	—	—

内部仕上表

階数	室 名		床 レﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備 考
1 F	[料金事務所] 玄関	既存	-100	M<既存のまま>	磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 一部磁器質ﾀｲﾙ100角 L=3200×D=200〈撤去〉	磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 一部ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	100 75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】のうえAEP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,600 2,500	木製下足入れ:<撤去> 上框:<既存のまま>
		改修	—	— M<一部撤去>	— 一部磁器質ﾀｲﾙ100角 L=3200×D=200〈新設〉	— 一部ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	— 75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	— —	ｽﾁｰﾙ製下足入れ:<新設>
	[料金事務所] ホール・廊下	既存	±0	M<既存のまま>	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】のうえAEP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	ｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×8〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	ｻｲﾝ(平付): ｱｸﾘﾙ製×8〈新設〉
	[料金事務所] 事務室	既存	±0	M<既存のまま>	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】のうえAEP〈下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	ｻｲﾝ: ｱｸﾘﾙ製×2〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	— LGS〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	—	—	—	ｻｲﾝ(平付): ｱｸﾘﾙ製×2〈新設〉 神棚<再取付>

階数	室 名		床 レﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備 考
1 F	[料金事務所] 通行券保管庫	既存	±0	M<既存のまま>	ビニル床シートt=2.5〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】のうえAEP〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	不燃化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	—	—	—	—	—	—	—
	[料金事務所] 料金機械室	既存	±0	OA<一部撤去>	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=2.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】のうえAEP〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	不燃化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=4.0〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	—	—	— LGS〈一部新設〉	— 一部不燃化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	—	—	—
	[料金事務所] 料金計算室・ETCｻｰﾊﾞｰ室【対象外】	既存	±0	OA<一部撤去>	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=2.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈撤去〉 ETCｻｰﾊﾞｰ室(下地共)<既存のまま>	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈撤去〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】のうえAEP〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	不燃化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	神棚<取外し>
		改修	—	OA<一部新設>	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=4.0	ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉	75	—	—	— LGS〈一部新設〉	— 一部不燃化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	—	—	—

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものはも今回工事対象外を示す。仕上表及び「各図面共通」とする。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は　—　・〈新設〉・〈張り替え〉:塗装以外の場合・〈塗替え〉塗装の場合　・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床・二重床：乾式二重床を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：改修後のアスファルト舗装は、車道用とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【ｱｽﾍﾟ ｽﾄ含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に【対象外】に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉･改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共
　〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調
　設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。

⑪：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=300)一部撤去・新設は10.0㎡とする。

耐火・防火・不燃 番号

せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
防火上主要な間仕切壁の 強化せっこうボード(t=12.5+12.5) 両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44) (FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡 例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設） 改修前・改修後 仕上表(1)		
縮 尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７１

内部仕上表

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	[料金事務所] 警官詰所	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS 〈一部新設〉	既存仕上材のうえ 化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	塩ビ 〈新設〉	2,490	—
	[料金事務所] 踏込	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 <既存のまま>のうえ壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	壁紙<張り替え>	—	既存仕上材のうえ 木目化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	塩ビ 〈新設〉	2,390	—
	[料金事務所] 更衣室・休憩室	既存	+100	M W <既存のまま>	畳敷き t=60〈撤去〉 一部フローリング t=15.0 〈既存のまま〉	木製畳寄せ 〈既存のまま〉	—	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 <既存のまま>のうえ壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉 一部石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】<既存のまま> のうえ壁紙<撤去後下地調整>	木製 〈既存のまま〉	2,400 2,370	—
		改修	—	—	畳敷き t=60〈新設〉	—	—	—	壁紙<張り替え>	— LGS 〈一部新設〉	既存仕上材のうえ 木目化粧石こうボード t=9.5〈新設〉 壁紙<張り替え>	—	2,390 2,370	—
	[料金事務所] 押入	既存	+100	W <既存のまま>	シナ合板 t=9.0 <既存のまま>	雑巾摺 〈既存のまま〉	—	LGS 〈既存のまま〉	ラワン合板 t=5.5〈既存のまま〉	LGS 〈既存のまま〉	ラワン合板 t=5.5〈既存のまま〉	—	—	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[料金事務所] 階段下倉庫	既存	-450	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈既存のまま〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈既存のまま〉	—	鉄骨あらわし SOP<既存のまま>	—	—	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[料金事務所] 湯沸室	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	フレキシブルボード t=6.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】のうえVP <下地調整>	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	流し台L=1,200:〈撤去〉 ｺﾝﾛ台L=600:〈撤去〉 吊戸棚L=1,200×D=380:〈撤去〉 水切り棚L段L=600:〈撤去〉 ｽﾃﾝﾚｽ製ﾀｵﾝｸﾞD=110:〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部メラミン不燃化粧板 t=3.0 (タイル直貼)<新設>	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	流し台L=1,200:〈新設〉 ｺﾝﾛ台L=600:〈新設〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞL=1,800:〈新設〉
	[料金事務所] 脱衣室・踏込	既存	+50 ・ ±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉 一部 LGS 〈撤去〉	シージング石こうボード t=12.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】<既存のまま> のうえ壁紙<撤去後下地調整> 一部シージング石こうボード t=12.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】のうえ壁紙<撤去>	LGS 〈既存のまま〉	耐水石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】<既存のまま> のうえ防カビ壁紙<撤去後下地調整>	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	木製1段棚:〈撤去〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞ:〈既存のまま〉
		改修	— +200	— 二重床 H=150	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉 洗濯機ﾊﾟﾝ置場: ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	— 一部 LGS 〈新設〉	壁紙<張り替え> 一部シージング石こうボード t=12.5 のうえ壁紙<新設>	— LGS 〈一部新設〉	防カビ壁紙<張り替え> 一部耐水石こうボード t=9.5 のうえ防カビ壁紙<新設>	—	—	脱衣棚:〈新設〉 物干掛け:〈新設〉
	[料金事務所] 浴室	既存	±0	M <既存のまま>	モザイクタイル25角 〈既存のまま〉	—	—	LGS 〈既存のまま〉 一部 LGS 〈撤去〉	ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=9.0ﾓﾙﾀﾙ下塗りのうえ 陶器質ﾀｲﾙ100角<既存のまま> 一部ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=9.0ﾓﾙﾀﾙ下塗りのうえ 陶器質ﾀｲﾙ100角<撤去>	LGS 〈撤去〉	バスリブt=9.0<撤去>	—	2,300 〜 2,400	FRP製浴槽:〈撤去〉 —
		改修	+189	—	—	—	—	— 一部 LGS 〈新設〉	— 一部壁下地あらわし	—	躯体あらわし	—	2,005 (UB天井高)	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ1216ｻｲｽﾞ (折り戸(50mm段差) ・FRP浴槽・平天井) 〈新設〉
	[料金事務所] 外便所	既存	-50	M <撤去>	モザイクタイル25角 〈撤去〉	—	—	LGS 〈既存のまま〉	ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=9.0<既存のまま> ﾓﾙﾀﾙ下地のうえ陶器質ﾀｲﾙ100角<撤去>	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ:〈既存のまま〉 トイレブース:〈撤去〉
		改修	—	M t=37 <新設>	床タイル100角<新設>	—	—	— 一部 LGS 〈新設〉	ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ100角接着張り<新設> 一部シージング石こうボード t=12.5のうえ ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ100角接着張り<新設>	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	トイレブース:〈新設〉
	[料金事務所] 男子便所・女子便所	既存	-50	M <既存のまま>	モザイクタイル25角 〈既存のまま〉	—	—	LGS 〈既存のまま〉	ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=9.0ﾓﾙﾀﾙ下塗りのうえ 陶器質ﾀｲﾙ100角<既存のまま>	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ:〈撤去〉 トイレブース:〈撤去〉 隔て板:〈撤去〉
		改修	±0	M t=50 <新設>	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	床仕上材立上げ <新設>	100	— 一部 LGS 〈新設〉	メラミン不燃化粧板 t=3.0 (タイル直貼)<新設> 一部シージング石こうボード t=12.5のうえ メラミン不燃化粧板 t=3.0<新設>	— LGS 〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	2,350	ﾗｲﾆﾝｸﾞ:〈新設〉 トイレブース:〈新設〉 隔て板:〈新設〉 電気温水器付き洗面化粧台:〈新設〉 薄型汚垂れ陶板t=6.0:〈新設〉 木製棚(ﾀﾓ集成材):<新設>

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
2F	[料金事務所] 事務室	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	ｻｲﾝ:アクリル製×2〈撤去〉 ｽﾁｰﾙ製書庫 W900×D450×H2500<撤去>
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS 〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	—	ｻｲﾝ(平付):アクリル製×2〈新設〉 ｽﾁｰﾙ製両開き書庫 W900×D380×H1800<新設>
	[料金事務所] 事務室(会議室)	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS 〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	—	—
	[料金事務所] 倉庫	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS 〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	—	—
	[料金事務所] ｺﾝﾄﾛｰﾙ室【対象外】	既存	±0	O A <既存のまま>	OAﾌﾛｱ用ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt=2.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈既存のまま〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈既存のまま〉	LGS 〈既存のまま〉	不燃化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[料金事務所] 仮眠室・更衣室	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS 〈一部新設〉	既存仕上材のうえ 化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	塩ビ 〈新設〉	2,490	—
	[料金事務所] 踏込	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 <既存のまま>のうえ壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	壁紙<張り替え>	—	既存仕上材のうえ 木目化粧石こうボード t=9.5〈新設〉	塩ビ 〈新設〉	2,390	—
	[料金事務所] 休憩室	既存	+100	W <既存のまま>	畳敷き t=60〈撤去〉 一部フローリング t=15.0 〈既存のまま〉	木製畳寄せ 〈既存のまま〉	—	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】 <既存のまま>のうえ壁紙<撤去後下地調整>	LGS 〈既存のまま〉	木目化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】〈既存のまま〉 一部石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾟｽﾄ含有建材】<既存のまま> のうえ壁紙<撤去後下地調整>	木製 〈既存のまま〉	2,400 2,370	—
		改修	—	—	畳敷き t=60〈新設〉	—	—	—	壁紙<張り替え>	— LGS 〈一部新設〉	既存仕上材のうえ 木目化粧石こうボード t=9.5〈新設〉 壁紙<張り替え>	塩ビ 〈新設〉	2,390 2,370	—
	[料金事務所] 押入	既存	+100	W <既存のまま>	シナ合板 t=9.0 <既存のまま>	雑巾摺 〈既存のまま〉	—	LGS 〈既存のまま〉	ラワン合板 t=5.5〈既存のまま〉	LGS 〈既存のまま〉	ラワン合板 t=5.5〈既存のまま〉	—	—	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

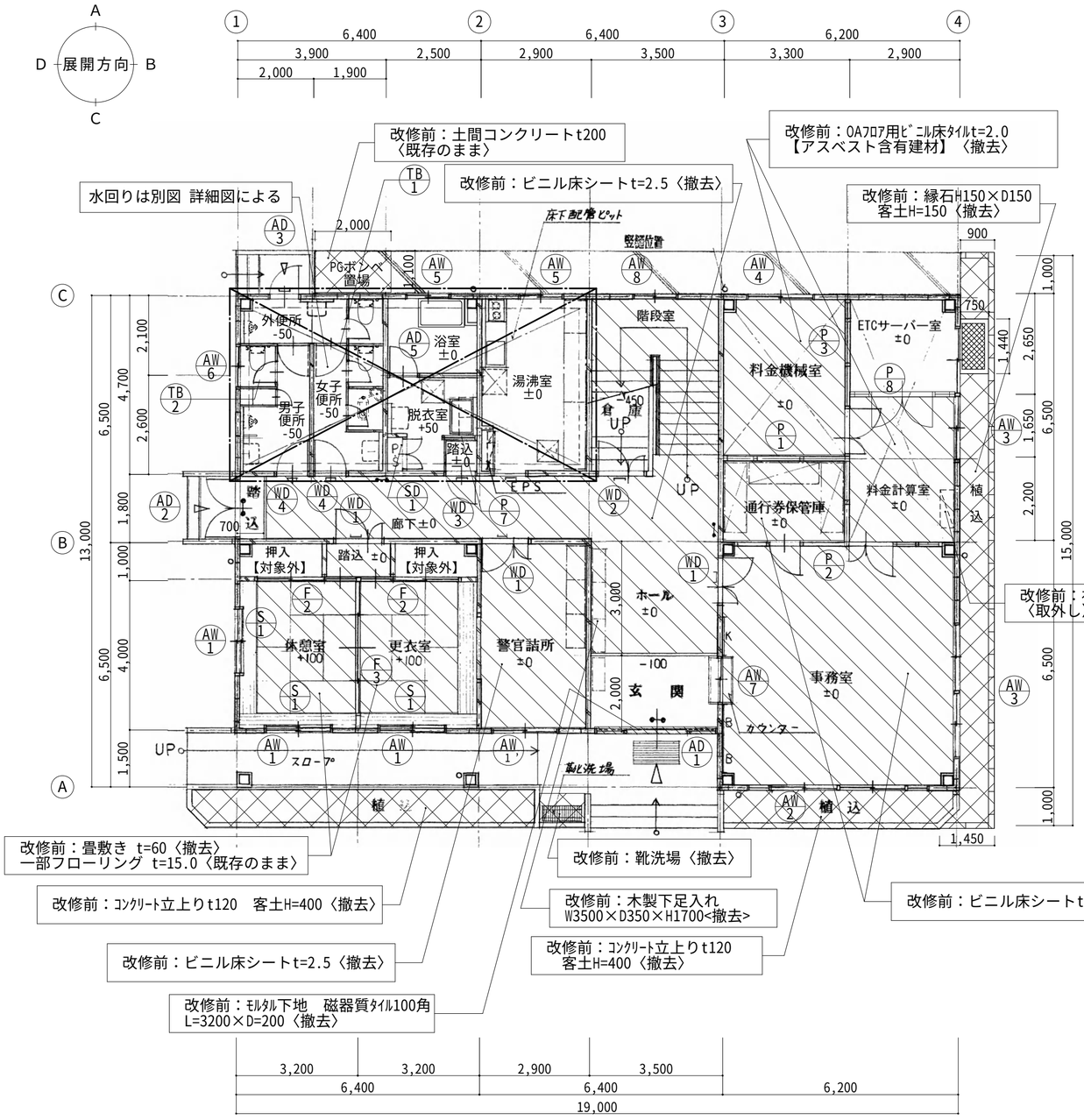
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設） 改修前・改修後 仕上表(2)		
縮尺	—	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A－７２

内部仕上表

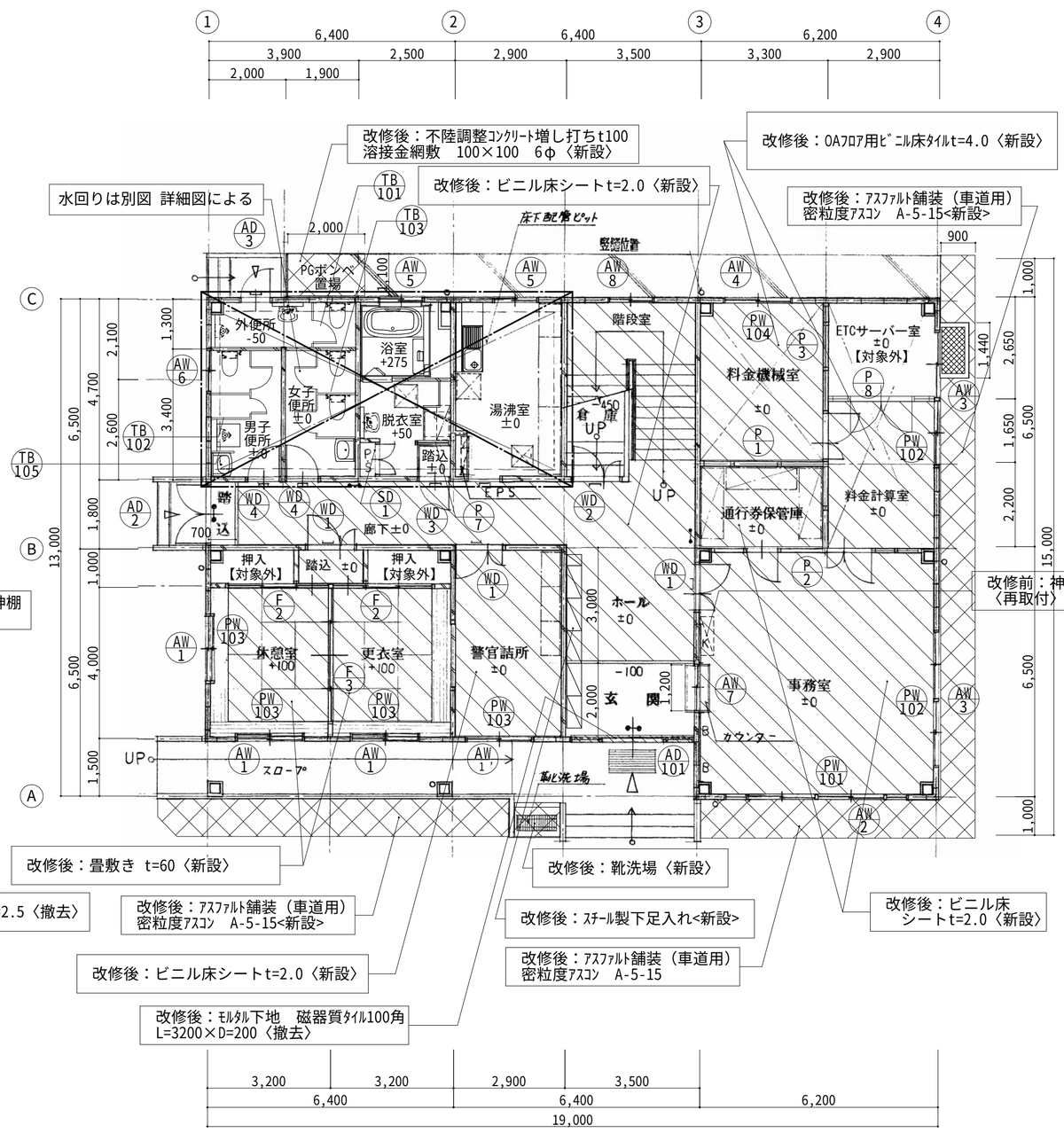
階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高	備考
2F	[料金事務所] 管理室	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	—
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	— LGS 〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	—	—
	[料金事務所] 湯沸室	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	フレキシブルボード t=6.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】のうえVP <下地調整>	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	流し台L=1,200:〈撤去〉 ｺﾝﾛ台L=600:〈撤去〉 吊戸棚L=1,200×D=380:〈撤去〉 水切り棚L段L=600:〈撤去〉 ｽﾃﾝﾚｽ製ﾀｵﾘﾝｸﾞD=110:〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	流し台L=1,200:〈新設〉 ｺﾝﾛ台L=600:〈新設〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞL=1,800:〈新設〉
	[料金事務所] 男子便所	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	床仕上材立上げ <撤去>	100	LGS 〈既存のまま〉	ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=9.0ﾓﾙﾀﾙ下塗りのうえ 陶器質ﾀｲﾙ100角<既存のまま>	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ：〈撤去〉 トイレブース：〈撤去〉 隔て板：〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	床仕上材立上げ <新設>	100	—	メラミン不燃化粧板 t=3.0 (タイル直貼)<新設>	— LGS 〈一部新設〉	ボード面 EP-G〈塗替え〉 一部化粧石こうボード t=9.5 EP-G〈新設〉	—	—	ﾗｲﾆﾝｸﾞ：〈新設〉 トイレブース：〈新設〉 隔て板：〈新設〉 電気温水器付き洗面化粧台：〈新設〉 薄型汚垂れ陶板t=6.0：〈新設〉 木製棚（ﾀﾓ集成材）：<新設>
	[料金事務所] 女子便所	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	床仕上材立上げ <撤去>	100	LGS 〈既存のまま〉	ﾗｽｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t=9.0ﾓﾙﾀﾙ下塗りのうえ 陶器質ﾀｲﾙ100角<既存のまま>	LGS 〈既存のまま〉 一部 LGS <撤去>	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】〈下地調整〉 一部化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】〈撤去〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,400	ﾗｲﾆﾝｸﾞ：〈撤去〉 トイレブース：〈撤去〉
	[料金事務所] 脱衣室・踏込	改修	— +174	— 二重床 t=174	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	脱衣室：ﾋﾞﾆﾙ幅木〈新設〉 踏込：床仕上材立上げ<新設>	75 174	— 一部 LGS <新設>	メラミン不燃化粧板 t=3.0 (タイル直貼)<新設> 一部シージング石こうボード t=12.5のうえ メラミン不燃化粧板 t=3.0<新設>	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	2,226	脱衣棚：〈新設〉 収納棚：〈新設〉 ﾗｲﾆﾝｸﾞ：〈新設〉 天吊りｼｽﾃﾘｰﾊﾞｲﾌﾟ：〈新設〉
	[料金事務所] シャワールーム	改修	—	—	下地あらわし	下地あらわし	—	—	—	—	躯体あらわし	—	2,000 (SU天井高)	ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ0812ｻｲｽﾞ (折り戸・平天井) 〈新設〉
	[料金事務所] 廊下	既存	±0	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2,500	ｻｲﾝ： ｱｸﾘﾙ製×9〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	ｻｲﾝ(平付)： ｱｸﾘﾙ製×9〈新設〉
共通	[料金事務所] 階段	既存	—	M <既存のまま>	ビニル床シートt=2.5 〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈撤去〉	75	LGS 〈既存のまま〉	石こうボード t=12.0【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】 のうえAEP〈下地調整〉	LGS 〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.0 【ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材】〈下地調整〉	塩ビ 〈既存のまま〉	2F 2,500	鋼材 SOP<下地調整> ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾔﾘ30〈撤去〉
		改修	—	—	ビニル床シートt=2.0 〈新設〉	ﾋﾞﾆﾙ幅木 〈新設〉	75	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	ボード面 EP-G〈塗替え〉	—	—	鋼材 EP-G〈塗替え〉 ｽﾃﾝﾚｽ製 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾔﾘ35〈新設〉

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高	備考
1F	[雪氷基地管理事務所] 除雪作業倉庫	既存	-100	RC <既存のまま>	ｺﾝｸﾘｰﾄt200金ｺﾞﾃ+塗床 〈打設同時施工 ﾌｪﾛｺﾝ〉 〈下地調整〉	A E塗装 <既存のまま>	300	RC <既存のまま>	複層塗材 E<既存のまま>	RC <既存のまま>	複層塗材 E<既存のまま> 一部不燃断熱材吹付<既存のまま>	—	直天	—
		改修	—	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ表面保護材 (ｹｲ酸ﾘﾁｳﾑ系混合型表面含浸材 +ｱﾙｶﾘ回復性能強化剤) 〈塗布〉	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	[雪氷基地管理事務所] 車庫1	既存	-100 ～ -150	RC <既存のまま>	ｺﾝｸﾘｰﾄt200金ｺﾞﾃ+塗床 〈打設同時施工 ﾌｪﾛｺﾝ〉 〈下地調整〉 ｺﾝｸﾘｰﾄt200金ｺﾞﾃ+塗床 〈打設同時施工 ﾌｪﾛｺﾝ〉 〈既存のまま〉	A E塗装 <既存のまま>	300	RC <既存のまま>	複層塗材 E<既存のまま>	RC <既存のまま>	複層塗材 E<既存のまま> 一部不燃断熱材吹付<既存のまま>	—	直天	ﾁｪｰﾝ用ﾌｯｸ：<既存のまま> 工具棚：<既存のまま> ﾀｲﾔﾗｯｸ：<既存のまま> ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：<既存のまま> 可動式車止め：<既存のまま>
		改修	—	—	ｺﾝｸﾘｰﾄ表面保護材 (ｹｲ酸ﾘﾁｳﾑ系混合型表面含浸材 +ｱﾙｶﾘ回復性能強化剤) 〈塗布〉 一部ｺﾝｸﾘｰﾄt100ｳﾏの上 ｺﾝｸﾘｰﾄt100金ｺﾞﾃ+塗床 〈打設同時施工 ﾌｪﾛｺﾝt15程度〉〈新設〉	—	—	—	—	—	—	—	—	—

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事
図面名	（松島北料金事務所施設） 改修前・改修後 仕上表(3)
縮 尺	― 位置
設計者	設計年度
宮城県道路公社	図番 Ａ－７３



［料金事務所］改修前　１階平面図・建具伏図　S=1:100



［料金事務所］改修後　１階平面図・建具伏図　S=1:100

凡例			
	ALC間仕切．外壁	⟷	誘導標識
	軽量鉄骨間仕切		
	パーティション		
B B	黒板		
K	掲示板		
P	室名札		
RD RD	ルーフドレイン		

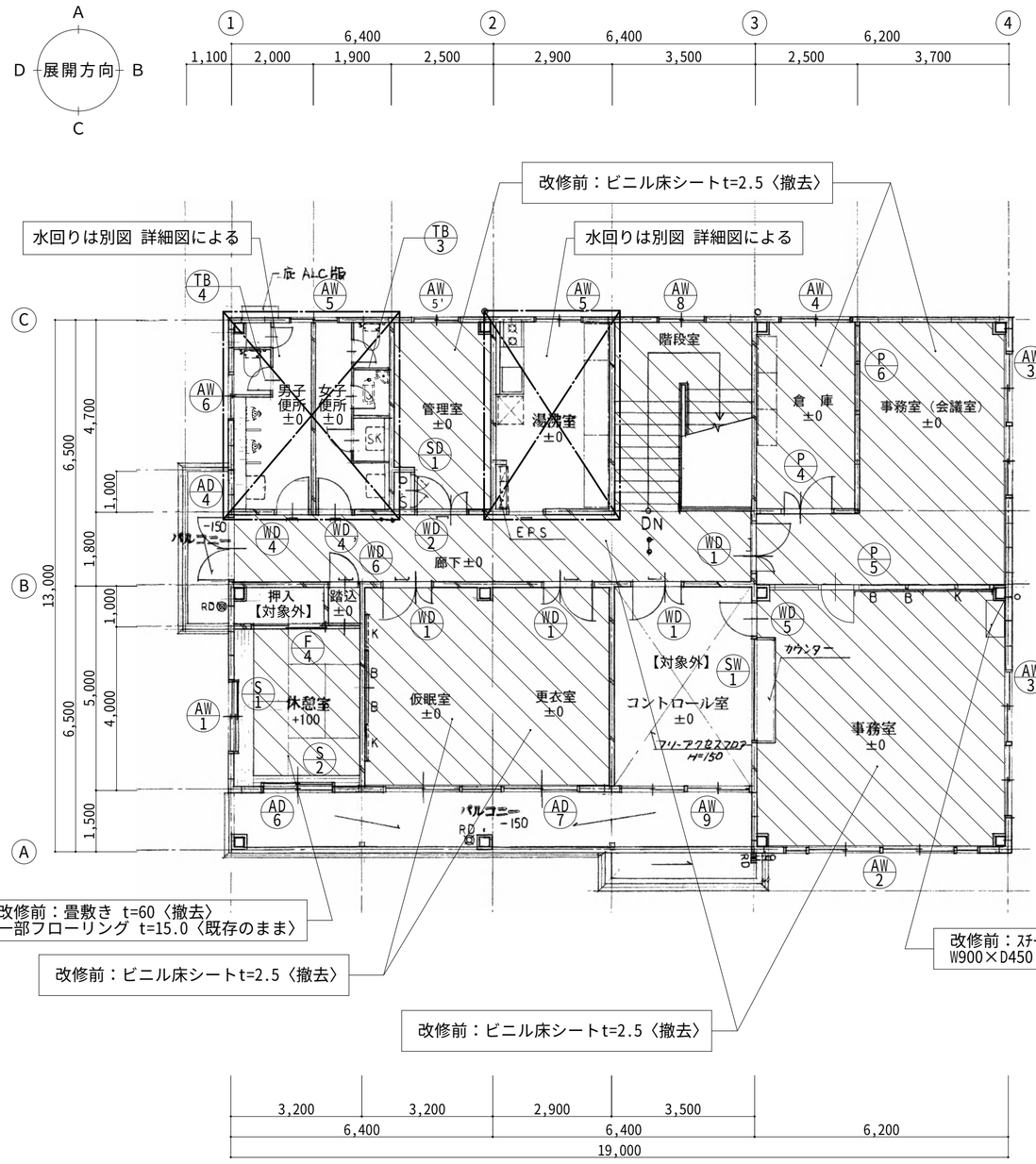
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

＊特記事項
スチール製下足入れ(扉付鍵無し長靴対応)
12人用3列4段（W850×D400×H1700）5ケ
4人用1列4段（W300×D400×H1700）1ケ　　計64人分

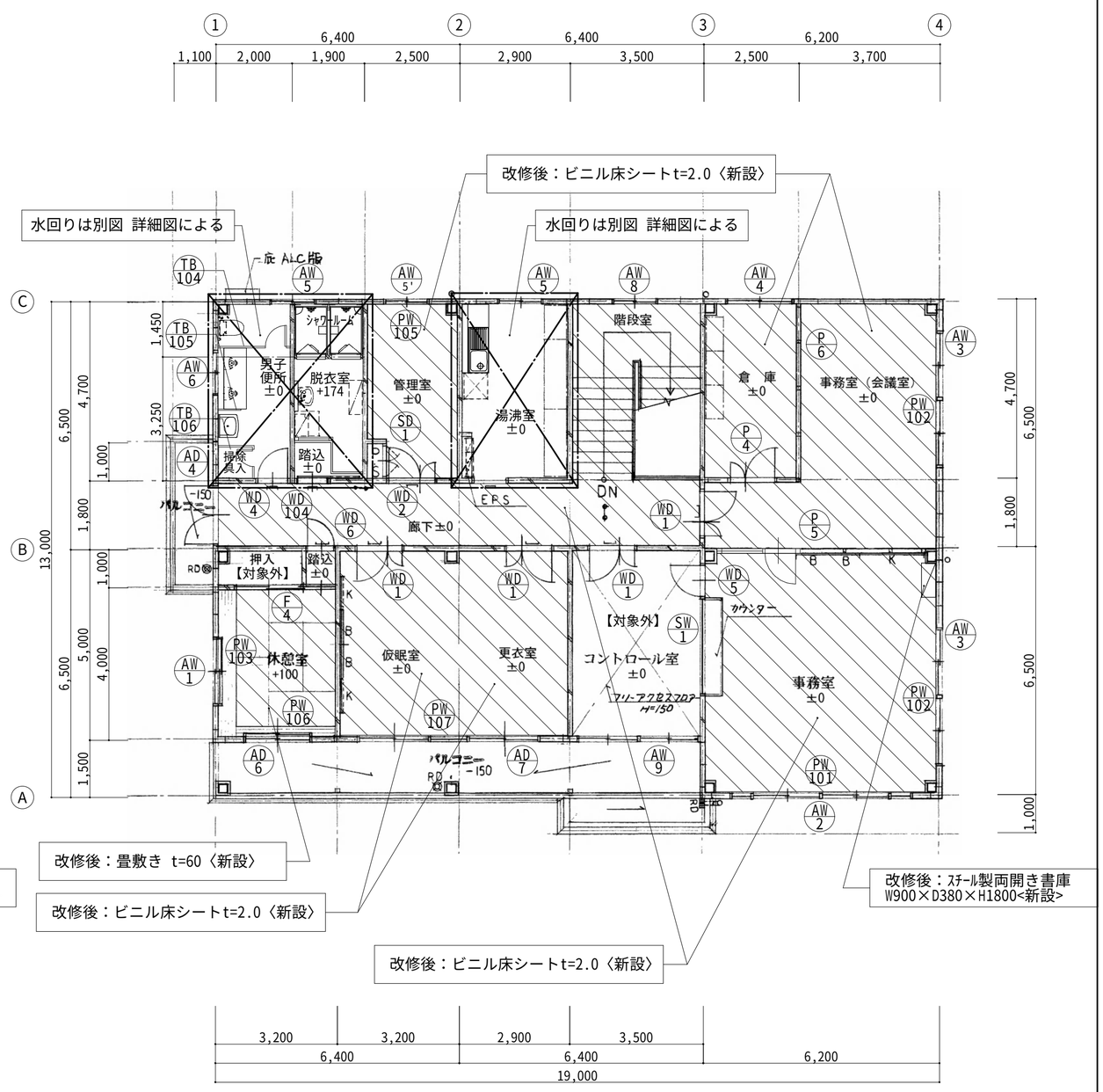

［12人用］


［4人用］

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　1階平面図・建具伏図		
縮　尺	1/100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７４



［料金事務所］改修前　２階平面図・建具伏図　S=1:100

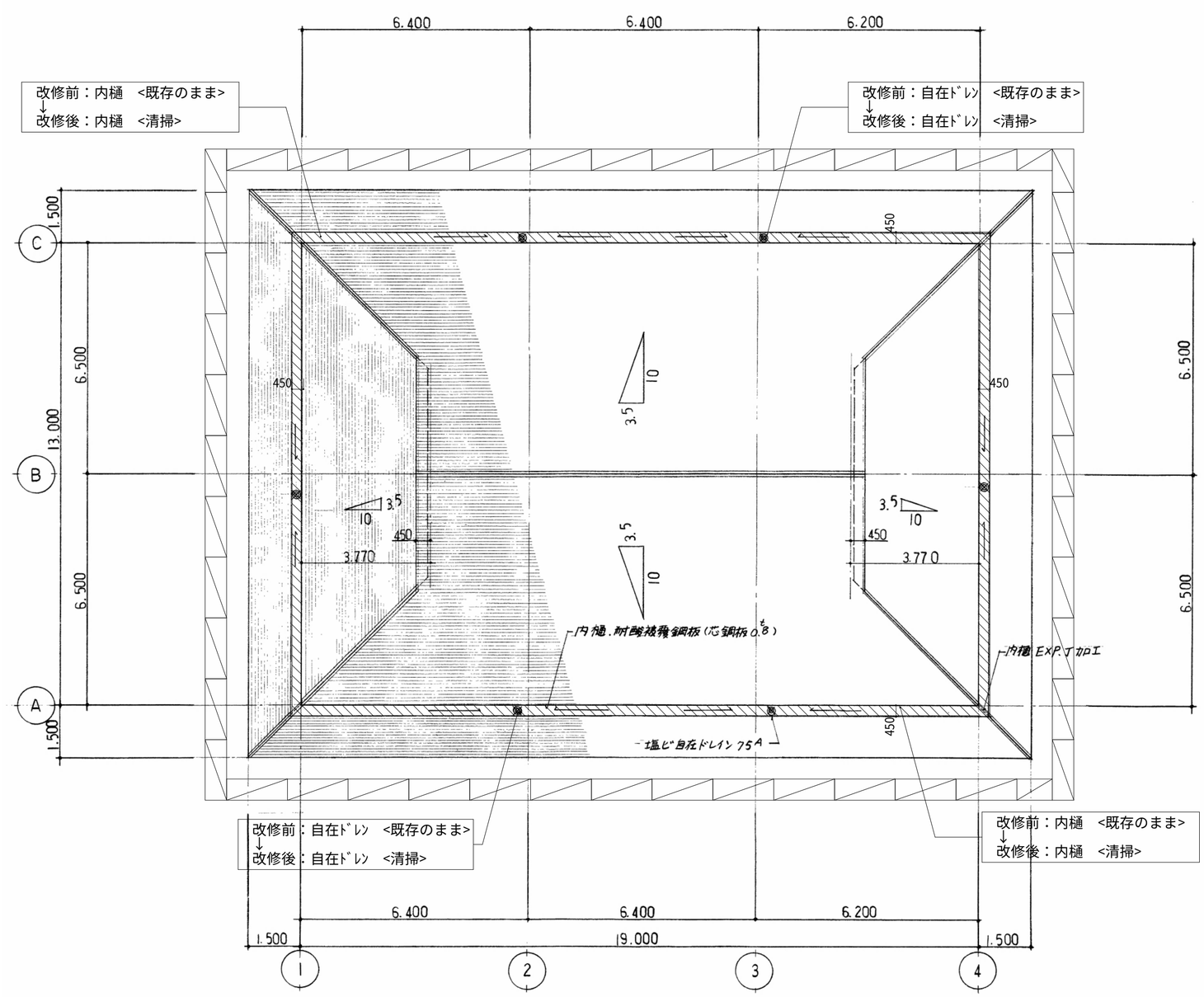


［料金事務所］改修後　２階平面図・建具伏図　S=1:100

凡例			
	ALC間仕切．外壁	⊷	誘導標識
	軽量鉄骨間仕切		
	パーティション		
B B	黒　板		
K	掲示板		
S	室名札		
RD RD	ルーフドレイン		

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　2階平面図・建具伏図		
縮　尺	1/100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７５



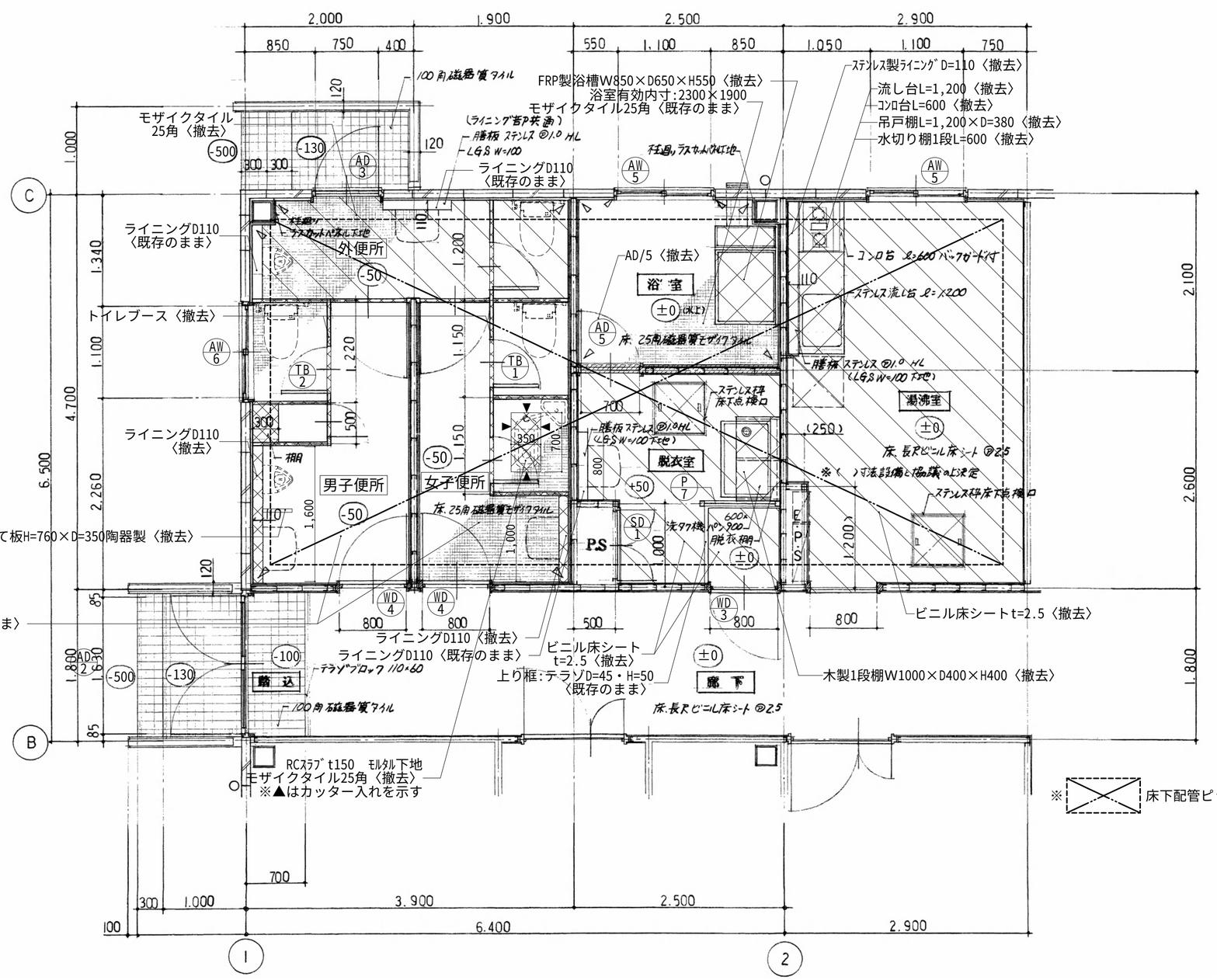
［料金事務所］改修前・改修後　屋根伏図　S=1:100

※ 外部足場を示す

外部足場：枠組本足場（手摺先行方式）　L=72.0m×H=9.53m
建枠　600×1700　布枠500×1枚

凡例	
	改修前：〈既存のまま〉を示す 改修後：〈清掃〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　屋根伏図		
縮　尺	1/100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７６

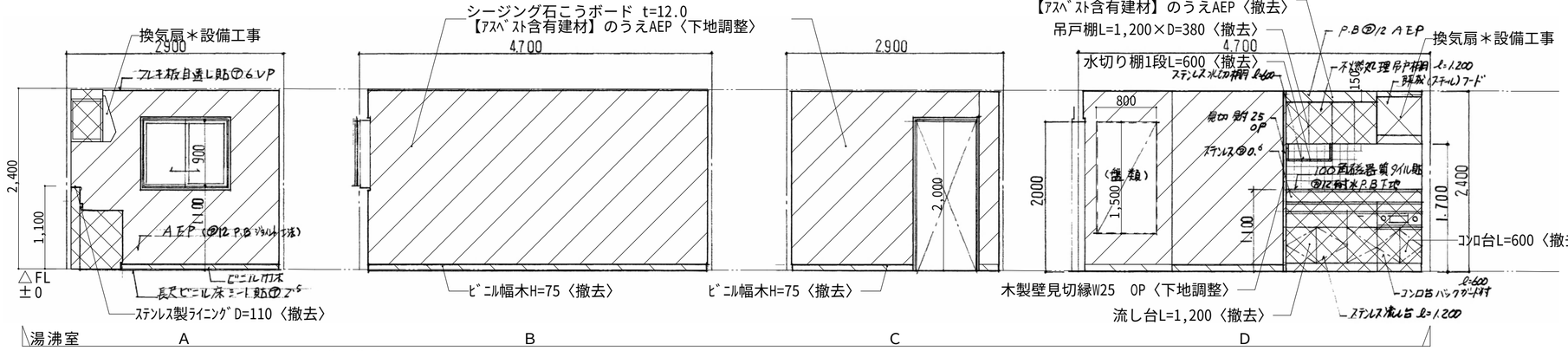


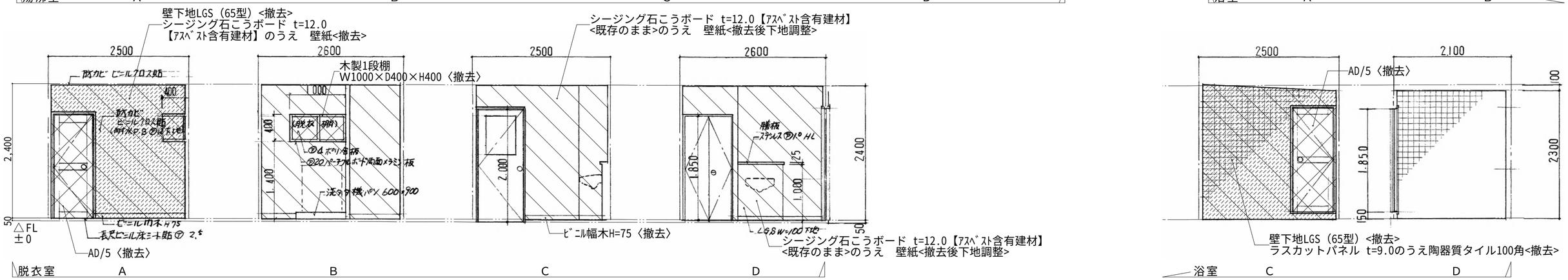
※ 床下配管ピット部分を示す

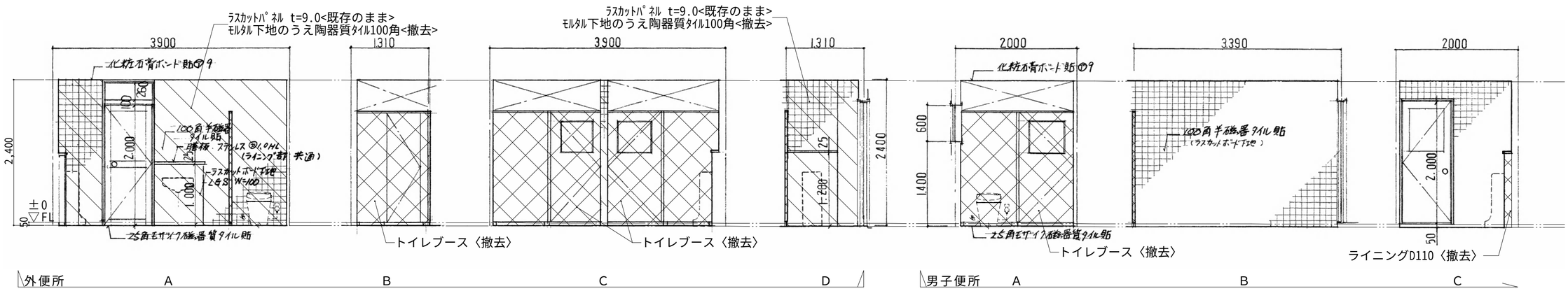
凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS(65)壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

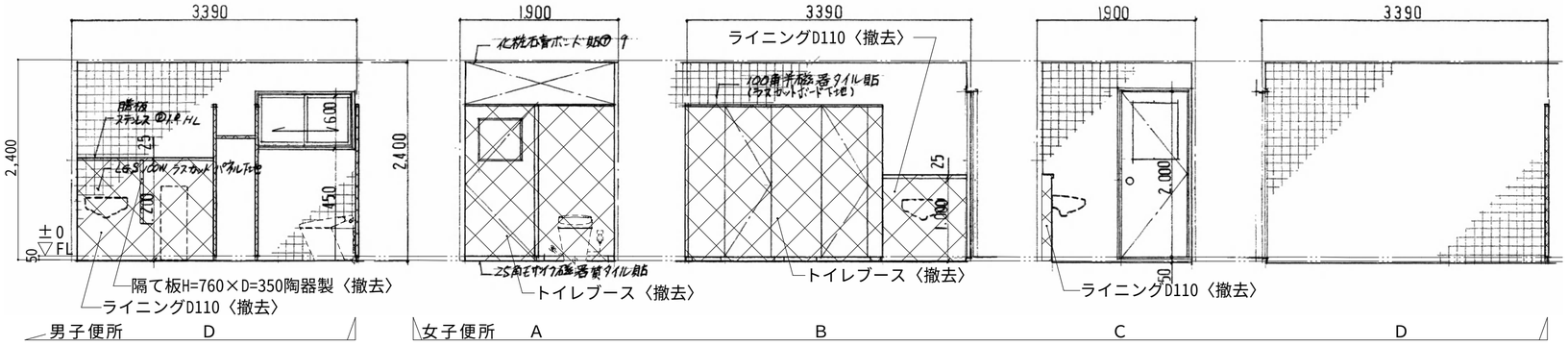
［料金事務所］改修前　水回り１階平面詳細図・建具伏図　S=1:40

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前 水回り1階平面詳細図・建具伏図		
縮　尺	1/40	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７７





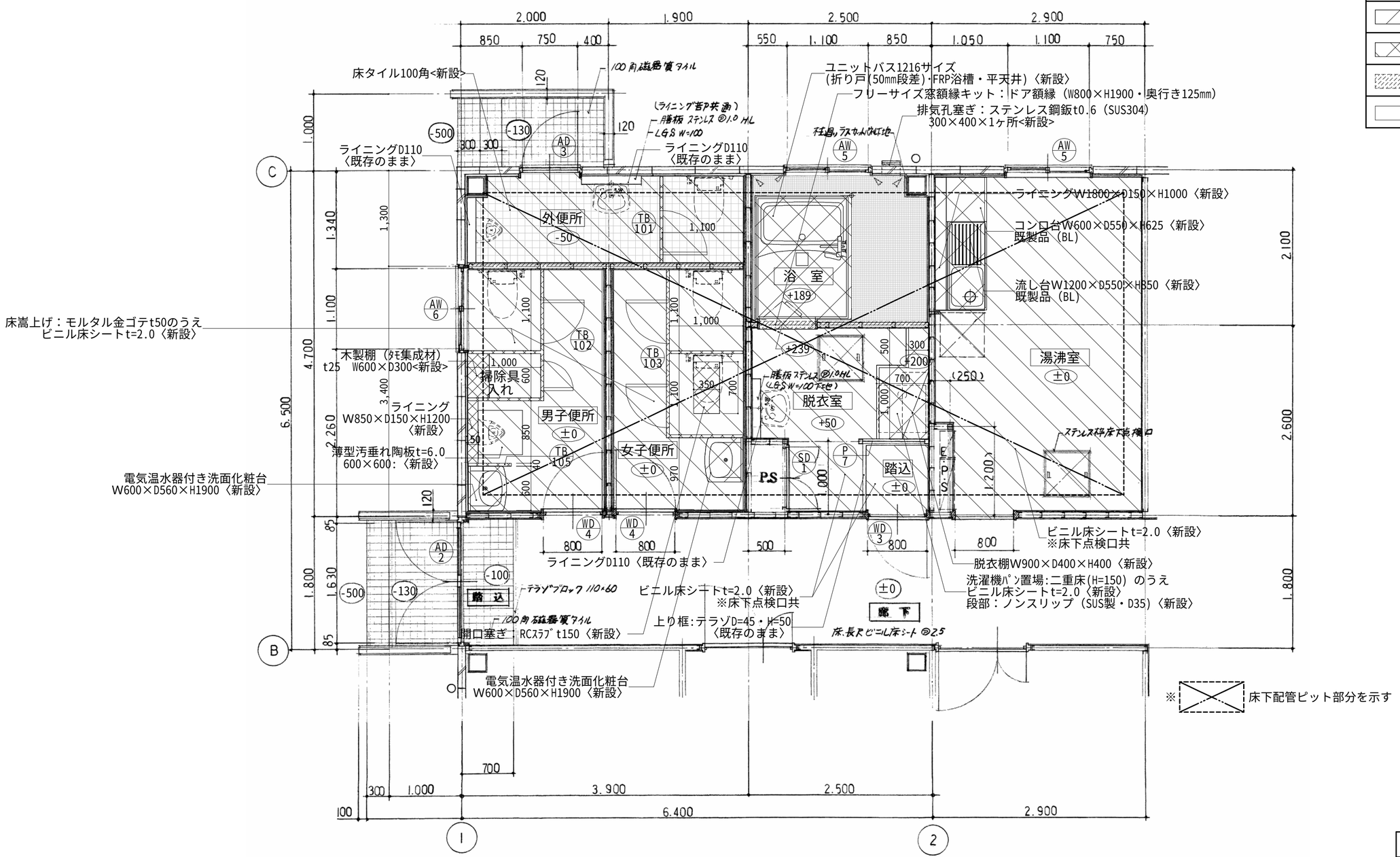




凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS(65)壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

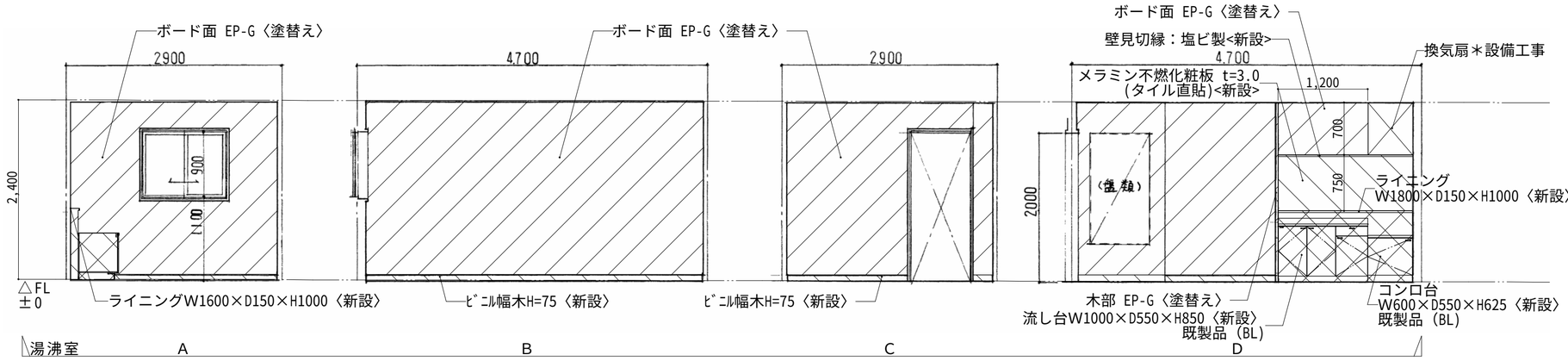
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前 水回り1階展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７８

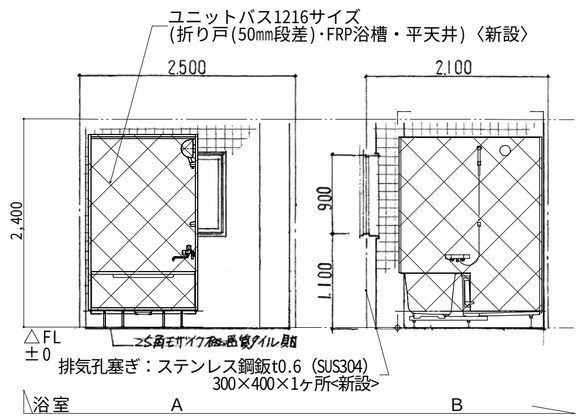
凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈新設〉を示す
	塗装面〈塗替え〉を示す
	〈新設〉を示す
	LGS(65)壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

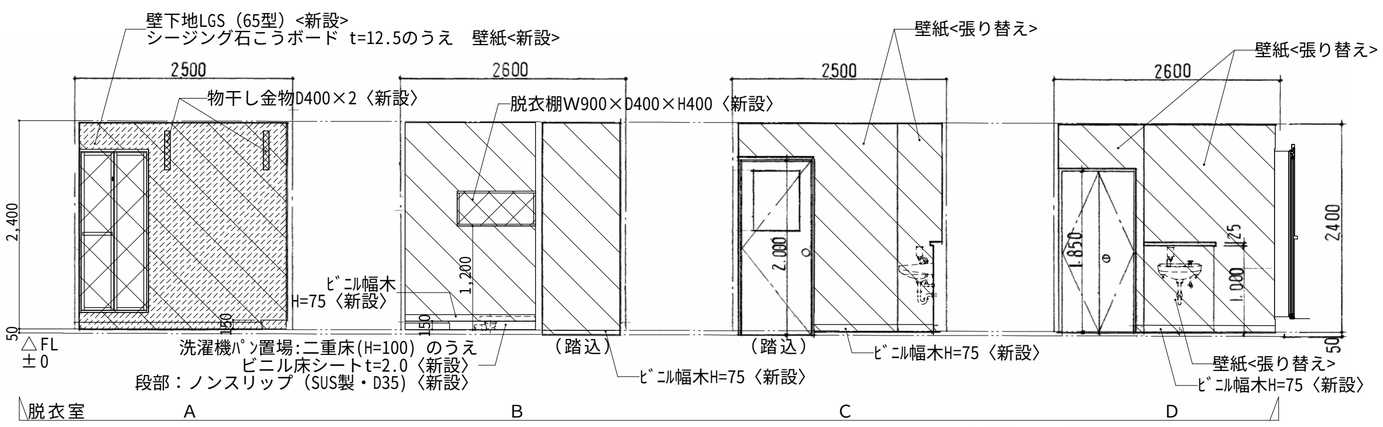


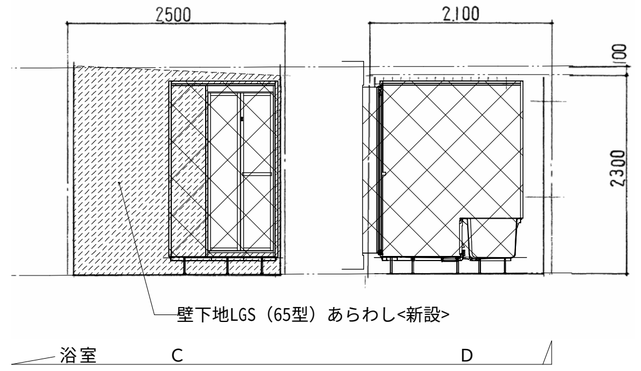
［料金事務所］改修後　水回り１階平面詳細図・建具伏図　S=1:40

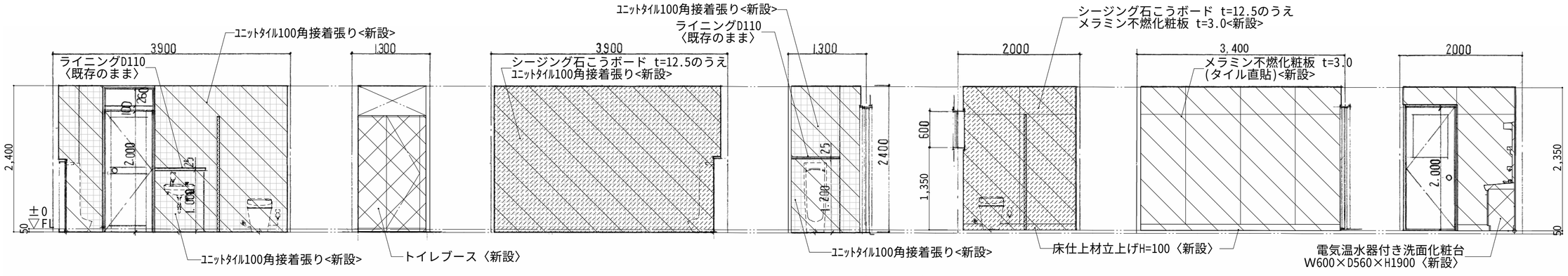
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修後 水回り1階平面詳細図・建具伏図		
縮　尺	1/40	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－７９

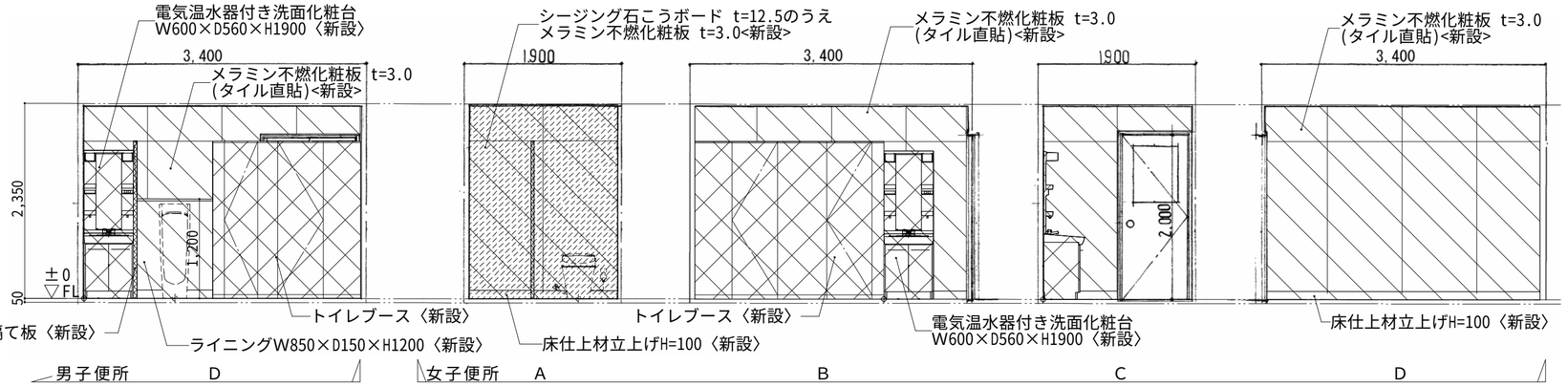








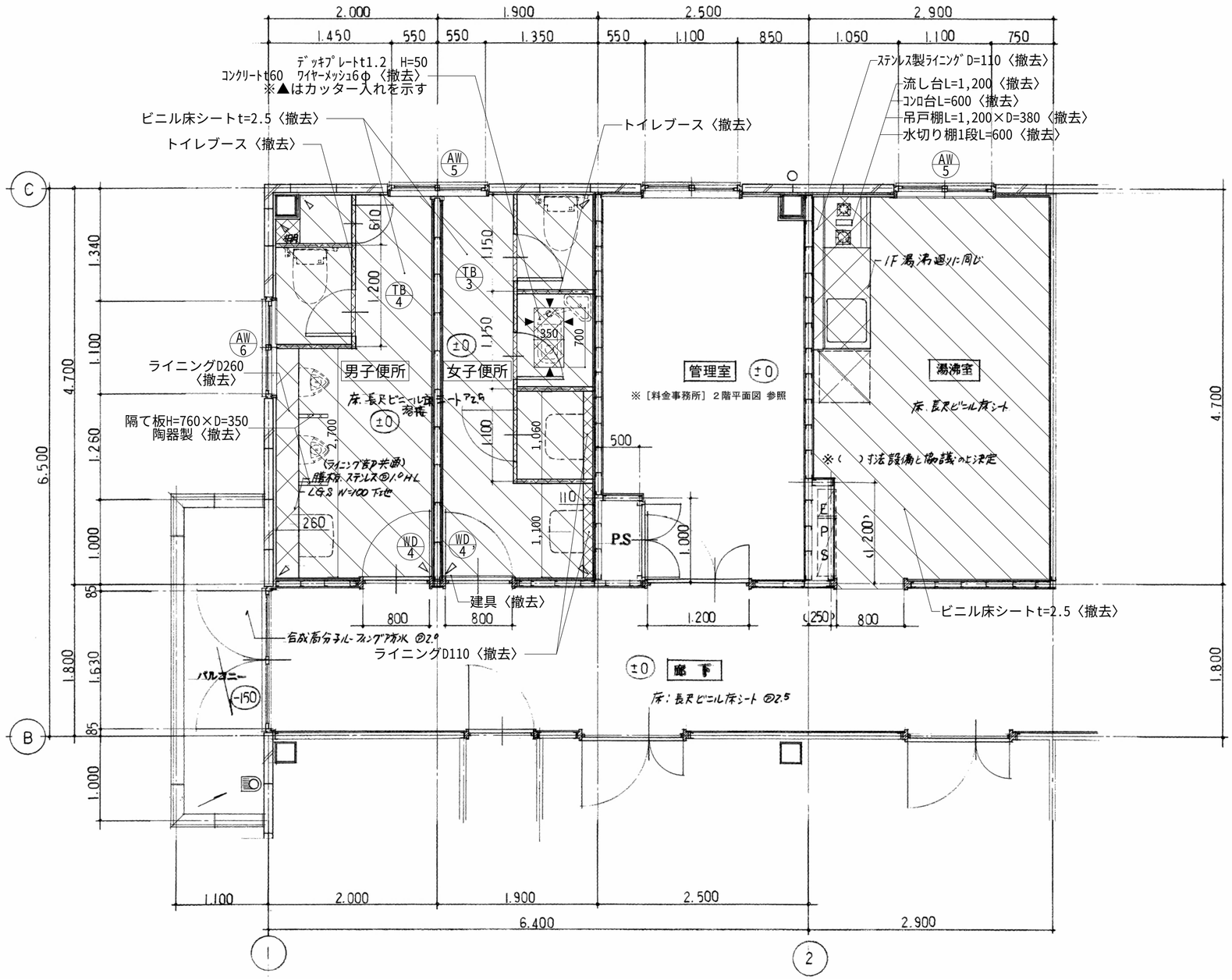




凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈新設〉を示す
	塗装面〈塗替え〉を示す
	〈新設〉を示す
	LGS(65)壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

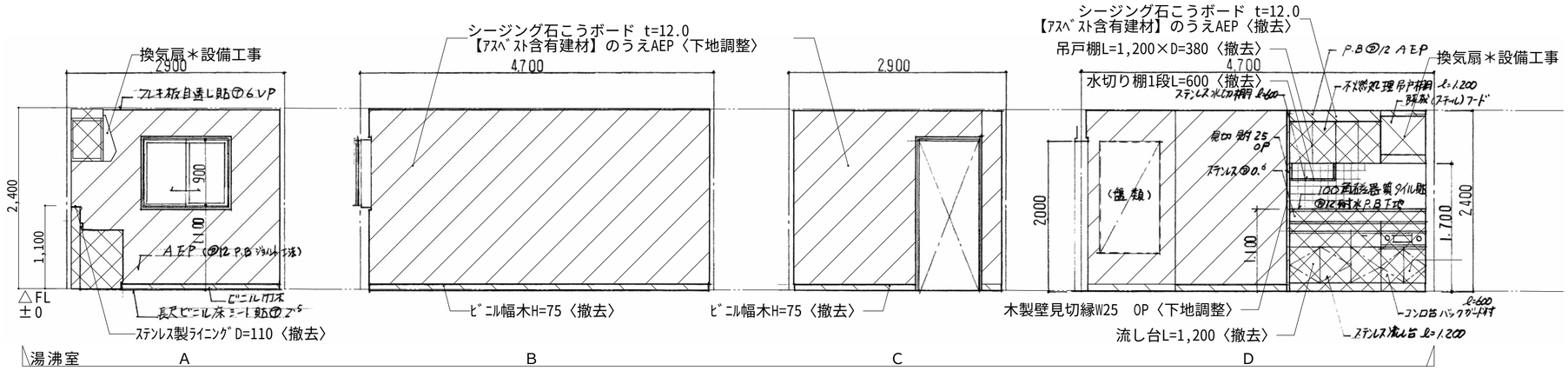
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修後 水回り1階展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８０

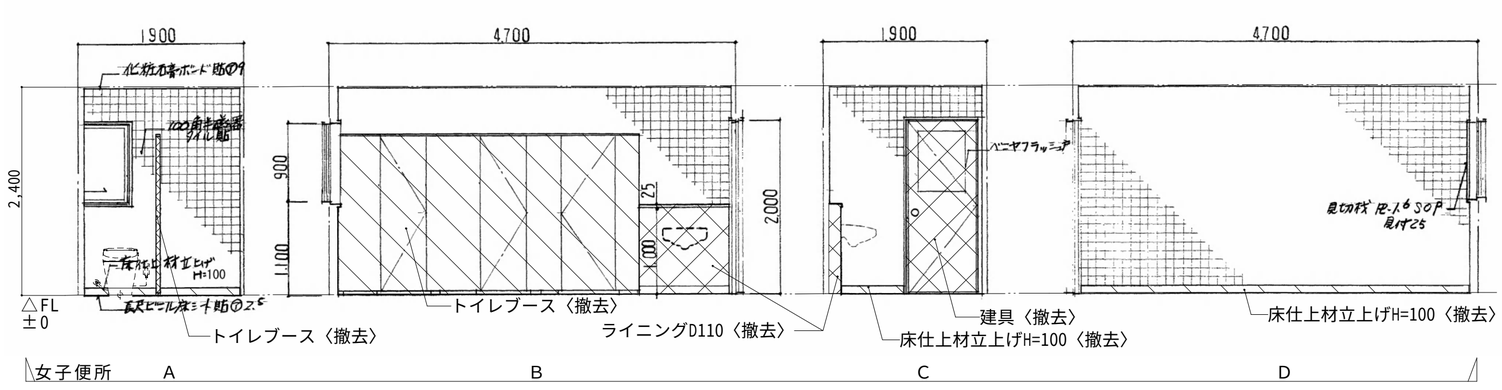
凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS(65)壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

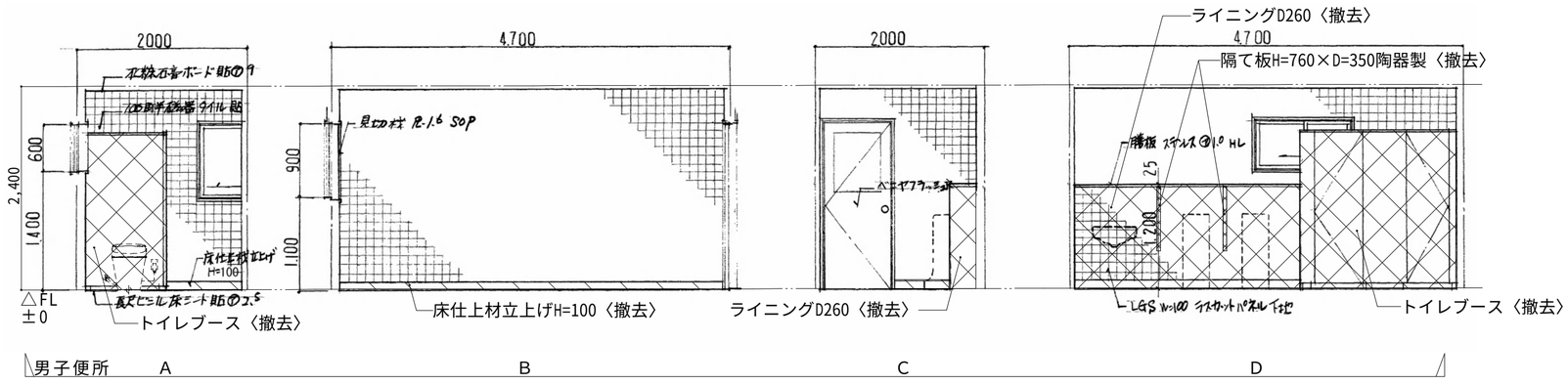


［料金事務所］改修前　水回り２階平面詳細図・建具伏図　S=1:40

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前 水回り2階平面詳細図・建具伏図		
縮　尺	1/40	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８１



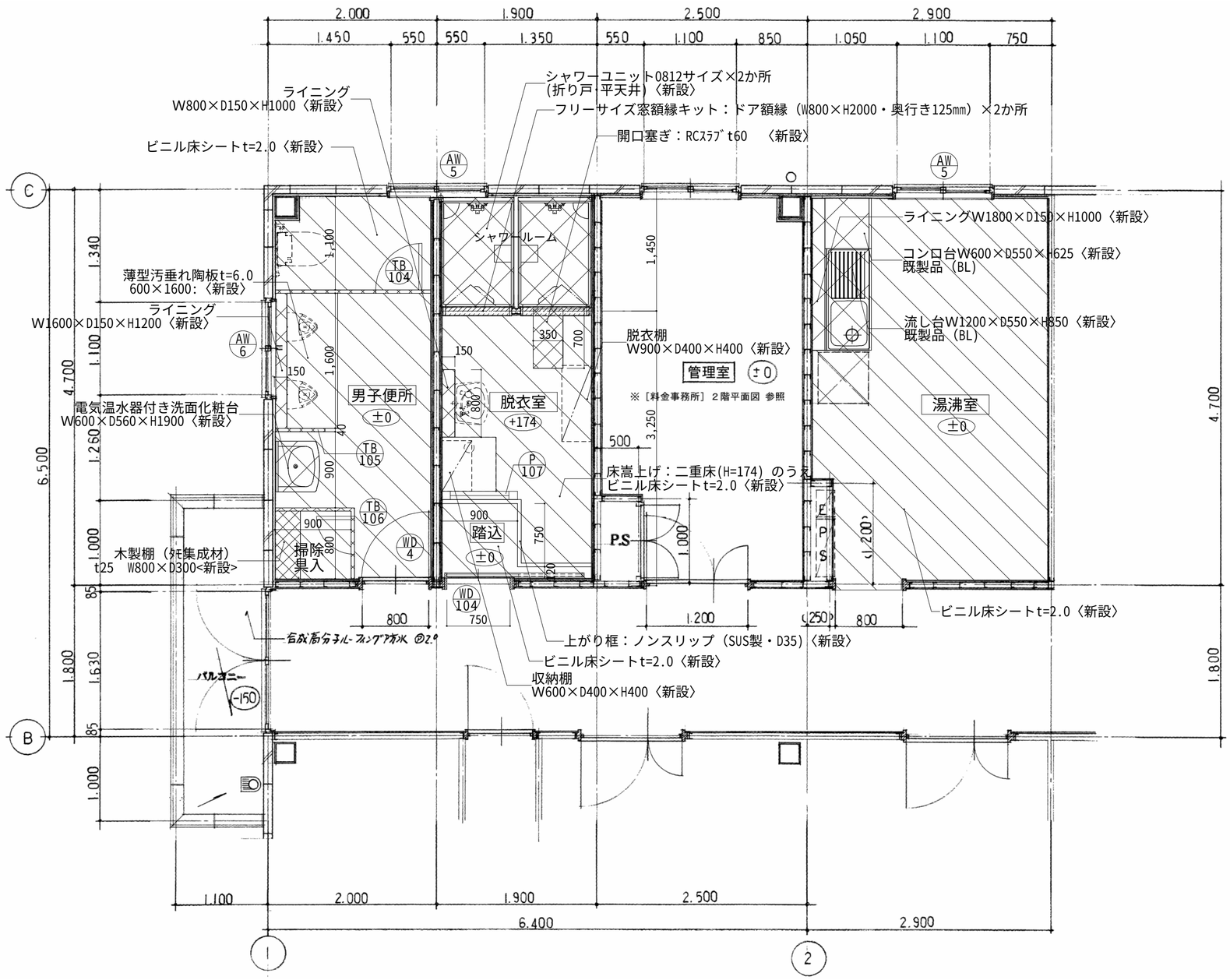




凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

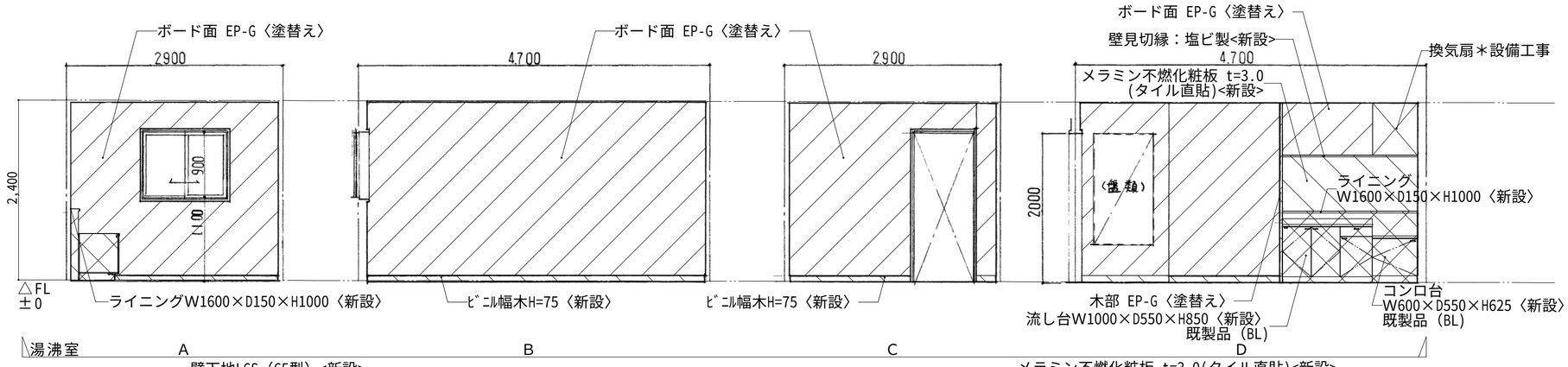
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前 水回り2階展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８２

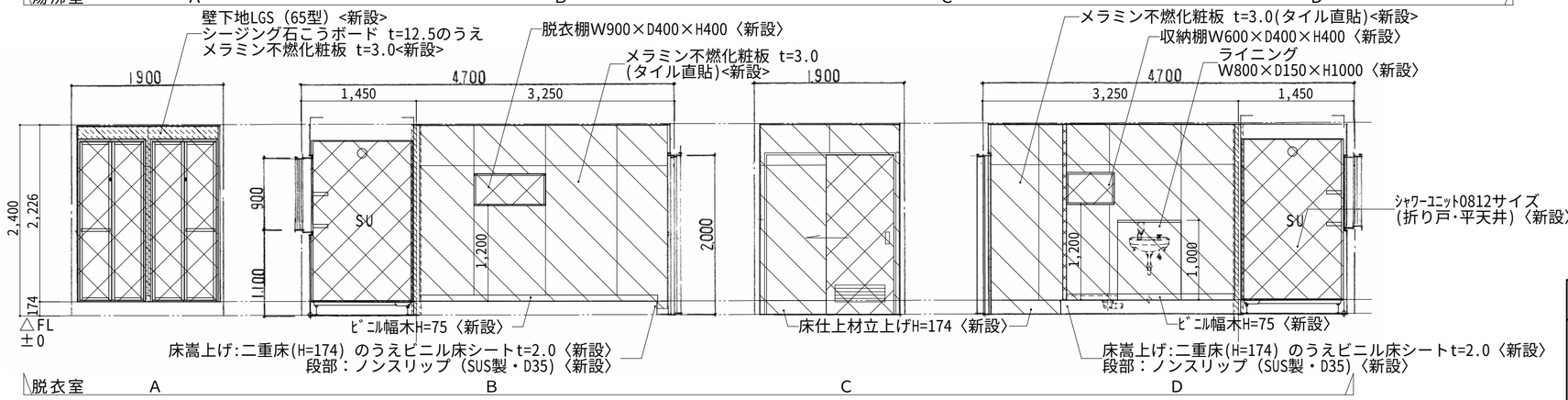
凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS(65)壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

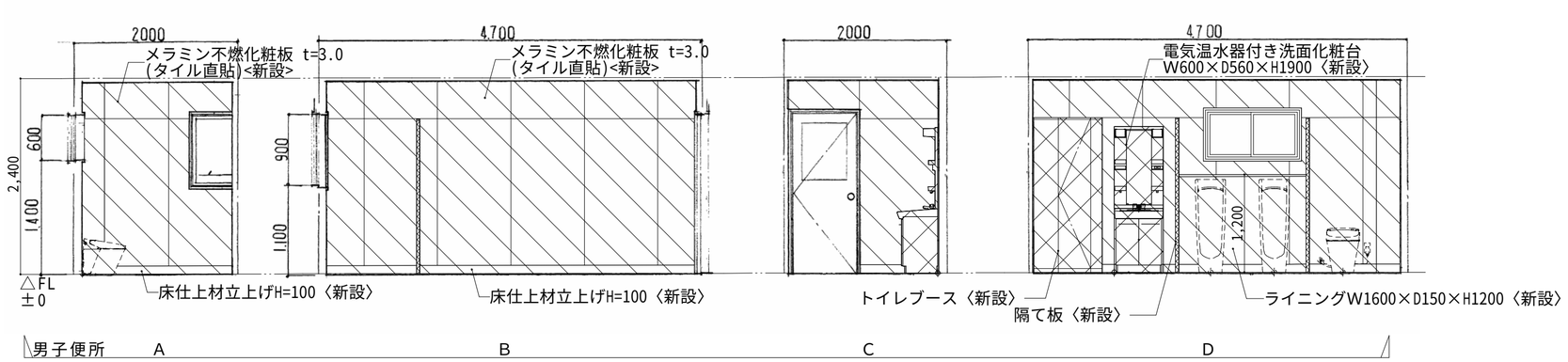


［料金事務所］改修前　水回り２階平面詳細図・建具伏図　S=1:40

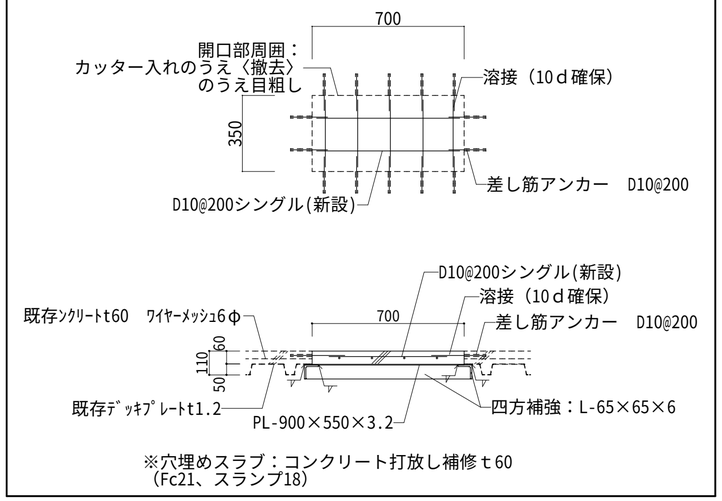
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修後 水回り2階平面詳細図・建具伏図		
縮　尺	1/40	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８３







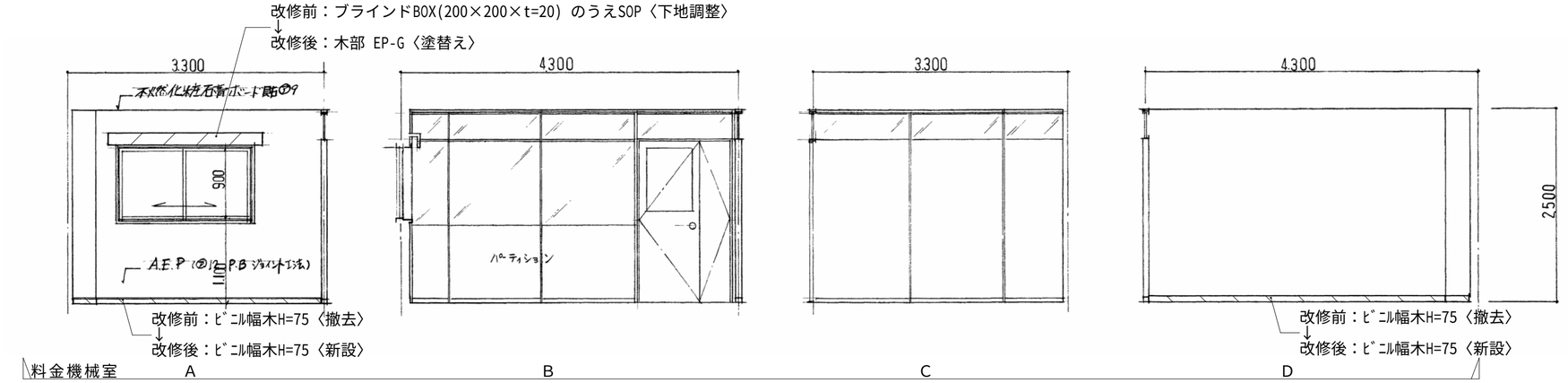
改修後　開口塞ぎ部要領　1/20

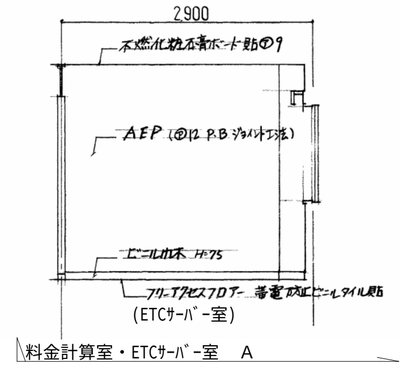


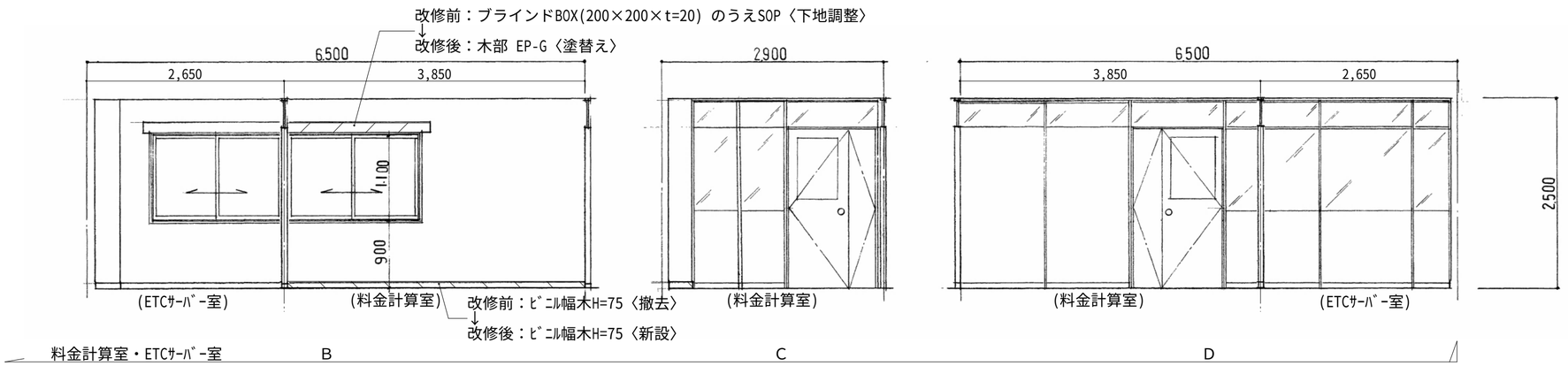
※穴埋めスラブ：コンクリート打放し補修ｔ60
（Fc21、スランプ18）

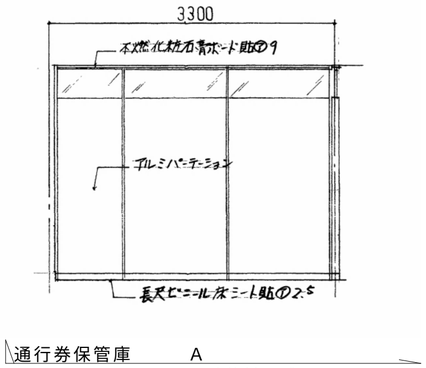
凡例（建具改修等は建具表による）	
	仕上材〈撤去〉を示す
	塗装面〈下地調整〉を示す
	〈撤去〉を示す
	LGS壁下地〈撤去〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

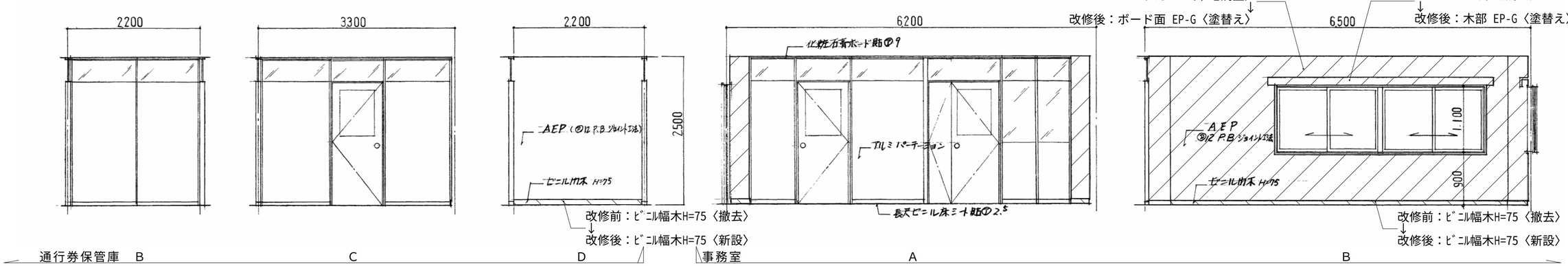
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修後 水回り2階展開図		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８４

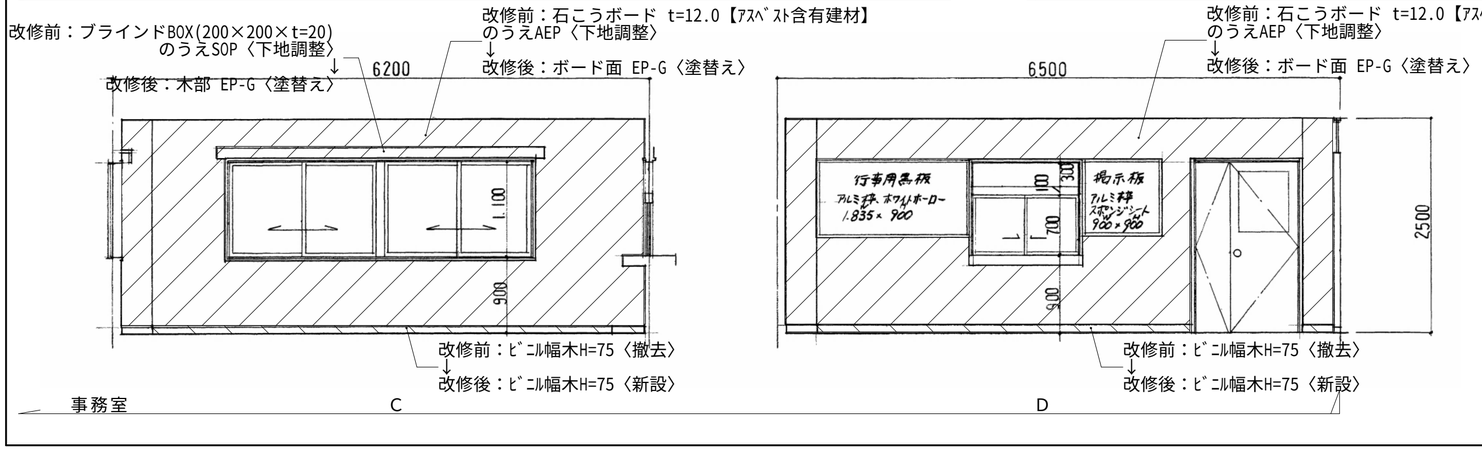






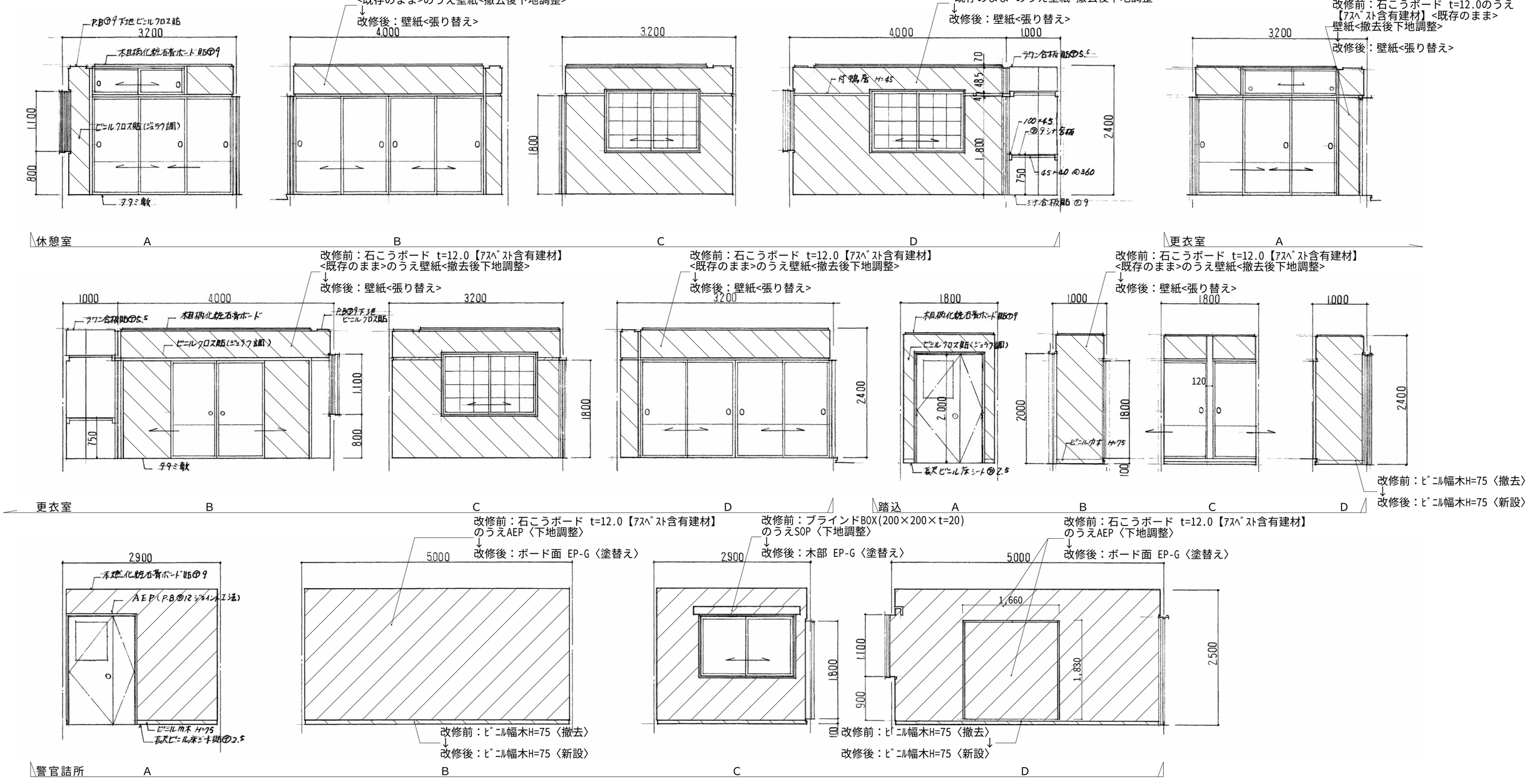






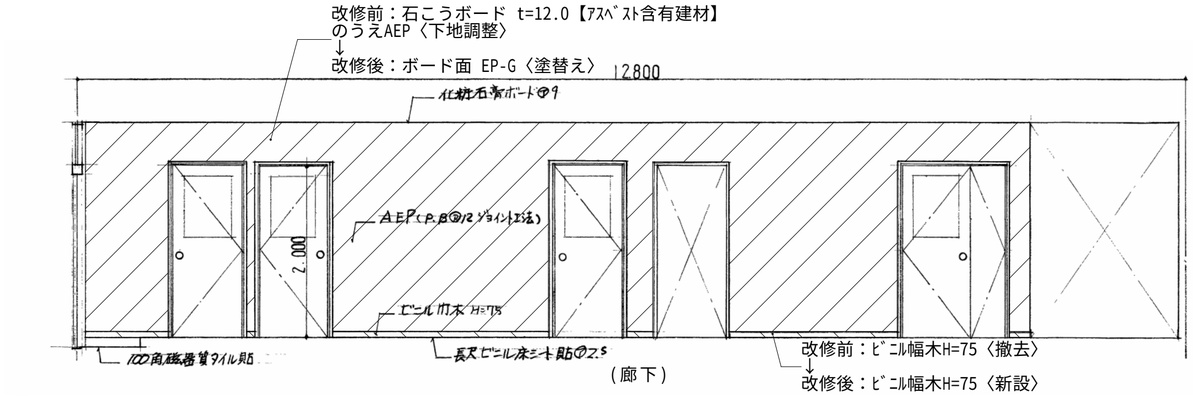
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

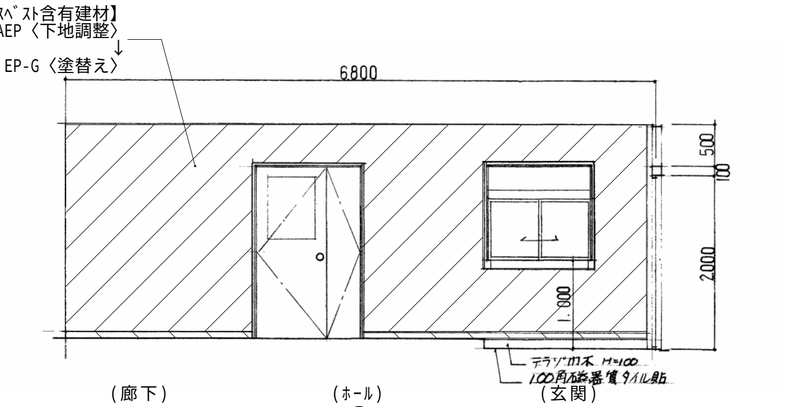
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　1階展開図(1)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８５

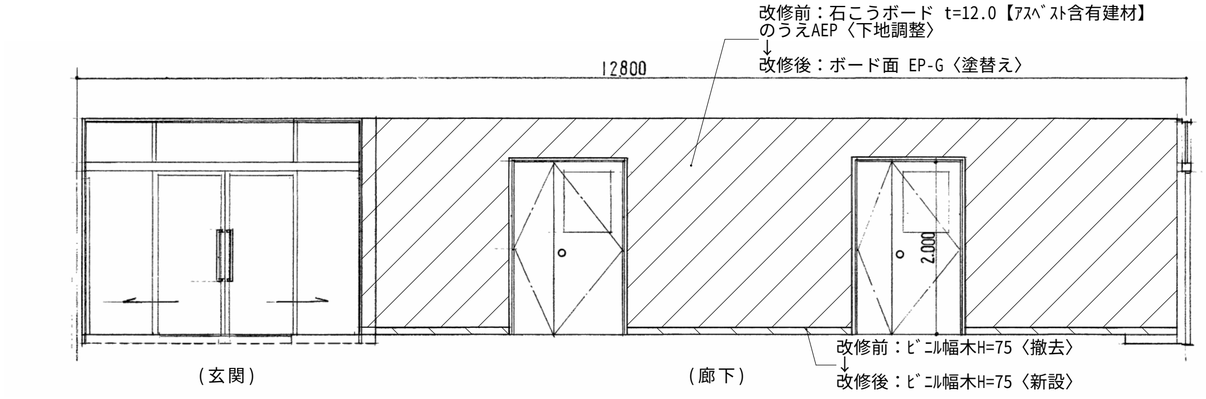


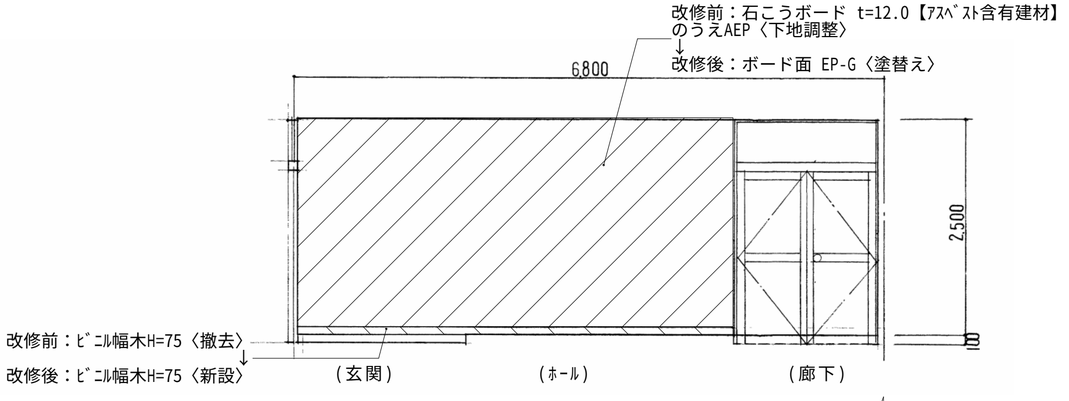
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　1階展開図(2)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８６



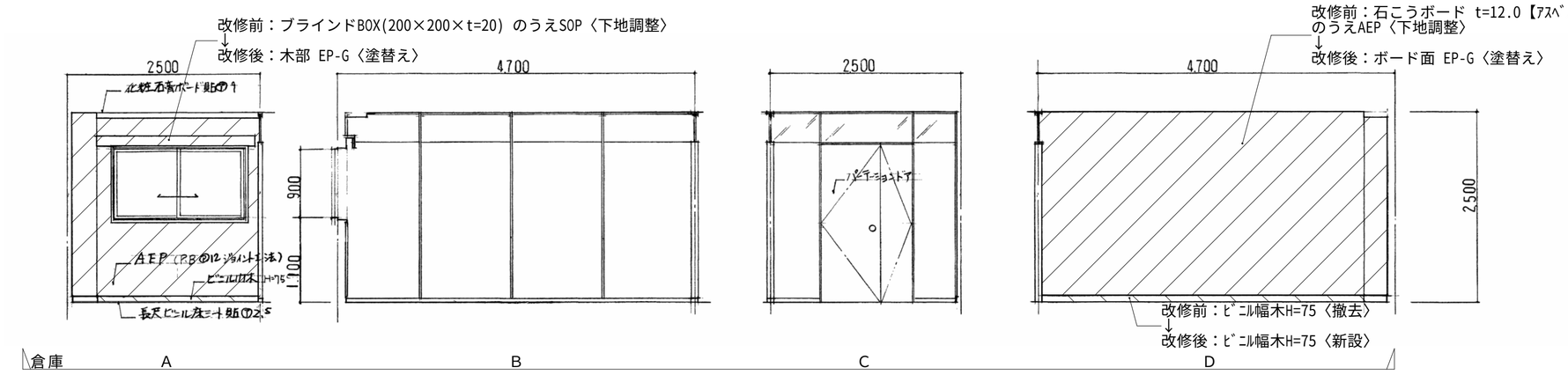


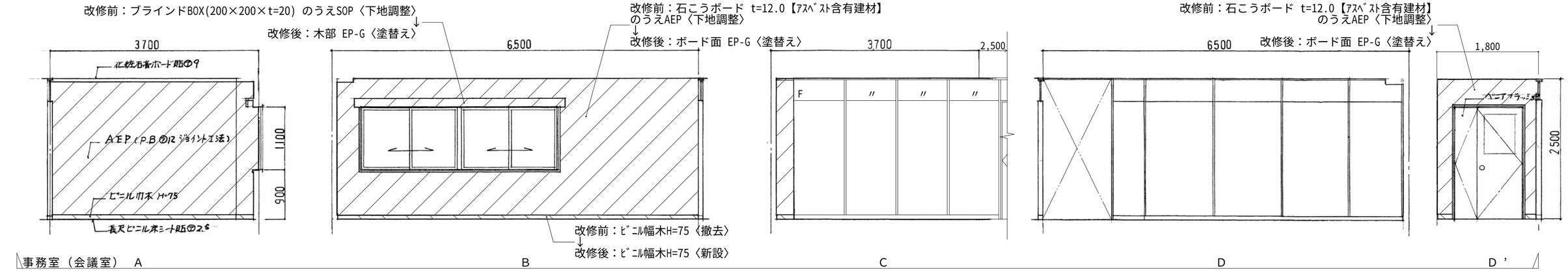


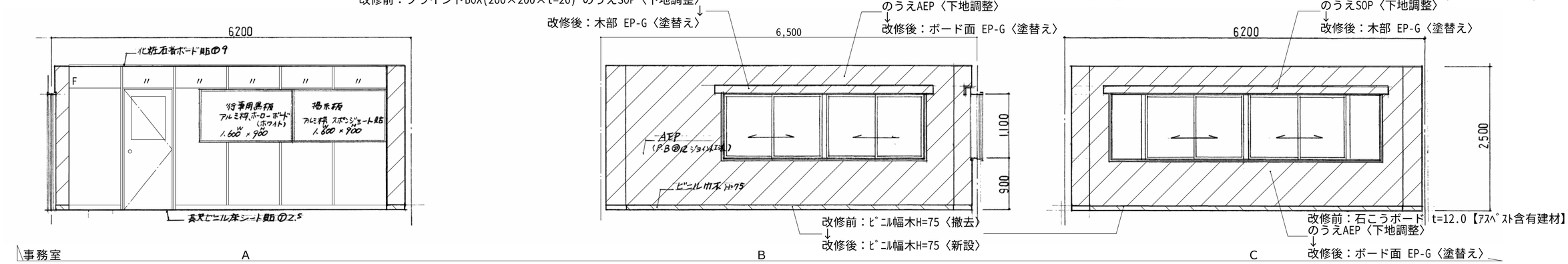


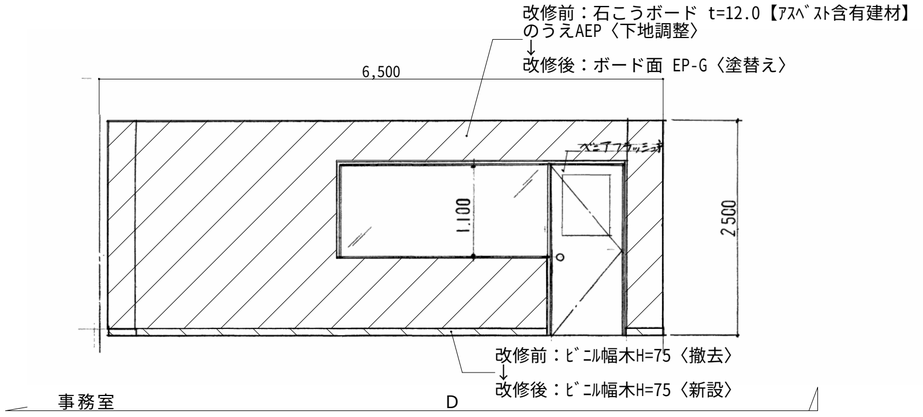
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　1階展開図(3)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８７



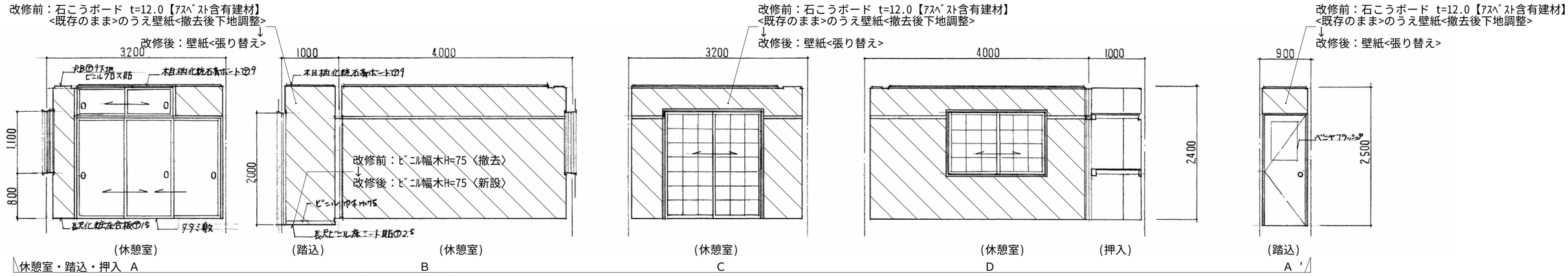


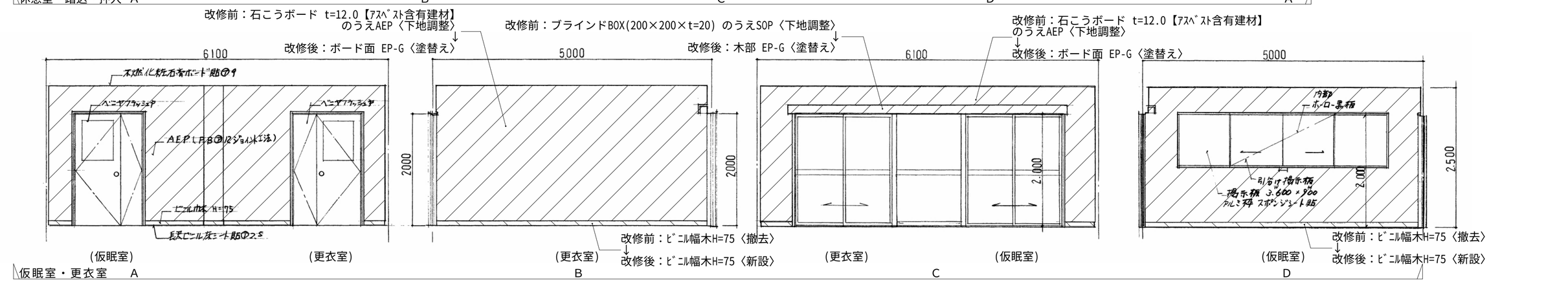


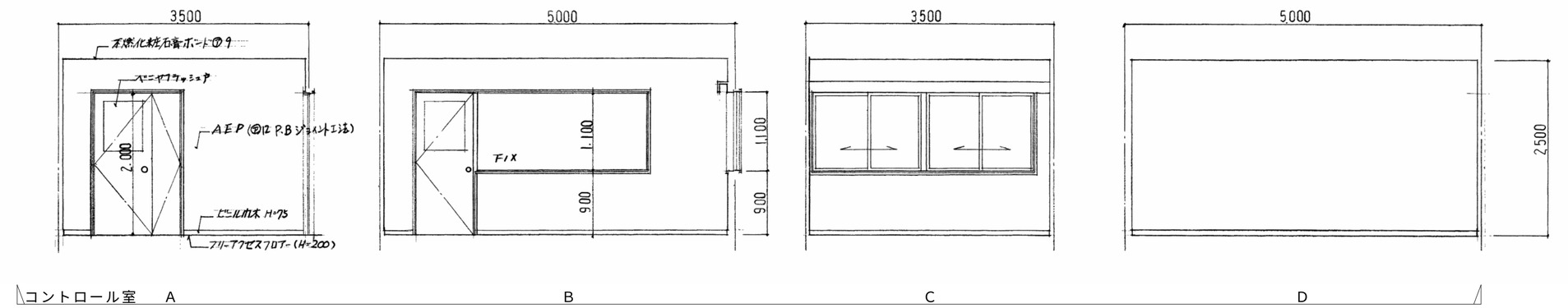


凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　2階展開図(1)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８８

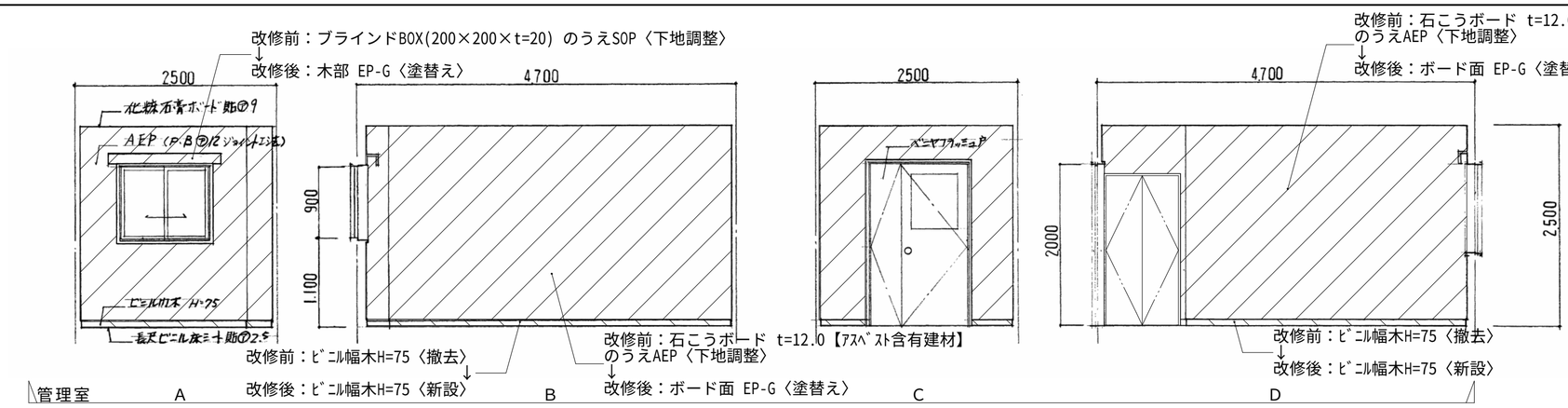


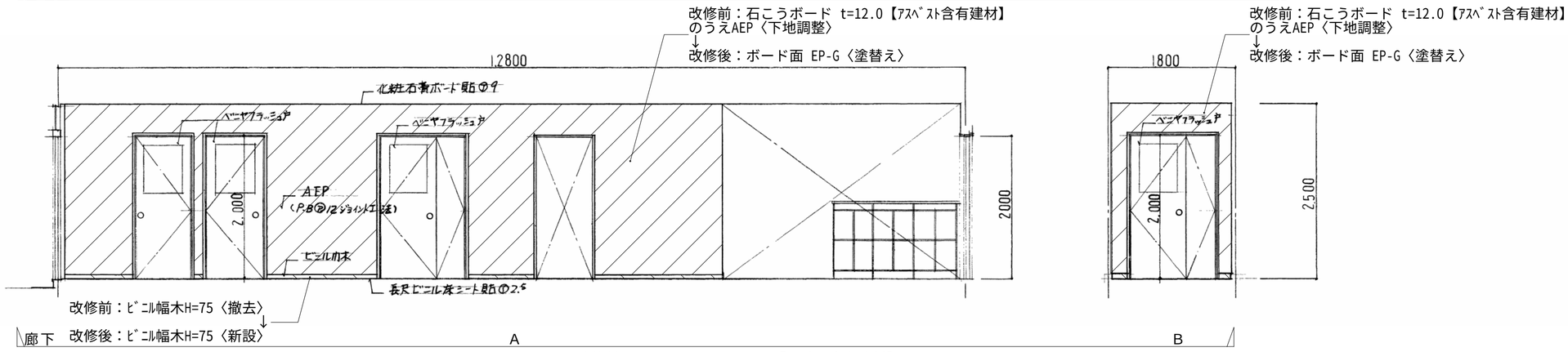


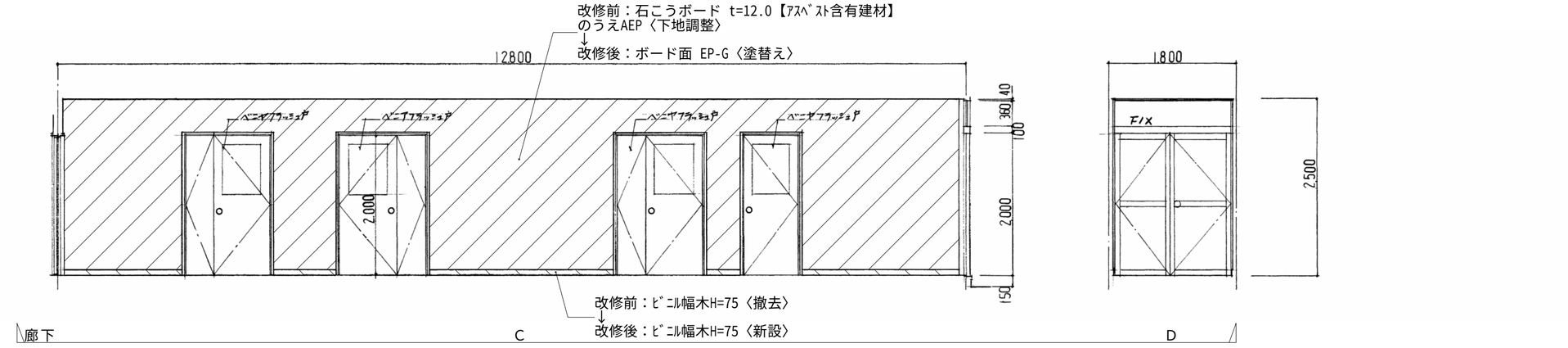


凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　2階展開図(2)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－８９

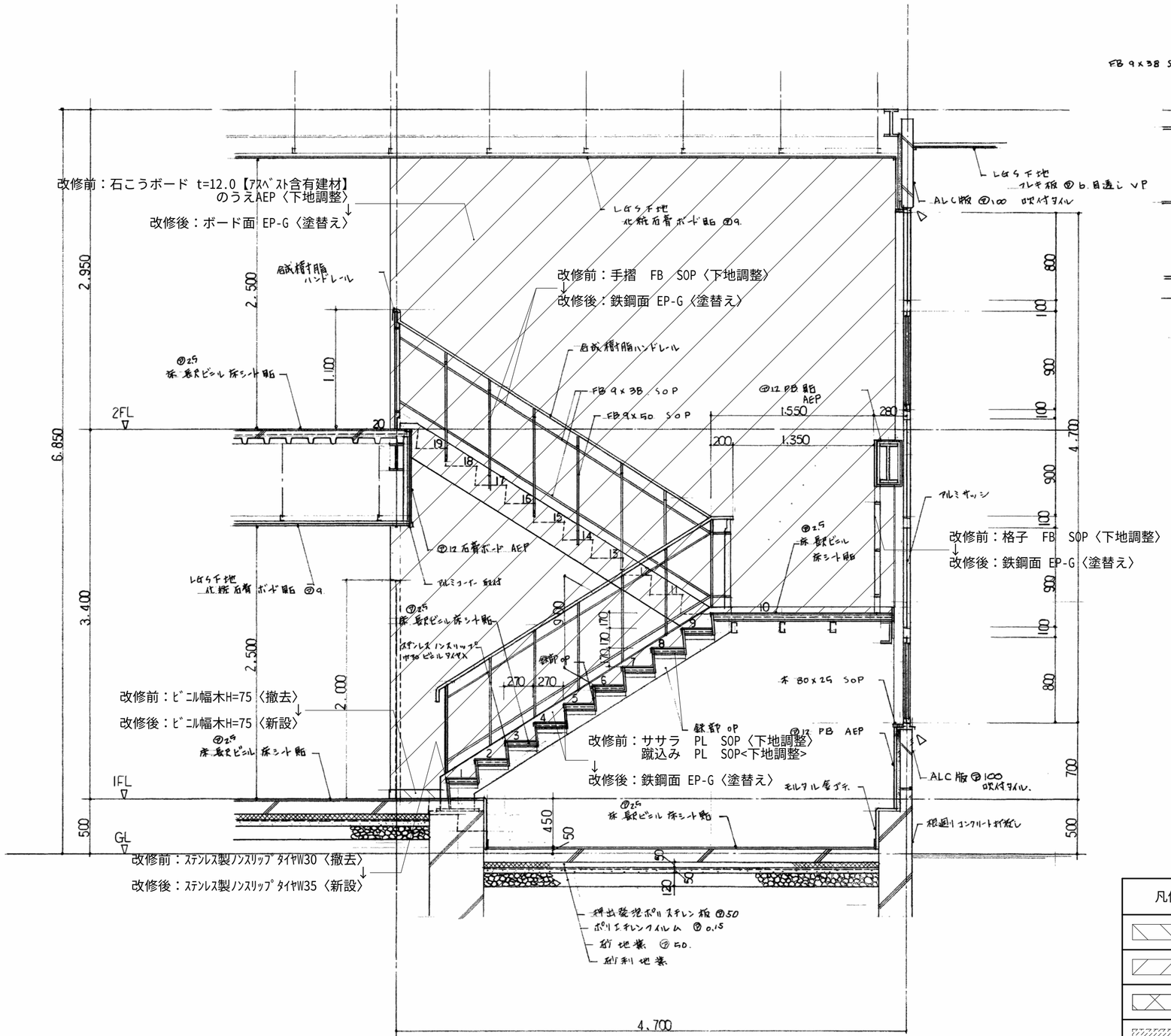




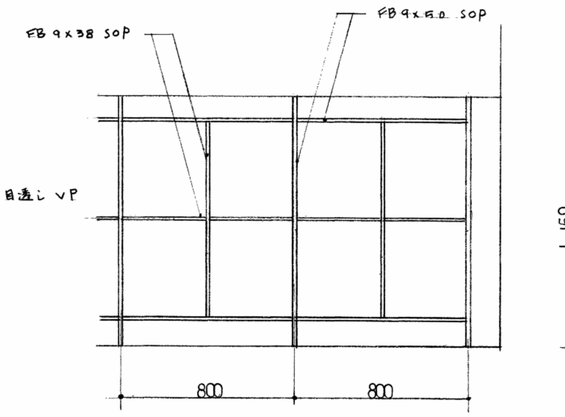


凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

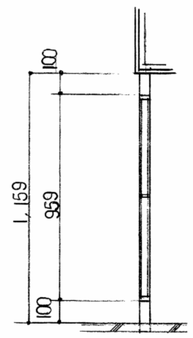
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　2階展開図(3)		
縮　尺	1/50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９０



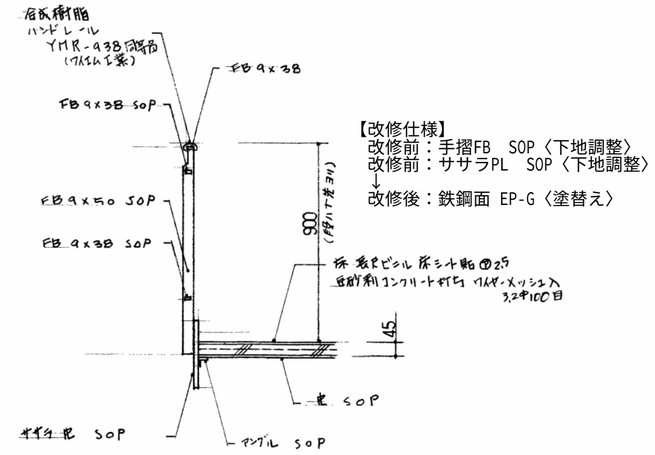
階段室 詳細断面図 S=1:30



格子 詳細図 S=1:20



【改修仕様】
改修前：FB SOP〈下地調整〉
↓
改修後：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉

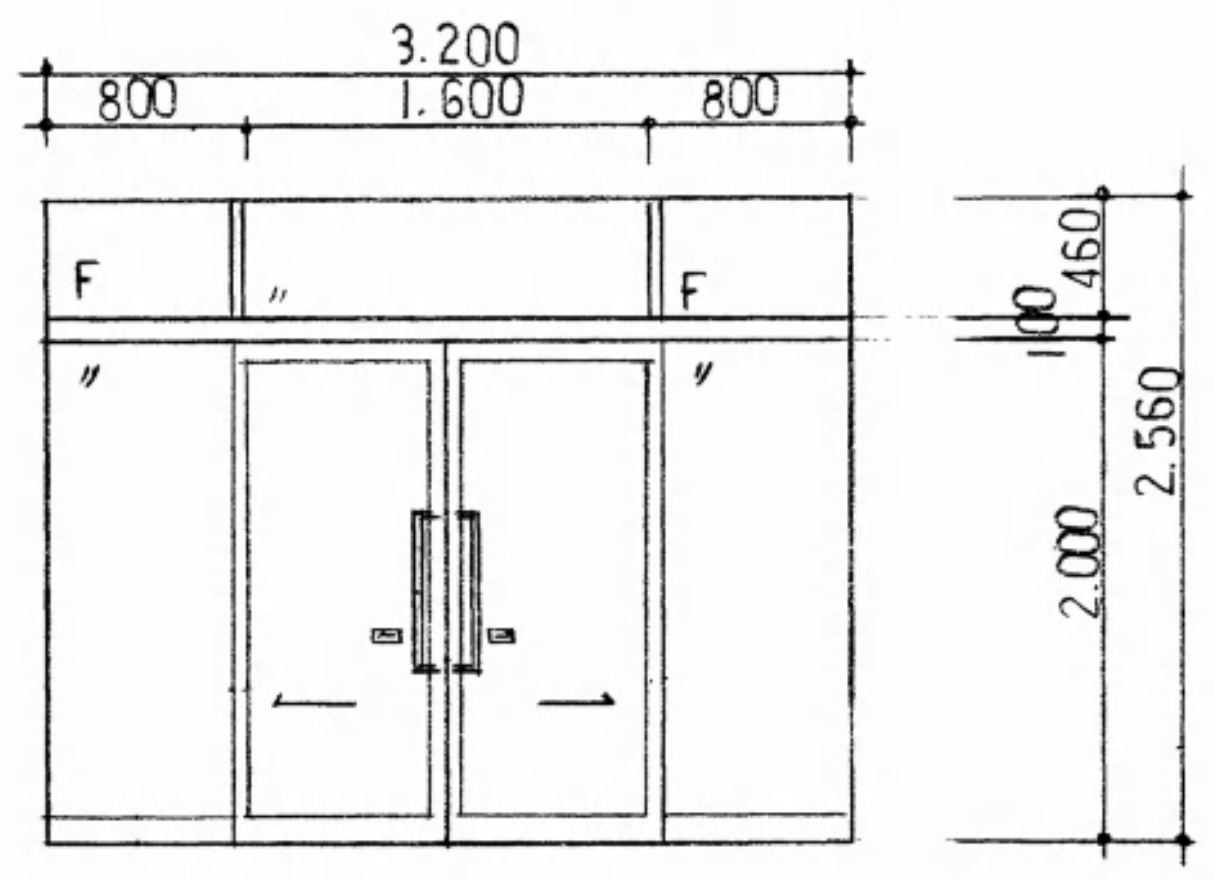
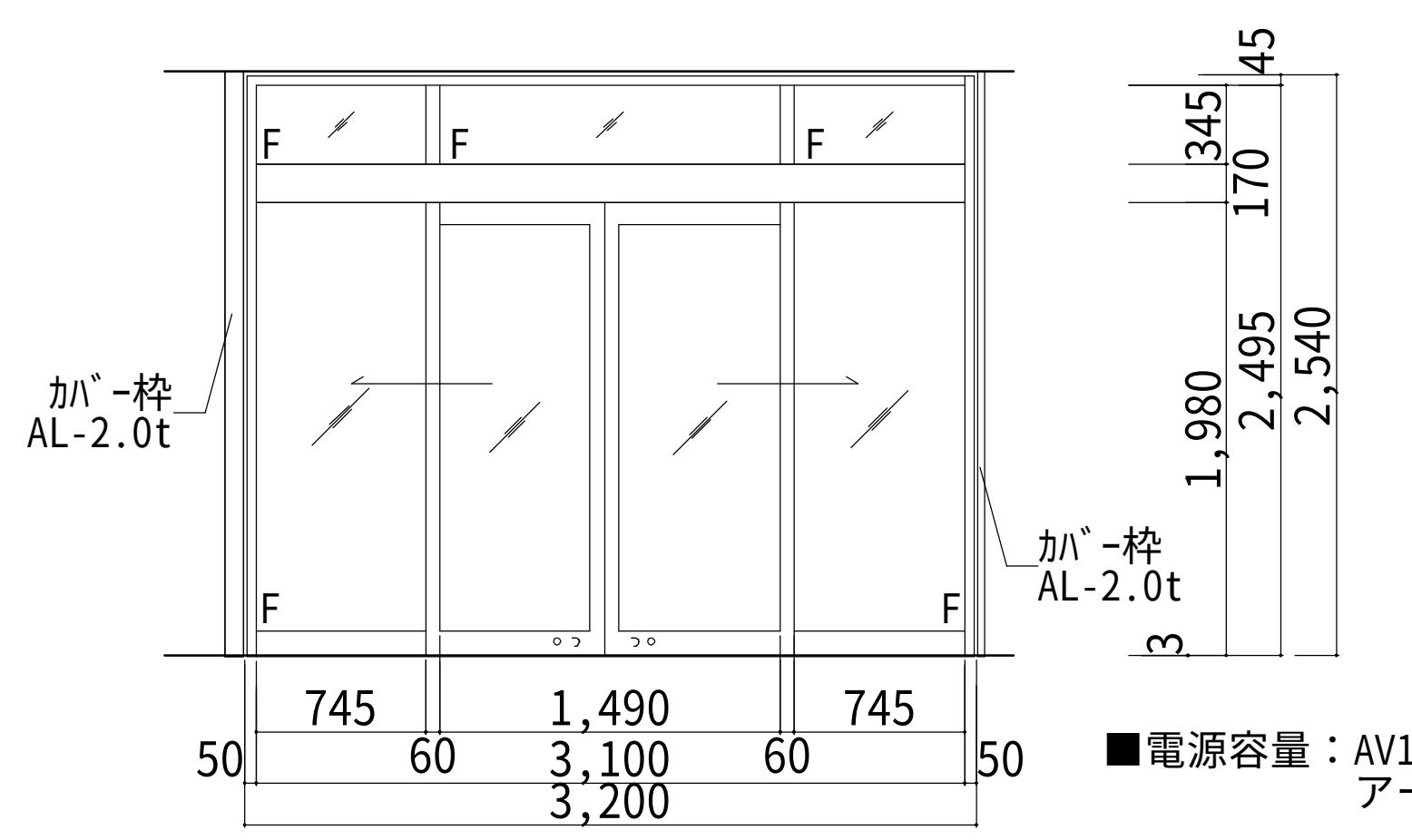
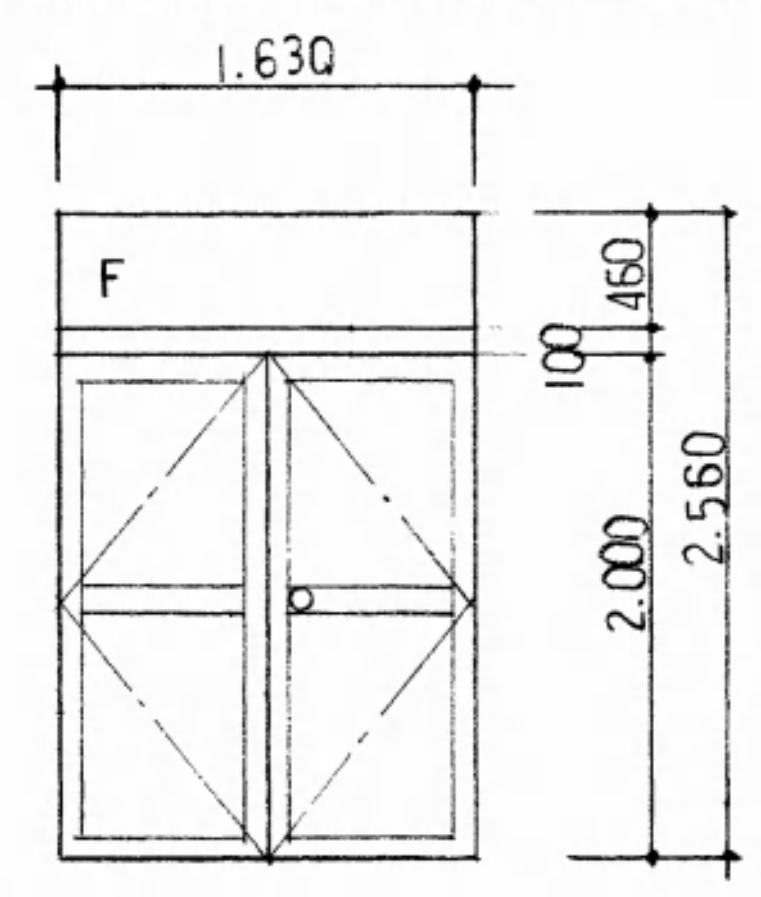
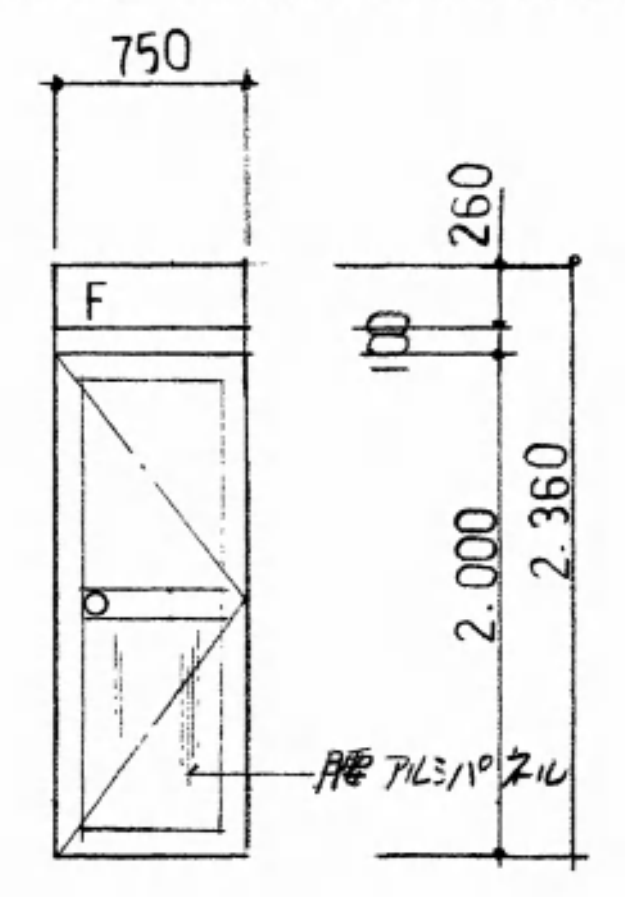
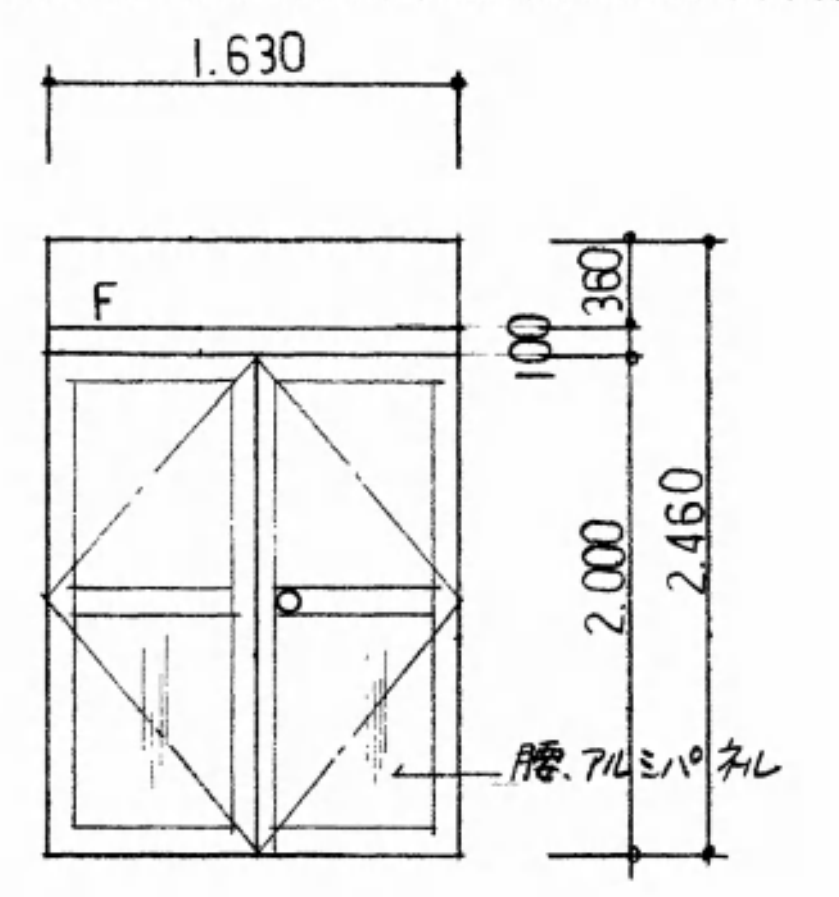
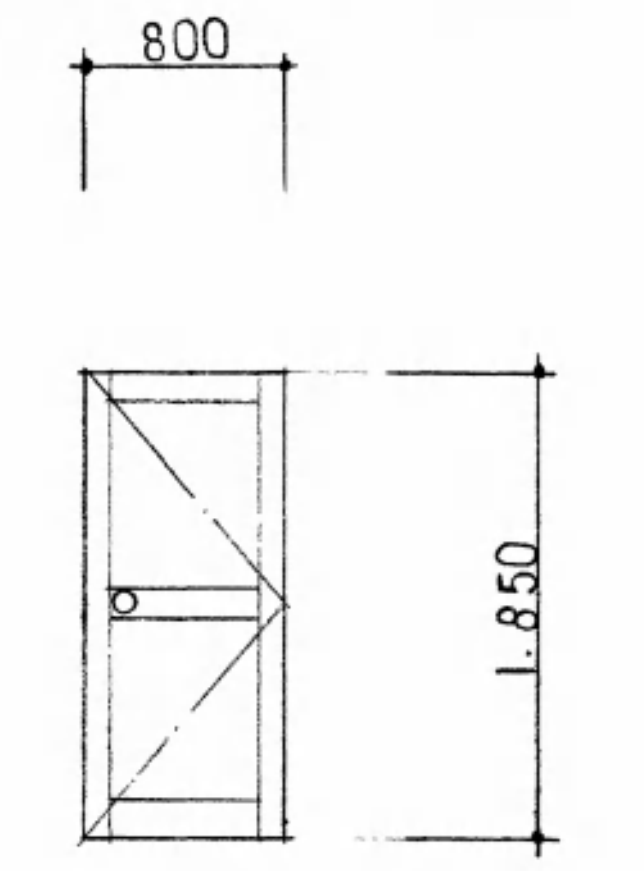


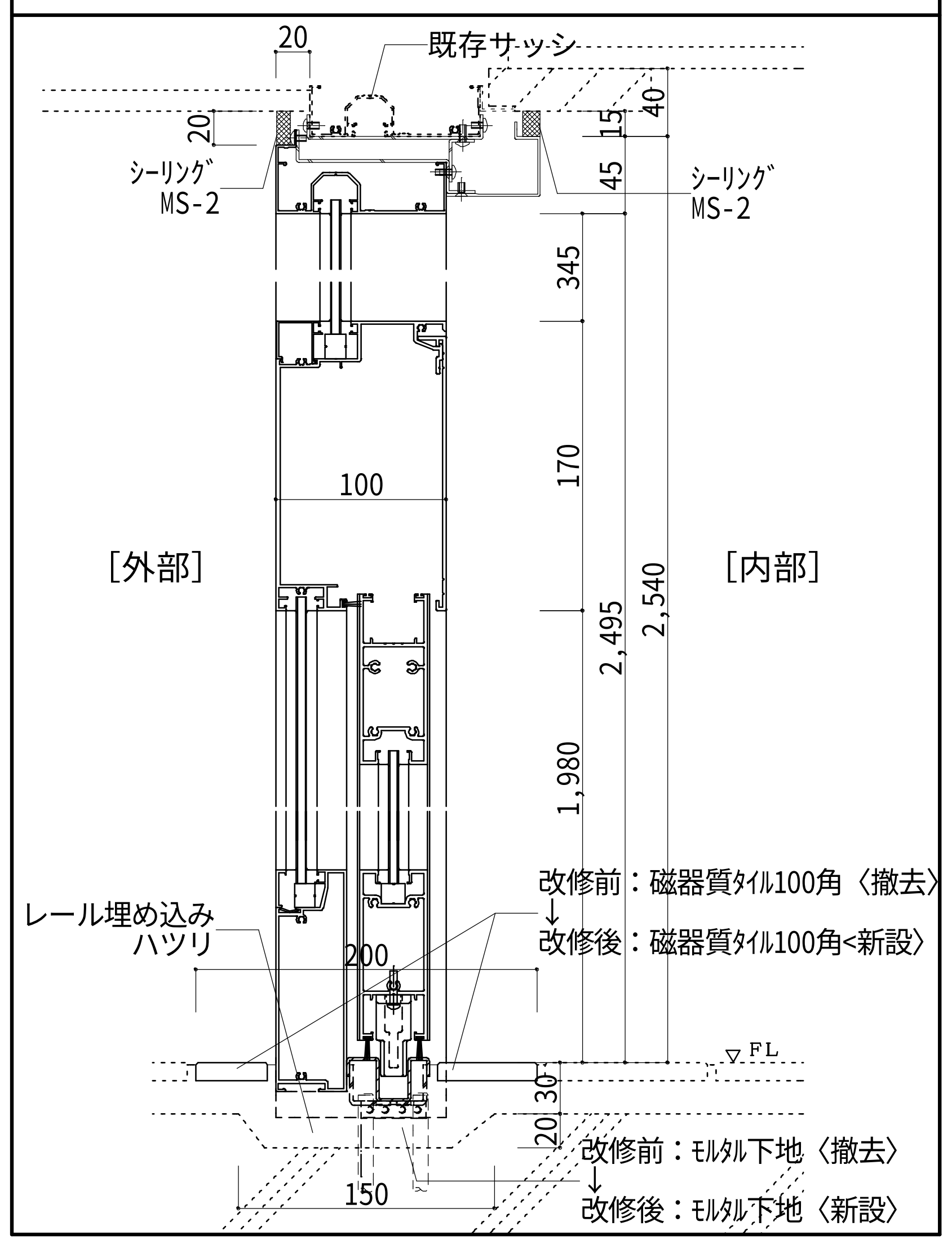
【改修仕様】
改修前：手摺FB SOP〈下地調整〉
改修前：ササラPL SOP〈下地調整〉
↓
改修後：鉄鋼面 EP-G〈塗替え〉

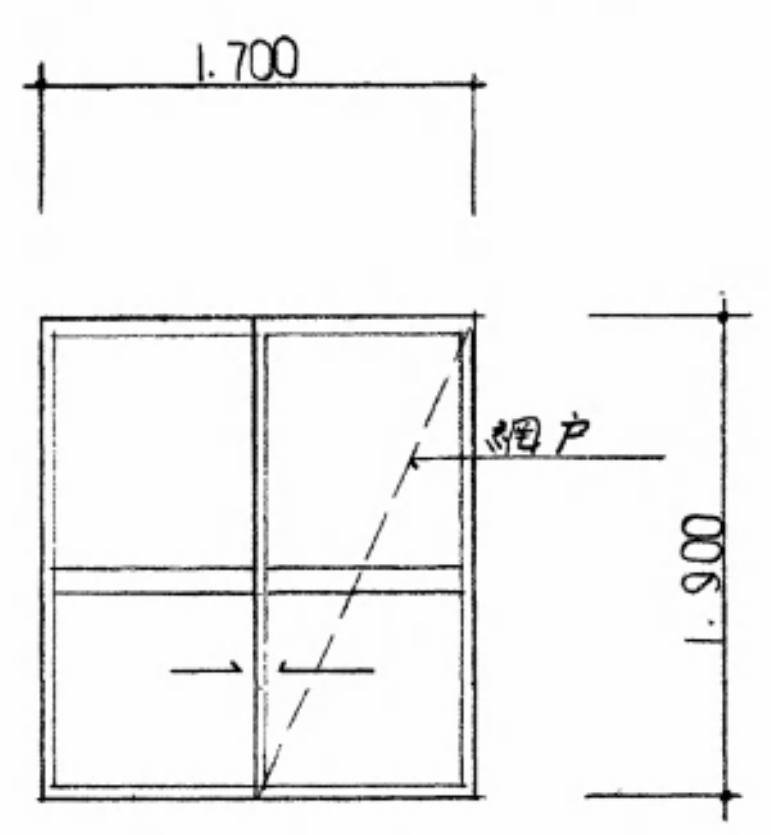
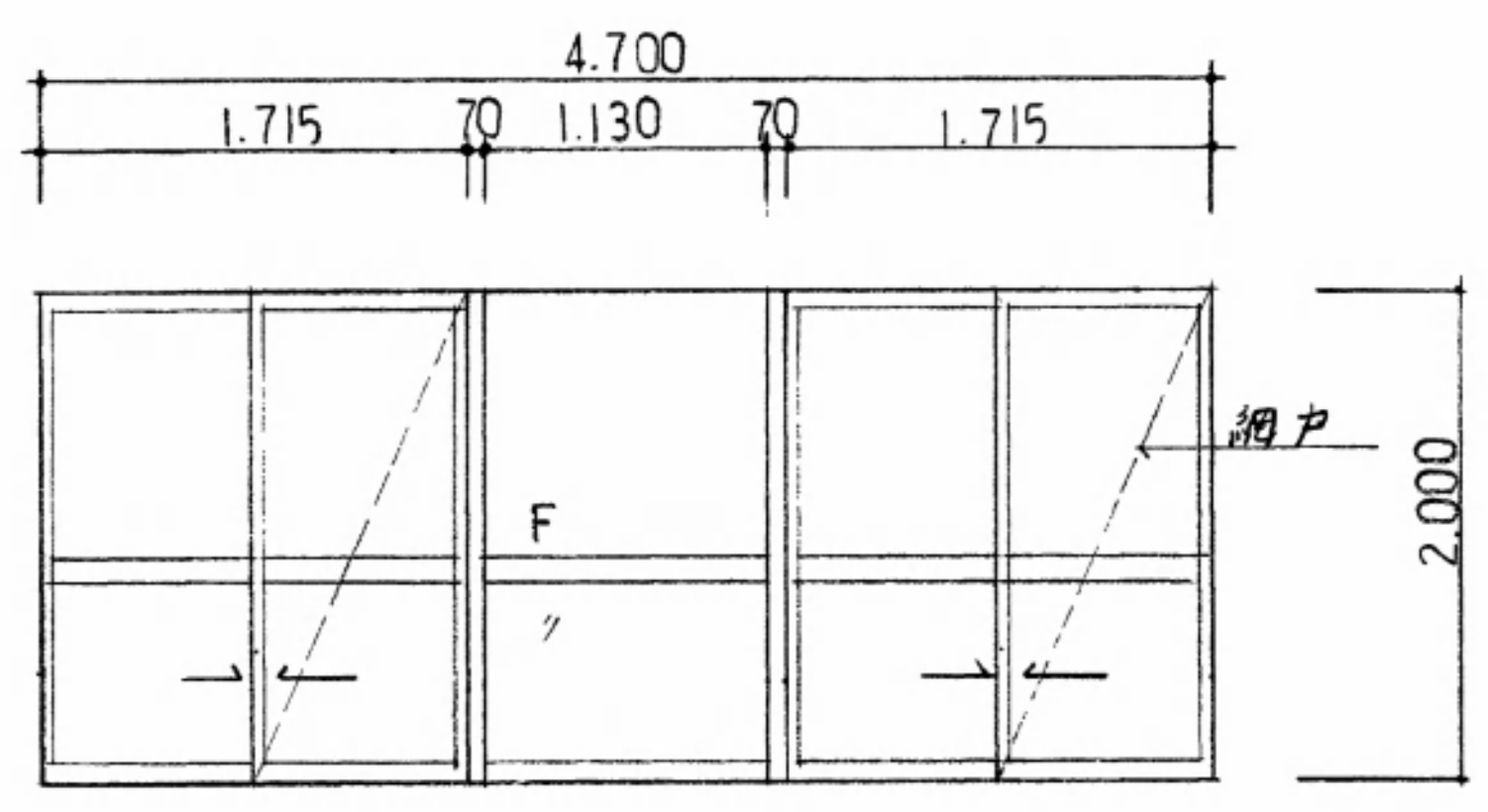
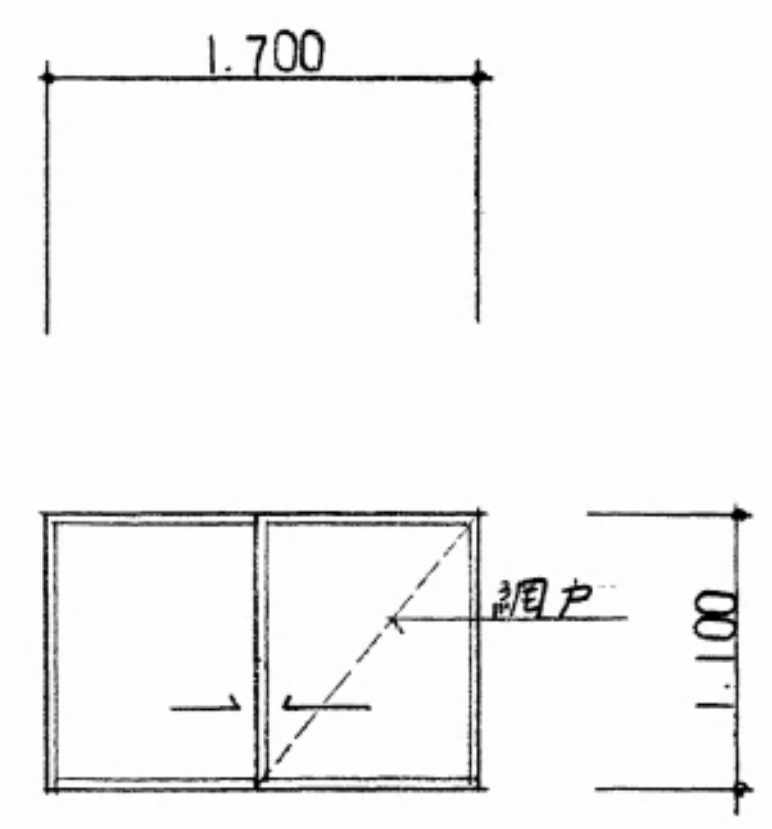
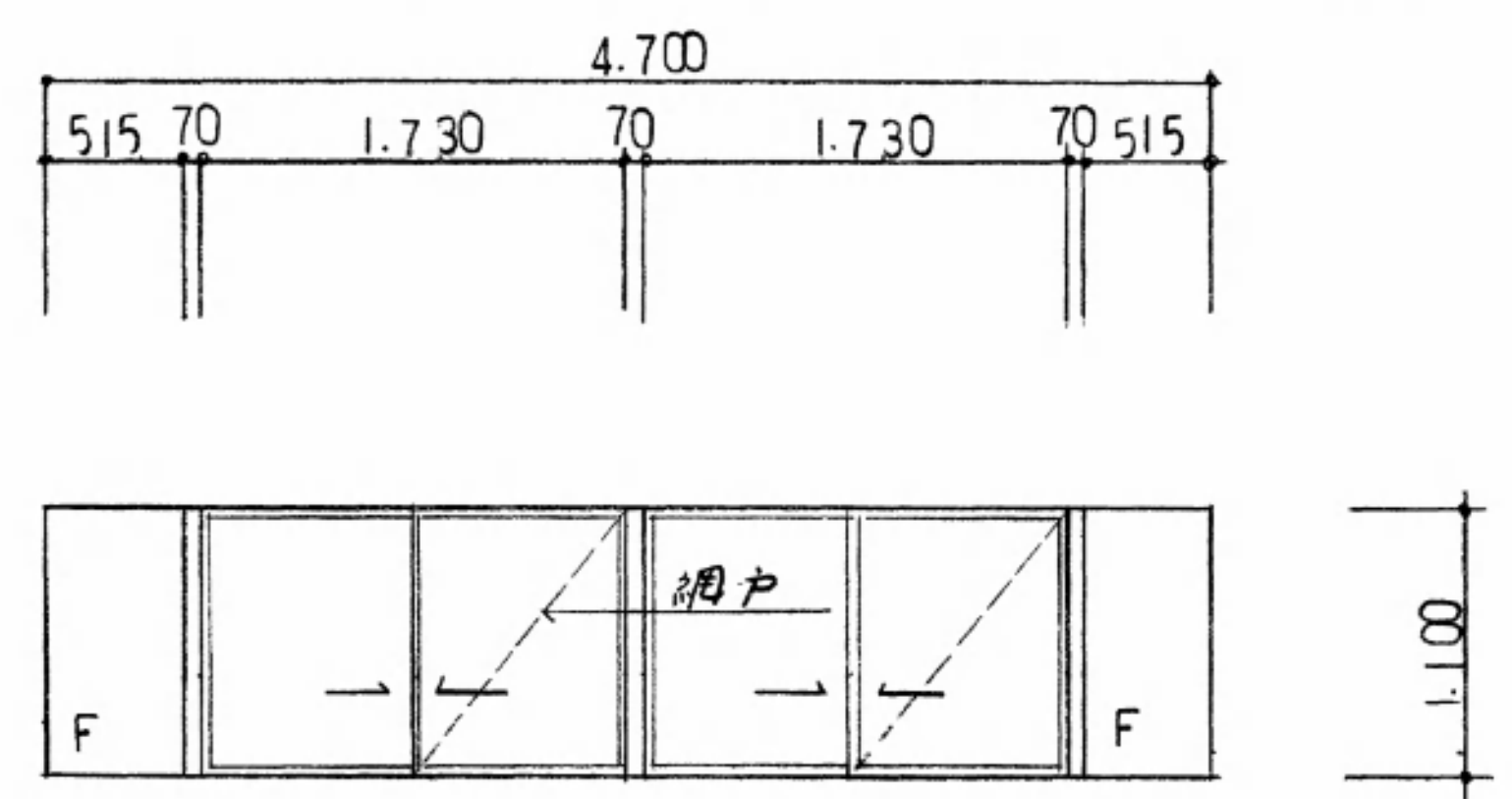
手摺 詳細図 S=1:20

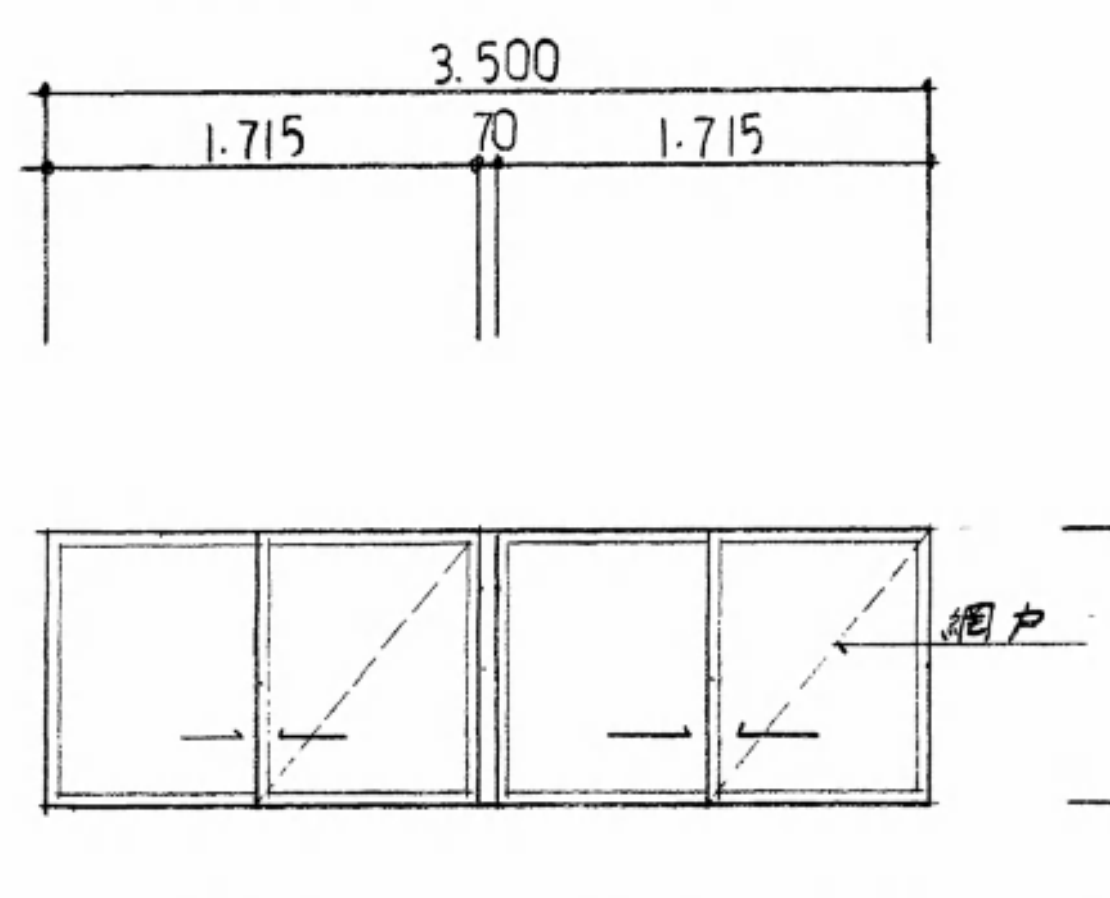
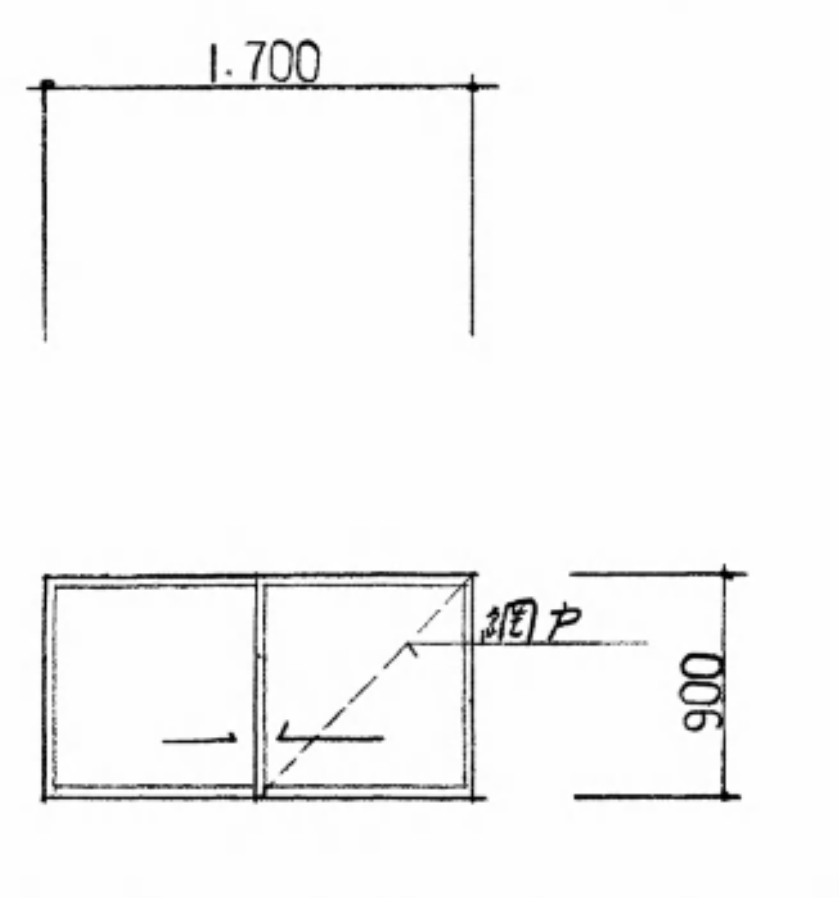
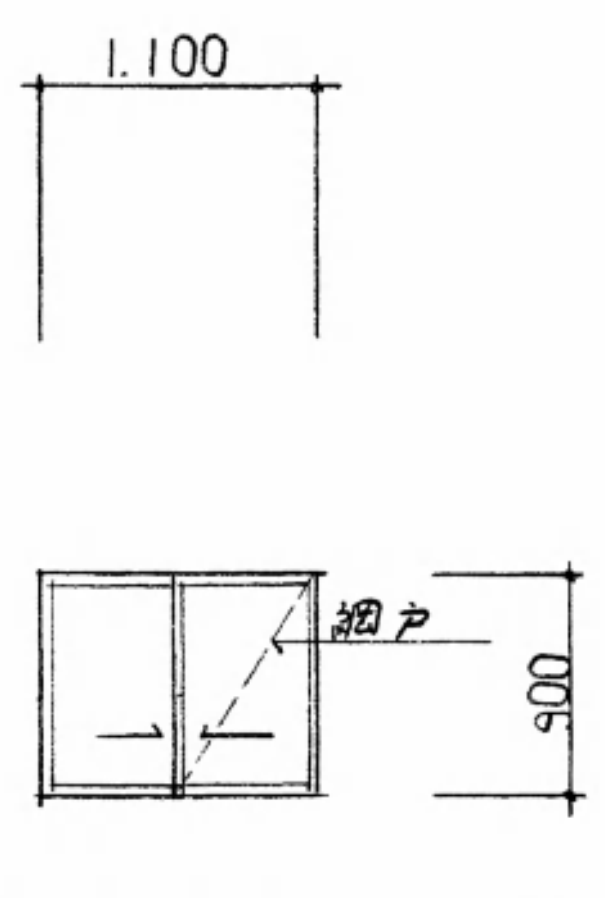
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	改修後：LGS壁下地〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す

工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後 階段詳細図		
縮 尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９１

記号	AD 1 引分アルミドア 嵌殺ランマ、嵌殺両袖付	AD 101 引分けアルミ自動ドア（カバー工法）	AD 2 両開アルミ框ドア 嵌殺ランマ付	AD 3 片開アルミ框ドア 嵌殺ランマ付	AD 4 両開アルミ框ドア 嵌殺ランマ付	AD 5 片開アルミ框ドア
形状		 ■電源容量：AV100V5A アース付き3芯				
見込	100	100	70	仝 左	仝 左	仝 左
仕様	カラーアルミ	カラーアルミ	カラーアルミ ALC版用（三方アングル付）	仝 左	仝 左	シルバー
使用金物	ドアハンドル ℓ=600、シリンダー錠、ステンレス沓摺、三方アルミアングル 引分け方向ステッカー貼	左右カバー枠：AL t2.0 下部レール：SUS t1.5 ドアエンジン、センサー、タッチプレート、標準金物一式	ステンレス丁番、戸当り C.L付モノロック D.C、フランス落し、ステンレス沓摺	ステンレス丁番、CL付モノロック、D.C、ステンレス沓摺	ステンレス丁番、C.L付モノロック、D.C、フランス落し、ステンレス沓摺	ステンレス丁番 三方アルミアングル 浴室用モノロック、ステンレス沓摺、
使用硝子	ランマ ア5 フロート，ドア&両袖 ア5 トーメー強化	ランマ：透明ｔ5.0 ドア、両袖：強化透明ｔ5.0	ドア上ランマ ア5フロート、ドア ア5トーメー強化	ランマ ア3フロート、腰入ア4型板	ア5 フロート	ア4 型板強化
改修内容	改修前：<撤去>	改修後：<新設>	(額)	<既存のまま>	(額)	改修前：<撤去>

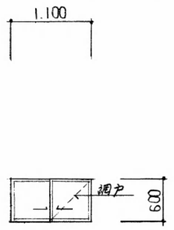
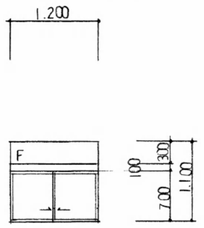
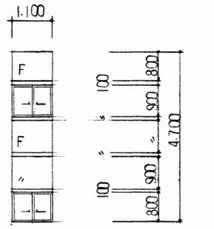
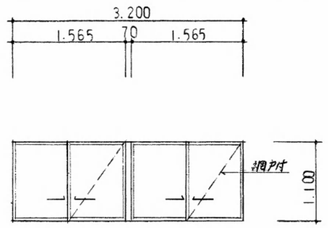
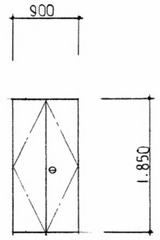
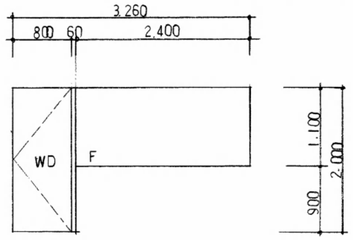
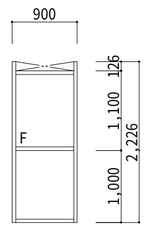


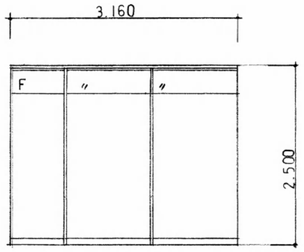
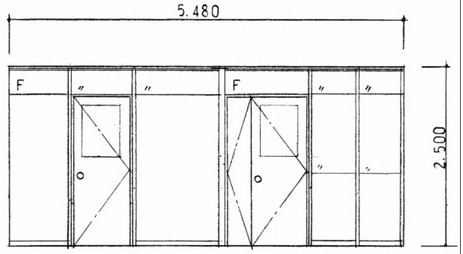
記号	AD 6 引違アルミドア 可動網戸付	AD 7 引違アルミドア（2連窓）嵌殺袖付 可動網戸付	AW 1 AW 1' 引違アルミサッシ 可動網戸	AW 2 引違アルミサッシ 2連窓嵌殺両袖付 可動網戸
形状				
見込	70	仝 左	仝 左	仝 左
仕様	カラーアルミ ALC版用（三方アングル付） 網戸（レックスネット）	仝 左	仝 左	仝 左
使用金物	クレセント アルミ水切 D37	仝 左	仝 左	仝 左
使用硝子	ア5 フロート	仝 左	仝 左	仝 左
改修内容	(網)(額)(木)	(ブ)(網)(額)(木)(ブB)	AW/1→(網)(額)(木) AW/1'→(ブ)(網)(額)(木)(ブB)	(ブ)(網)(額)(木)(ブB)

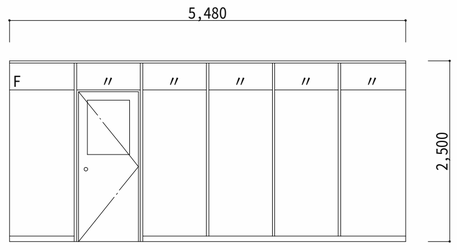
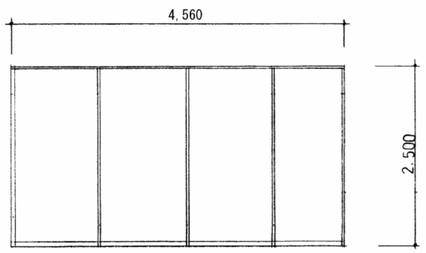
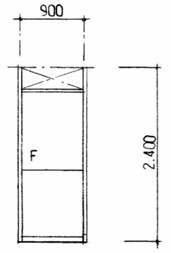
記号	AW 3 引違アルミサッシ 2連窓 可動網戸付	AW 4 引違アルミサッシ 可動網戸付	AW 5 AW 5' 仝 左
形状			
見込	70	仝 左	仝 左
仕様	カラーアルミ ALC版用（四方アングル付） 網戸（レックスネット）	仝 左	仝 左
使用金物	クレセント アルミ水切 D37	仝 左	仝 左
使用硝子	料金計算室（1ヶ所） ア6.8 PWG、左記以外（3ヶ所） ア5 フロート	料金機械室（1ヶ所） ア6.8PWG，更衣室（1ヶ所） ア6 型板	ア4 型板
改修内容	(ブ)(網)(額)(木)(ブB)	(ブ)(網)(額)(木)(ブB)	AW/5→(網)(額) ※額縁塗替えは1、2階湯沸室のみ AW/5'→(ブ)(網)(額)(木)(ブB)

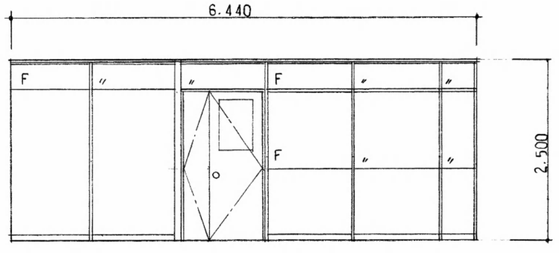
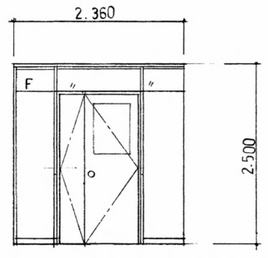
凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
(ブ)	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
(網)	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
(額)	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
(木)	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
(金)	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（ドアノブ（内締り錠）） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（ドアノブ（内締り錠）・マスターキー〈新設〉）
(ガ)	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
(ブB)	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度 仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下 地内		
工事名	仙台松島道路 料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後 建具表(1)		
縮 尺	ー	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９２

記号	AW 6	AW 7	AW 8	AW 9	SD 1	SW 1	P 107
	引違アルミサッシ　可動網戸付	引違アルミサッシ 額縁ランマ付	引違アルミサッシ5段 額縁ランマ付	引違アルミサッシ 2連窓　可動網戸付	両開スチール FD	額縁 スチールサッシ&ドア枠	アルミスタットパーテーション
形状							
見込	70	左　　右	左　　右	左　　右	100（枠）　40（扉）	110 左　　右	50
仕様	レックスタット用 カラーアルミ ALC板用（四方アングル付）	カラーアルミ	カラーアルミ ALC板用（四方アングル付）	カラーアルミ ALC板用（四方アングル付） レックスネット網	PC-1.6　SOP		アルミスタット　腰：焼付鋼鈑パネル
使用金物	ワレセント、アルミ水切	ステンレス Wローラー戸車 三方アルミアングル（両面） 額縁押え 上下框 ステンレス C.L、ステンレス引手	ワレセント、アルミ水切	左　　右	ステンレス当金物、ケースハンドル、C.L ステンレス丁番、アームストッパー、フラッシュ落し		—
使用硝子	⑥4 型板	ランマ ⑥3 フロート、扉 ⑥5 フロート	最下段 ⑥4 型板 左記以外 ⑥5 フロート	⑥6 PWG		5t5 トメ-ル合せ網入	型板　t4.0
改修内容	㊟	㊟	㊟	㊟	改修前：扉、額縁共 SOP<下地調整> 改修後：鉄鋼面 EP-G<塗替え>	改修前：額縁 SOP<下地調整> 改修後：鉄鋼面 EP-G<塗替え> ※額縁塗替えは事務室のみ	改修後：<新設>

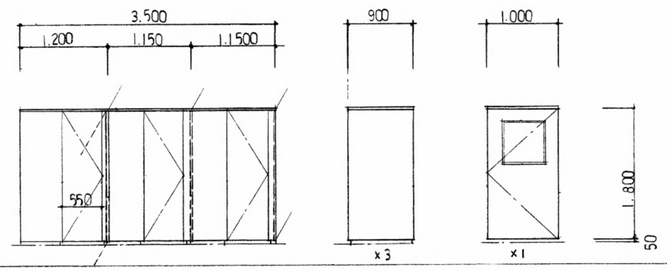
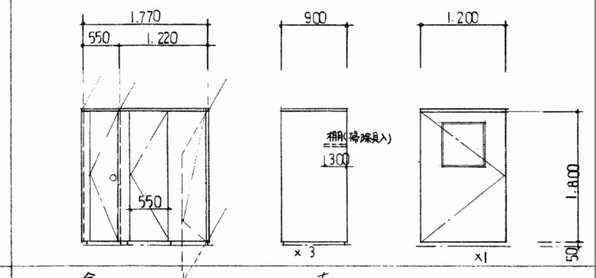
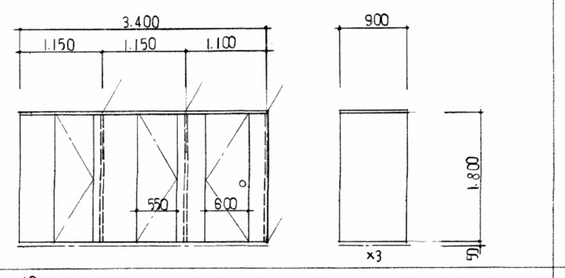
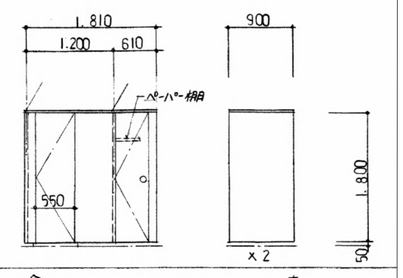
記号	P 1	P 2
	アルミパーティション	左　　右
形状		
見込	80	左　　右
仕様	アルミスタット式不燃間仕切（PB⑫12裏打 焼付鋼板⑥0.6 アルミエッジ）	左　　右
使用金物		C.L付モノロック、D.C、フランス落し、ステンレス丁番
使用硝子	ランマ ⑥3 フロート	ランマ ⑥3 フロート　額入腰上 ⑥5 フロート
改修内容	<既存のまま>	<既存のまま>

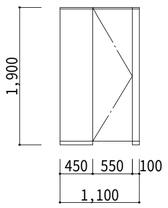
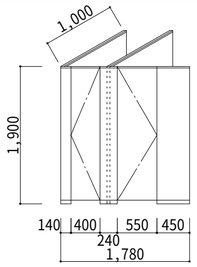
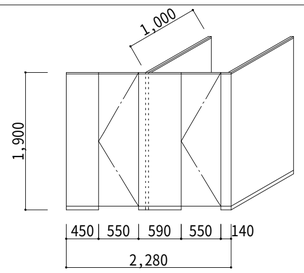
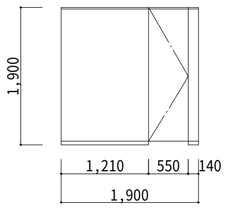
記号	P 5	P 6	P 7
	アルミパーティション	左　　右	アルミスタットパーティション
形状			
見込	80	左　　右	50
仕様	アルミスタット式 不燃間仕切（PB⑫12裏打 焼付鋼板⑥0.6 アルミエッジ）	左　　右	アルミスタット、腰 焼付鋼板パネル
使用金物	C,L付モノロック　D,C　フランス落とし　ステンレス丁番	ステンレス丁番、C.L付モノロック、D.C、フランス落し	
使用硝子	ランマt3.0フロート　額入腰上t5.0フロート		⑥4 型板
改修内容	<既存のまま>	<既存のまま>	<既存のまま>

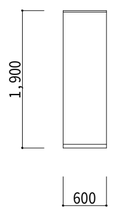
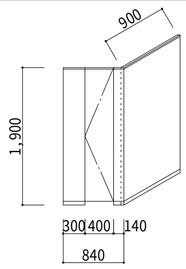
記号	P 3	P 4
	アルミパーティション	左　　右
形状		
見込	80	左　　右
仕様	アルミスタット式不燃間仕切（PB⑫12裏打 焼付鋼板⑥0.6 アルミエッジ）	左　　右
使用金物	C.L付モノロック D.C フランス落し ステンレス丁番	左　　右
使用硝子	ランマ ⑥3 フロート　額上 ⑥5 フロート	ランマ ⑥3 フロート 額入 ⑥4 型板
改修内容	<既存のまま>	<既存のまま>

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
㊂	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25・手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25・手動・ロッド式)〈新設〉を示す
㊟	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）
㊦	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
㊍	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
㊎	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（ドアノブ（内締り錠）） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（ドアノブ（内締り錠）・マスターキー〈新設〉）
㊏	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
㊐	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表(2)		
縮尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９３

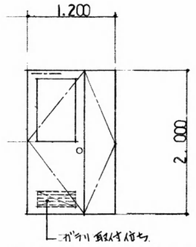
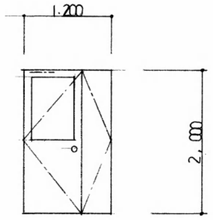
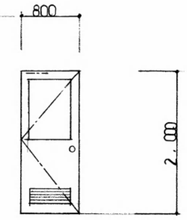
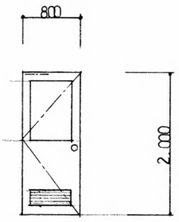
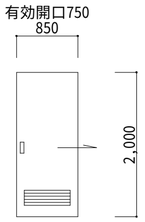
記号	TB 1 トイレブース	TB 2 仝 左	TB 3 トイレブース	TB 4 仝 左
形状				
見込	40	仝 左	40	仝 左
仕様	ポリエス合板製	仝 左	ポリエス合板	仝 左
使用金物	ラバトリーヒンジ、ラバトリーストライク、ラッチ錠、帽子掛付戸当り、ステンレス笠木、隔て金物一式	仝 左 掃除具入れ ステンレス丁番 空錠	ラバトリーヒンジ、ラバトリーストライク、ラッチ錠、帽子掛付戸当り、ステンレス笠木、隔て金物一式、ステンレス丁番 空錠	仝 左
使用硝子	額入 ⑨4型板	仝 左		
改修内容	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>※棚共	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>※棚共

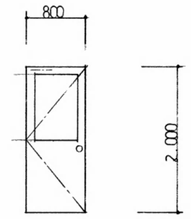
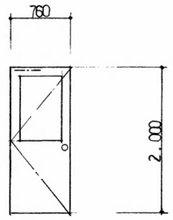
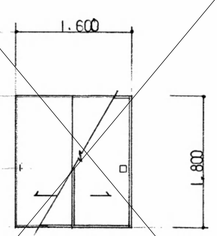
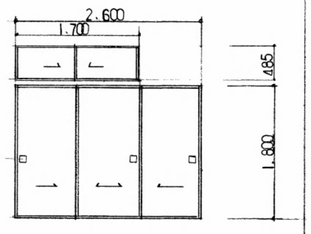
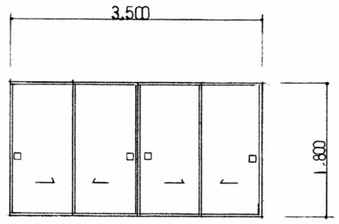
記号	TB 101 トイレブース	TB 102 トイレブース	TB 103 トイレブース	TB 104 トイレブース
形状				
見込	40	40	40	40
仕様	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
使用金物	ステンレス頭つなぎ40×20　標準金物一式	ステンレス頭つなぎ40×20　標準金物一式	ステンレス頭つなぎ40×20　標準金物一式	ステンレス頭つなぎ40×20　標準金物一式
使用硝子	—	—	—	—
備考	ステンレス巾木　表示錠(非常開錠付き)　戸当たりﾌｯｸ　指詰め防止	ステンレス巾木　表示錠(非常開錠付き)×1か所　戸当たりﾌｯｸ　指詰め防止	ステンレス巾木　表示錠(非常開錠付き)×2か所　戸当たりﾌｯｸ　指詰め防止	ステンレス巾木　表示錠(非常開錠付き)×1か所　戸当たりﾌｯｸ　指詰め防止
改修内容	改修後：<新設>	改修後：<新設>	改修後：<新設>	改修後：<新設>

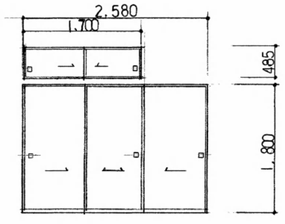
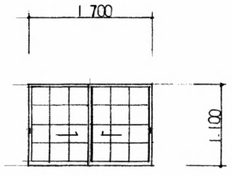
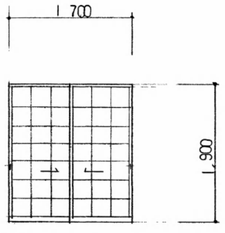
記号	TB 105 トイレブース	TB 106 トイレブース
形状		
見込	40	40
仕様	メラミン化粧合板	メラミン化粧合板
使用金物	ステンレス頭つなぎ40×20　標準金物一式	ステンレス頭つなぎ40×20　標準金物一式
使用硝子	—	—
備考	ステンレス巾木	ステンレス巾木　戸当たりﾌｯｸ　指詰め防止
改修内容	改修後：<新設>	改修後：<新設>

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（ドアノブ（内締り錠）） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（ドアノブ（内締り錠）・マスターキー〈新設〉）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ﾌﾞB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表(3)		
縮尺	―	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９４

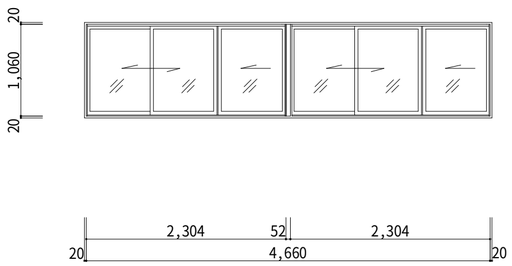
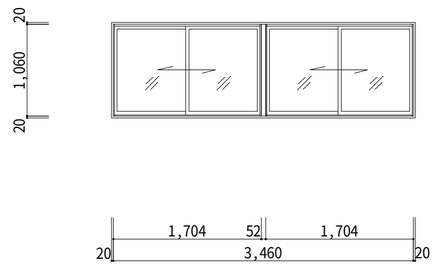
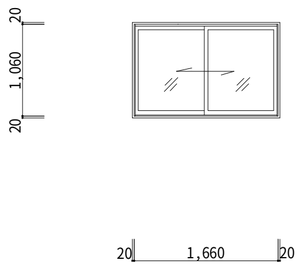
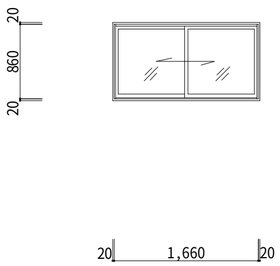
記号	WD-1	WD-2	WD-3	WD-4, WD-4'	WD-104
	親子開、台板フラッシュ戸	親子開 台板フラッシュ戸	片開 台板 フラッシュ戸	片開 台板 フラッシュ戸	片引きフラッシュ戸
形状					
見込	36	36	36	36	36
仕様	⑫4 シナ台板 SOP	⑫4 シナ台板 SOP	⑫4 シナ台板 SOP	⑫4 シナ台板 SOP	メラミン化粧合板
使用金物	ステンレス丁番3枚吊 ブランス錠レ DC モノロック錠 省握 ステンレス	ステンレス丁番3枚吊 ブランス錠レ DC モノロック錠 省握 ステンレス	ステンレス丁番3枚吊 DC モノロック錠 省握 ステンレス	ステンレス丁番3枚吊 DC モノロック 省握 ステンレス	掘り込引手 アルミ製Vレール 戸車 サムターン(表示錠付) ガラリ
使用硝子	⑫4 型板	⑫4 型板	⑫4 型板	⑫4 型板	—
改修内容	(額)(木)	(額)(木)	(額)(木)	WD/4→(額)(木) WD/4'→(額) 改修前：<撤去>	改修後：<新設>

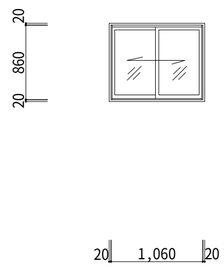
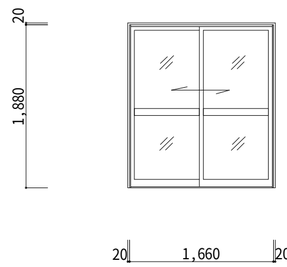
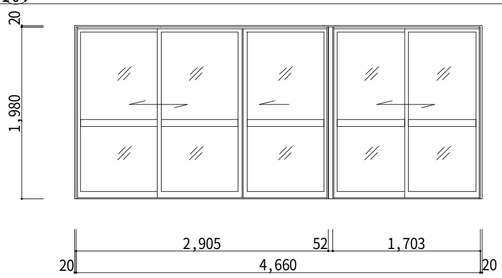
記号	WD-5	WD-6	~~引開 板フスマ~~	F-2	F-3
	片開 台板フラッシュ戸	片開 台板フラッシュ戸		3方引 板フスマ	4本引違 板フスマ
形状					
見込	36	36	33	33	33
仕様	⑫4 シナ台板 SOP	⑫4 シナ台板 SOP	框 ワイヤ組 框 襖紙貼 框 ガラス嵌	襖紙貼 框ガラス嵌	襖紙貼 框ガラス嵌
使用金物	ステンレス丁番3枚吊 DC モノロック錠 省握 ステンレス	ステンレス丁番3枚吊 DC モノロック錠 省握 ステンレス	戸襖用隠 引手	戸襖用戸車 引手	戸襖用戸車 引手
使用硝子	⑫4 型板	⑫4 型板			
改修内容	(額)(木)	(額)(木)	—	<既存のまま>	<既存のまま>

記号	F-4	S-1	S-2
	3方建 板フスマ	引違 障子戸	引違 障子戸
形状			
見込	33	33	
仕様	襖紙貼 框 ガラス嵌	白木 障子紙貼	白木 障子紙貼
使用金物	戸襖用戸車 引手	戯角ベベリ 引手	戯角ベベリ 引手
使用硝子			
改修内容	<既存のまま>	改修前：<撤去>	改修前：<撤去>

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
(ブ)	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25・手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25・手動・ロッド式)〈新設〉を示す
(網)	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す 改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）
(額)	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
(木)	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
(金)	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（ドアノブ（内締り錠）） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（ドアノブ（内締り錠）・マスターキー〈新設〉）
(ガ)	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
(ﾌﾞB)	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

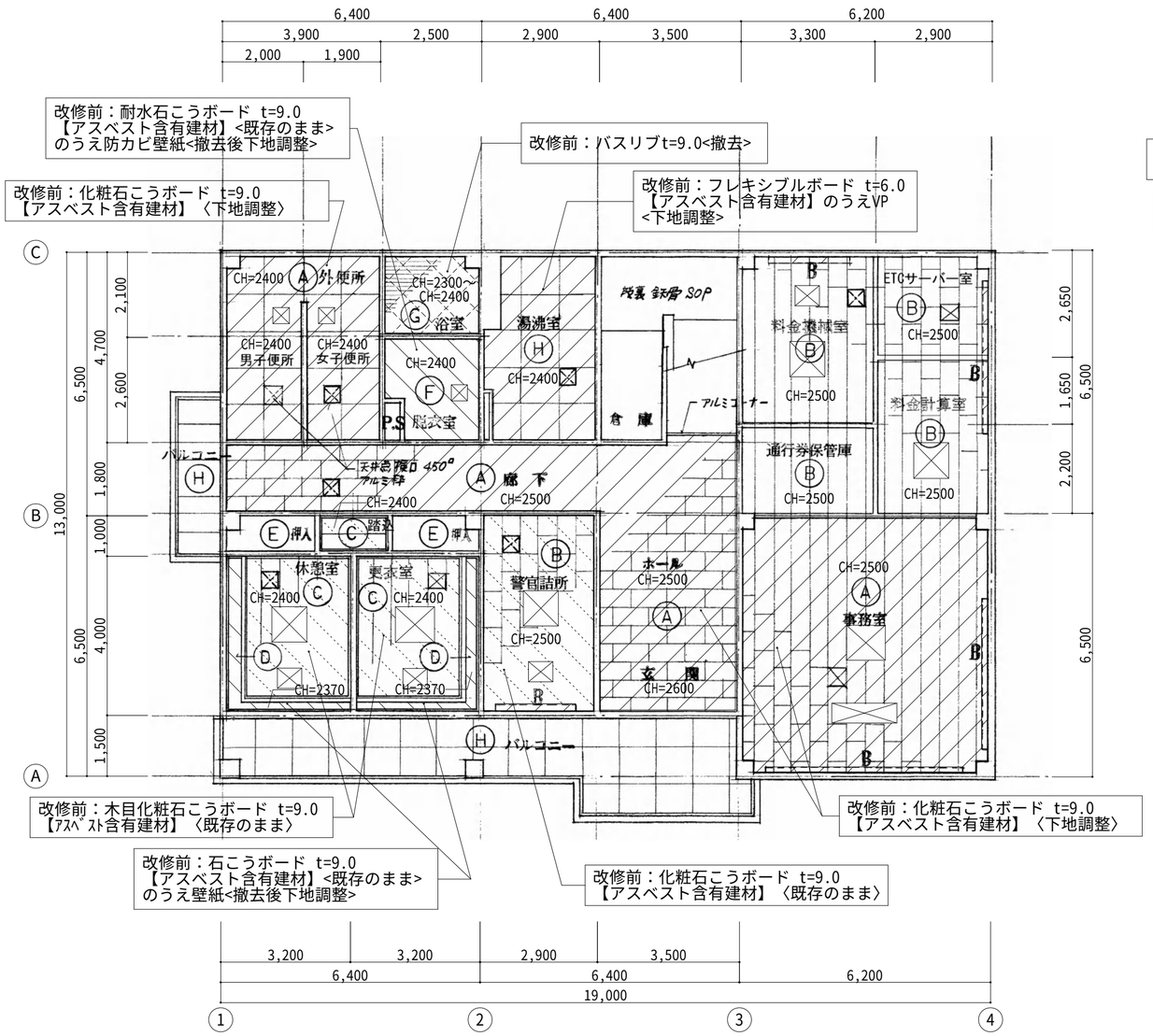
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表(4)		
縮尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９５

記　号	PW 101　3枚引違い樹脂サッシ　2連窓	PW 102　引違い樹脂サッシ　2連窓	PW 103　引違い樹脂サッシ	PW 104　引違い樹脂サッシ
形　状				
見　込	67	67	67・50	67
仕　様	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ
使用金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント、丁番、カムラッチハンドル	標準金物一式、クレセント
使用硝子	FLt=5.0	FLt=5.0	和紙調単板ガラスt=5.0	FLt=5.0
箇所数	1階：事務室、2階：事務室　2ヶ所	1階：事務室、料金計算室　2階：事務室、事務室(会議室)　4ヶ所	1階：警官詰所、更衣室、休憩室　2階：休憩室　5ヶ所	1階：料金機械室　1ヶ所
改修内容	改修後：<新設>	改修後：<新設>	改修後：<新設>	改修後：<新設>

記　号	PW 105　引違い樹脂サッシ	PW 106　引違い樹脂サッシ	PW 107　3枚引違い+2枚引違い樹脂サッシ
形　状			
見　込	67	67	67
仕　様	硬質塩ビ	硬質塩ビ	硬質塩ビ
使用金物	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント	標準金物一式、クレセント
使用硝子	FLt=5.0	FLt=3+A12+和紙調単板ｶﾞﾗｽt=3.0	FLt=5.0
箇所数	2階：管理室　1ヶ所	2階：休憩室　1ヶ所	2階：仮眠室更衣室　1ヶ所
改修内容	改修後：<新設>	改修後：<新設>	改修後：<新設>

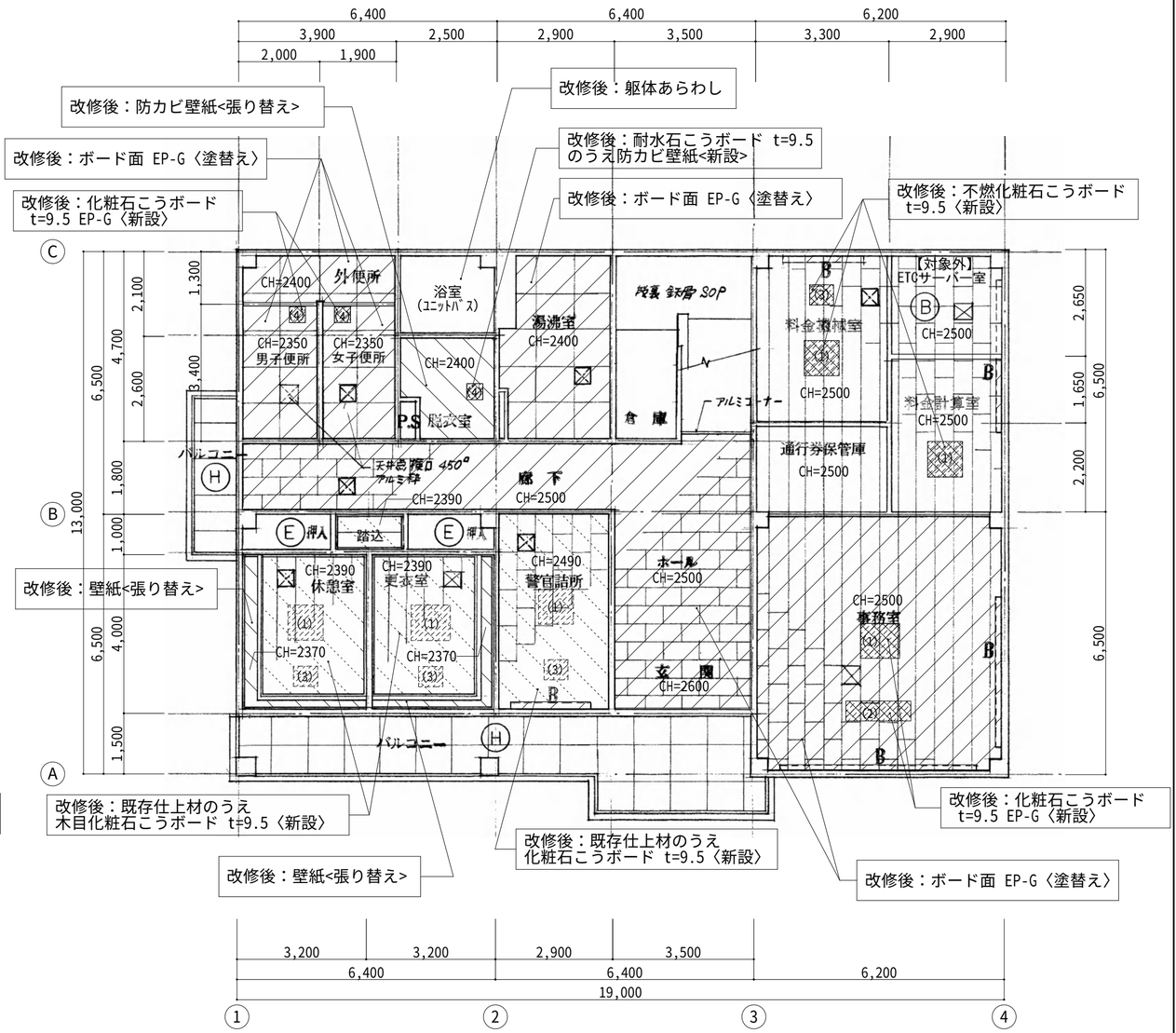
凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す ~~改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す~~
網	改修前：SUS製網戸〈撤去〉を示す ~~改修後：SUS製網戸〈新設〉を示す（引き違いは可動式・開き窓等は開き式）~~
額	改修前：木額縁(70×20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉
木	改修前：木二重額縁(120×20) 〈素地ごしらえ〉を示す 改修後：木部 EP-G〈新設〉
金	改修前：建具金物〈撤去〉を示す（金物種別は特記のこと） 改修後：建具金物〈新設〉を示す（金物種別は特記のこと）
ガ	改修前：ガラス〈撤去〉を示す（ガラス種別は特記のこと） 改修後：ガラス〈新設〉を示す（ガラス種別は特記のこと）
ﾌﾞB	改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉を示す 改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表(5)		
縮　尺	ー	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９６



［料金事務所］改修前　１階天井伏図　S=1:100

※共通事項
『Ｂ』は改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20）のうえSOP〈下地調整〉



［料金事務所］改修後　１階天井伏図　S=1:100

※共通事項
『Ｂ』は改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

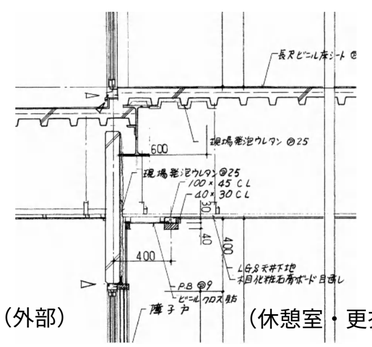
［開口補強］
300□・・・・・・3か所
250□・・・・・・6か所
150φ・・・・・・1か所
100φ・・・・・・4か所

改修前凡例

Ⓐ	化粧石膏ボード貼 ⑫9
Ⓑ	不燃化粧石膏ボード貼 ⑫9
Ⓒ	木目柄化粧石膏ボード貼 ⑫9
Ⓓ	⑫9 P.B下地 ビニルクロス貼
Ⓔ	ラワン合板 貼 ⑫5.5
Ⓗ	フレキ板目地し貼 ⑫6 VP
Ⓘ	有孔フレキ板目透し貼 ⑫6 VP
B	ブラインドボックス(木製) ベネシャンブラインド付

⊠：天井点検口 450° アルミ製

⊠ 設備機器撤去跡を示す

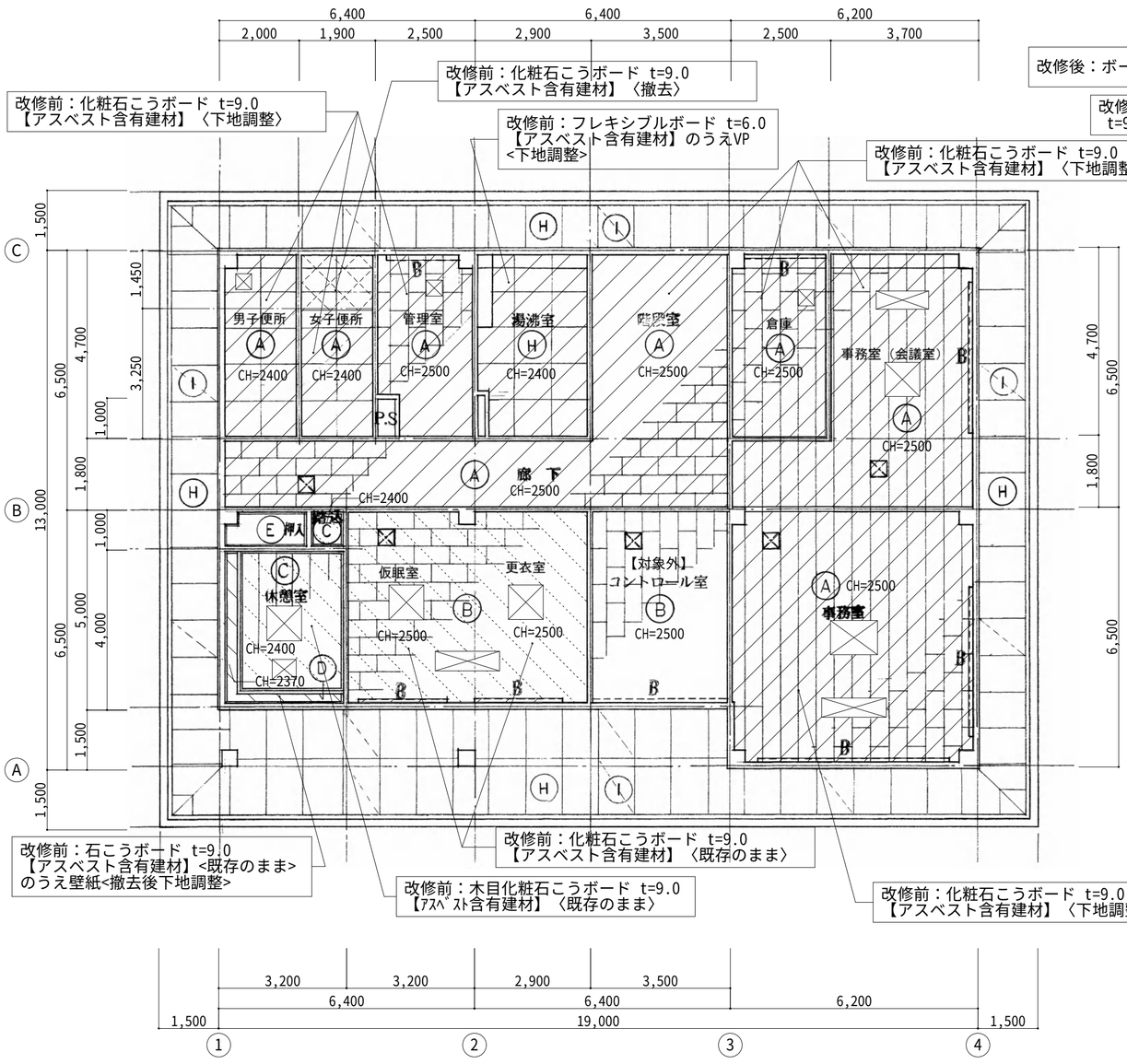


（外部）　（休憩室・更衣室）

（休憩室・更衣室）　天井詳細図　S=1:30

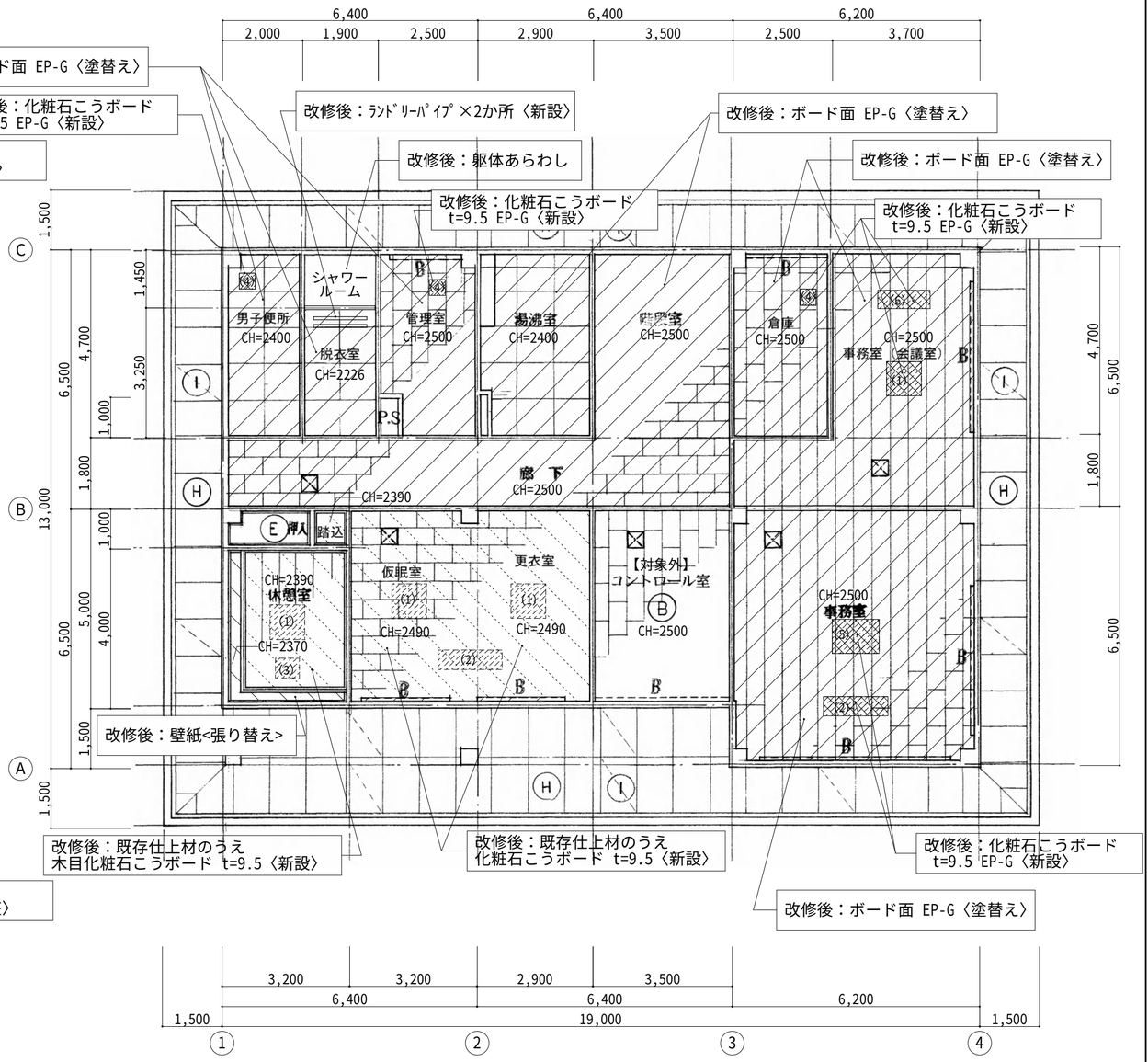
凡例（建具改修等は建具表による）			
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す		改修後：LGS（19形）天井下地〈新設〉を示す ◎開口リスト (1) 900×900　(5) 1,000×1,200 (2) 600×1,000　(6) 600×700 (3) 600×500 (4) 400×400
	改修前：仕上材〈既存のまま〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す		
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す		〈既存のまま〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す		
	改修後：〈新設〉を示す　※設備機器撤去部分		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　1階天井伏図		
縮　尺	1/100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９７



［料金事務所］改修前　２階天井伏図　S=1:100

※共通事項
『B』は改修前：ブラインドBOX(200×200×t=20) のうえSOP〈下地調整〉



［料金事務所］改修後　２階天井伏図　S=1:100

※共通事項
『B』は改修後：木部 EP-G〈塗替え〉

［開口補強］

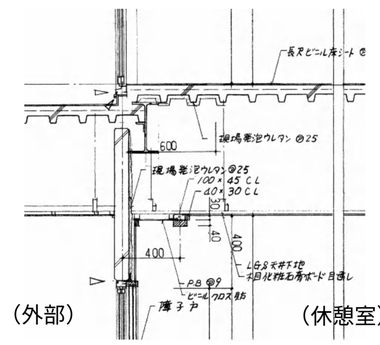
300□	5か所
250□	2か所
150φ	3か所
100φ	1か所
420×300	1か所

改修前凡例

Ⓐ	化粧石膏ボード貼 ㋈9
Ⓑ	不燃化粧石膏ボード貼 ㋈9
Ⓒ	木目柄化粧石膏ボード貼 ㋈9
Ⓓ	㋈9 P.B下地 ビニルクロス貼
Ⓔ	ラワン合板 貼 ㋈5.5
Ⓗ	フレキ板目透し貼 ㋈6 VP
Ⓘ	有孔フレキ板目透し貼 ㋈6 VP
B	ブラインドボックス(木製) ペアシングブラインド付

▨：天井点検口 450° アルミ製

▨ 設備機器撤去跡を示す



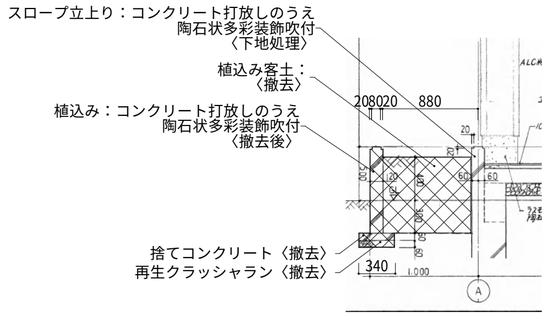
（休憩室）　天井詳細図　S=1:30

凡例（建具改修等は建具表による）

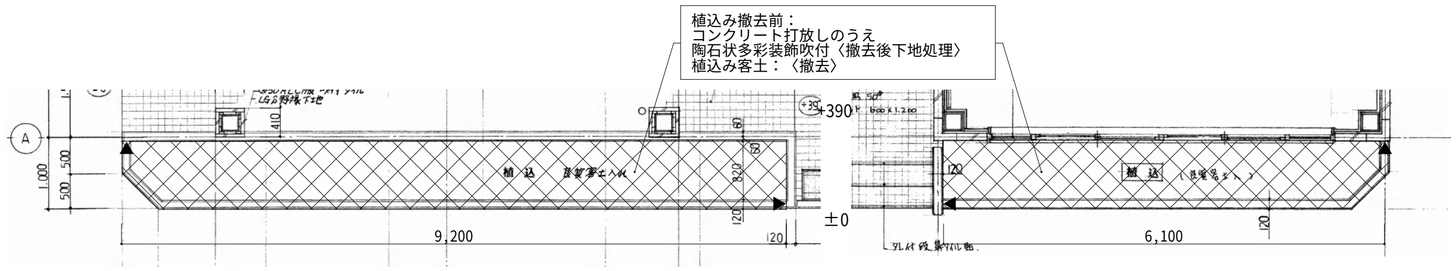
▨	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す	▨	改修後：LGS（19形）天井下地〈新設〉を示す
▨	改修前：仕上材〈既存のまま〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す		◎開口リスト (1)　900×900　　(5)　1,000×1,200 (2)　600×1,000　　(6)　600×700 (3)　600×500 (4)　400×400
▨	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す	▭	〈既存のまま〉を示す
▨	改修前：〈撤去〉を示す		
▨	改修後：〈新設〉を示す　※設備機器撤去部分		

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　2階天井伏図		
縮　尺	1/100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９８

改修前・改修後　植込み詳細図　1/20・40・60

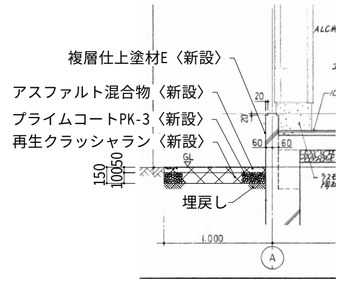


改修前　植込み(南面)詳細図　S=1:40

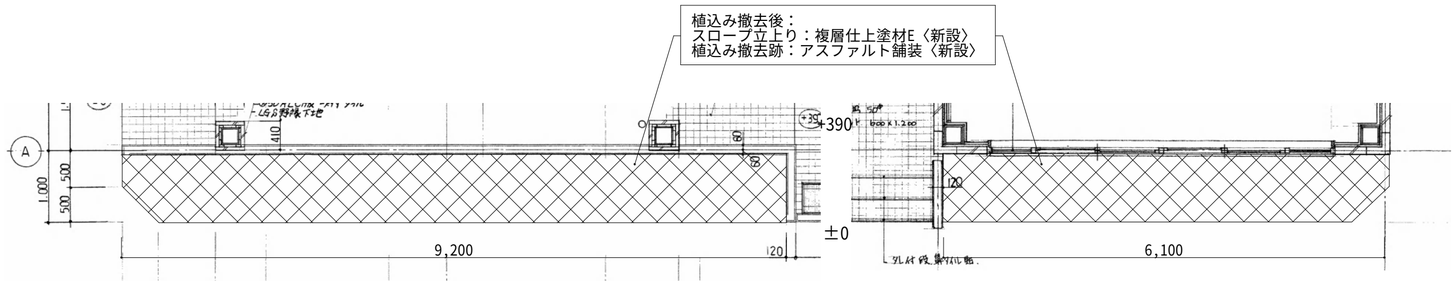


改修前　植込み(南面)平面詳細図　S=1:60

※▲はカッター入れを示す



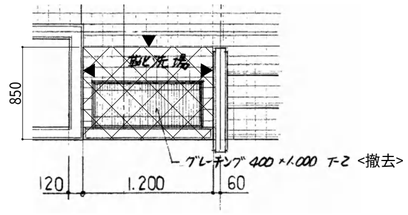
改修後　植込み(南面)詳細図　S=1:40



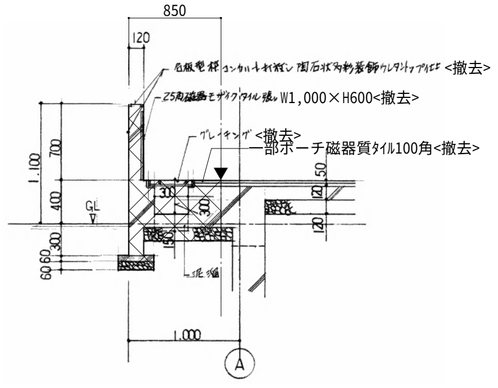
改修後　植込み(南面)平面詳細図　S=1:60

改修前・改修後　靴洗い場詳細図　1/40

<撤去> ※▲はカッター入れを示す

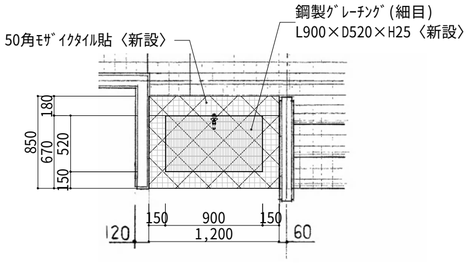


改修前　靴洗い場平面詳細図　S=1:40

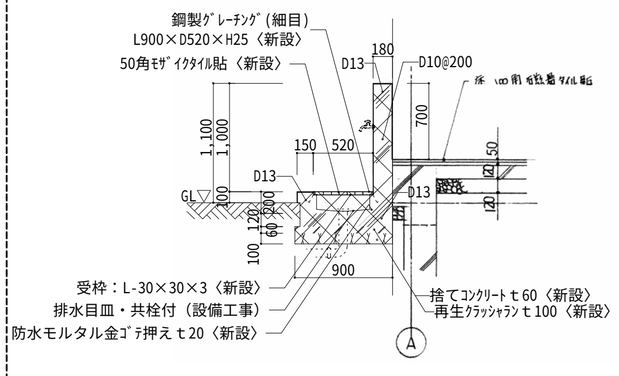


改修前　靴洗い場詳細図　S=1:40

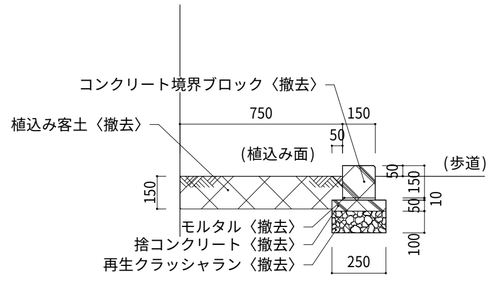
<新設>



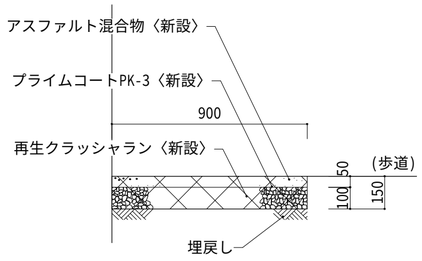
改修後　靴洗い場詳細図　S=1:40



改修後　靴洗い場詳細図　S=1:40



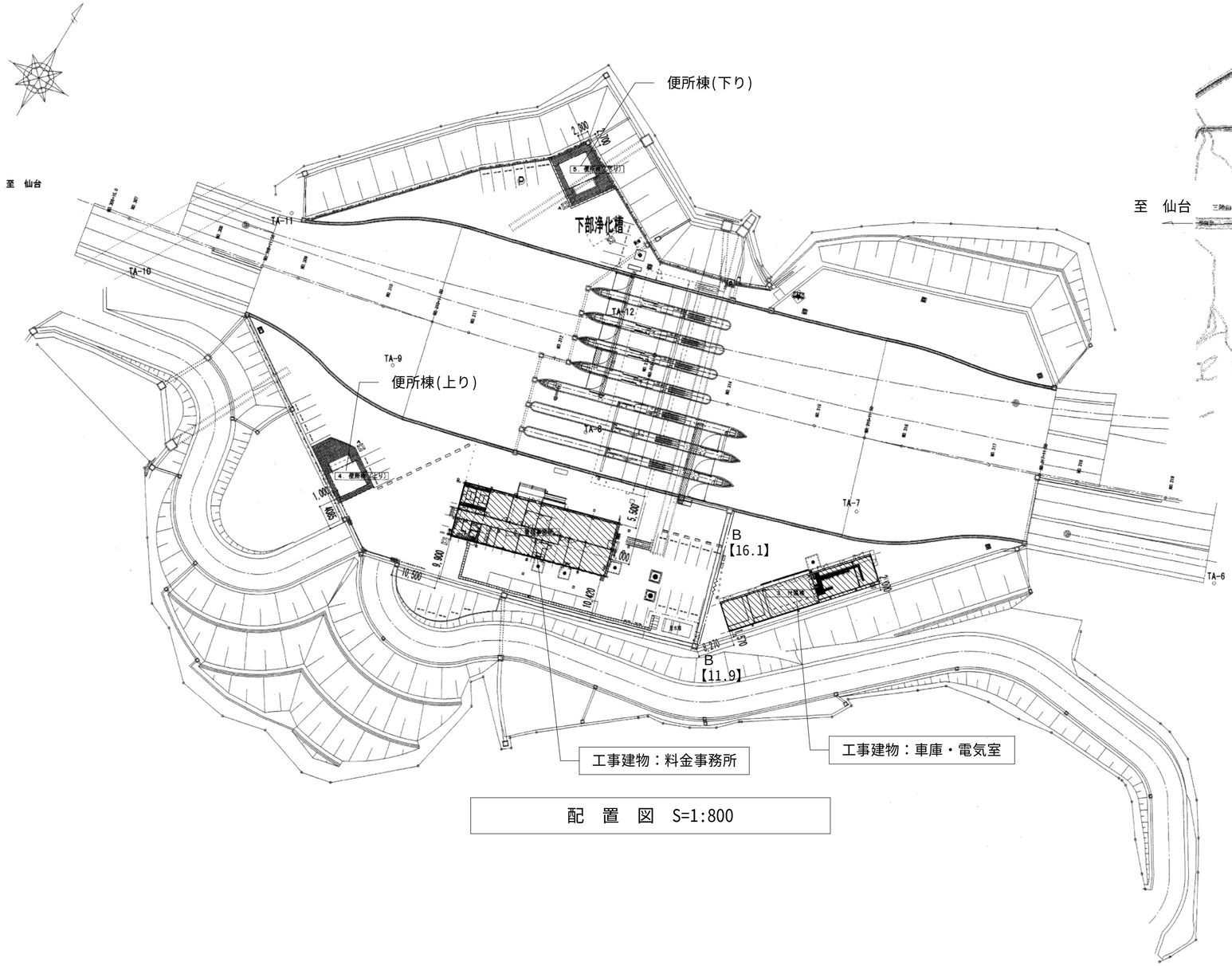
改修前　植込み(東面)詳細図　S=1:20



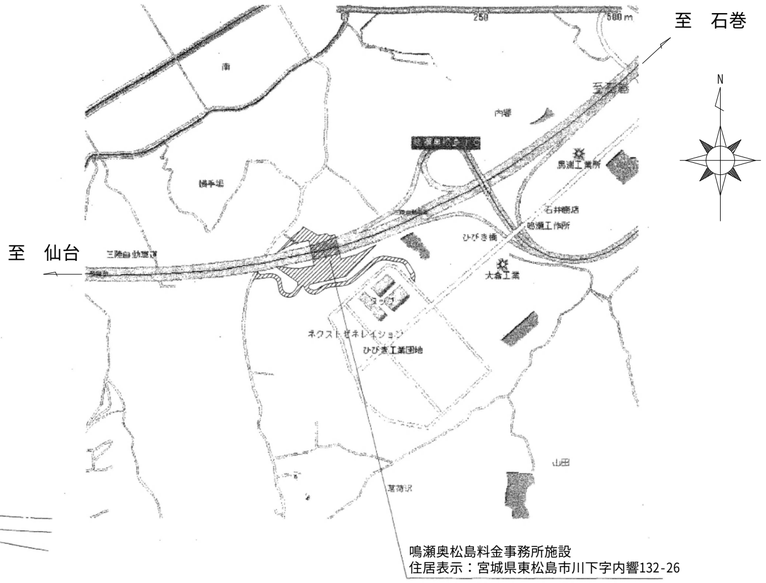
改修後　植込み(東面)詳細図　S=1:20

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：〈撤去〉を示す 改修後：〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（松島北料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　外構詳細図		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	Ａ－９９



配　置　図　S=1:800



案　内　図

凡　例

敷地境界線

仮設計画 凡例			
記号・表示	名称	仕様	数量
【数量】A	成形鋼版	H=2.0m	—
【数量】B	単管シート	H=2.0m	28.0m
〰	シートゲート	W=3.6m×H=4.5m	1箇所
アスベスト含有材　採取費			-日
アスベスト調査		定性分析　（ボード・床材　-種類+配管保温材・エルボ　-種類）	-検体

凡例	
	工事建物 を示す
	既存建物　を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設） 案内図・配置図		
縮　尺	1:800	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１０３

外部仕上表

建物名	区　分	ポーチ・スロープ	腰巾木(設計GL+500)	外　壁・柱　型	軒　天・梁　型	屋　根・樋	その他
管理事務所	(改修前)	ポーチ:磁器質タイル 150角〈既存のまま〉 スロープ:コンクリート刷毛引き仕上〈既存のまま〉	コンクリート打放し補修+ 撥水剤塗布〈既存のまま〉	ALC t=100のうえ複層仕上塗材〈既存のまま〉 目地・建具周囲：シーリング〈既存のまま〉	コンクリート打放し補修+ 多機能型単層弾性仕上塗材〈既存のまま〉	コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉+シート防水(S-F1)〈撤去〉 縦引き型ルーフドレンキャップ65φ(鋳鉄製)〈撤去〉 縦樋:白ガス管 80φSOP〈既存のまま〉 ポーチ上部底:コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉+ウレタン塗膜防水(X-2)〈下地調整〉 庇:スチール　PLt=4.5　亜鉛メッキ〈既存のまま〉	庇下部パネルライン:アルミパネル焼付塗装〈既存のまま〉 周囲シーリング（MS-2･10×10）〈撤去〉
管理事務所	(改修後)	ポーチ:― スロープ:―	―	―	―	改質アスファルトシート防水(AS-J1)〈新設〉 縦引き型改修用ドレン〈新設〉 縦樋:― ポーチ上部底:ウレタン塗膜防水(X-2)〈新設〉 庇:―	庇下部パネルライン:― 周囲シーリング（MS-2･10×10）〈新設〉

内部仕上表

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	玄関 ホール 廊下	既存	-100 ±0	M RC	玄関:磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉 ホール・廊下:ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	玄関:御影石〈既存のまま〉 ホール・廊下:ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	100 75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.5のうえ 岩綿吸音板t=12〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	―
		改修	― ―	― ―	―	― ―	― ―	―	―	―	―	―	―	―
	事務室 接客ｺｰﾅｰ	既存	±0	OA〈一部撤去〉	ビニル床タイルt=2.0〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈一部撤去・下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.5のうえ 岩綿吸音板t=12〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,700	
		改修	±0	OA〈一部新設〉	ビニル床タイルt=4.0〈新設〉	―	75	―	石こうボードt=9.5〈一部増張り〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈一部新設〉	―	―	―	―	
	料金 計算室 料金 機械室	既存	±0	OA〈一部撤去〉	ビニル床タイルt=2.0〈撤去〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,450	※ETCサーバ室【対象外】
		改修	±0	OA〈一部新設〉	ビニル床タイルt=4.0〈新設〉	―	75	―	―	―	―	―	―	※ETCサーバ室【対象外】
	通行券 保管室	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	
		改修	―	―	―	―	―	―	クラック部分:シーリング〈新設〉	―	―	―	―	
	警察官 休憩室	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉 〈一部撤去・下地調整〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	
		改修	―	―	―	―	―	―	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈一部新設〉	―	―	―	―	
	会議室	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.5のうえ 岩綿吸音板t=12〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	
	男子 更衣室	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	―
		改修	―	―	―	―	―	―	クラック部分:シーリング〈新設〉	―	―	―	―	―
	食事室・ 休憩室	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 一部石こうボード t=12.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,500	
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	湯沸室	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)+EP〈既存のまま〉〈一部下地調整〉 流し台前:半磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	フレキシブルボード t=6+EP〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	流し台・コンロ台・ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ・吊戸棚〈既存のまま〉
		改修	―	―	―	―	―	―	一部EP〈新設〉	―	―	―	―	―
	倉庫	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 一部石こうボード t=12.5(両面)〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	踏込	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 一部石こうボード t=12.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	木製〈既存のまま〉	2,500	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	仮眠室	既存	+115	RC	発泡ｽﾁﾚﾝﾎﾞｰﾄﾞのうえ ﾀﾀﾐ敷〈既存のまま〉 一部化粧合板貼t=15〈既存のまま〉	ﾀﾀﾐ寄せ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 一部石こうボード t=12.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	木製〈既存のまま〉	2,500	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	押入	既存	+115	RC	木下地のうえ シナ合板貼t=9〈既存のまま〉	雑巾摺〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 一部石こうボード t=12.5(両面)〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	木製〈既存のまま〉	2,500	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	脱衣室	既存	±0 +115	RC	木下地のうえ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	耐水石こうボード t=9.5〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	脱衣棚・防水パン・上框SUS HL〈既存のまま〉
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	浴室	既存	+230	RC										ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ1721〈既存のまま〉
		改修	―	―										―
	男子便所 女子便所	既存	±0	RC	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt=2.5〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾒﾗﾐﾝ化粧合板t=3〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,400	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
	職員 通用口	既存	-100	M	磁器質ﾀｲﾙ100角〈既存のまま〉	ﾋﾞﾆﾙ〈既存のまま〉	75	LGS〈既存のまま〉	石こうボード t=12.5+9.5(両面)〈既存のまま〉 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼〈既存のまま〉	LGS〈既存のまま〉	化粧石こうボード t=9.5〈既存のまま〉	塩ビ〈既存のまま〉	2,600	―
		改修	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものはも今回工事対象外を示す。仕上表及び「各図面共通」とする。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は　―　・〈新設〉・〈張り替え〉:塗装以外の場合・〈塗替え〉塗装の場合　・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床・二重床：乾式二重床を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：改修後のアスファルト舗装は、車道用とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【アスベスト含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に【対象外】に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉･改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様ものを天井下地共
　〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調
　設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様ものを天井下地共〈新設〉とする。

⑪：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)一部撤去・新設は20.0㎡とする。
⑫：クラックはクラック補修：ボード面のためパテ処理にて下地調整とする。

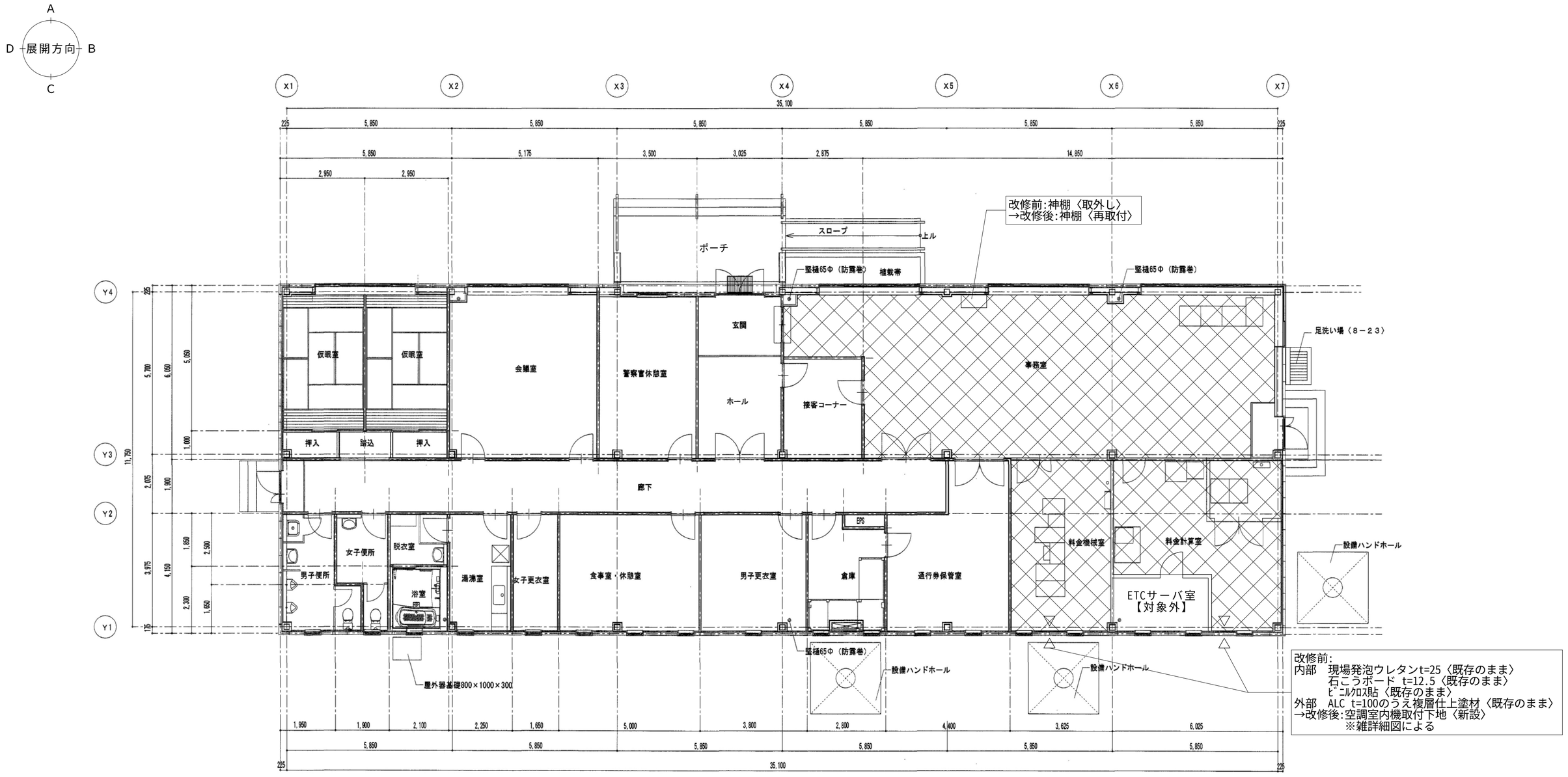
耐火・防火・不燃　番号

せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
防火上主要な間仕切壁の強化せっこうボード(t=12.5+12.5)両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44)(FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡　例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)
OA	OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)

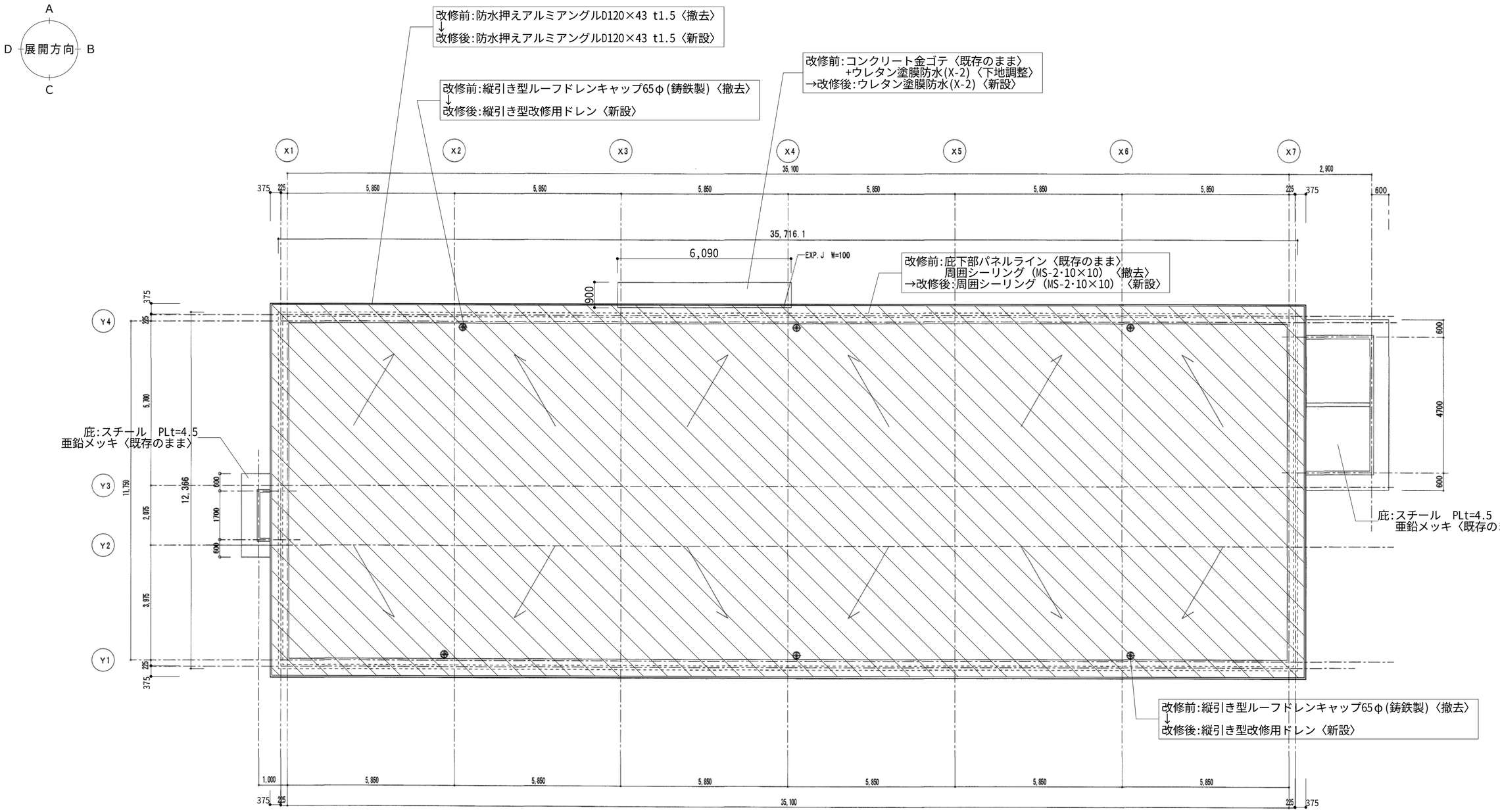
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　仕上表		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A－１０４



改修前・改修後　平面図　S=1:100

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)〈一部撤去〉 +ビニル床タイルt=2.0〈撤去〉を示す 改修後：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)〈一部新設〉 +ビニル床タイルt=4.0〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

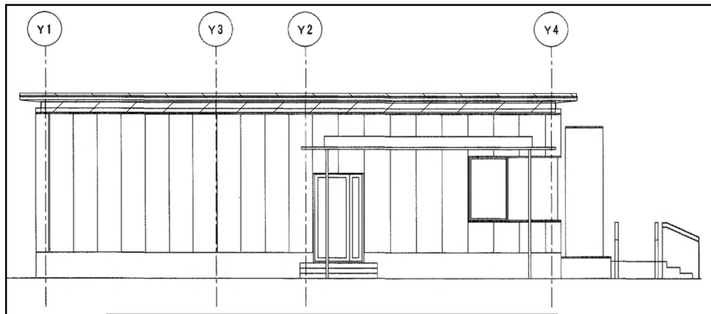
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　平面図		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A-１０５



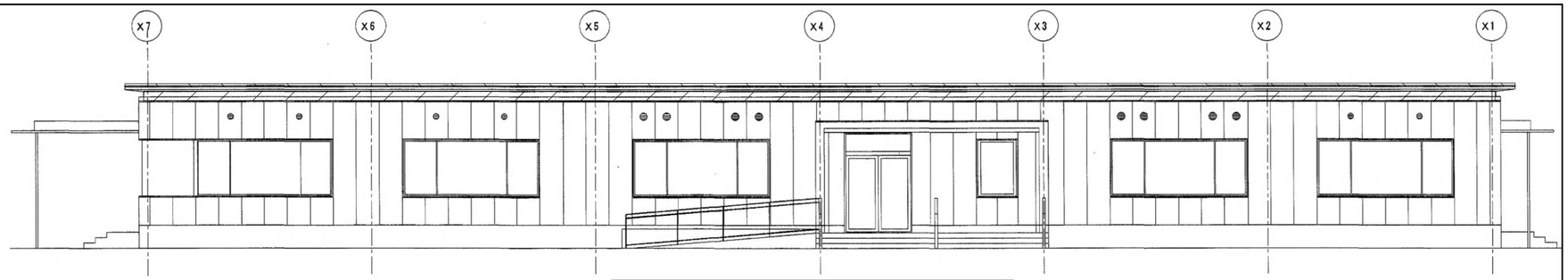
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：シート防水(S-F1)〈撤去〉を示す 改修後：改質アスファルトシート防水(AS-J1)〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

改修前・改修後　屋根伏図　S=1:100

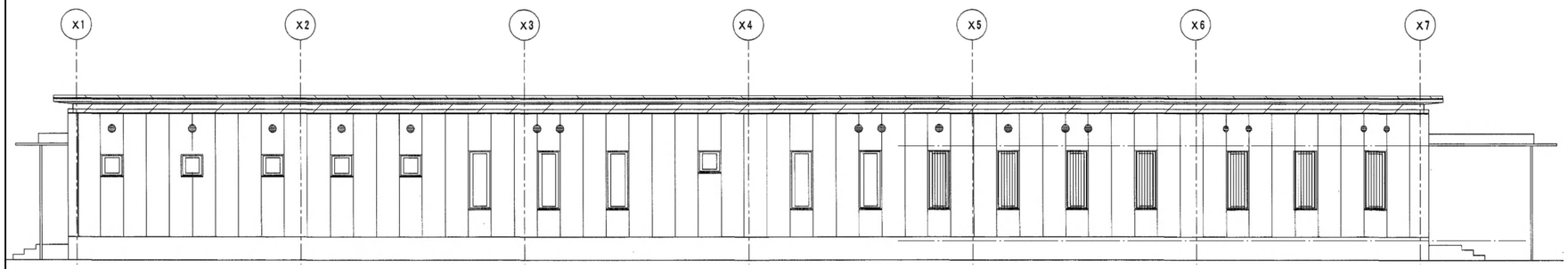
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　屋根伏図		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１０６



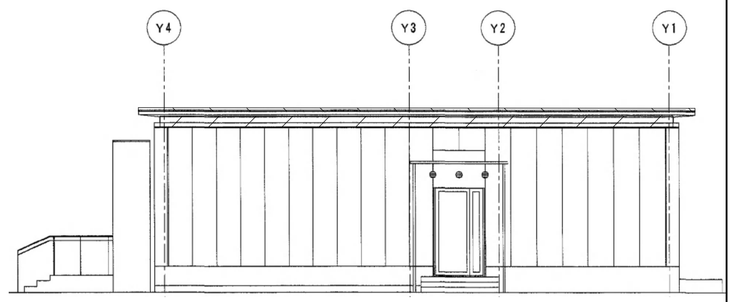
改修前・改修後　東立面図　S=1:100



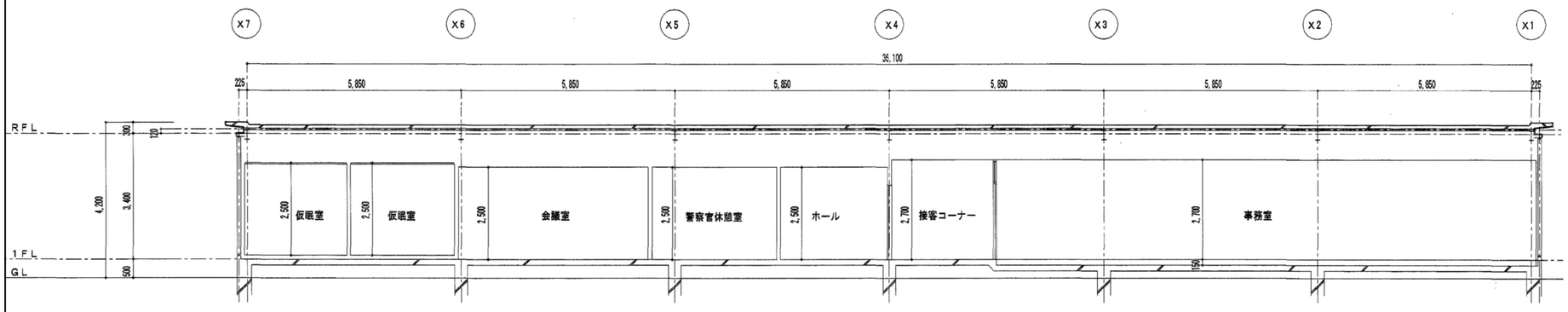
改修前・改修後　北立面図　S=1:100



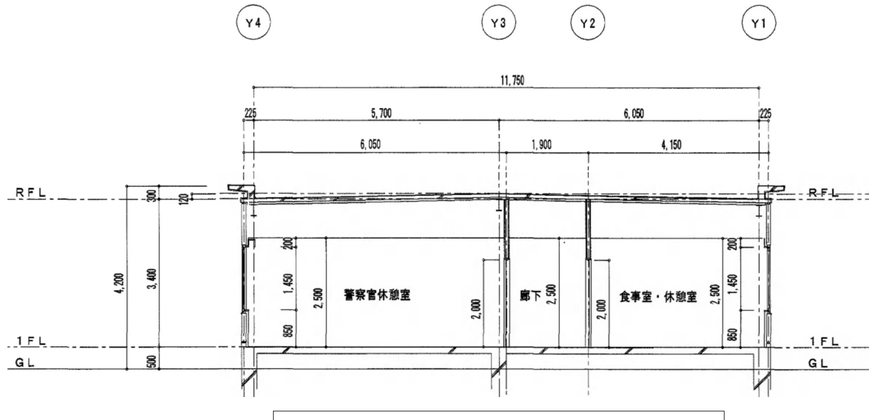
改修前・改修後　南立面図　S=1:100



改修前・改修後　西立面図　S=1:100



改修前・改修後　断面図　S=1:100

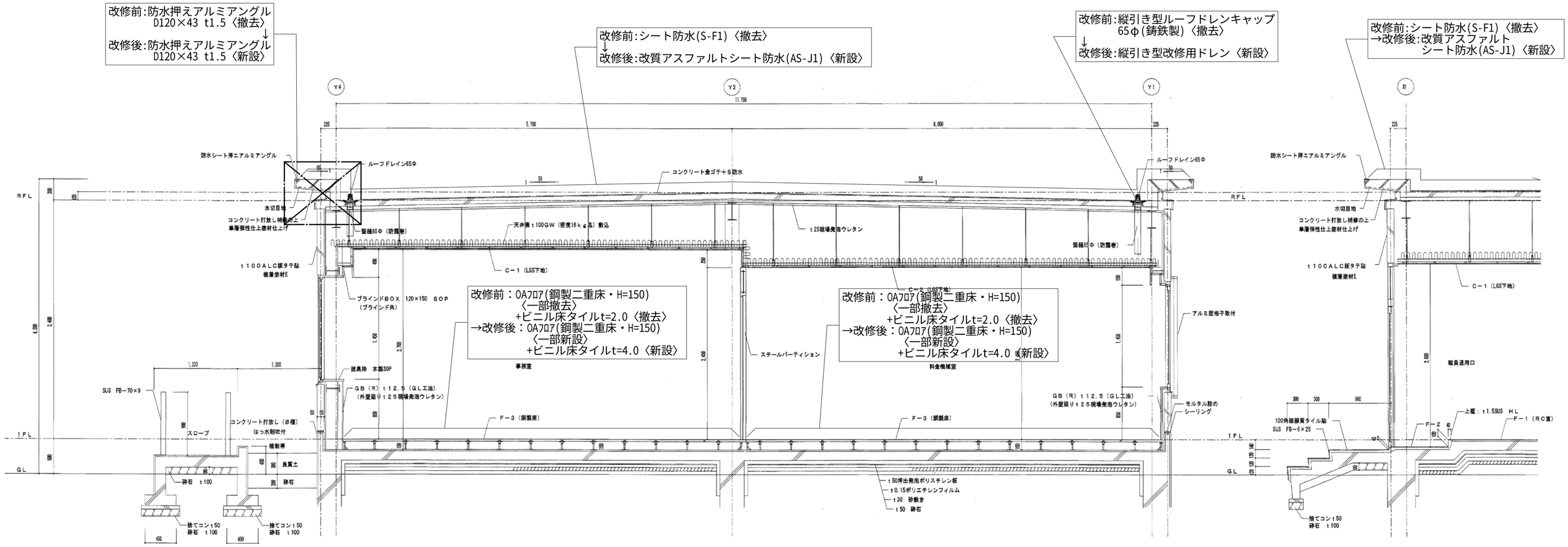


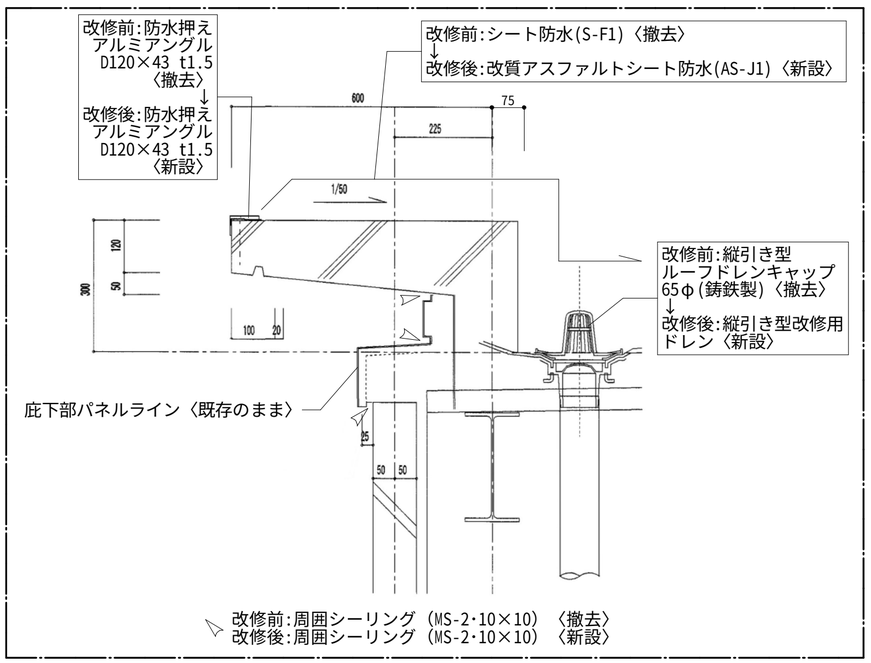
改修前・改修後　断面図　S=1:100

凡例（建具改修等は建具表による）

	改修前：防水押えアルミアングルD120×43 t1.5〈撤去〉を示す 改修後：防水押えアルミアングルD120×43 t1.5〈新設〉を示す
	改修前:庇下部パネルライン〈既存のまま〉を示す 周囲シーリング（MS-2･10×10）〈撤去〉を示す 改修後:周囲シーリング（MS-2･10×10）〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　立面図・断面図		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１０７



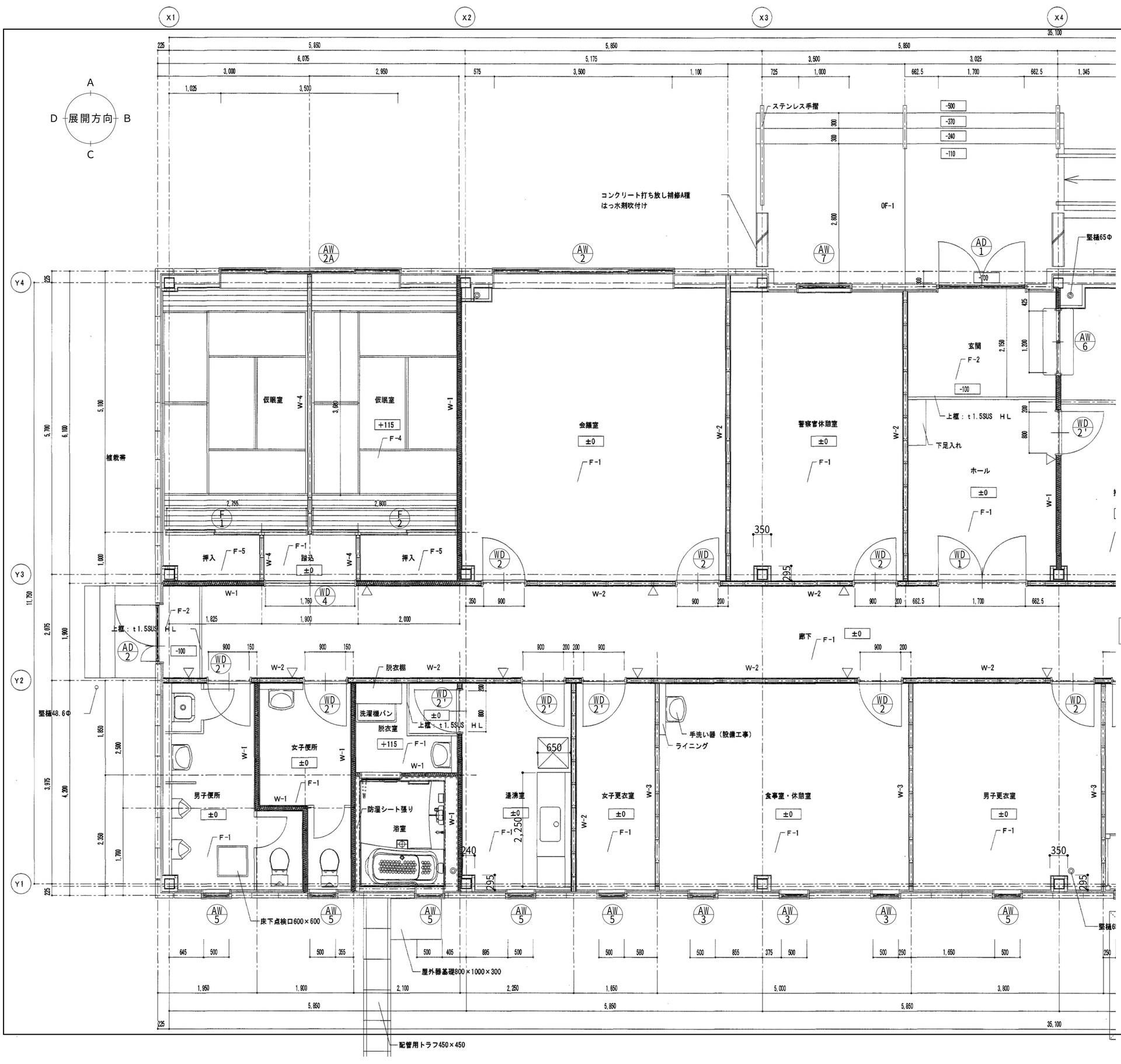


改修前・改修後　パラペット詳細図　S=1:10

改修前・改修後　矩計図　S=1:40

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：防水押えアルミアングル〈撤去〉を示す 改修後：防水押えアルミアングル〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

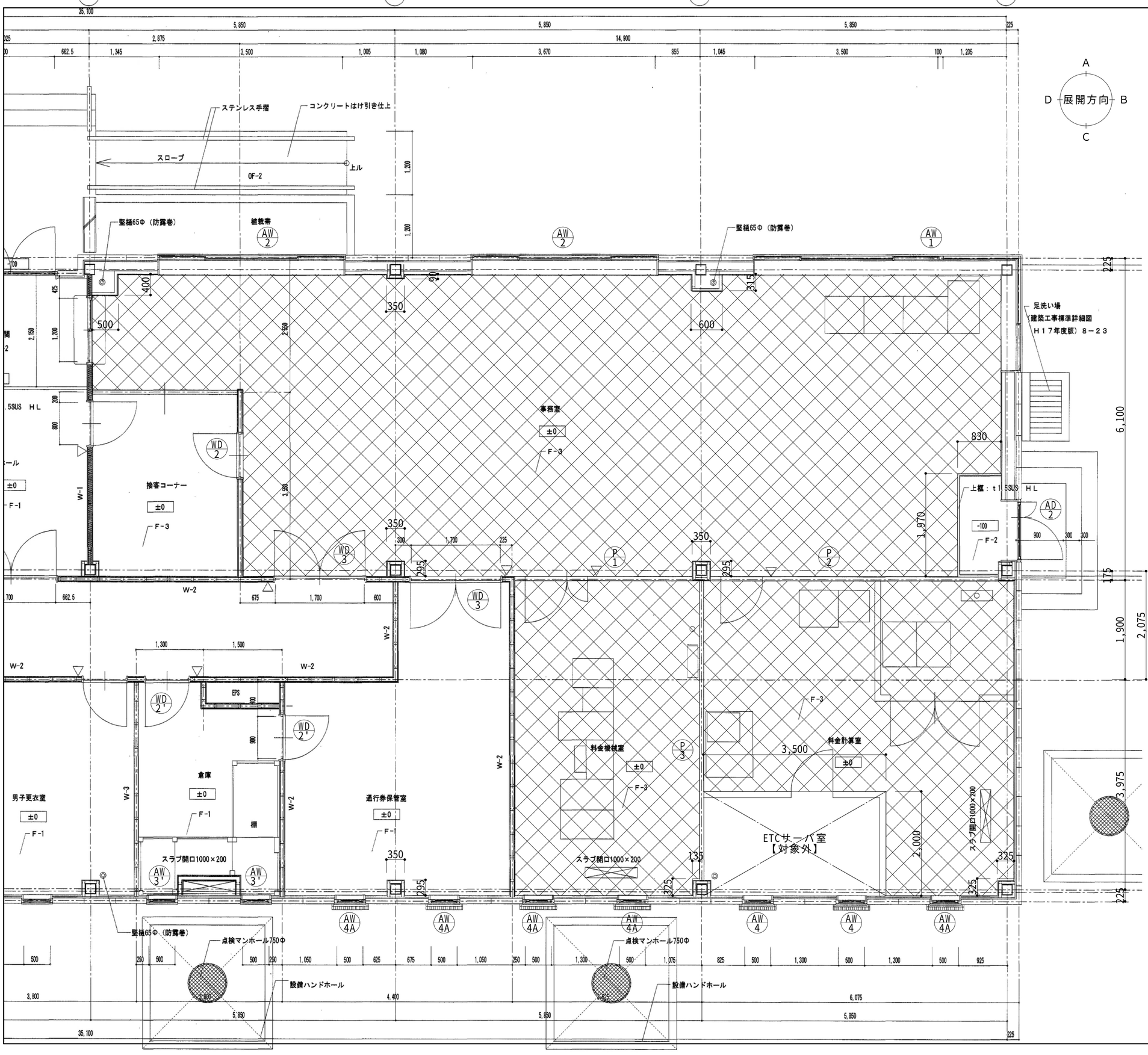
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　矩計図		
縮　尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１０８



改修前・改修後　平面詳細図・建具伏図(1)　S=1:50

凡例（建具改修等は建具表による）	
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　平面詳細図・建具伏図(1)		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１０９

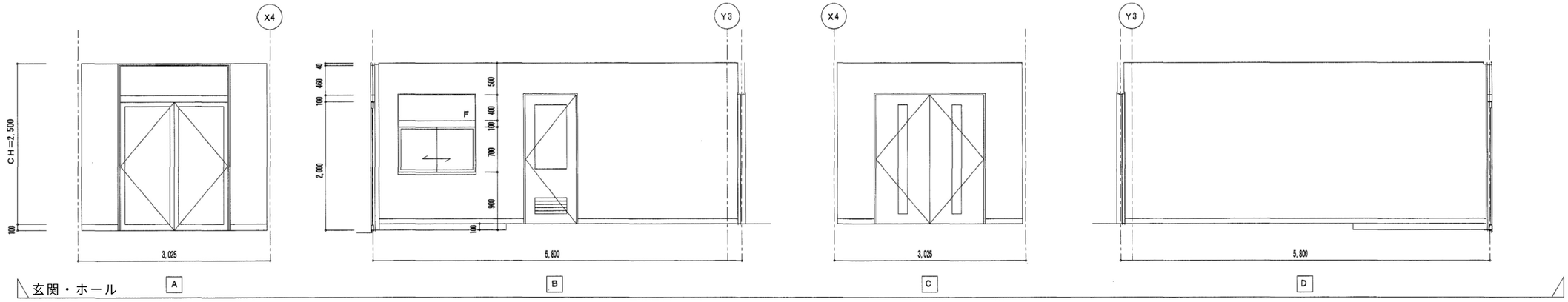


改修前・改修後　平面詳細図・建具伏図(2)　S=1:50

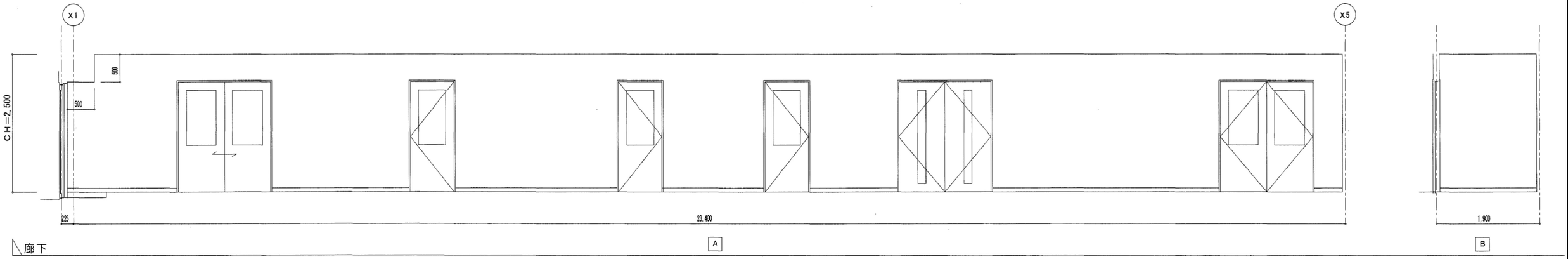
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)〈一部撤去〉 +ビニル床タイルt=2.0〈撤去〉を示す 改修後：OAﾌﾛｱ(鋼製二重床・H=150)〈一部新設〉 +ビニル床タイルt=4.0〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

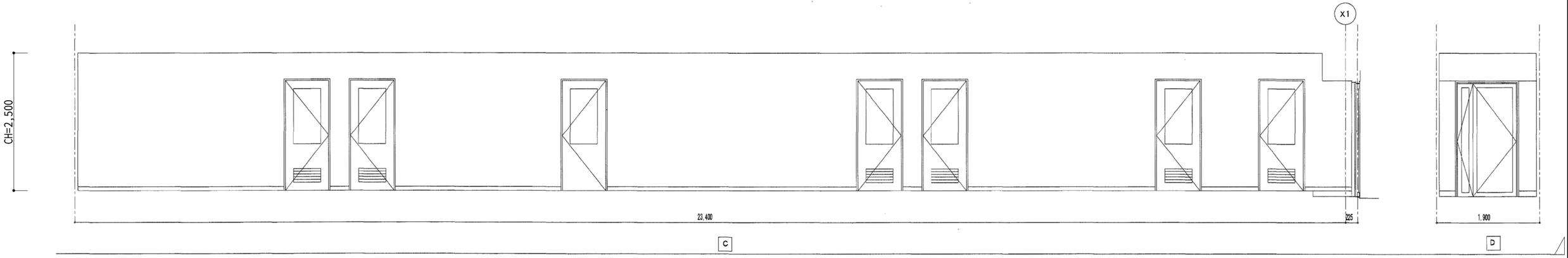
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　平面詳細図・建具伏図(2)		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１０

玄関・ホール



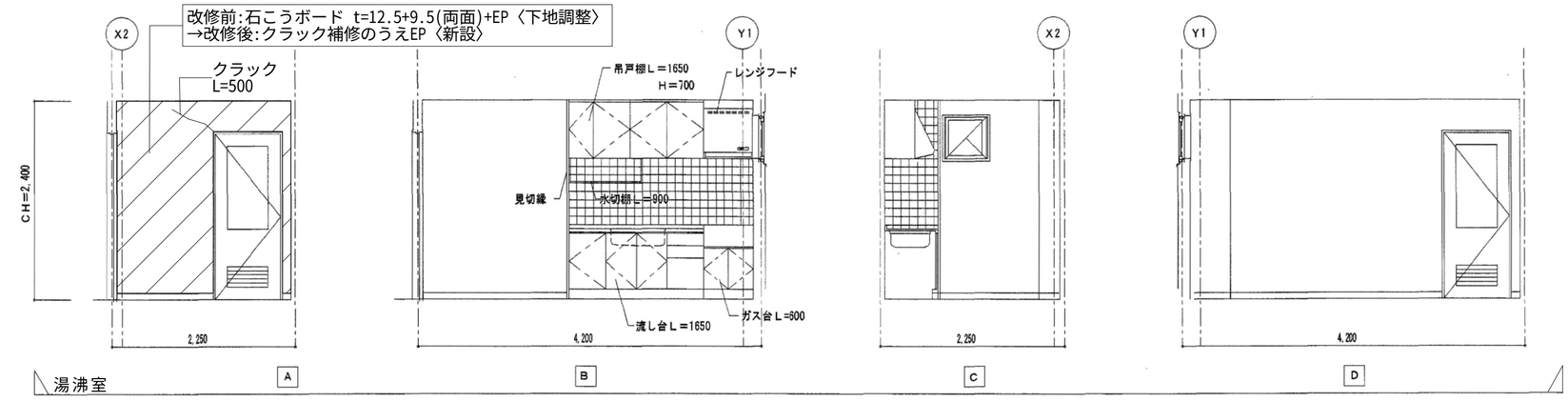
廊下





湯沸室

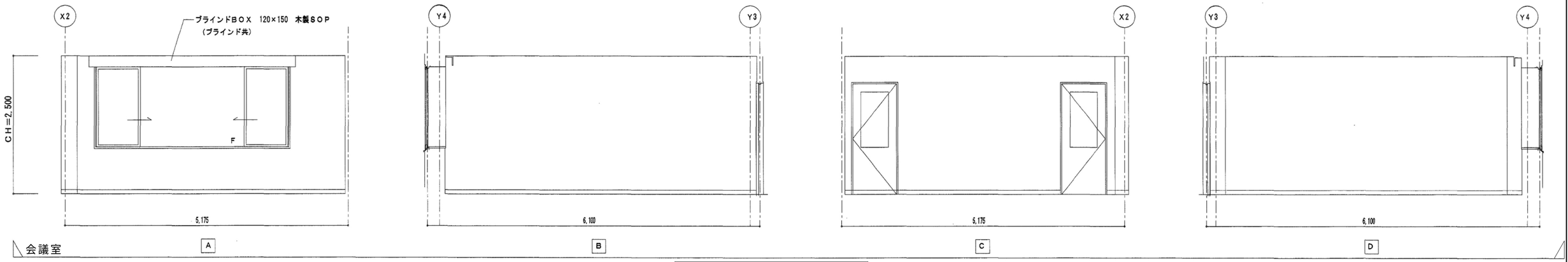
改修前:石こうボード t=12.5+9.5(両面)+EP〈下地調整〉
→改修後:クラック補修のうえEP〈新設〉



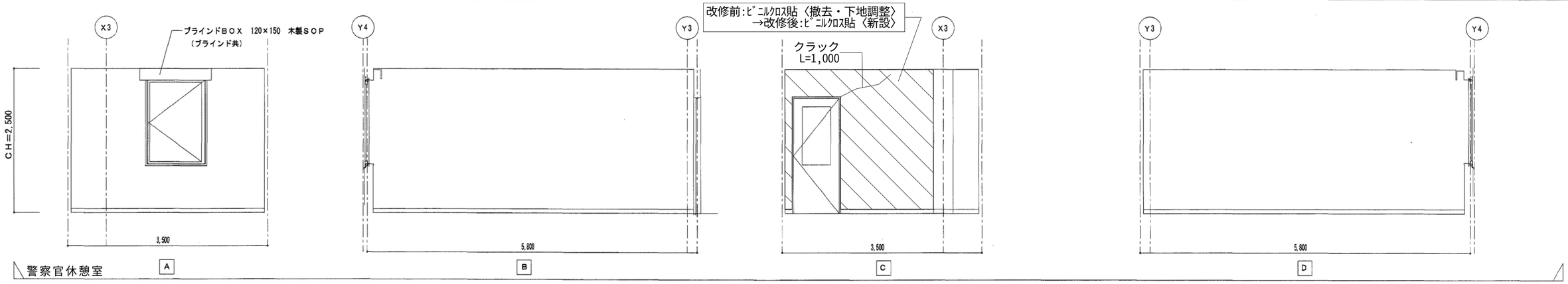
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（1）		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１１

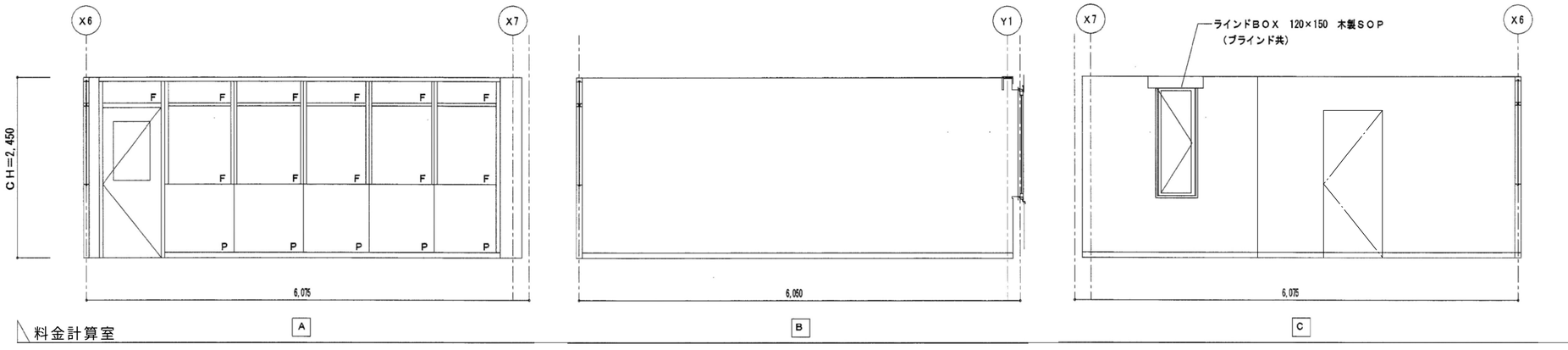
会議室



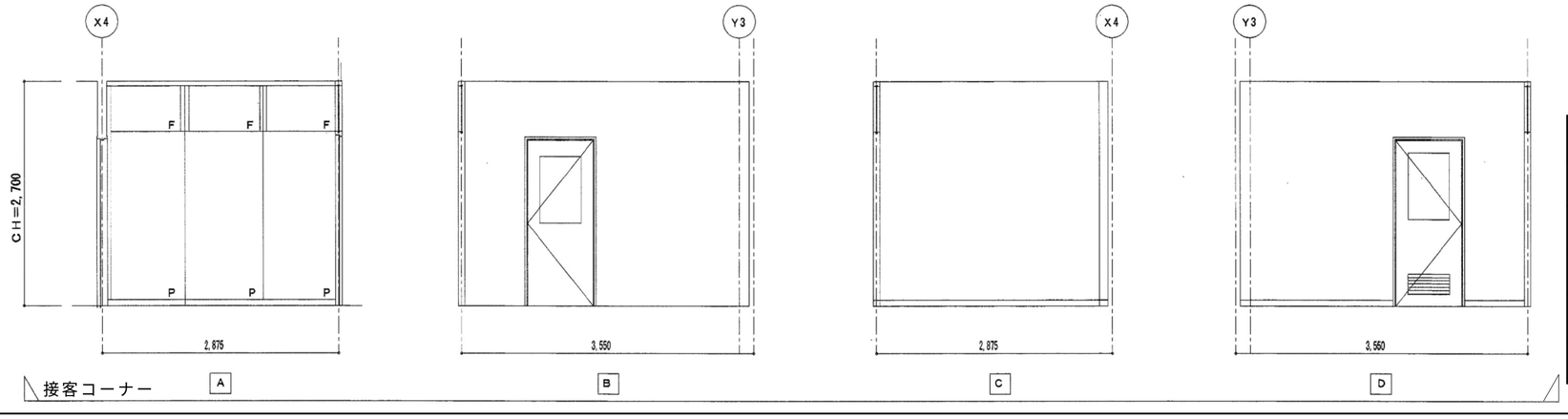
警察官休憩室



料金計算室



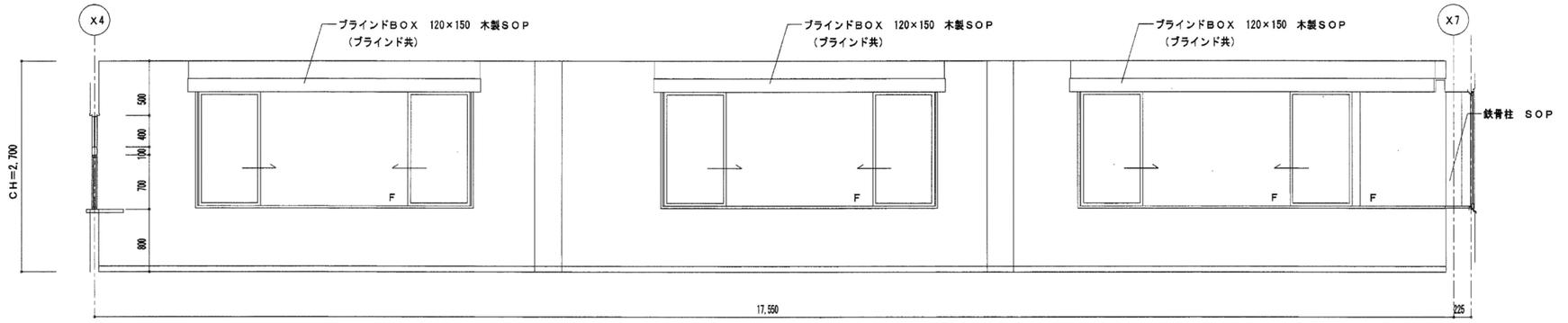
接客コーナー



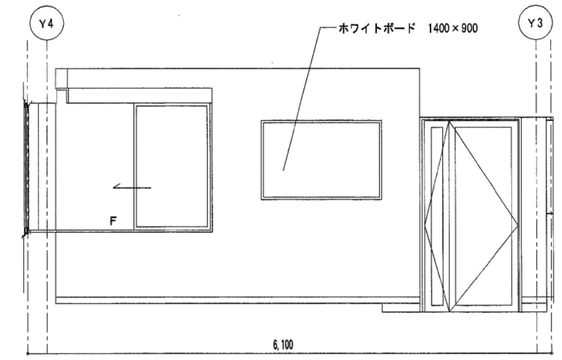
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（2）		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１２

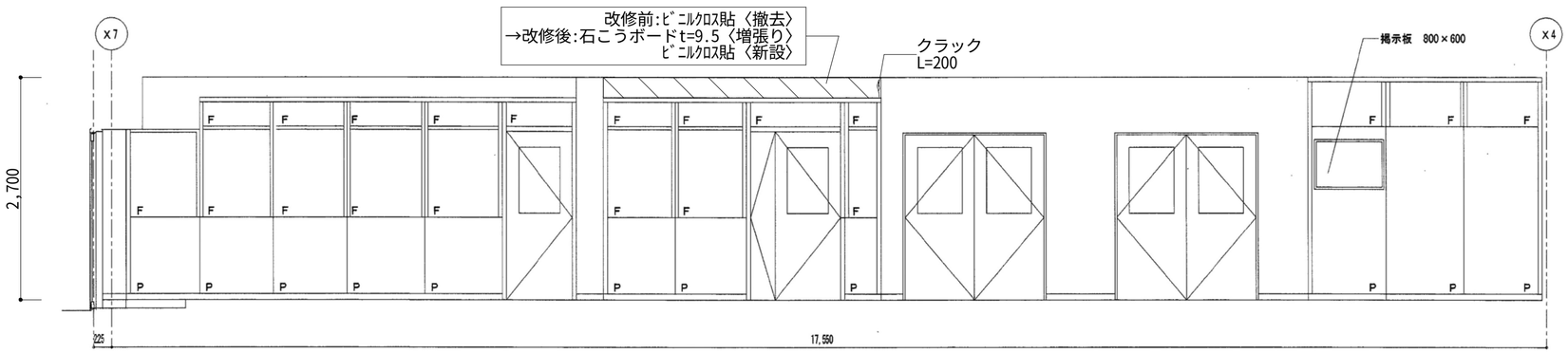
事務室



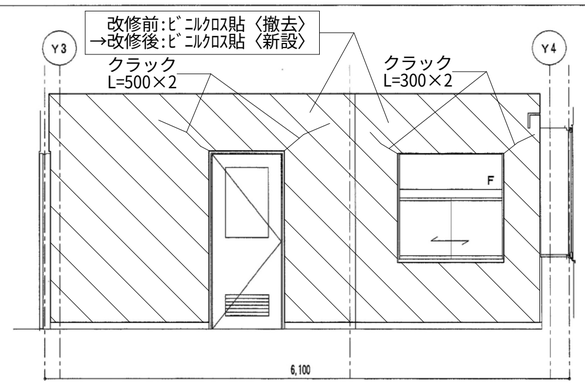
A



B.

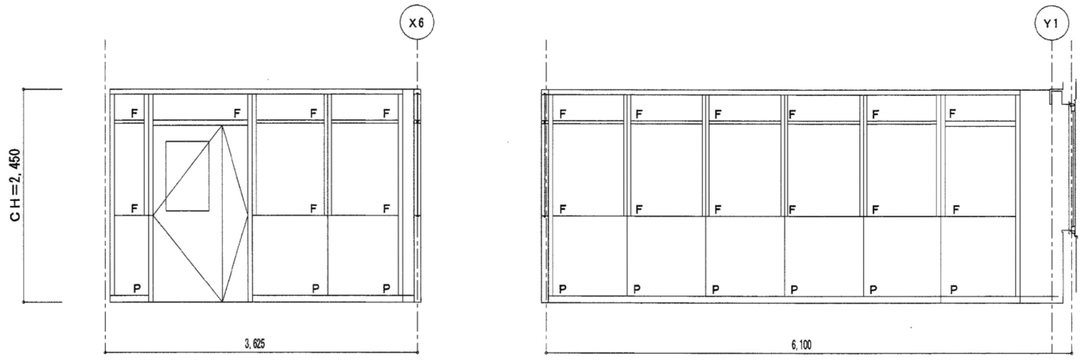


C

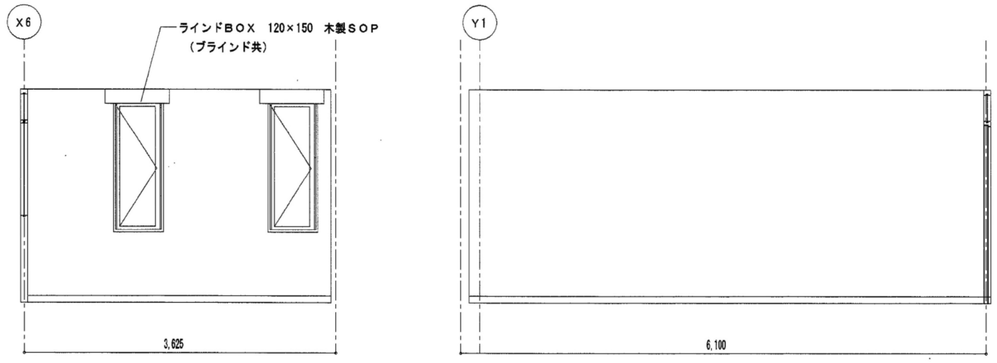


D

料金機械室

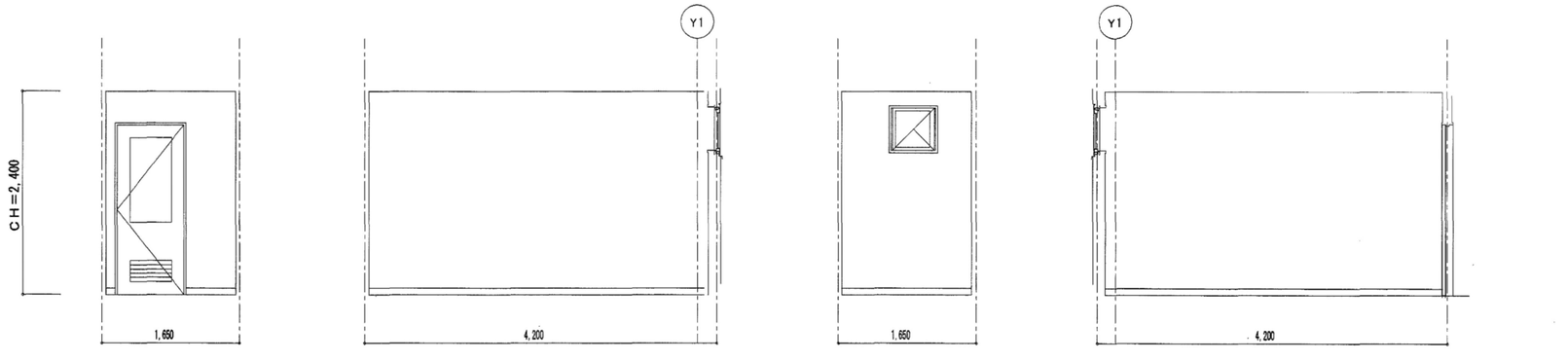


A B



C D

女子更衣室

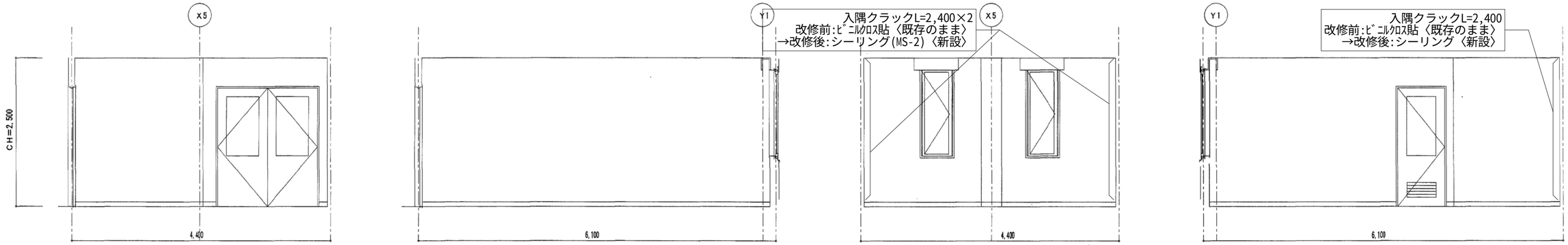


A B C D

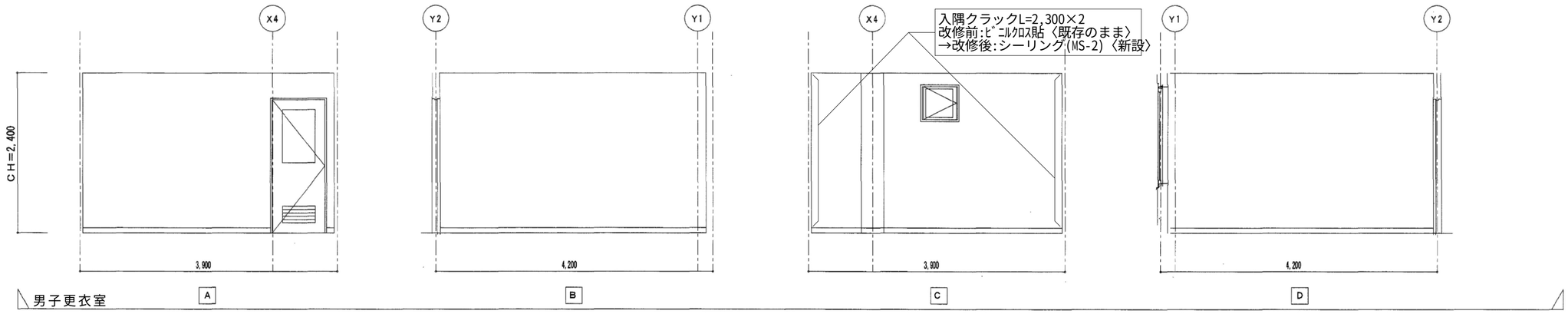
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（3）		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１３

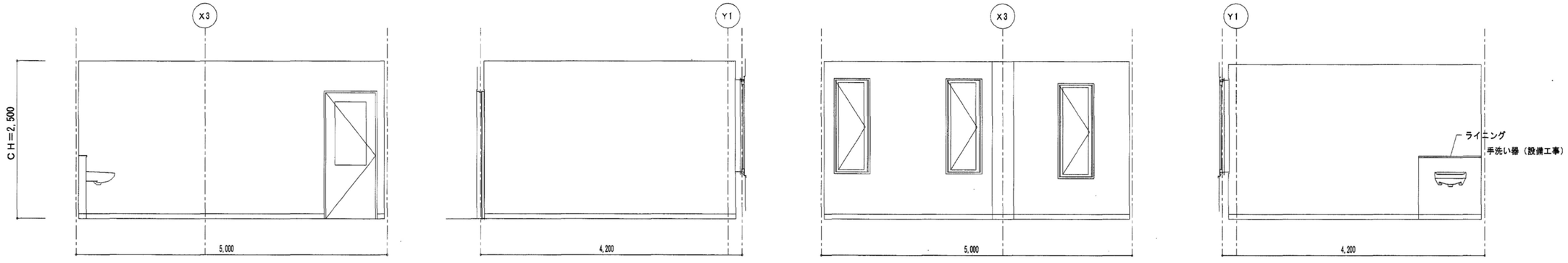
通行券保管室



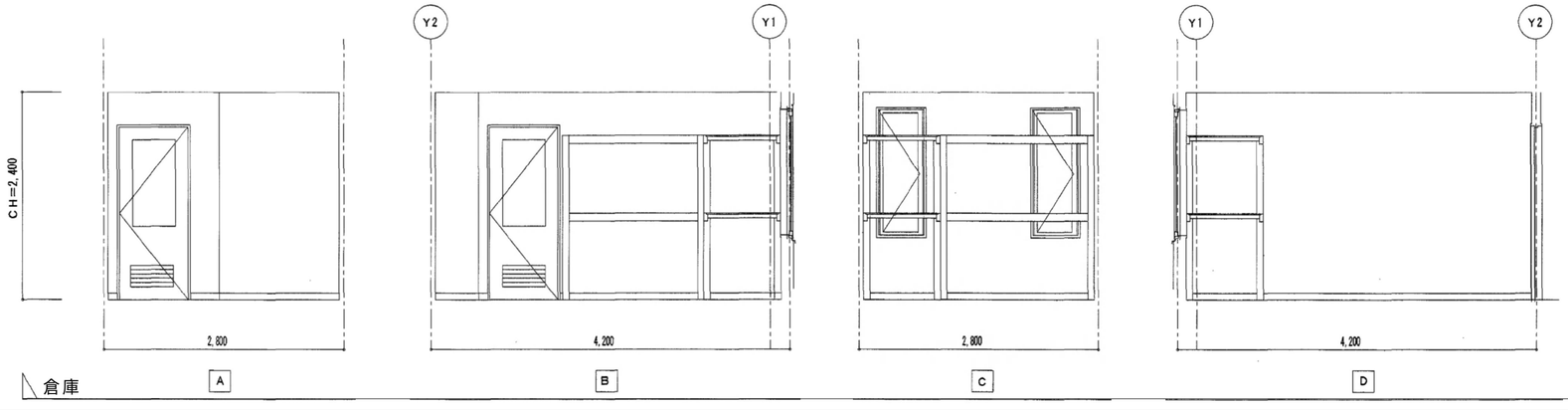
男子更衣室



食事室・休憩室

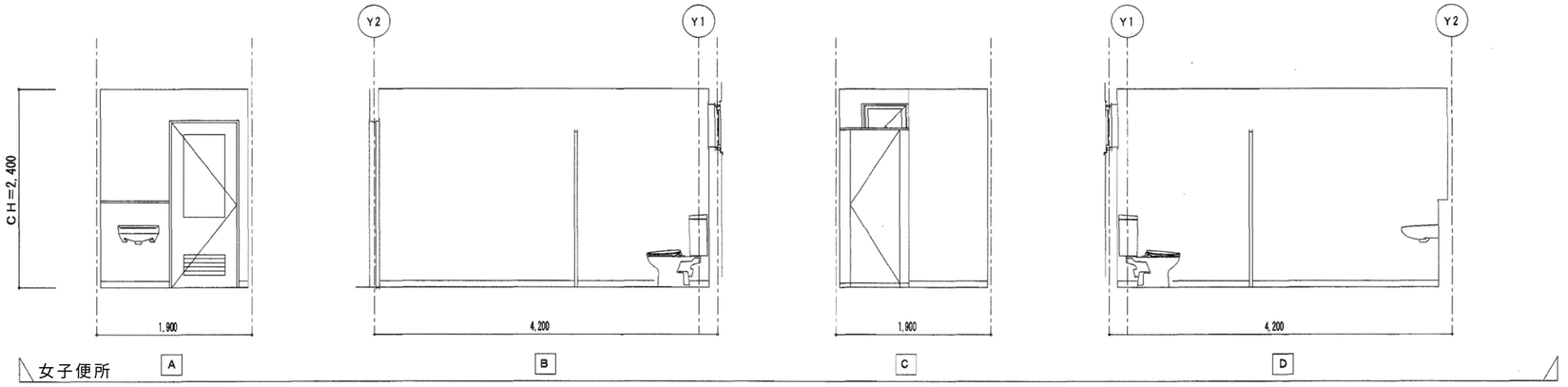


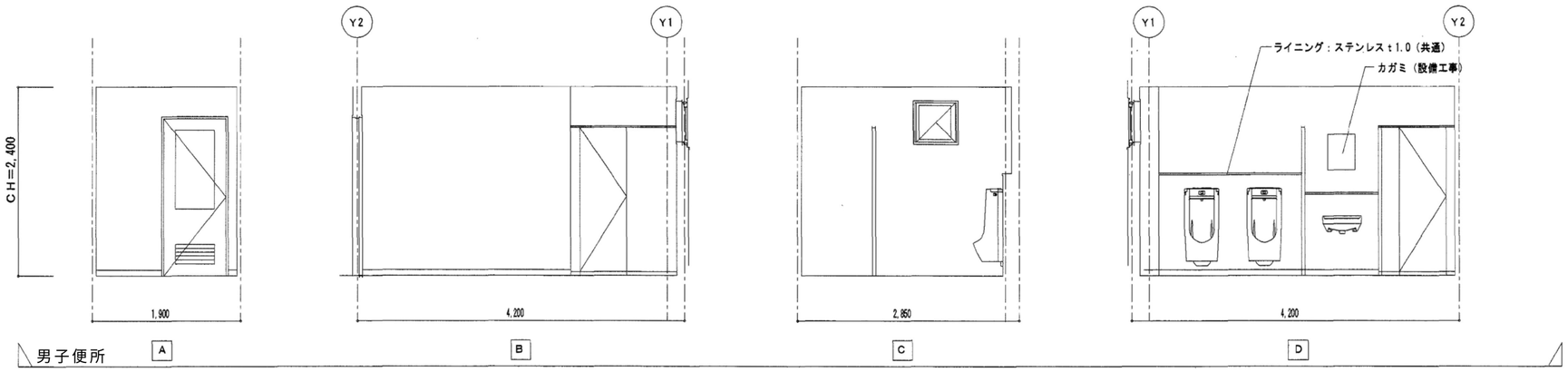
倉庫

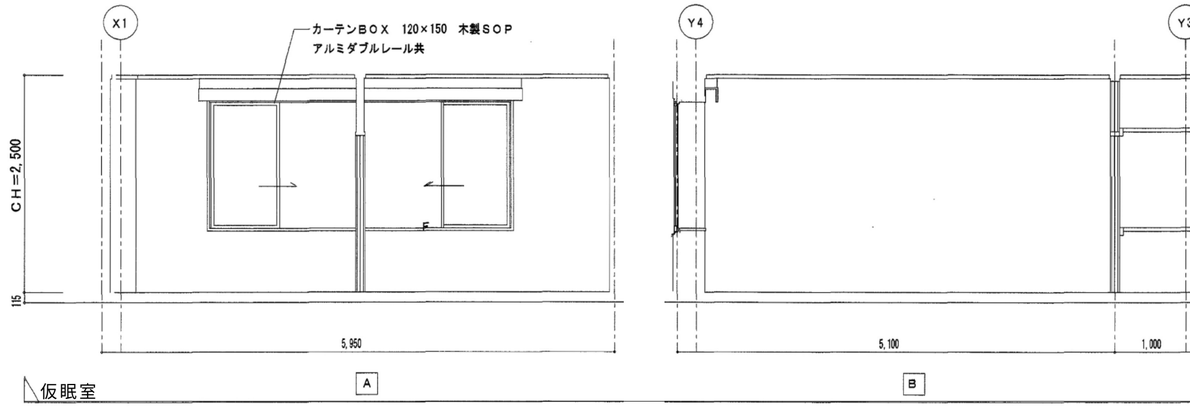


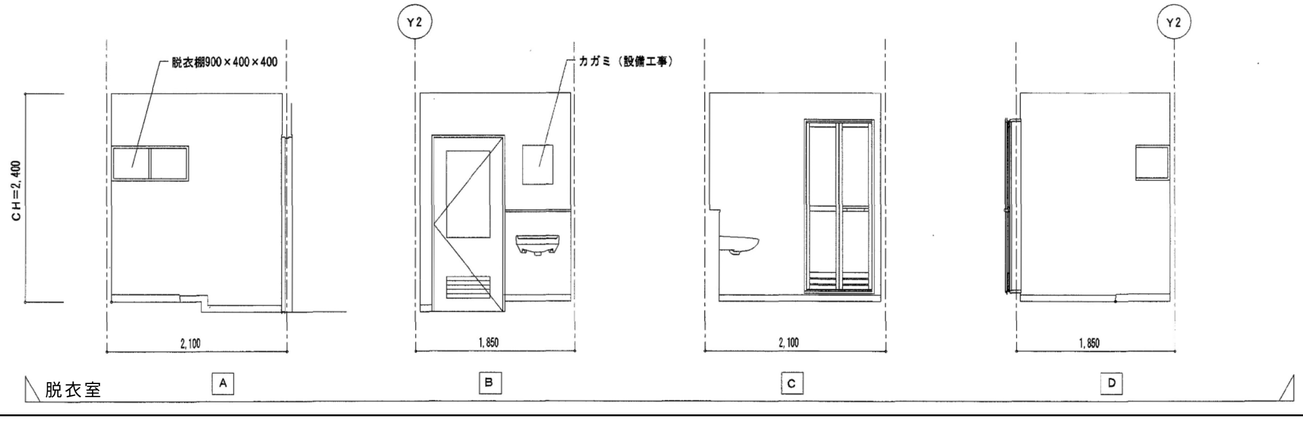
凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	改修前：塗装面〈下地調整〉を示す 改修後：塗装面〈塗替え〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（4）		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１４



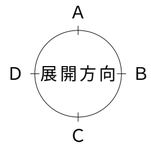


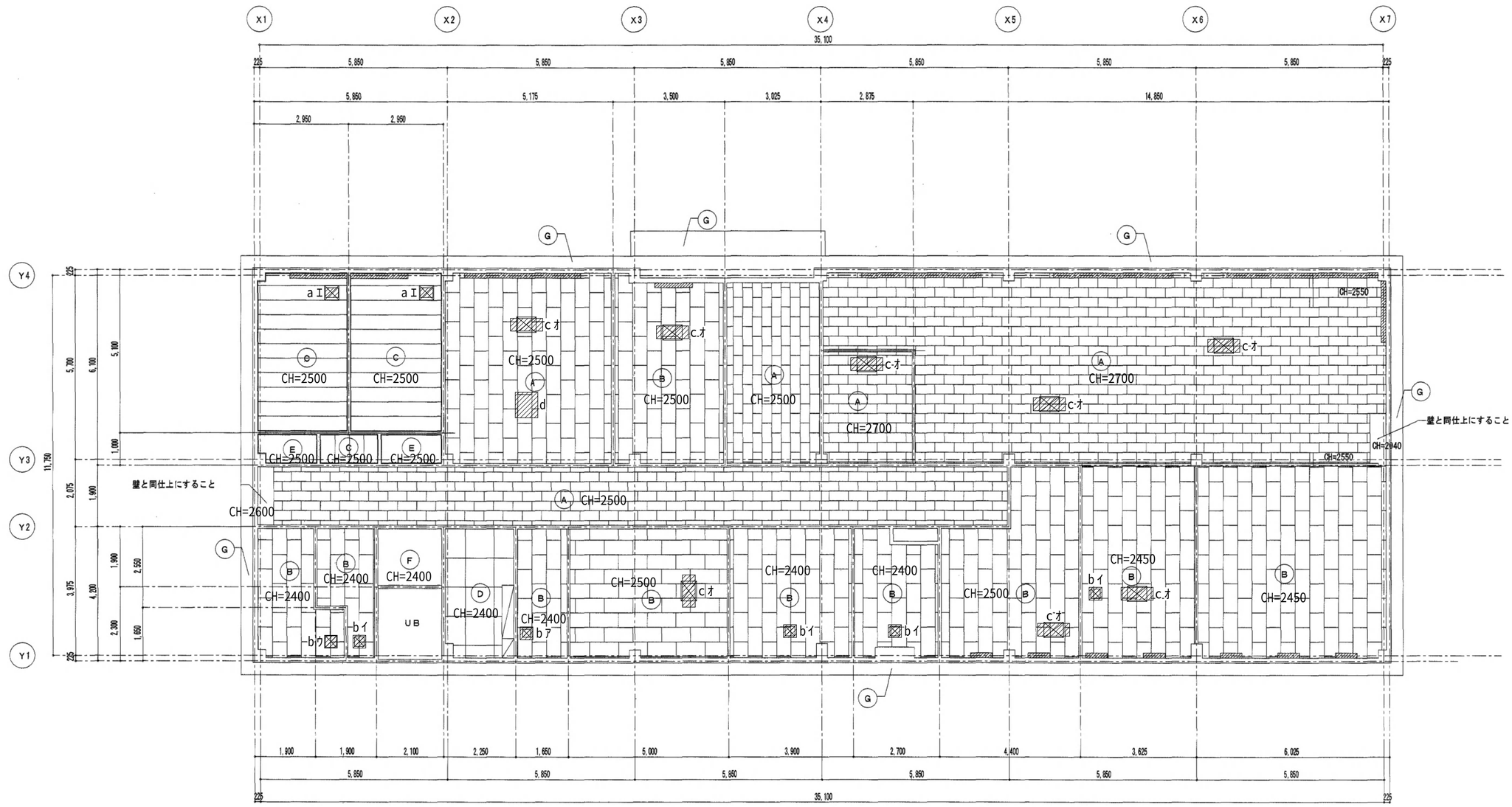




凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　展開図（5）		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１５





改修前・改修後　天井伏図　S=1:100

凡例	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

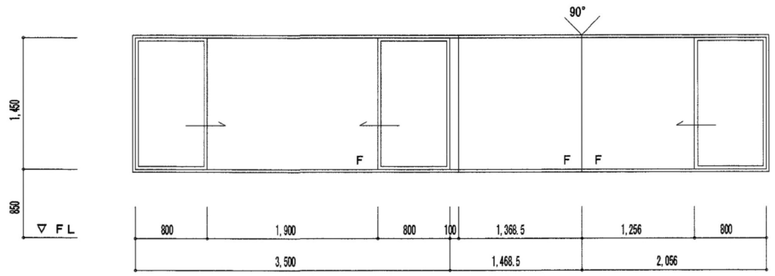
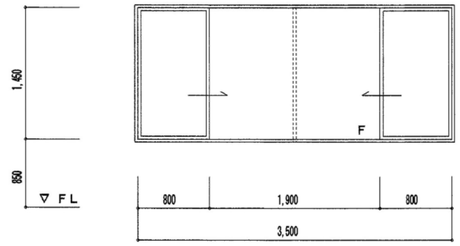
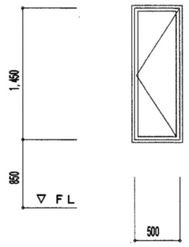
符号		仕上
A	C-1	GB（R）9.5+DR12
B	C-2	GB（T）
C	C-3	GB（T）木目柄
D	C-4	t6フレキシブルボード目スカシ貼＋EP
E	C-5	GB（R）9.5
F	C-6	GB（R）9.5（耐水）ビニールクロス貼
G		コンクリート打放し補修の上　単層弾性塗り材仕上げ
H		コンクリート打放しの上はっ水剤吹付
		カーテン・ブラインドボックス120×150　木製　SOP

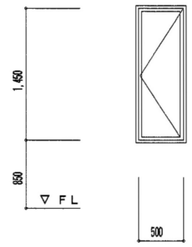
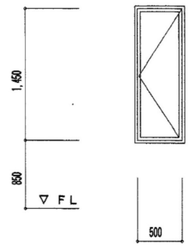
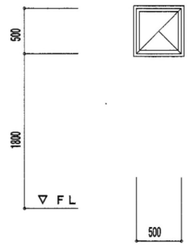
開口調整リスト　改修前：空調機器〈撤去〉(設備工事) 改修後：仕上材〈新設〉(建築工事)		
a	400×300	2か所
b	400×400	6か所
c	1000×400	8か所
d	700×800	1か所

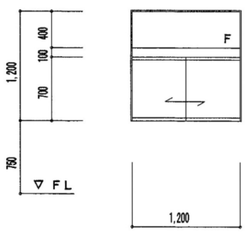
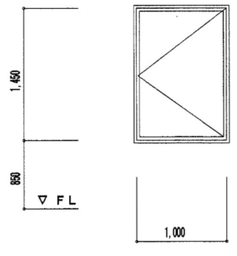
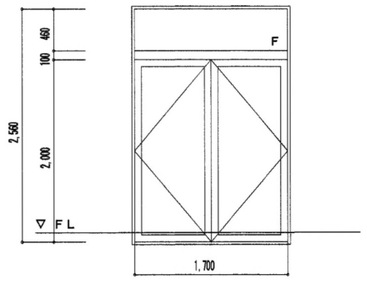
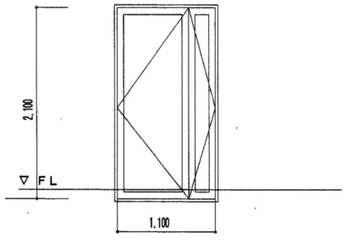
天井点検口600□　各室1か所ずつ新設　計18か所
(位置は設備工事と協議による)

開口補強リスト		
☒ア	補250□	1か所
☒イ	補300□	4か所
☒ウ	補350□	1か所
☒エ	補450□	2か所
☒オ	補610×475	8か所

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　天井伏図		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１６

符号・取付場所・数量	扉 1 事務室 1	扉 2 会議室・事務室 3	扉 3 食事室休憩室 3
		扉 2A 仮眠室 1 方立付き	
形状・寸法			
形　　式	外動式片引き窓	外動式片引き窓	外開き窓
仕上・見込	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０
硝　　子	ｔ５＋Ａ６＋ｔ６．８網入りガラス	ｔ５＋Ａ６＋ｔ６．８網入りガラス（事務室２ヶ所）　ｔ５＋Ａ６＋ｔ５ペアガラス	ｔ５＋Ａ６＋ｔ５ペアガラス
金　　物	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）
備　　考	飛散防止フィルム　ブ	飛散防止フィルム　AW２Ａはカーテン設置　AW 2：ブ	ブラインド　ブ

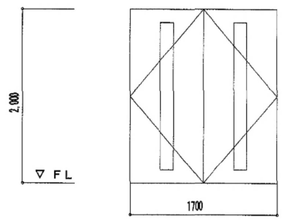
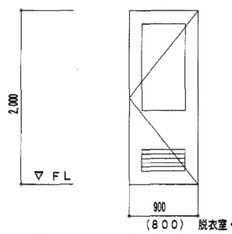
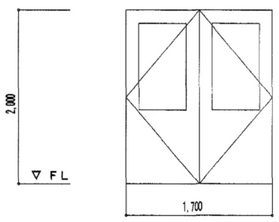
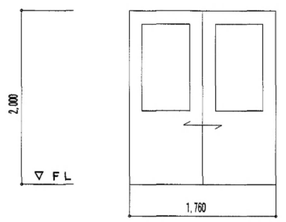
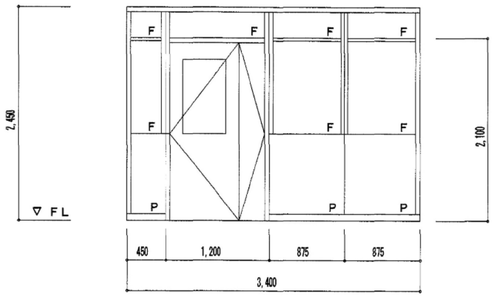
符号・取付場所・数量	扉 3' 倉庫・男子更衣室 2	扉 4 料金計算室 2 AW 4A 料金計算室 料金機械室 通行券保管室 5	扉 5 男子女子便所・浴室・湯沸室・女子更衣室 6
形状・寸法			
形　　式	外開き窓	内開き窓	突出し窓
仕上・見込	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０
硝　　子	ｔ４（型）＋Ａ６＋ｔ３ペアガラス	ｔ４（型）＋Ａ６＋ｔ３ペアガラス	ｔ４（型）＋Ａ６＋ｔ３ペアガラス
金　　物	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）
備　　考		外部アルミ面格子　ブラインド　AW 4A：ブ	

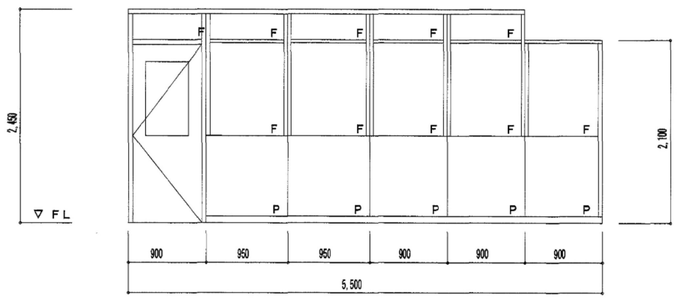
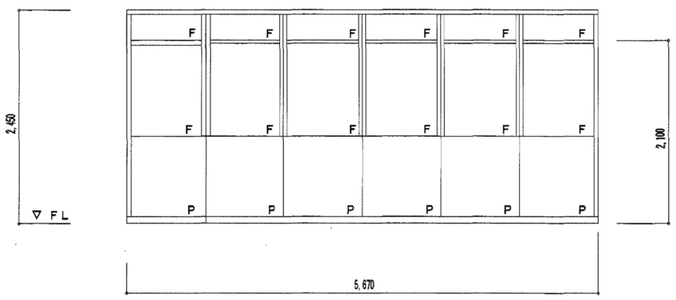
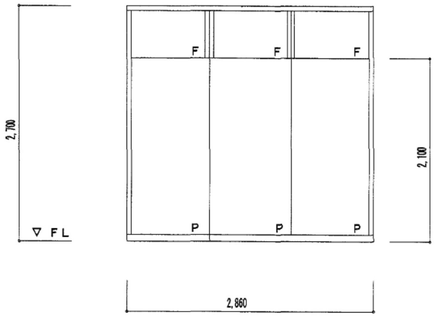
符号・取付場所・数量	扉 6 事務室 1	扉 7 警察官休憩室 1	AD 1 玄関 1	AD 2 職員通用口 2
形状・寸法				
形　　式	ハメ殺シランマ付引違い窓	外開き窓	ハメ殺シランマ付両開き戸	親子ドア
仕上・見込	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０	アルミカラー　７０
硝　　子	ｔ５フロートガラス	ｔ５＋Ａ６＋ｔ５ペアガラス	ランマ：ｔ５フロートガラス ドア：ｔ５強化ガラス	ｔ６．８網入りガラス（事務室側）　ｔ５強化ガラス
金　　物	ステンレスレール　アルミアングル（三方） 嵌子戸上下枠ステンレス　シリンダー錠　ステンレス引手	レバーハンドル　アルミ水切　アルミアングル（四方）	ドアハンドル　L=600　シリンダー錠　ドアチェック 丁番（３枚吊）戸当り　フランス落し　アルミアングル（三方）	握り玉　シリンダー錠　ドアチェック 丁番（３枚吊）戸当り　フランス落し　アルミアングル（三方）
備　　考		飛散防止フィルム　ブラインド　ブ		セミエアタイト

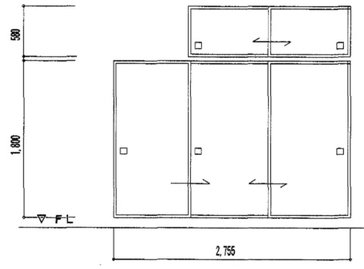
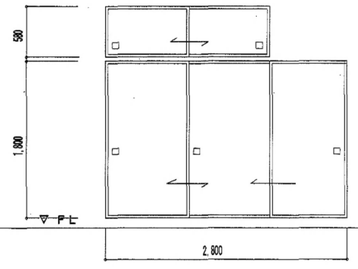
凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）

ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表（1）		
縮　尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１７

符号・取付場所・数量	MD 1 ホール 1	MD 2 会議室・警察官休憩室 食事室休憩室・接客コーナー（事務室側） 5 MD 2' 倉庫・男子女子更衣室 湯沸室・脱衣室・男子女子便所・接客ｺｰﾅｰ（ﾎｰﾙ側） 9	MD 3 事務室 2	MD 4 仮眠室踏込 1	P 1 料金機械室 1
形状・寸法					
形　　式	両開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	引違いフラッシュ戸	スチールパーティション
仕上・見込	t４シナ合板　SOP　40	t４シナ合板　SOP　40	t４シナ合板　SOP　40	t４シナ合板　SOP　36	化粧鋼板アクリル焼付塗装　80
硝　　子	t５フロートガラス	t４型ガラス	t４型ガラス	t４型ガラス	t５フロートガラス
金　　物	レバーハンドル　シリンダー錠　ドアチェック　フランス落し 丁番　戸当り	レバーハンドル　シリンダー錠　ドアチェック 丁番　戸当り　ステンレス沓摺	レバーハンドル　シリンダー錠　ドアチェック　フランス落し 丁番　戸当り	ステンレス引手　Uステンレール　シリンダー錠 丁番　戸当り　フランス落し	レバーハンドル　シリンダー錠　ドアチェック　フランス落し 丁番　戸当り
備　　考		MD 2' ：ガラリ250×500　付			

符号・取付場所・数量	P 2 料金機械室 1	P 3 料金機械室 1	P 5 接客コーナー 1
形状・寸法			
形　　式	スチールパーティション	スチールパーティション	スチールパーティション
仕上・見込	化粧鋼板アクリル焼付塗装　80	化粧鋼板アクリル焼付塗装　80	化粧鋼板アクリル焼付塗装　80
硝　　子	t５フロートガラス	t５フロートガラス	t５フロートガラス
金　　物	レバーハンドル　シリンダー錠　ドアチェック　フランス落し 丁番　戸当り		
備　　考			

符号・取付場所・数量	F 1 仮眠室 1	F 2 仮眠室 1
形状・寸法		
形　　式	三枚引き違戸（天袋付）	三枚引き違戸（天袋付）
仕上・見込	障紙　框：カシュー塗　押入部分：ラワン合板　33	障紙　框：カシュー塗　押入部分：ラワン合板　33
硝　　子		
金　　物	引手　敷居スベリ	引手　敷居スベリ
備　　考		

凡例（建具改修等は特記なき限り下記による）	
ブ	改修前：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロープ式)〈撤去〉を示す 改修後：アルミ製ブラインド(スラット25･手動・ロッド式)〈新設〉を示す

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）料金事務所 改修前・改修後　建具表（2）		
縮　尺	－	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１８

外部仕上表

建物名	区　分	ポーチ	腰巾木(設計GL+500)	外　壁・柱　型	軒　天・梁　型	屋　根・樋	その他
付属棟	(改修前)	ポーチ：コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉	コンクリート打放し補修+ 撥水剤塗布〈既存のまま〉	押出成形セメント板 t=60のうえ 2液弱溶剤ポリウレタン樹脂塗装〈既存のまま〉 目地・建具周囲：シーリング〈既存のまま〉	—	デッキプレート〈既存のまま〉のうえ 硬質イソシアヌレートボードt=25+シート防水(ハイタフシート)〈既存のまま〉 笠木:アルミ製(既製品)W300〈撤去〉 横引き型ルーフドレン65φ(鋳鉄製)・ドレンキャップ〈撤去〉 縦樋:白ガス管 65φSOP〈既存のまま〉	
付属棟	(改修後)	ポーチ：—	—	—	—	改質アスファルト防水 常温粘着工法 複層仕様(RD-MA-W)〈新設〉 笠木:アルミ製(既製品)W300〈新設〉 横引き型改修用ドレン〈新設〉 縦樋:—	

内部仕上表

階数	室名		床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考
1F	発電機室	既存	+300	RC	押えコンクリートt=300〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修〈既存のまま〉	200	—	グラスウールボード t=50 ガラスクロス巻き〈既存のまま〉	—	グラスウールボード t=50 ガラスクロス巻き〈既存のまま〉	—	—	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	電気室	既存	+300	RC	押えコンクリートt=300〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修〈既存のまま〉	200	—	グラスウールボード t=50 ガラスクロス巻き〈既存のまま〉	—	グラスウールボード t=50 ガラスクロス巻き〈既存のまま〉	—	—	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	車庫	既存	±0 〜 +60	RC	コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修〈既存のまま〉	500	—	押出成形セメント板〈既存のまま〉	—	デッキプレート表し〈既存のまま〉	—	—	工具棚・車止め・タイヤラック〈既存のまま〉
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	器具庫	既存	±0	RC	コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修〈既存のまま〉	500	—	押出成形セメント板〈既存のまま〉	—	デッキプレート表し〈既存のまま〉	—	—	—
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	倉庫	既存	±0	RC	コンクリート金ゴテ〈既存のまま〉	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修〈既存のまま〉	500	—	押出成形セメント板〈既存のまま〉	—	デッキプレート表し〈既存のまま〉	—	—	木製棚〈既存のまま〉
		改修	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

階数	室名	床 レベル	床 下地	床 仕上	幅木 仕上	幅木 高さ	壁(柱型) 下地	壁(柱型) 仕上	天井(梁型) 下地	天井(梁型) 仕上	天井(梁型) 廻縁	天井高さ	備考

特記事項（特記なき限り、番号に○がついたものが今回工事対象とする）

①：各仕上げの語尾の<○○○>は今回工事内容を示す。改修前の<既存のまま>は今回工事対象外を示す。
　また、改修後の<○○○>の表記のないものはも今回工事対象外を示す。
　<○○>の種類は、下記による。
　改修前は〈既存のまま〉・〈撤去〉・〈下地処理〉:塗装以外の場合・〈下地調整〉:塗装塗替えの場合・〈取外し〉
　改修後は　—　・〈新設〉・〈張り替え〉:塗装以外の場合・〈塗替え〉塗装の場合　・〈再取付〉
②：下地記号はRC：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ・W：木床組又は木下地・LGS：軽量鉄骨下地・M：モルタル下地・
　ALC：軽量気泡コンクリートパネル・OAフロア：鋼製二重床・二重床：乾式二重床を示す。
③：合板類・仕上材・塗料・使用する接着剤は、F☆☆☆☆品を使用する。
④：改修後のアスファルト舗装は、車道用とする。
⑤：外部の複層仕上塗材・内部のビニル床タイル・各種石こうボード・ケイカル板は、【アスベスト含有建材】
　とし記載する。仕上げ材は適切に処理すること。
⑥：料金事務所は、365日24時間業務の【居ながら工事】となるため極力業務に支障のないように施工すること。
⑦：内部仕上表で、室名に【対象外】に記載あるものは建築工事対象外とする。
⑧：工事対象室は、「木製カーテンボックス」「外部建具木額縁」改修前 木部SOP〈下地調整〉-改修後 木部EP-G
　〈塗替え〉とする。
⑨：建具改修については、建具表による。なお、ブラインドはすべて〈撤去〉し、〈新設〉とする。詳細は建具表による。
⑩：天井の改修は、すでにＬＥＤ照明化がすんでいる場合は空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。今回ＬＥＤ照明化する場合は、既存仕上材のうえ化粧石こうボードを増し張りとする。なお、空調設備等の撤去跡を周囲仕上材と同様なものを天井下地共〈新設〉とする。

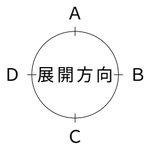
耐火・防火・不燃　番号

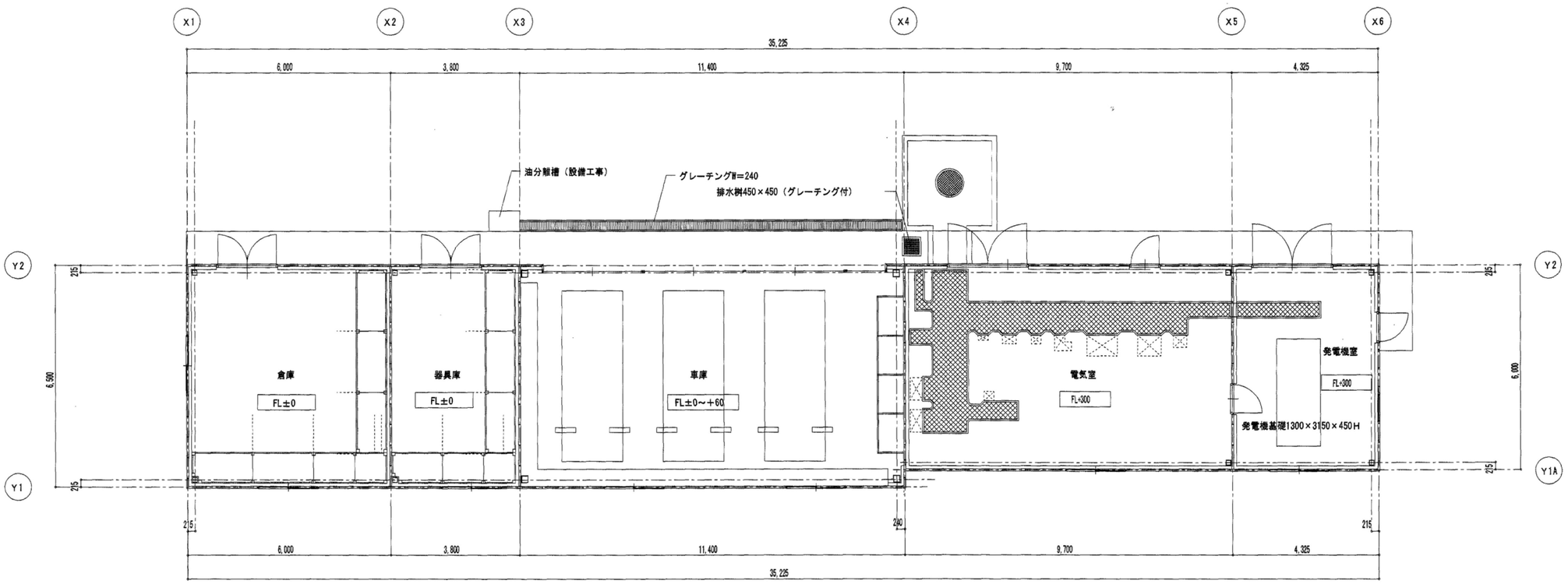
せっこうボードt12.5	NM-8619
せっこうボードt9.5	NM-2049
シージングせっこうボードt12.5	NM-9639
ロックウール吸音板t12・9	NM-8599
強化せっこうボードt12.5・21	NM-8615
ケイ酸カルシウム板t6・8	NM-8578
穴あきせっこう吸音ボードt9.5	NM-0879
グラスウール24Kg品t50	NM-8606･8604
化粧不燃せっこうボードt9.5	NM-1864
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
化粧せっこうボードt9.5	QM-9824
せっこうボードt9.5	QM-9828
シージングせっこうボードt9.5	QM-9826
メラミン不燃化粧板t3	NM-9447
普通硬質せっこうボード	NM-1908
アルミ樹脂複合板(不燃材)	NM-1961
壁紙(塩化ビニル系樹脂壁紙)	NM-3992
防火上主要な間仕切壁の強化せっこうボード(t=12.5+12.5)両面張り	耐火1時間・遮音構造(TLD-44)(FP060NP-0174)・(SOI-0110)

凡　例

WUC	水性ウレタン木部用クリア塗
CL	クリアラッカー塗
OS	オイルステイン塗
UC	ウレタン樹脂ワニス塗
PU	ポリウレタン塗(3回塗)
WUP	水性反応硬化型ウレタン樹脂ペイント塗
FE	フタル酸樹脂エナメル塗
EP－G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
DP	耐候性塗料塗り
VP	塩化ビニル樹脂塗料塗り
NAD	アクリル樹脂系非水分系塗料
EP(AEP)	合成樹脂エマルションペイント(水性、つや消しのアクリルエマルションペイント)

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）車庫・電気室 改修前・改修後　仕上表		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１１９

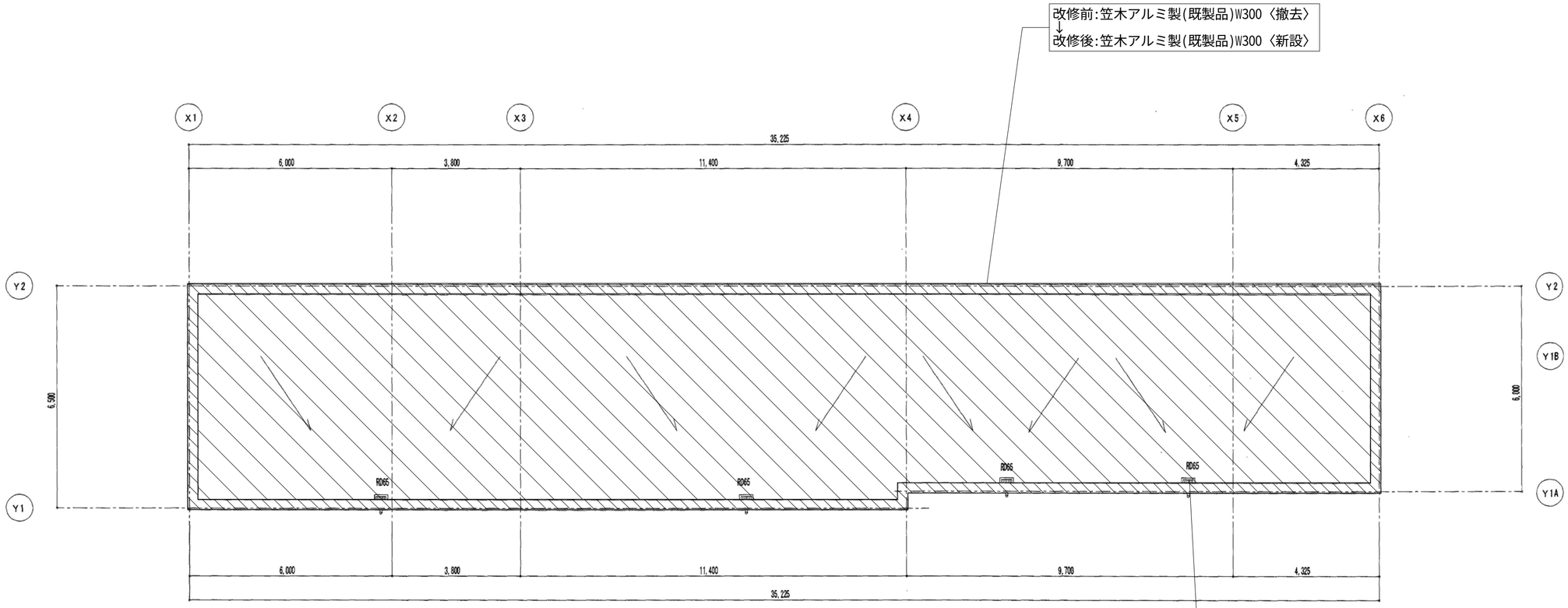




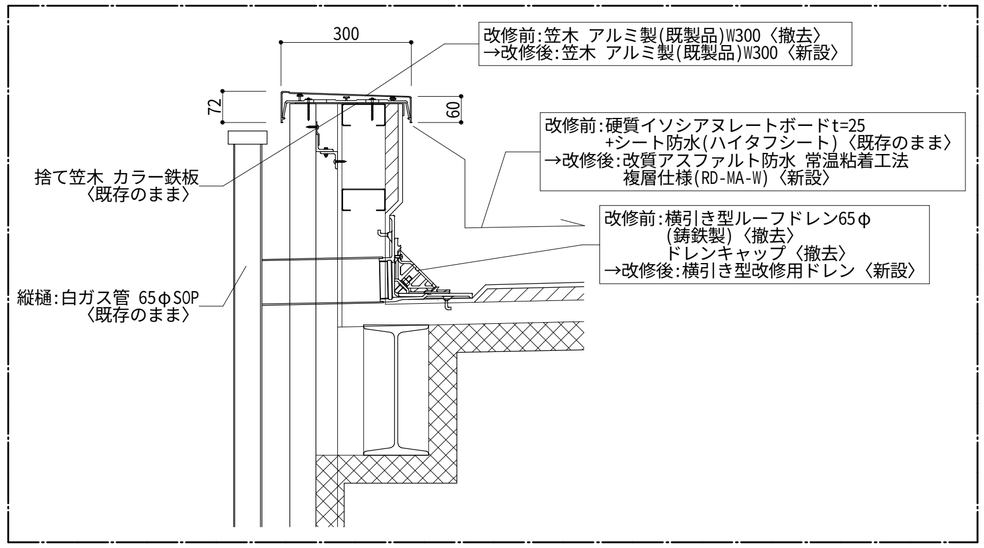
凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：仕上材〈撤去〉を示す 改修後：仕上材〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

改修前・改修後　平面図　S=1:100

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）車庫・電気室 改修前・改修後　平面図		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２０



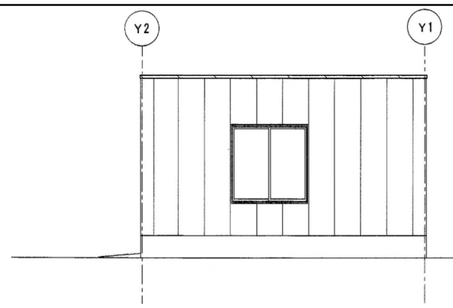
改修前・改修後　屋根伏図　S=1:100



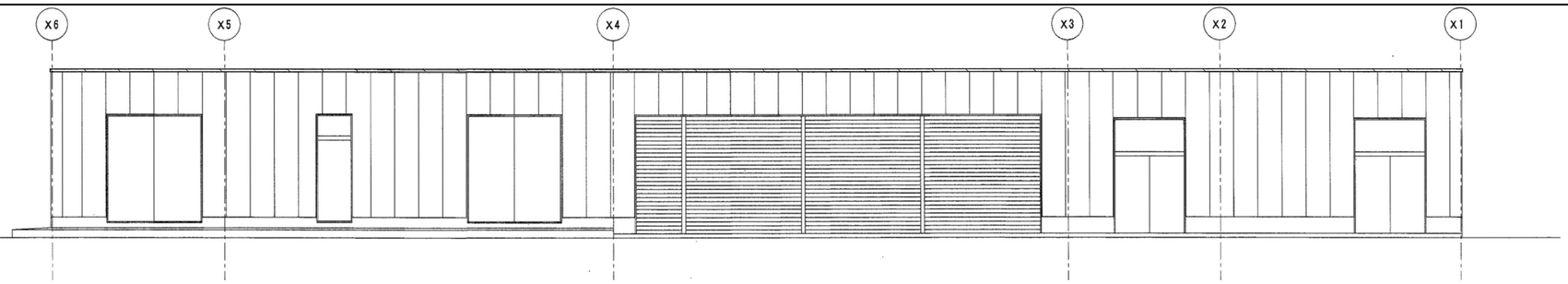
改修前・改修後　パラペット詳細図　S=1:10

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：シート防水(ハイタフシート)〈既存のまま〉を示す 改修後：改質アスファルト防水(RD-MA-W)〈新設〉を示す
	改修前：笠木 アルミ製(既製品)W300〈撤去〉を示す 改修後：笠木 アルミ製(既製品)W300〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

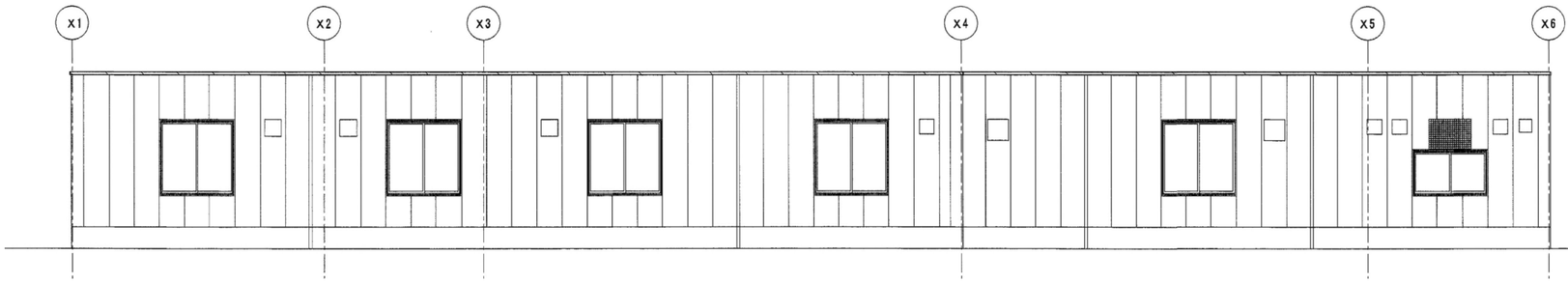
工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）車庫・電気室 改修前・改修後　屋根伏図		
縮　尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２１



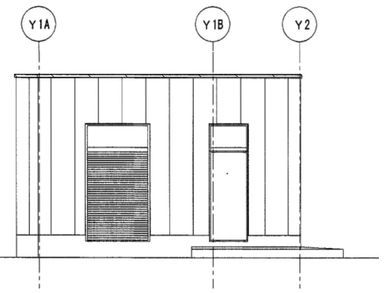
改修前・改修後　南立面図　S=1:100



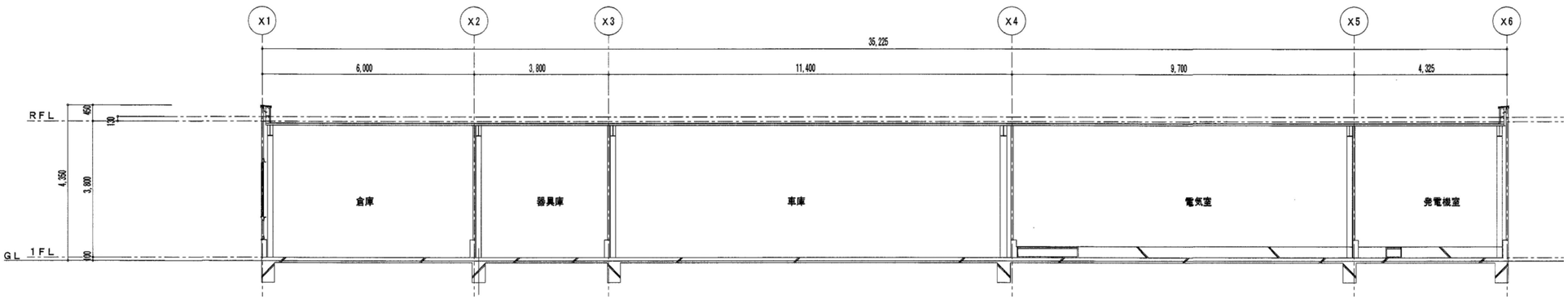
改修前・改修後　東立面図　S=1:100



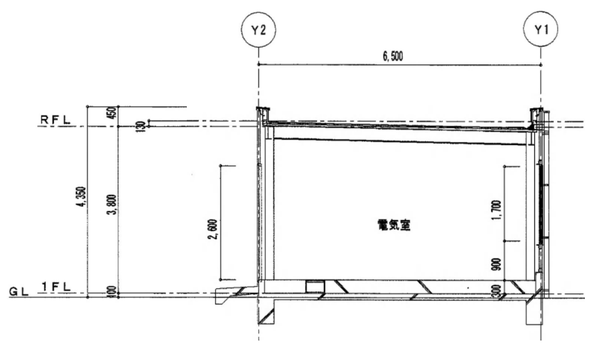
改修前・改修後　西立面図　S=1:100



改修前・改修後　北立面図　S=1:100



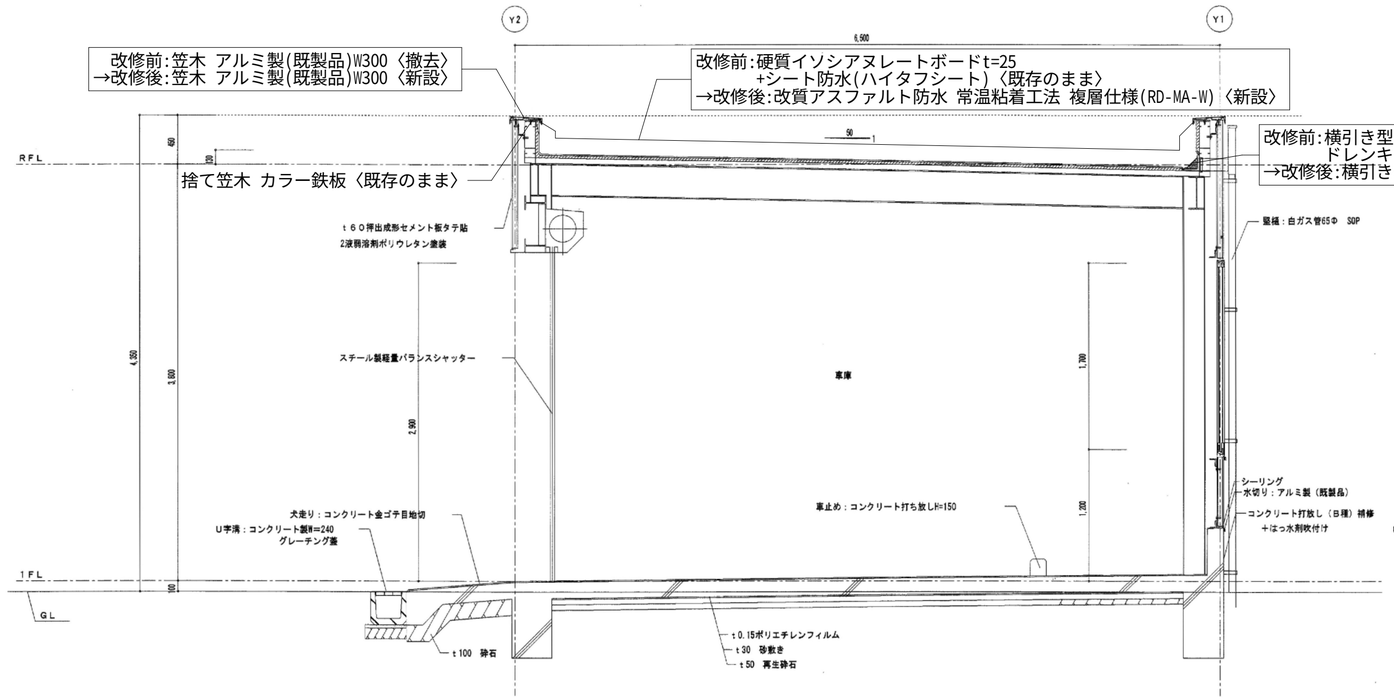
改修前・改修後　断面図　S=1:100

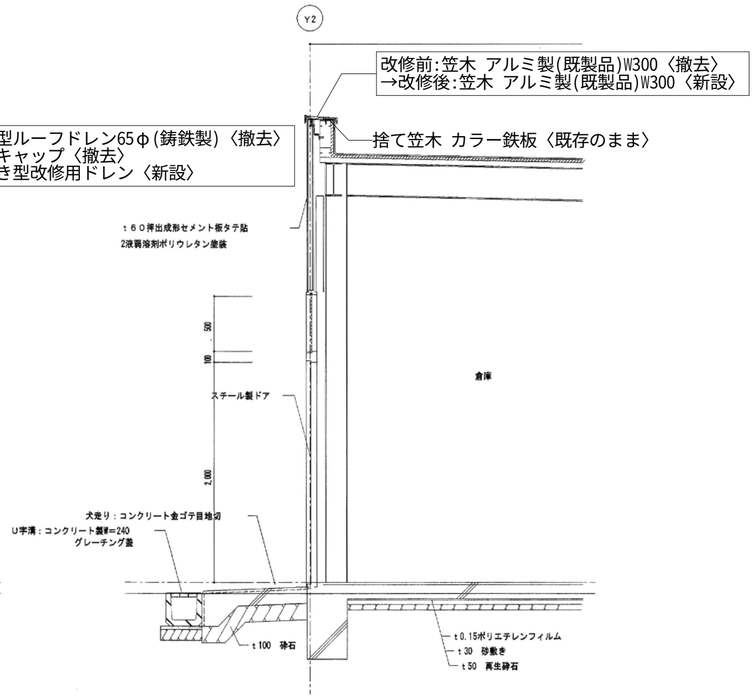


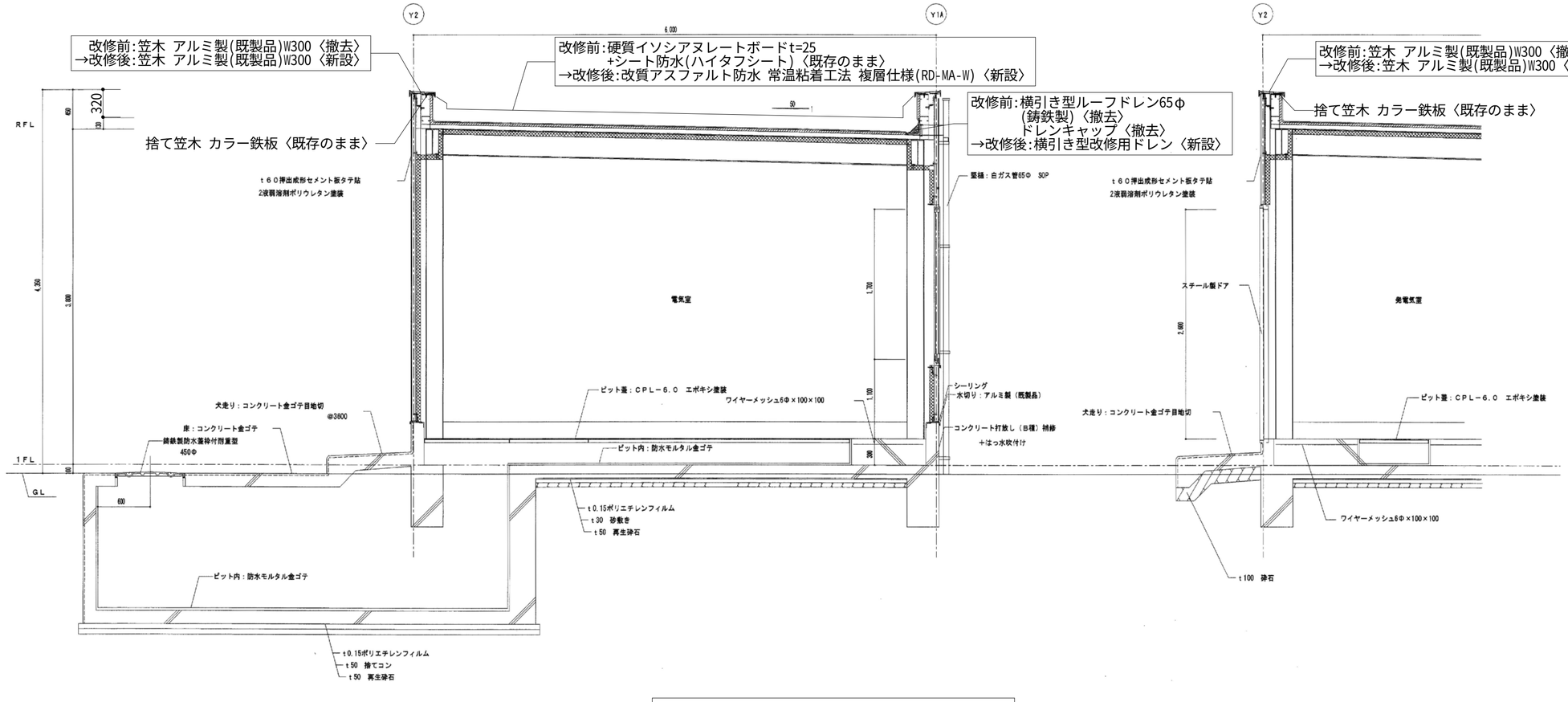
改修前・改修後　断面図　S=1:100

凡例（建具改修等は建具表による）	
	改修前：笠木 アルミ製(既製品)W300〈撤去〉を示す 改修後：笠木 アルミ製(既製品)W300〈新設〉を示す
	〈既存のまま〉を示す
	別図詳細図による

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）車庫・電気室 改修前・改修後　立面図・断面図		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２２



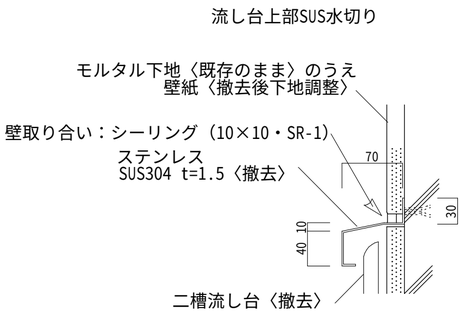




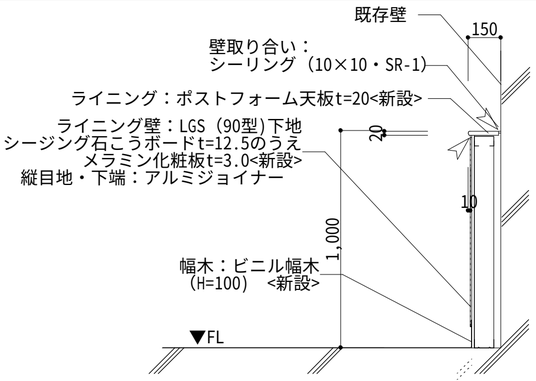
改修前・改修後　矩計図　S=1:40

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（鳴瀬奥松島料金事務所施設）車庫・電気室 改修前・改修後　矩計図		
縮　尺	1:40	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２３

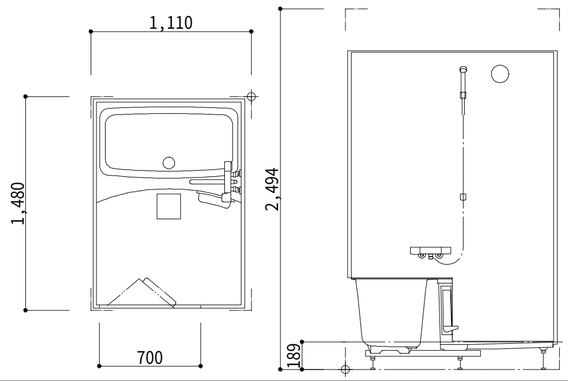
１．改修前　流し台上部SUS水切り〈撤去〉詳細図　1/5



２．改修後　ライニング　〈新設〉詳細図　1/20

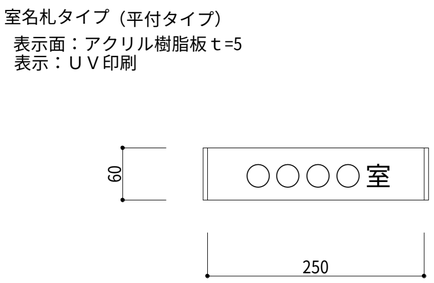


３-１．改修後　ユニットバス１０１４〈新設〉詳細図　1/30

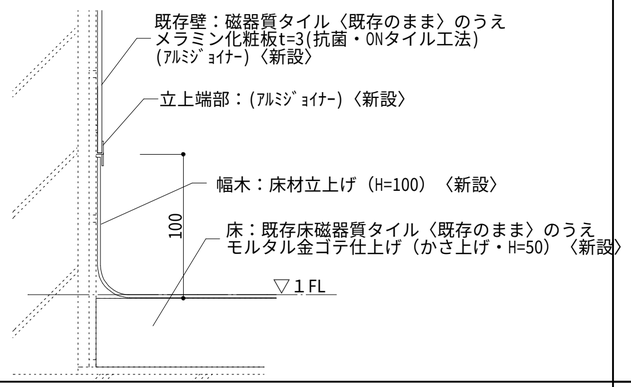


集合住宅用ユニットバスルーム（サイズ：1014ﾀｲﾌﾟ・床高さ190㎜）
床：FRP　岩肌調　単色
壁パネル：艶消し
浴槽：FRP浴槽・ゴム栓・巻フタ
天井：平天井（天井高さ2005）
換気：100V 換気乾燥暖房機（ランドリーパイプ×1本付・常時換気機能付）
ドア：折り戸（W700×H1900）・段差50㎜
水栓：壁付サーモ水栓
シャワー：エコフルシャワー
シャワーフック：ホワイト×２個
カウンター：―
照明：スリム照明（LED）
ミラー：ミラーW300×H600
収納：コーナー棚２段
タオル掛：タオル掛け
フリーサイズ窓額縁キット：窓額縁（サイズは平面詳細図による）
フリーサイズ窓額縁キット：ドア額縁（サイズは平面詳細図による）

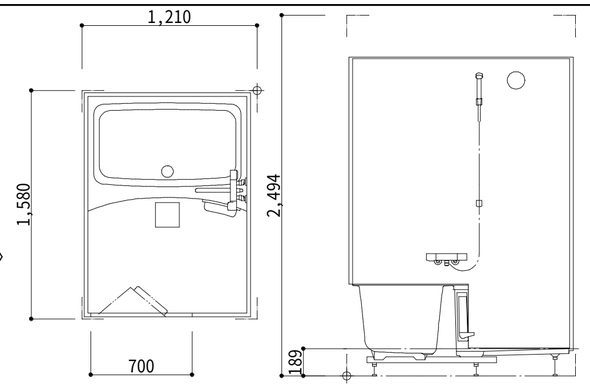
４．改修前・改修後　サイン詳細図　1/5



５．改修後　ＷＣ床・幅木　詳細図　1/3

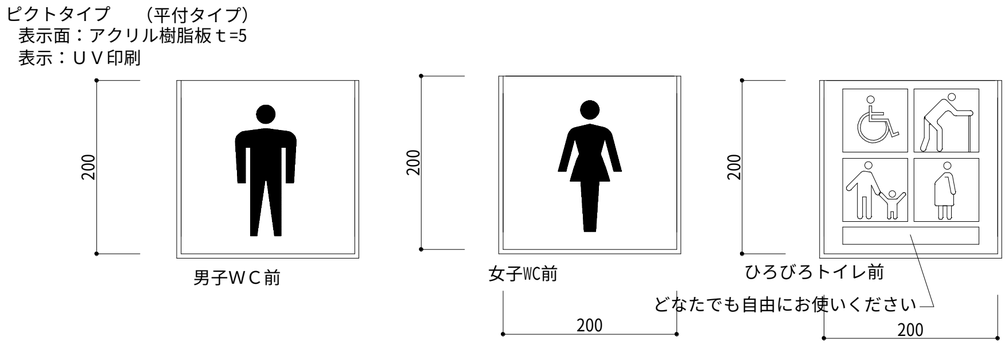


３-２．改修後　ユニットバス１１１５〈新設〉詳細図　1/30

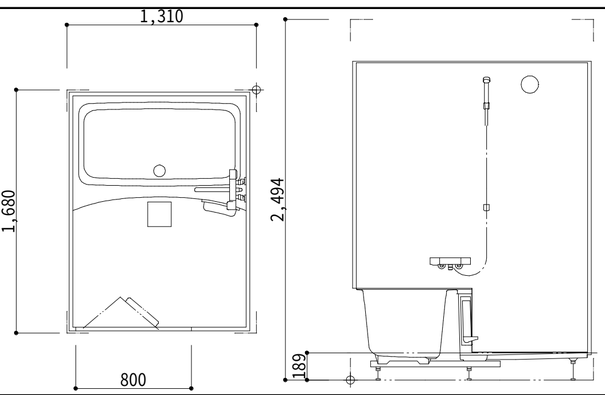


集合住宅用ユニットバスルーム（サイズ：1115ﾀｲﾌﾟ・床高さ190㎜）
床：FRP　岩肌調　単色
壁パネル：艶消し
浴槽：FRP浴槽・ゴム栓・巻フタ
天井：平天井（天井高さ2005）
換気：100V 換気乾燥暖房機（ランドリーパイプ×1本付・常時換気機能付）
ドア：折り戸（W700×H1900）・段差50㎜
水栓：壁付サーモ水栓
シャワー：エコフルシャワー
シャワーフック：ホワイト×２個
カウンター：―
照明：スリム照明（LED）
ミラー：ミラーW300×H600
収納：コーナー棚２段
タオル掛：タオル掛け
フリーサイズ窓額縁キット：窓額縁（サイズは平面詳細図による）
フリーサイズ窓額縁キット：ドア額縁（サイズは平面詳細図による）

６．改修前・改修後　ピクトサイン詳細図　1/5

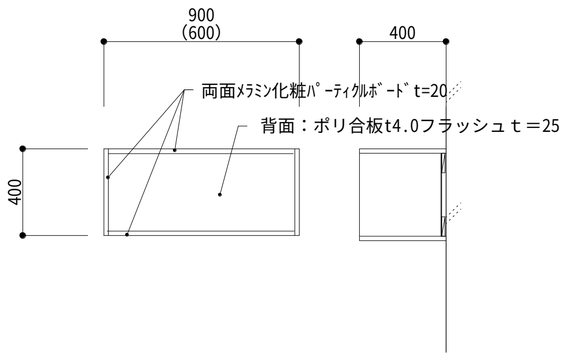


３-３．改修後　ユニットバス１２１６〈新設〉詳細図　1/30

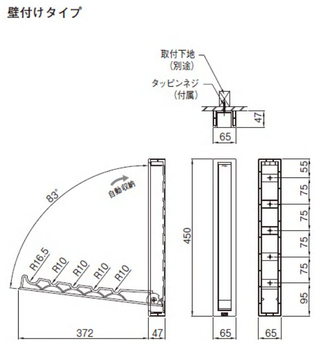


集合住宅用ユニットバスルーム（サイズ：1216ﾀｲﾌﾟ・床高さ190㎜）
床：FRP　岩肌調　単色
壁パネル：艶消し
浴槽：FRP浴槽・ゴム栓・巻フタ
天井：平天井（天井高さ2005）
換気：100V 換気乾燥暖房機（ランドリーパイプ×1本付・常時換気機能付）
ドア：折り戸（W800×H1900）・段差50㎜
水栓：壁付サーモ水栓
シャワー：エコフルシャワー
シャワーフック：ホワイト×２個
カウンター：―
照明：スリム照明（LED）
ミラー：ミラーW300×H600
収納：コーナー棚２段
タオル掛：タオル掛け
フリーサイズ窓額縁キット：窓額縁（サイズは平面詳細図による）
フリーサイズ窓額縁キット：ドア額縁（サイズは平面詳細図による）

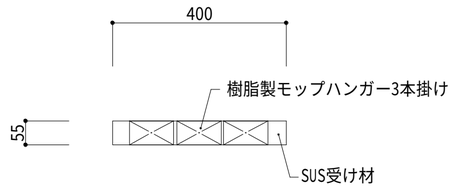
７．改修後　脱衣棚　詳細図　1/20



８．改修後　物干し金物　詳細図　1/3

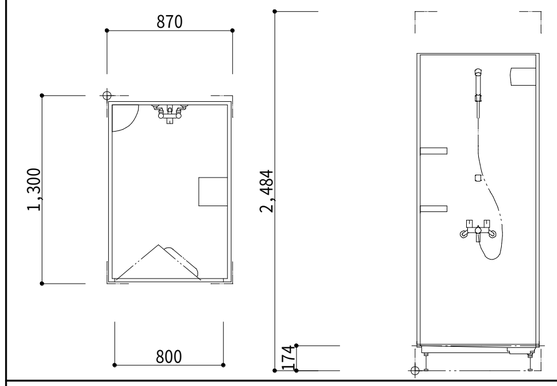


９．改修後　モップ掛けハンガー　詳細図　1/10



工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 改修前・改修後　雑詳細図（１）		
縮　尺	―	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２４

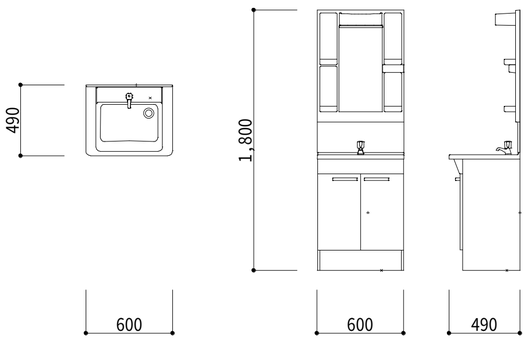
10．改修後　ユニットシャワー０８１２〈新設〉詳細図　1/30



ユニットシャワー（サイズ：0812ﾀｲﾌﾟ・床高さ174㎜）
ビルトインタイプ
床：FRP　岩肌調　単色
壁パネル：艶消し
天井：平天井（天井高さ2000）
換気：天井換気扇
ドア：折り戸（W800×H2000）・段差16㎜
水栓：壁付サーモ水栓シャワー付き
シャワー：エコフルシャワー
シャワーフック：ホワイト×２個
握りバー：Ｉ型600Ｌ
照明：スリム照明（LED）
ミラー：ミラーW150×H550
収納：コーナー棚×2
スライドバー

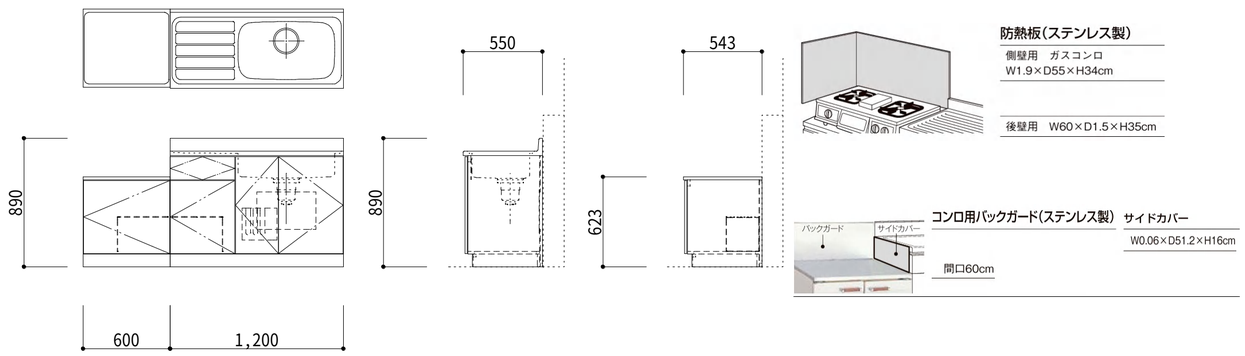
フリーサイズ窓額縁キット：ドア額縁（サイズは平面詳細図による）

11．改修後　電気温水器付き洗面化粧台〈新設〉詳細図　1/30



洗面化粧台
後付けタイプ温水器（貯湯量12L（約18人連続使用可）・据え置きﾀｲﾌﾟ
・縦置き型・先止め式・出湯60℃）
洗面ボウル：人工大理石製・排水トラップ・排水栓（ヘアキャッチャー付き
・止水栓）
収納キャビネット（温水器収納可）
エコシングル混合水栓
化粧鏡
コンセント×1
LEDランプ×1（4.4W）
くもり防止ミラー
収納トイレ×4
扉：パーチクルボード+低圧メラミン

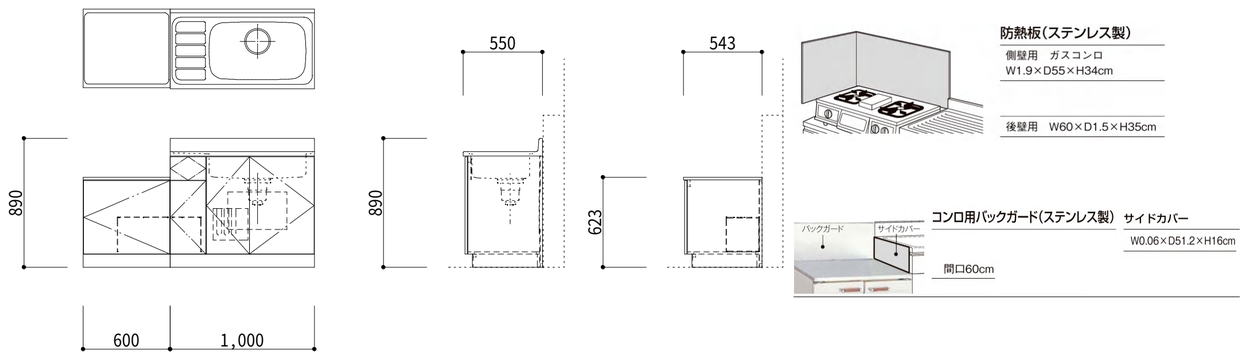
12-1．改修後　流し台・コンロ台〈新設〉詳細図　1/30



BL認定品
トップ・シンク：ステンレス（SUS304）
キャビネット：化粧パーティクルボード、化粧合板、化粧MDF
棚板：化粧パーティクルボード
扉：特殊樹脂化粧パーティクルボード
F☆☆☆☆品
流し台の右シンク・左シンクは平面詳細図による
流し台には、点検口付き

防熱板：ステンレス製・側壁用・後壁用
コンロ用バックガード：ステンレス
サイドカバー：ステンレス

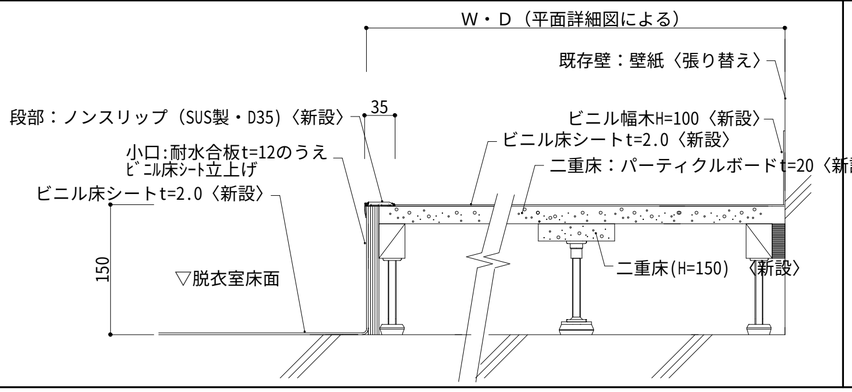
12-2．改修後　流し台・コンロ台〈新設〉詳細図　1/30



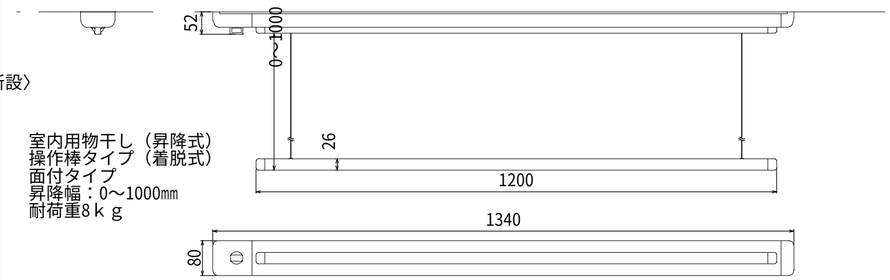
BL認定品
トップ・シンク：ステンレス（SUS304）
キャビネット：化粧パーティクルボード、化粧合板、化粧MDF
棚板：化粧パーティクルボード
扉：特殊樹脂化粧パーティクルボード
F☆☆☆☆品
流し台の右シンク・左シンクは平面詳細図による
流し台には、点検口付き

防熱板：ステンレス製・側壁用・後壁用
コンロ用バックガード：ステンレス
サイドカバー：ステンレス

13．改修後　脱衣室 二重床〈新設〉詳細図　1/5



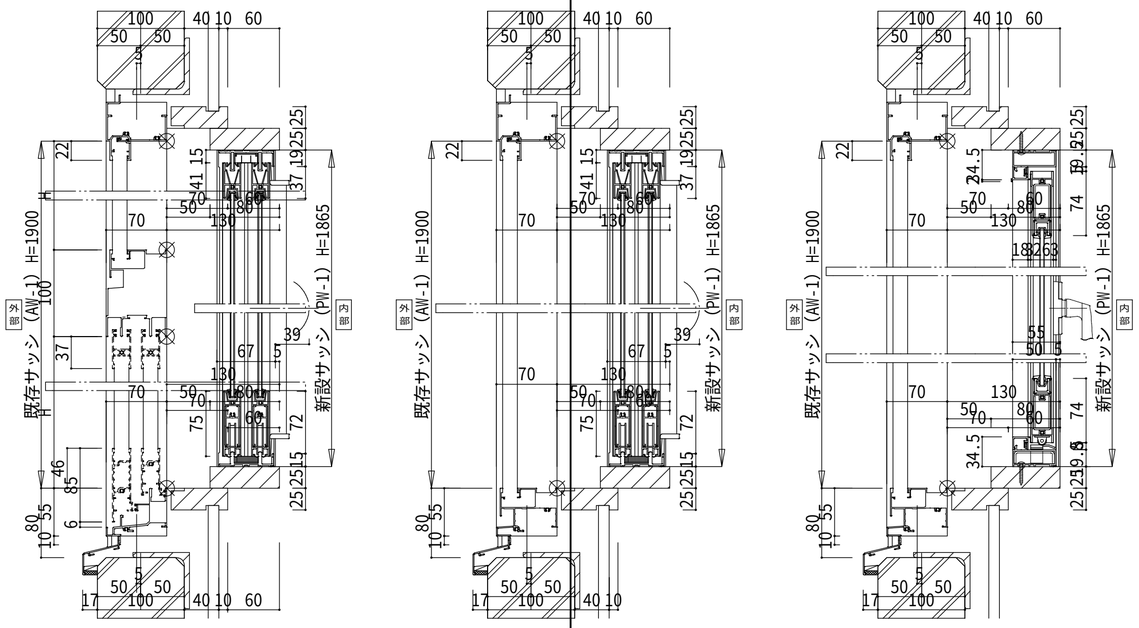
14．改修後　脱衣室 室内用物干し（昇降式）〈新設〉詳細図　1/5



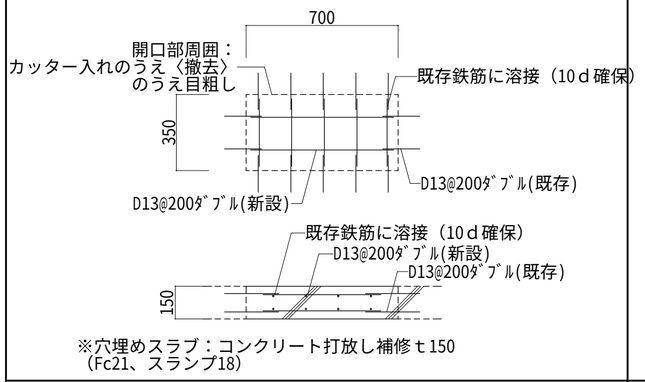
室内用物干し（昇降式）
操作棒タイプ（着脱式）
面付タイプ
昇降幅：0～1000㎜
耐荷重8ｋｇ

工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 改修前・改修後　雑詳細図（２）		
縮　尺	ー	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２５

14．改修後　樹脂製建具　〈新設〉縦断面図　1/5



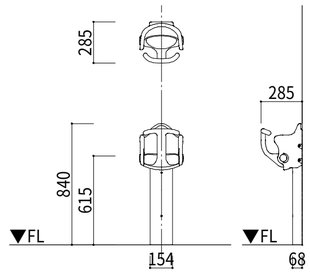
15．改修後　開口塞ぎ部要領　1/20



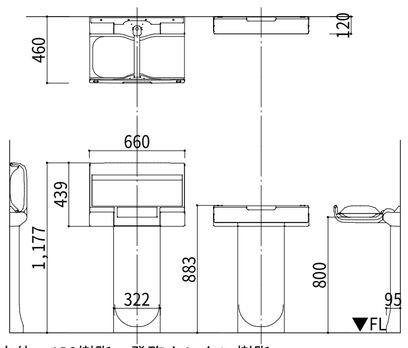
※穴埋めスラブ：コンクリート打放し補修ｔ150
（Fc21、スランプ18）

16.ベビーチェア　<撤去>〈新設〉　1/20

本体：ABS樹脂　発砲ウレタン樹脂
※床面はアンカーボルト、壁面はビス止めで固定



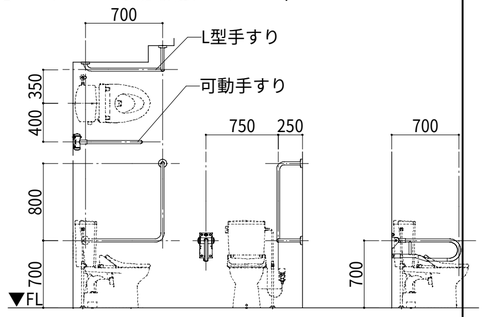
17.ベビーベッド　<撤去>〈新設〉　1/20



本体：ABS樹脂　発砲ウレタン樹脂
※床面はアンカーボルト、壁面はビス止めで固定

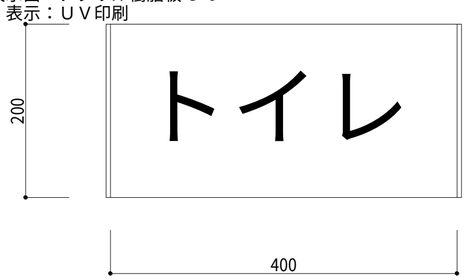
18.多目的トイレ　手摺　<撤去>〈新設〉　1/20

手摺：ステンレス樹脂被覆タイプ　34φ

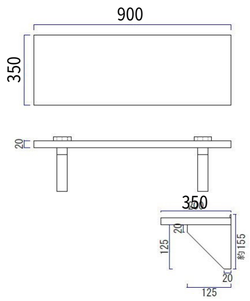


19．改修前・改修後　サイン詳細図　1/5

屋外タイプ　（平付タイプ）
表示面：アクリル樹脂板ｔ=5
表示：ＵＶ印刷



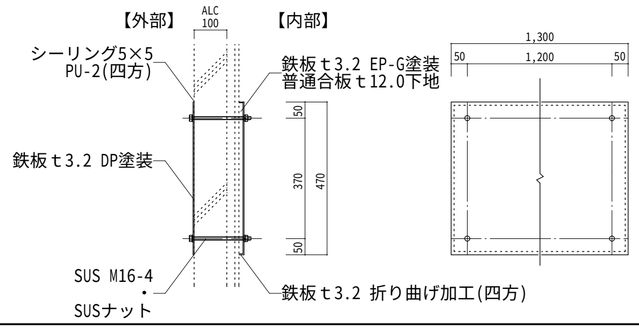
20.神棚〈新設〉　1/-



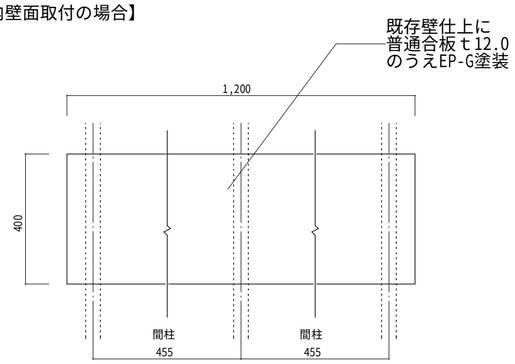
杉板　ｔ=20

21.空調室内機取付下地〈新設〉　1/-

【外壁面取付の場合】



【内壁面取付の場合】



工事番号	令和５年度　仙松維第１２号		
路線名	（国）４５号・（主）仙台松島線		
施工地名	宮城郡利府町春日～ 東松島市川下　地内		
工事名	仙台松島道路　料金事務所修繕工事		
図面名	（各料金事務所施設 共通） 改修前・改修後　雑詳細図（３）		
縮　尺	―	位置	
設計者		設計 年度	
宮城県道路公社		図番	A-１２６